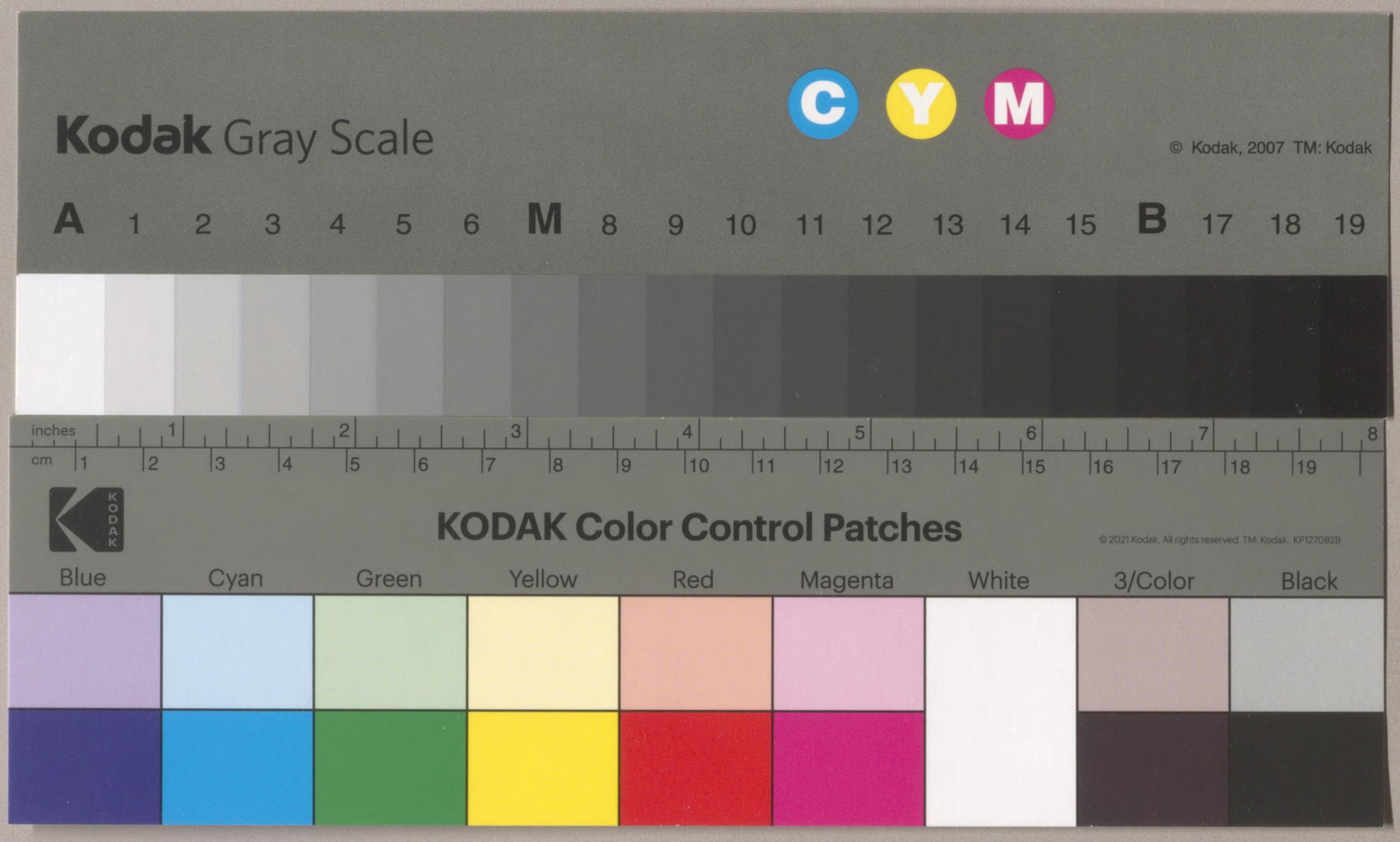
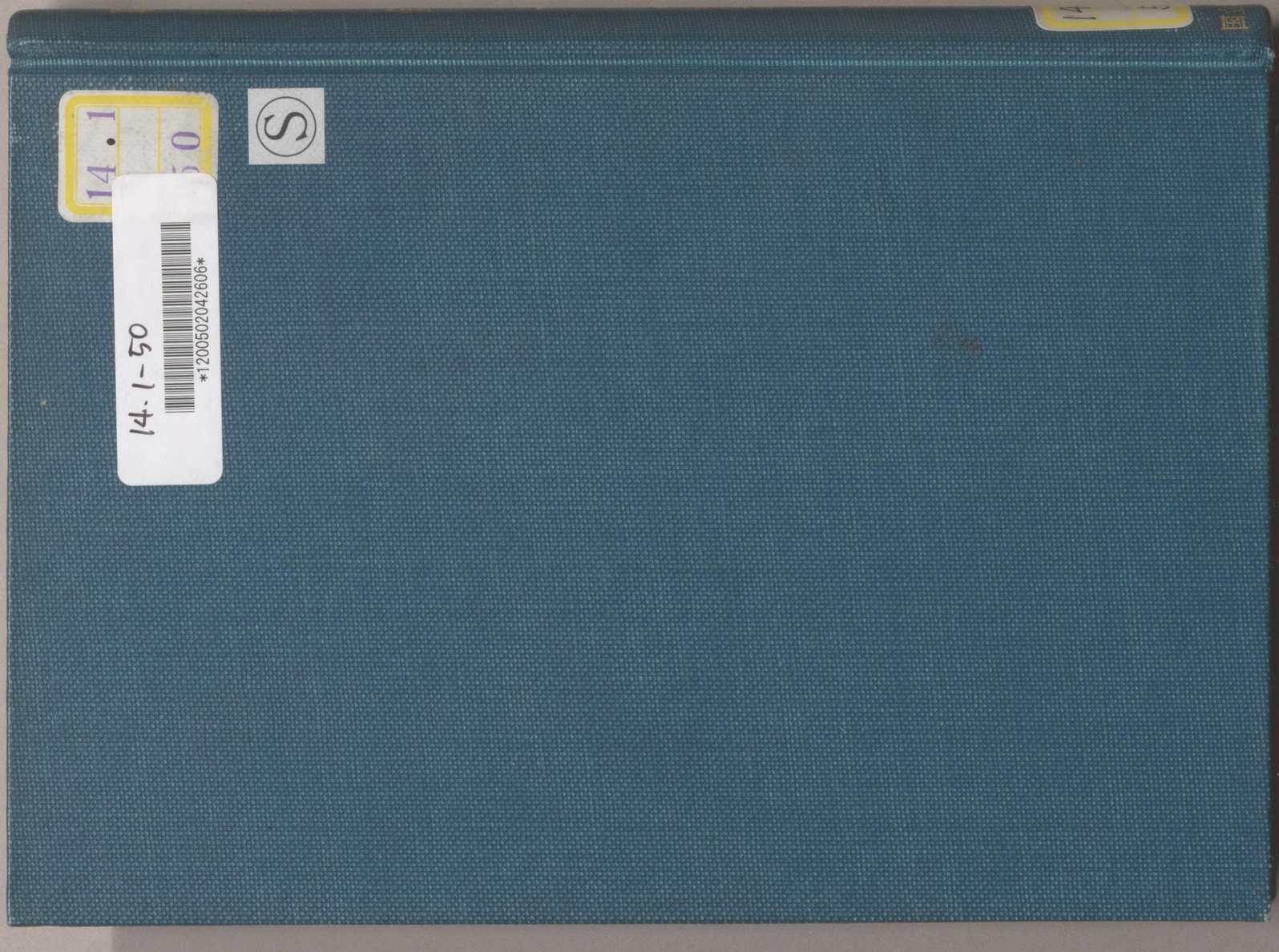

Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
KODAK Color Control Patches
© 2021 Kodak. All rights reserved. TM: Kodak. KP127082B
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black


14.1
50
14.1-50
1200502042606

凡例

一　本編ハ明治二十八年一月一日現在調査ニ係ル北海道廳府縣高等官及判任官其他重要ナル職員ヲ掲載ス

一　職ニ依リ班列スルモノハ其職名ヲ官名ト齊シク排置ス

一　監獄書記ニシテ看守長ヲ兼ネ教誨ニシテ舍監ヲ兼ヌル者ノ如キハ之ヲ兩出セス然レトモ間〻便宜此例ニ據ラサルモノアリ

一　位勳爵官等俸給ハ左ノ例ニ據リ掲載ス

從四位勳三等子爵ハ從四、勳三、子、等

高等官一等ハ一等、五級俸ハ五級（判任官ハ單ニ一ト記ス）ト記ス其相當俸給額竝ニ判任官ノ官等ハ官職等級俸給制ニ詳記セルヲ以テ之ヲ省略ス

一　參事官年俸千圓下賜ノ者ニ限リ其俸給額ハ之ヲ省略ス

一　市參事會ハ東京、京都、大阪ノ三市ニ限リ特ニ之ヲ掲載ス

一　町村長ノ給料及報酬額ハ總テ之ヲ掲載セス

目錄

○官制及府縣郡市町村制

○北海道廳官制　頁一
○北海道集治監官制　二
○札幌農學校官制　二
○札幌農學校ニ關スル件　三
○地方官制　四
○府縣收税署位置及管轄區域　六
○師範學校令　九
○尋常師範學校官制　九
○中學校令　一〇
○公立中學校高等女學校專門學校技藝學校職員名稱待遇及任免　一〇
○府縣農事試驗場規程　一〇
○農事講習所規程　一一
○農事講習所設置心得　一一
○農事及水産巡迴教師設置心得　一一
○府縣農事試驗場農事講習所職員並農事巡迴教師及水産巡迴教師ノ名稱待遇及任免　一三
○府縣制　一三
○郡制　二〇
○市制　二七
○町村制　三八
○市制中特例　五〇
○府縣制郡制施行地　五一
○市制施行地　五一
○町村制不施行島嶼　五一

○官職等級俸給制

○高等官官等俸給令　一
○文武判任官等級表　四
○判任官俸給令　六
○技術官俸給令　六
○文官試補及見習規程　七
○北海道廳高等官年俸　七
○北海道郡長特別年俸支給郡名　七
○北海道集治監高等官年俸　七
○札幌農學校高等官年俸　七
○地方高等官年俸　七
○府縣郡長特別年俸支給郡名　七
○戸長年月俸　八
○區長年俸　八
○區書記月俸　八
○府縣立師範學校長任命及俸給令　八
○尋常師範學校教諭助教諭訓導及書記俸額　九
○公立學校職員官等等級配當　九
○府縣農事試驗場農事講習所職員並農事巡迴教師及水産巡迴教師官等等級配當　一〇
○宮中儀式上席次表　一〇

○北海道廳　一
○東京府　一三
○京都府　二三
○大阪府　三三
○神奈川縣　四三
○兵庫縣　四九
○長崎縣　六一
○新潟縣　六七
○埼玉縣　七九
○群馬縣　八七
○千葉縣　九三
○茨城縣　一〇一
○栃木縣　一〇九
○奈良縣　一一五
○三重縣　一一九
○愛知縣　一二七
○靜岡縣　一三九
○山梨縣　一四七
○滋賀縣　一五三
○岐阜縣　一五九
○長野縣　一六七
○宮城縣　一七五
○福島縣　一八三
○巖手縣　一九三
○青森縣　一九九
○山形縣　二〇五
○秋田縣　二一三
○福井縣　二一九
○石川縣　二二七
○富山縣　二三五
○鳥取縣　二四一
○島根縣　二四七
○岡山縣　二五五
○廣島縣　二六五
○山口縣　二七五
○和歌山縣　二八一
○德島縣　二八七
○香川縣　二九三

目錄

○愛媛縣　二九九
○高知縣　三〇七
○福岡縣　三一三
○大分縣　三二三
○佐賀縣　三三一
○熊本縣　三三七
○宮崎縣　三四五
○鹿兒島縣　三五一
○沖繩縣　三五九

○官制及府縣郡市町村制

○北海道廳官制

明治二十四年七月二十七日勅令第百十一號（抄）

一北海道廳ニ左ノ職員ヲ置ク

長官
書記官
警部長
財務長
參事官
技師
典獄
屬
技手
警部
監獄書記
看守長
監獄醫

一長官一人勅任トス

一書記官二人警部長一人財務長一人參事官二人典獄一人奏任トス

一屬警部監獄書記看守長監獄醫ハ判任トス郡區書記ヲ通シテ五百五十七人ヲ以テ定員トス

前項各官ノ定員ハ內務大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

一技師技手ハ道廳ノ須要ニ依リ判任官豫算定額內ニ於テ本年勅令第八十四號技術官俸給令ニ依リ之ヲ置クコトヲ得

一長官ハ內務大臣ノ指揮監督ニ屬シ各省ノ主務ニ就テハ各省大臣ノ指揮監督ヲ承ケ法律命令ヲ執行シ北海道ノ拓地殖民竝部內ノ行政事務ヲ總理ス

一長官ハ屯田兵ノ開墾授產ノ事ヲ監督シ竝北海道集治監ヲ管理ス

一長官ハ北海道ノ事務ニ付其職權若クハ特別ノ委任ニ依リ法律命令ノ範圍內ニ於テ管內一般又ハ其一部ニ廳令ヲ發スルコトヲ得

一長官ハ非常急變ノ場合ニ臨ミ兵力ヲ要シ又ハ警護ノ爲メ兵備ヲ要スルトキハ師團長旅團長及屯田兵司令官ニ移牒シ出兵ヲ請フコトヲ得

一長官ハ所部ノ官吏ヲ統督シ奏任官ノ進退ハ內務大臣ニ具狀シ判任官以下ハ之ヲ專行スル事項

一長官ハ法律命令ノ定ムル所ニ從ヒ所部ノ官吏ヲ懲戒ス其奏任官ニ係ルモノハ之ヲ內務大臣ニ具狀シ判任官以下ハ之ヲ專行スル事項

一長官ハ廳中及其所轄官廳ノ處務細則ヲ定ムルコトヲ得

一北海道廳ニ長官官房ヲ置ク

長官官房ニ書記若干名ヲ置ク屬ヲ以テ之ニ充ツ

一長官官房ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、官吏ノ進退身分ニ關スル事項

二、文書ノ往復

三、官印廳印ノ管守

四、記錄編輯統計報告ニ關スル事項

五、外國人ニ關スル事項

一長官事故アルトキハ上席書記官其職務ヲ代理ス

一道廳ノ事務ヲ分掌セシムル爲メニ左ノ三部ヲ置ク

內務部

一、學務衞生社寺ニ關スル事項

二、兵事戶籍褒賞賑恤及區町村費ニ關スル事項

三、農工商務ニ關スル事項

四、地理山林ニ關スル事項

五、水陸運輸ニ關スル事項

六、漁獵ニ關スル事項

七、河港堤防道路鐵道橋梁排水溝渠ニ關スル事項

八、官衙ノ建築修繕ニ關スル事項

九、他部ノ主掌ニ屬セサル事項

警察部

一、高等警察及行政警察ニ關スル事項

財務部

一、金錢物品ノ管理出納ニ關スル事項

二、豫算決算ニ關スル事項

三、租稅ノ賦課徵收ニ關スル事項

監獄署　道廳監獄ニ關スル事項

一書記官ハ內務部長、警部長ハ警察部長、財務長ハ財務部長、典獄ハ監獄署長ト爲リ各長官ノ指揮ヲ承ケ部下ノ官吏ヲ監督シ所部ノ事務ヲ掌理ス

一參事官ハ長官ノ諮詢ニ應シ意見ヲ具ヘ及審議立案ヲ掌ル

參事官ハ長官ノ命ヲ承ケ內務部各課長トナリ又ハ臨時各部課ノ事務ヲ助クルコトアルヘシ

一技師ハ長官又ハ部長ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

一各部署中便宜課ヲ設ケ各課ニ課長一人ヲ置キ部署長ノ指揮ヲ承ケ課務ヲ掌理ス

課長ハ屬ヲ以テ之ニ充ツ但技師ヲ以テ之ニ充ツルコトアルヘシ

一屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

一技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

一警部ハ上官ノ指揮ヲ承ケ警察事務ヲ分掌シ部下ノ巡查ヲ指揮監督ス

一監獄書記ハ典獄ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

典獄事故アルトキハ上席書記長官ノ命ヲ承ケ其職務ヲ代理ス

一看守長ハ典獄ノ指揮ヲ承ケ監獄ノ戒護ヲ掌リ看守ヲ指揮監督ス

一監獄醫ハ典獄ノ指揮ヲ承ケ監獄ニ係ル醫務ニ從事ス

一巡查及看守ニ關スル規定ハ別ニ定ムル所ニ依ル

一每郡若クハ數郡及每區ニ警察署ヲ置キ各警察署ノ部內ニ警察分署ヲ配置ス

警察署長ハ郡區長ヲ以テ之ニ充テ警察分署長ハ戶長ヲ以テ之ニ充ツ但土地ノ情況ニ依リ特ニ警察署又ハ分署ヲ設置シ警部ヲ以テ其署長ニ充ツルコトヲ得

一監獄支署若干ヲ置キ書記ヲ以テ其長ニ充ツ

一各郡區職員ヲ置ク左ノ如シ

郡長　判任
區長　奏任
書記　判任
技手　判任

一學校長ハ北海道廳長官ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ統督ス

一教授ハ生徒ノ教授ヲ掌ル

助教授ハ教授ノ職掌ヲ助ク

一舍監ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ生徒ノ取締ニ關スル事ヲ掌ル

一書記ハ上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

一技手ハ上官ノ命ヲ承ケ學科ニ關スル技術ニ從事ス又特ニ授業ヲ助ケシムルコトアルヘシ

一北海道廳長官ハ校務上ノ須要ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ得テ敎官ノ外外國敎師ヲ雇入ルルコトヲ得又學校長ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ俸給豫算定額內ニ於テ講師ヲ囑託シ又ハ雇員ヲ使用スルコトヲ得

一北海道廳長官ハ校務上ノ須要ニ依リ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其委員ハ北海道廳長官之ヲ命ス

助敎授　十人
舍監　專任一人　奏任
書記　六人　判任
技手　六人　判任

○札幌農學校ニ關スル件（明治二十六年十一月十一日勅令第二百八號ニ（抄）十七年三月十七日勅令第二十六號）

一札幌農學校ハ文部省直轄學校トス

一文部大臣ハ便宜北海道廳長官ニ委任シテ札幌農學校ヲ監督セシムルコトヲ得

一札幌農學校職員ノ定員ハ左ノ如シ但兼任ハ此ノ限ニアラス

校長　一人
敎授　六人
助敎授　十人
書記　八人
附則

一本令ハ明治二十八年四月一日ヨリ施行ス

一明治二十四年勅令第百四十二號、同年勅令第百四十三號及明治二十六年勅令第九十五號ニ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

○地方官官制（明治二十六年十月三十一日勅令第百六十二號（抄））

一各府縣ニ左ノ職員ヲ置ク

知事
書記官
警部長
收稅長
參事官
技師
典獄
屬
技手
警部
收稅屬
監獄書記
看守長

一知事ハ一人勅任トス

一書記官、警部長、收稅長、參事官及典獄ハ各一人奏任トス

一屬、警部、收稅屬、監獄書記及看守長ハ判任トシ各府縣ヲ通シテ左ノ人員ヲ以テ定員トス

屬　警部、收稅屬、監獄書記及看守長　六千九百七十人
一知事ハ廳中處務ノ細則ヲ設クルコトヲ得

一知事事故アルトキハ書記官其ノ職務ヲ代理ス

前項ノ場合ニ於テ書記官事故アルトキハ內務大臣ニ於テ府縣高等官ノ一人ヲシテ知事ノ指揮監督ヲ承ケ分監ノ事務ヲ掌理ス

本監及分監ノ廢設竝其位置ハ內務大臣之ヲ定ム

一典獄事故アルトキハ上席分監長北海道廳長官ノ命ヲ承ケ其事務ヲ代理ス

一書記ハ判任トス本監及分監ニ分屬シ典獄又ハ分監長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

一看守長ハ判任トス本監及分監ニ分屬シ典獄又ハ分監長ノ命ヲ承ケ監獄ノ戒護ヲ掌リ看守ヲ指揮監督ス

一監獄醫ハ判任トス本監及分監ニ分屬シ典獄又ハ分監長ノ命ヲ承ケ監獄ニ係ル醫務ニ從事ス

一書記看守長及監獄醫ハ通シテ百十二人ヲ以テ定員トス

一看守ニ係ル規程ハ別ニ定ムル所ニ依ル

一事務ノ分課竝處務ノ規程ハ北海道廳長官之ヲ定ム

○北海道集治監官制（明治二十四年七月二十七日勅令（抄）第百八號）

一北海道集治監ニ左ノ職員ヲ置ク

典獄
分監長
書記
看守長
監獄醫

一典獄一人奏任トス北海道廳長官ノ指揮監督ヲ承ケ監獄ノ事務ヲ掌理ス

一典獄ハ所屬ノ官吏ヲ監督シ判任官以上ノ進退ハ北海道廳長官ニ具狀シ看守以下ハ之ヲ專行ス

一典獄ハ法律命令ノ定ムル所ニ從ヒ所屬官吏ヲ懲戒ス其判任官以上ニ係ルモノハ北海道廳長官ニ具狀シ看守以下ハ之ヲ專行ス

一分監長四人奏任トス各分監ノ長トナリ典獄ノ指揮監督ヲ承ケ分監ノ事務ヲ掌理ス

本監及分監ノ廢設竝其位置ハ內務大臣之ヲ定ム

一典獄事故アルトキハ上席分監長北海道廳長官ノ命ヲ承ケ其事務ヲ代理ス

一書記ハ判任トス本監及分監ニ分屬シ典獄又ハ分監長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

一看守長ハ判任トス本監及分監ニ分屬シ典獄又ハ分監長ノ命ヲ承ケ監獄ノ戒護ヲ掌リ看守ヲ指揮監督ス

一監獄醫ハ判任トス本監及分監ニ分屬シ典獄又ハ分監長ノ命ヲ承ケ監獄ニ係ル醫務ニ從事ス

一書記看守長及監獄醫ハ通シテ百十二人ヲ以テ定員トス

一看守ニ係ル規程ハ別ニ定ムル所ニ依ル

一事務ノ分課竝處務ノ規程ハ北海道廳長官之ヲ定ム

○札幌農學校官制（明治二十四年七月二十七日勅令第百四十二號（抄））

一札幌農學校ハ北海道廳長官ノ管理ニ屬シ農業ニ關スル學術技藝ヲ敎授スル所トス

本校ハ當分生徒中ヨリ屯田兵士官出身志願者ヲ選ヒ屯田兵士官ニ要スル軍事上ノ學術技藝ヲ敎授シ又屯田兵豫備下士ニ屯田兵豫備將校ニ要スル軍事上ノ學術技藝ヲ敎授ス

一札幌農學校ニ左ノ職員ヲ置ク

學校長　一人　奏任
敎授　八人　奏任

郡書記
區書記

一郡長ハ每郡若クハ數郡ニ一人、區長ハ每區ニ一人ヲ置ク但函館區長ハ書記官ノ內一人之ヲ兼任ス

一郡長區長ハ奏任トス長官ノ指揮監督ヲ承ケ法律命令ヲ部內ニ執行シ部內ノ行政事務ヲ掌理ス

一郡區書記ハ判任トス郡區長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

一地方官官制中警察官及郡長郡書記ニ係ル條項ニシテ本令ニ牴觸セサルモノハ北海道廳警察官及郡區長竝郡區書記ニモ之ヲ適用ス

一監獄署ハ典獄ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

典獄事故アルトキハ上席書記長官ノ命ヲ承ケ其職務ヲ代理ス

一看守長ハ典獄ノ指揮ヲ承ケ監獄ノ戒護ヲ掌リ看守ヲ指揮監督ス

一監獄醫ハ典獄ノ指揮ヲ承ケ監獄ニ係ル醫務ニ從事ス

一巡查及看守ニ關スル規定ハ別ニ定ムル所ニ依ル

一每郡若クハ數郡及每區ニ警察署ヲ置キ各警察署ノ部內ニ警察分署ヲ配置ス

警察署長ハ郡區長ヲ以テ之ニ充テ警察分署長ハ戶長ヲ以テ之ニ充ツ但土地ノ情況ニ依リ特ニ警察署又ハ分署ヲ設置シ警部ヲ以テ其署長ニ充ツルコトヲ得

一監獄支署若干ヲ置キ書記ヲ以テ其長ニ充ツ

一各郡區職員ヲ置ク左ノ如シ

郡長　判任
區長　奏任
書記　判任
技手　判任

一學校長ハ北海道廳長官ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ統督ス

一教授ハ生徒ノ教授ヲ掌ル

助教授ハ教授ノ職掌ヲ助ク

一舍監ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ生徒ノ取締ニ關スル事ヲ掌ル

一書記ハ上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

一技手ハ上官ノ命ヲ承ケ學科ニ關スル技術ニ從事ス又特ニ授業ヲ助ケシムルコトアルヘシ

一北海道廳長官ハ校務上ノ須要ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ得テ敎官ノ外外國敎師ヲ雇入ルルコトヲ得又學校長ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ俸給豫算定額內ニ於テ講師ヲ囑託シ又ハ雇員ヲ使用スルコトヲ得

一北海道廳長官ハ校務上ノ須要ニ依リ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其委員ハ北海道廳長官之ヲ命ス

助敎授　十人
舍監　專任一人　奏任
書記　六人　判任
技手　六人　判任

○札幌農學校ニ關スル件（明治二十六年十一月十一日勅令第二百八號ニ（抄）十七年三月十七日勅令第二十六號）

一札幌農學校ハ文部省直轄學校トス

一文部大臣ハ便宜北海道廳長官ニ委任シテ札幌農學校ヲ監督セシムルコトヲ得

一札幌農學校職員ノ定員ハ左ノ如シ但兼任ハ此ノ限ニアラス

校長　一人
敎授　六人
助敎授　十人
書記　八人
附則

一本令ハ明治二十八年四月一日ヨリ施行ス

一明治二十四年勅令第百四十二號、同年勅令第百四十三號及明治二十六年勅令第九十五號ニ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

○地方官官制（明治二十六年十月三十一日勅令第百六十二號（抄））

一各府縣ニ左ノ職員ヲ置ク

知事
書記官
警部長
收稅長
參事官
技師
典獄
屬
技手
警部
收稅屬
監獄書記
看守長

一知事ハ一人勅任トス

一書記官、警部長、收稅長、參事官及典獄ハ各一人奏任トス

一屬、警部、收稅屬、監獄書記及看守長ハ判任トシ各府縣ヲ通シテ左ノ人員ヲ以テ定員トス

屬　警部、收稅屬、監獄書記及看守長　六千九百七十人
一知事ハ廳中處務ノ細則ヲ設クルコトヲ得

一知事事故アルトキハ書記官其ノ職務ヲ代理ス

前項ノ場合ニ於テ書記官事故アルトキハ內務大臣ニ於テ府縣高等官ノ一人ヲシテ知事

ノ職務ヲ代理セシム

知事ハ府縣ノ官吏ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

一知事ハ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ郡長又ハ島司ニ委任スルコトヲ得

一各府縣ニ知事官房ヲ置キ左ノ事務ヲ掌ラシム

一、官吏ノ進退及身分ニ關スル事項

二、文書ノ往復ニ關スル事項

三、官印府縣印ノ管守ニ關スル事項

一各府縣ニ左ノ部署ヲ置ク

內務部

警察部

收稅部

監獄署

一內務部ニ四課ヲ置キ事務ヲ分掌セシムルコト左ノ如シ但知事ハ地方事務ノ情況ニ依リ內務大臣ノ認可ヲ經テ課ヲ增減スルコトヲ得

第一課

一、議員選舉及府縣會、郡會、市町村會其ノ他公共組合會等ノ會議ニ關スル事項

二、府縣稅、備荒儲蓄竝郡市町村ノ經濟ニ關スル事項

三、右ノ外他課ノ主務ニ屬セサル事項

第二課

一、土木ニ關スル事項

二、官有地及土地收用ニ關スル事項

第三課

一、學務、農工商務、兵事、社寺及戶口民籍ニ關スル事項

東京府ニ於テハ右ノ外衛生ニ關スル事項

第四課

一、府縣費ノ會計ニ關スル事項

二、府縣稅及備荒儲蓄ノ收支出納ニ關スル事項

一警察部ニ於テハ高等警察、行政警察、及衛生ノ事務ヲ掌ル

一收稅部ニ於テハ國稅ノ賦課、徵收竝間接國稅犯則者處分及徵稅費ニ關スル事務ヲ掌ル

一監獄署ニ於テハ監獄ニ關スル事務ヲ掌ル

一書記官ハ內務部長、警部長ハ警察部長、收稅部長ハ收稅部長、典獄ハ監獄署長トナリ知事ノ命ヲ承ケ部下ノ官吏ヲ監督シ所部ノ事務ヲ掌理ス

一內務部長事故アルトキハ知事ニ於テ府縣高等官ノ一人ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシメ警察部長、收稅部長又ハ監獄署長事故アルトキハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

知事ニ於テ必要ナリト認ムルトキハ警察署ノ下ニ警察分署ヲ置クコトヲ得

沖繩縣ノ警察區域ハ舊ニ依ル

一警察署長及警察分署長ハ警部ヲ以テ之ニ充ツ

警察署長及警察分署長ハ上官ノ指揮ヲ承ケ其ノ署主管ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ監督ス

一警察部、收稅部及監獄署ニ分課ヲ設クルコトヲ要スルトキハ知事之ヲ定メ主務大臣ニ報告スヘシ

一內務部各課長ハ屬ヲ以テ之ニ充ツ但技師又ハ技手ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

課長ハ上官ノ指揮ヲ承ケ其ノ課務ヲ處理ス

一屬ハ內務部各課及知事官房ニ分屬シ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

一警部ハ警察部又ハ警察署若クハ警察分署ニ屬シ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ヲ分掌シ部下ノ巡查ヲ指揮監督ス

一收稅屬ハ收稅部又ハ收稅署ニ屬シ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

一監獄書記ハ監獄署又ハ監獄支署ニ屬シ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

一看守長ハ監獄署又ハ監獄支署ニ屬シ上官ノ指揮ヲ承ケ監獄ノ戒護ヲ掌リ看守ヲ指揮監督ス

一各郡市ニ警察署ヲ置ク但郡市ノ區域ニ依ラスシテ警察署ヲ置クノ必要アル場合ニ於テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

知事ニ於テ必要ナリト認ムルトキハ警察署ノ下ニ警察分署ヲ置クコトヲ得

沖繩縣ノ警察區域ハ舊ニ依ル

一警察署長及警察分署長ハ警部ヲ以テ之ニ充ツ

警察署長及警察分署長ハ上官ノ指揮ヲ承ケ其ノ署主管ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ監督ス

一巡查及看守ニ關スル規程ハ別ニ定ムル所ニ依ル

一府縣內須要ノ地ニ收稅署ヲ配置ス其ノ配置及管轄區域ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

一收稅署長ハ收稅屬ヲ以テ之ニ充ツ

收稅署長ハ上官ノ指揮ヲ承ケ其ノ署主管ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ監督ス

一知事ハ內務大臣ノ認可ヲ經テ須要ノ地ニ監獄支署ヲ置クコトヲ得

監獄支署長ハ監獄書記ヲ以テ之ニ充ツ

監獄支署長ハ上官ノ指揮ヲ承ケ其ノ支署主管ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ監督ス

一府縣職員ノ外監獄醫ヲ置ク判任官ノ待遇トス

一東京府ノ警察及監獄ニ關スル事項ハ警視廳官制ニ依ル

一郡職員ヲ置クコト左ノ如シ

郡長

郡書記

一明治十一年第十七號布告郡區町村編制法第五條ニ依リ數郡ニ郡長一人ヲ置キタル地方ニ於テ之ヲ廢止スルコトヲ要スルトキ及同條ニ依リ新ニ數郡ニ郡長一人ヲ置クコトヲ要スルトキハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

郡制ヲ施行シタル地方ニ於テハ每郡ニ郡長一人ヲ置ク

一郡長ハ奏任トス知事ノ指揮監督ヲ承ケ法律命令ヲ部內ニ執行シ部內ノ行政事務ヲ掌理ス

一郡長ハ行政事務ニ就テ其ノ部內ノ町村長ヲ指揮監督ス

一郡長ハ郡書記ノ任免ヲ知事ニ具申スルコトヲ得

一郡長ハ法律命令ニ依リ若クハ知事ヨリ委任セラレタル事件ニ付郡令ヲ發スルコトヲ得

一郡長事故アルトキハ上席郡書記其ノ職務ヲ代理ス

一郡長ハ郡ノ官吏ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

一郡書記ハ判任トス其ノ定員ハ內務大臣ノ認可ヲ經テ知事之ヲ定ム

一郡書記ハ郡長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

一勅令ヲ以テ指定スル所ノ島地ニ特ニ島廳ヲ置ク

島司

島廳書記

一島司ハ一人奏任トス知事ノ指揮監督ヲ承ケ法律命令ヲ部內ニ執行シ部內ノ行政事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ監督ス

一島司ハ法律命令ニ依リ若クハ知事ヨリ委任セラレタル事件ニ付島廳令ヲ發スルコトヲ得

一島司ハ島廳書記ノ任免ヲ知事ニ具申スルコトヲ得

一島司ハ行政事務ニ就テ其ノ部內町村ノ吏員ヲ指揮監督ス

一島司事故アルトキハ上席島廳書記其ノ職務ヲ代理ス

一島司ハ島廳ノ官吏ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

一島廳書記ハ判任トス其ノ定員ハ其ノ府縣判任官ノ定員內ニ於テ知事之ヲ定ム

一島廳書記ハ島司ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

○奈良岡山兩縣管下郡長廢置（明治二十七年三月二十七日勅令第三十一號同年九月一日勅令第百五十九號）

一奈良縣管下式上郡、式下郡、宇陀郡、十市郡ニ郡長一人竝ニ宇智郡、吉野郡ニ郡長一人ヲ置クコトヲ廢止シ式上郡、式下郡、十市郡ニ郡長一人ヲ置ク

一赤阪郡及磐梨郡　郡長一人
一都宇郡及窪屋郡　郡長一人
一川上郡及上房郡　郡長一人
一阿賀郡及哲多郡　郡長一人
一眞島郡及大庭郡　郡長一人
一西西條郡、西北條郡、東南條郡及東北條郡　郡長一人
一勝南郡及勝北郡　郡長一人
一吉野郡及英田郡　郡長一人
一久米北條郡及久米南條郡　郡長一人
一邑久郡及上道郡　郡長一人

○府縣收稅署位置及管轄區域

明治二十六年十月三十日勅令第百六十四號

府縣	位置	管轄區域
東京	幸橋	京橋區、芝區、麻布區、伊豆七島、小笠原島
	四谷	麴町區、牛込區、四谷區、赤阪區
	萬世橋	小石川區、本鄉區、神田區
	新大橋	日本橋區、深川區
	厩橋	淺草區、下谷區、本所區
	品川	荏原郡
	淀橋	南豐島郡、東多摩郡
	板橋	北豐島郡
	千住	南足立郡
	小松川	南葛飾郡
	青梅	西多摩郡
	八王子	南多摩郡
	府中	北多摩郡
京都	京都	京都市、愛宕郡、葛野郡
	伏見	乙訓郡、紀伊郡、宇治郡、久世郡
	木津	相樂郡、綴喜郡
	龜岡	南桑田郡
	周山	北桑田郡
	園部	船井郡
	福知山	天田郡
	綾部	何鹿郡
	舞鶴	加佐郡
	宮津	與謝郡
	峯山	中郡、竹野郡、熊野郡
	船場	南區、東區
	中ノ島	西區、北區
大阪	上福島	西成郡
	天王子	東成郡、住吉郡
	池田	豐島郡、能勢郡
	茨木	島上郡、島下郡
	堺	堺市、大鳥郡、泉郡
	岸和田	南郡、日根郡
	富田林	石川郡、安宿部郡、錦部郡、丹南郡、八上郡、志紀郡、古市郡
	八尾	丹北郡、大縣郡、高安郡、若江郡、河内郡、澁川郡
	牧方	茨田郡、交野郡、讃良郡
神奈川	横濱	横濱市、久良岐郡
	神奈川	橘樹郡、都筑郡
	横須賀	三浦郡
	藤澤	高座郡、鎌倉郡
	大磯	大住郡、淘綾郡
	松田	足柄上郡
	小田原	足柄下郡
	厚木	愛甲郡
	中野	津久井郡
兵庫	神戸	神戸市、八部郡
	西宮	菟原郡、武庫郡
	伊丹	川邊郡
	三田	有馬郡
	明石	明石郡、美嚢郡
	社	加東郡、加西郡、多可郡
	加古川	加古郡、印南郡
	姫路	姫路市、飾東郡、飾西郡
	田原	神東郡、神西郡
	龍野	揖東郡、揖西郡
	赤穗	赤穗郡、佐用郡
	山崎	宍粟郡
	豐岡	城崎郡、美含郡、出石郡、氣多郡
	和田山	養父郡、朝來郡
	村岡	七美郡、二方郡
	柏原	氷上郡
	篠山	多紀郡
	洲本	津名郡
	市村	三原郡
長崎	長崎	長崎市、西彼杵郡
	大村	東彼杵郡
	諫早	北高來郡
	島原	南高來郡
	平戸	北松浦郡
	福江	南松浦郡
	武生水	壹岐郡、石田郡
	嚴原	上縣郡、下縣郡
新潟	新潟	新潟市
	新發田	北蒲原郡
	新津	中蒲原郡
	卷	西蒲原郡
	三條	南蒲原郡
	津川	東蒲原郡
	與板	三島郡
	長岡	古志郡
	小千谷	北魚沼郡
	六日町	南魚沼郡
	十日町	中魚沼郡
	柏崎	刈羽郡
	安塚	東頸城郡
	高田	中頸城郡
	糸魚川	西頸城郡
	村上	岩船郡
	相川	雜太郡、加茂郡、羽茂郡
埼玉	浦和	北足立郡、新座郡
	川越	入間郡、高麗郡
	松山	比企郡、横見郡
	大宮	秩父郡
	本庄	兒玉郡、賀美郡、那珂郡
	熊谷	大里郡、幡羅郡、榛澤郡、男衾郡
	忍	北埼玉郡
	岩槻	南埼玉郡
	杉戸	北葛飾郡、中葛飾郡
千葉	千葉	千葉郡、市原郡
	松戸	東葛飾郡
	佐倉	印旛郡、南相馬郡、下埴生郡
	佐倉	香取郡
	銚子	海上郡、匝瑳郡
	東金	山邊郡、武射郡
	茂原	長柄郡、上埴生郡
	大多喜	夷隅郡
	木更津	望陀郡、周准郡、天羽郡
	北條	安房郡、平郡、朝夷郡、長狹郡
茨城	水戸	水戸市、東茨城郡
	笠間	西茨城郡
	菅谷	那珂郡
	太田	久慈郡
	松原	多賀郡
	鉾田	鹿島郡
	麻生	行方郡
	土浦	新治郡
	谷田部	筑波郡
	江戸崎	信太郡、河内郡
	下館	眞壁郡
	宗道	結城郡、岡田郡、豐田郡
	境	西葛飾郡、猿島郡
	取手	北相馬郡
群馬	前橋	東群馬郡、南勢多郡
	高崎	西群馬郡、片岡郡
	藤岡	緑野郡、多胡郡、南甘樂郡

府縣	位置	管轄區域
群馬	富岡	北甘樂郡
	安中	碓氷郡
	中ノ條	吾妻郡
	沼田	利根郡、北勢多郡
	太田	新田郡
	桐生	山田郡
	館林	邑樂郡
	伊勢崎	佐位郡、那波郡
栃木	足利	足利郡、梁田郡
	佐野	安蘇郡
	栃木	下都賀郡
	鹿沼	上都賀郡
	宇都宮	河內郡
	眞岡	芳賀郡
	矢板	鹽谷郡
	大田原	那須郡
奈良	奈良	添上郡、添下郡、山邊郡、廣瀨郡、平群郡
	三輪	式上郡、式下郡、十市郡、宇陀郡
	御所	高市郡、葛上郡、葛下郡、忍海郡
	五條	宇智郡、吉野郡
三重	桑名	桑名郡
	大泉原	員辨郡
	四日市	三重郡、朝明郡
	龜山	鈴鹿郡
	白子	奄藝郡、河曲郡
	津	津市、安濃郡
	久居	一志郡
	松阪	飯高郡、飯野郡
	相可	多氣郡
	宇治山田	度會郡
	上野	阿拜郡、山田郡
	名張	名張郡、伊賀郡
	鳥羽	答志郡、英虞郡
	尾鷲	北牟婁郡
	木本	南牟婁郡
愛知	名古屋	名古屋市
	熱田	愛知郡
	勝川	東春日井郡
	西枇杷島	西春日井郡
	小折	丹羽郡、葉栗郡
	稻澤	中島郡
	津島	海東郡、海西郡
	半田	知多郡
	知立	碧海郡
	西尾	幡豆郡
	岡崎	額田郡
	擧母	西加茂郡
	足助	東加茂郡
	田口	北設樂郡
	新城	南設樂郡
	御油	寶飯郡
	豐橋	渥美郡
	富岡	八名郡
靜岡	下田	加茂郡、那賀郡
	三島	君澤郡、田方郡
	沼津	駿東郡
	吉原	富士郡
	江尻	庵原郡
	靜岡	靜岡市、有渡郡、安倍郡
	藤枝	志太郡、益津郡
	靜波	榛原郡
	掛川	佐野郡、城東郡
	森	周智郡
	見付	磐田郡、豐田郡、山名郡
	濱松	敷知郡、長上郡、濱名郡
	氣賀	引佐郡、麁玉郡
山梨	甲府	甲府市、西山梨郡
	日下部	東山梨郡
	石和	東八代郡
	鰍澤	南巨摩郡、西八代郡
	龍王	中巨摩郡
	韮崎	北巨摩郡
	谷村	南都留郡
	猿橋	北都留郡
滋賀	大津	滋賀郡
	草津	栗太郡、野洲郡
	水口	甲賀郡
	八幡	蒲生郡
	愛知川	神崎郡、愛知郡
	彦根	犬上郡
	長濱	阪田郡、東淺井郡
	木ノ本	伊香郡、西淺井郡
	今津	高島郡
岐阜	岐阜	岐阜市、厚見郡、各務郡、方縣郡、山縣郡
	笠松	羽栗郡、中島郡
	高須	海西郡、下石津郡
	高田	多藝郡、上石津郡
	大垣	安八郡、不破郡
	揖斐	大野郡、池田郡
	北方	本巢郡、席田郡
	上有知	武儀郡
	八幡	郡上郡
	太田	加茂郡
	御嵩	可兒郡
	土岐津	土岐郡
	中津川	惠那郡
	高山	大野郡、益田郡、吉城郡
	臼田	南佐久郡
	岩村田	北佐久郡
	上田	小縣郡
長野	上諏訪	諏訪郡
	伊那	上伊那郡
	飯田	下伊那郡
	福島	西筑摩郡
	松本	東筑摩郡
	豐科	南安曇郡
	大町	北安曇郡
	鹽崎	埴科郡、更級郡
	須阪	上高井郡
	中野	下高井郡
	長野	上水內郡
	飯山	下水內郡
宮城	仙臺	仙臺市、宮城郡
	長町	名取郡
	吉岡	黑川郡、加美郡
	古川	志田郡、玉造郡
	涌谷	遠田郡
	築館	栗原郡
	佐沼	登米郡
	本吉	本吉郡
	石卷	牡鹿郡、桃生郡
	大河原	柴田郡、刈田郡
	角田	伊具郡、亘理郡
福島	福島	信夫郡
	桑折	伊達郡
	二本松	安達郡
	郡山	安積郡
	須賀川	岩瀨郡
	田島	南會津郡
	若松	北會津郡
	喜多方	耶麻郡
	阪下	河沼郡
	高田	大沼郡
	棚倉	東白川郡
	白河	西白河郡

島	石川	石川郡
	三春	田村郡
	平	菊多郡、磐前郡、磐城郡
	富岡	楢葉郡、標葉郡
	中村	行方郡、宇多郡
巖手	盛岡	盛岡市、南巖手郡、北巖手郡、紫波郡
	花巻	稗貫郡、東和賀郡、西和賀郡
	水澤	膽澤郡、江刺郡
	一關	西磐井郡、東磐井郡
	盛	氣仙郡
	遠野	西閉伊郡、南閉伊郡
	宮古	東閉伊郡、中閉伊郡、北閉伊郡
	久慈	南九戸郡、北九戸郡
	福岡	二戸郡
青森	青森	東津輕郡
	鰺ヶ澤	西津輕郡
	弘前	弘前市、中津輕郡
	黒石	南津輕郡
	五所川原	北津輕郡
	七戸	上北郡
	田名部	下北郡
	八戸	三戸郡
山形	山形	山形市、南村山郡
	天童	東村山郡
	寒河江	西村山郡
	楯岡	北村山郡
	新庄	最上郡
	藤島	東田川郡
	鶴岡	西田川郡
	酒田	飽海郡
	高畑	東置賜郡
	長井	西置賜郡
	米澤	米澤市、南置賜郡
秋田	秋田	秋田市、河邊郡
	土崎	南秋田郡
	能代	山本郡
	鷹巣	北秋田郡
	本庄	由利郡
	大曲	仙北郡
	橫手	平鹿郡
	湯澤	雄勝郡
	花輪	鹿角郡
福井	福井	福井市、足羽郡、吉田郡
	三國	阪井郡
	大野	大野郡
	武生	南條郡、今立郡
	朝日	丹生郡
	敦賀	敦賀郡、三方郡
	雲濱	遠敷郡
	高濱	大飯郡
石川	大聖寺	江沼郡
	小松	能美郡
	松任	石川郡
	金澤	金澤市、河北郡
	羽咋	羽咋郡
	七尾	鹿島郡
	輪島	鳳至郡
	飯田	珠洲郡
富山	富山	富山市、上新川郡、婦負郡
	魚津	下新川郡
	高岡	高岡市、射水郡
	出町	礪波郡
鳥取	鳥取	鳥取市、邑美郡、法美郡、岩井郡
	郡家	八上郡、八東郡、智頭郡
	吉岡	高草郡、氣多郡
	倉吉	河村郡、久米郡、八橋郡
	米子	汗入郡、會見郡
	二部	日野郡
島根	松江	松江市、島根郡、秋鹿郡、意宇郡
	廣瀨	能義郡
	大東	仁多郡、大原郡
	今市	出雲郡、楯縫郡、神門郡
	掛合	飯石郡
	大森	邇摩郡、安濃郡
	川本	邑智郡
	濱田	那賀郡
	益田	美濃郡
	津和野	鹿足郡
	西鄕	周吉郡、穩地郡、海士郡、知夫郡
岡山	岡山	岡山市、御野郡
	金川	津高郡、赤阪郡
	本庄	和氣郡、磐梨郡
	西大寺	邑久郡、上道郡
	味野	兒島郡
	倉敷	都宇郡、窪屋郡
	玉島	淺口郡
	笠岡	小田郡、後月郡
	總社	下道郡、賀陽郡
	高粱	上房郡、川上郡
	新見	哲多郡、阿賀郡
	久世	大庭郡、眞島郡
	津山	西西條郡、西北條郡、東南條郡、東北條郡
	勝間田	勝南郡、勝北郡
	英田	英田郡、吉野郡
	弓削	久米南條郡、久米北條郡
廣島	廣島	廣島市
	吳	安藝郡
	廿日市	佐伯郡
	可部	沼田郡、高宮郡、山縣郡
島	吉田	高田郡
	西條	加茂郡
	忠海	豐田郡
	尾道	御調郡、世羅郡
	福山	深津郡、沼隈郡、安那郡
	府中市	蘆田郡、品治郡、神石郡、甲奴郡
	三次	三次郡、三谿郡
	庄原	奴可郡、三上郡、惠蘇郡
山口	屋代	大島郡
	岩國	玖珂郡
	室積	熊毛郡
	德山	都濃郡
	三田尻	佐波郡
	山口	吉敷郡
	舟木	厚狹郡
	大田	美禰郡
	深川	大津郡
	萩	阿武郡、見島郡
	長府	赤間關市、豐浦郡
和歌山	和歌山	和歌山市、名草郡、海部郡
	岩出	那賀郡
	橋本	伊都郡
	湯淺	有田郡
	御坊	日高郡
	田邊	西牟婁郡
	新宮	東牟婁郡
德島	德島	德島市、名東郡、勝浦郡
	富岡	那賀郡
	日和佐	海部郡
	石井	名西郡
	撫養	板野郡
	川島	阿波郡、麻植郡
	脇町	美馬郡
	池田	三好郡

香川	高松	高松市、山田郡、香川郡
	阪出	阿野郡、鵜足郡
	丸龜	那珂郡、多度郡
	觀音寺	三野郡、豐田郡
	土庄	小豆郡
	長尾	大内郡、寒川郡、三木郡
愛媛	松山	松山市、風早郡、和氣郡、溫泉郡、久米郡
	今治	越智郡、野間郡
	西條	新居郡、周布郡、桑村郡
	川之江	宇摩郡
	久万町	上浮穴郡
	郡中	下浮穴郡、伊豫郡
	大洲	喜多郡
	八幡濱	西宇和郡
	卯ノ町	東宇和郡
	宇和島	南宇和郡、北宇和郡
高知	安藝	安藝郡
	赤岡	香美郡
	後免	長岡郡
	高知	高知市、土佐郡
	伊野	吾川郡
	須崎	高岡郡
	中村	幡多郡
福岡	福岡	福岡市、御笠郡、那珂郡、席田郡、粕屋郡
	東鄕	宗像郡
	蘆屋	遠賀郡
	直方	鞍手郡
	飯塚	嘉麻郡、穗波郡
	甘木	上座郡、夜須郡、下座郡
	今宿	怡土郡、志摩郡、早良郡
	吉井	生葉郡、竹野郡
	久留米	久留米市、御井郡、御原郡、山本郡
	大川	三潴郡
	下瀨高	山門郡
	三池	三池郡
	福島	上妻郡、下妻郡
	小倉	企救郡
	香春	田川郡
	行橋	京都郡、仲津郡
	八屋	築城郡、上毛郡
大分	玉津	西國東郡
	國崎	東國東郡
	日出	速見郡
	大分	大分郡
	臼杵	北海部郡
	佐伯	南海部郡
	三重	大野郡
	竹田	直入郡
	森	玖珠郡
	豆田	日田郡
	中津	下毛郡
	四日市	宇佐郡
佐賀	佐賀	佐賀市、佐賀郡
	神埼	神埼郡
	轟木	基肄郡、三根郡、養父郡
	小城	小城郡
	唐津	東松浦郡
	伊萬里	西松浦郡
	武雄	杵島郡
	鹿島	藤津郡
熊本	熊本	熊本市、飽田郡、託麻郡、宇土郡
	高瀨	玉名郡
	隈府	山鹿郡、山本郡、菊池郡、合志郡
	宮地	阿蘇郡
	御船	上益城郡、下益城郡
	八代	八代郡、葦北郡
	人吉	球磨郡
	町山口	天草郡
	宮崎	宮崎郡、北那珂郡
宮崎	飫肥	南那珂郡
	都城	北諸縣郡
	小林	西諸縣郡
	高岡	東諸縣郡
	高鍋	兒湯郡
	延岡	東臼杵郡
	高千穗	西臼杵郡
鹿兒島	鹿兒島	鹿兒島市、鹿兒島郡、谿山郡、北大隅郡
	知覽	給黎郡、揖宿郡、頴娃郡、川邊郡（硫黄島、黒島、竹島、口之島、臥蛇島、平島、中之島、惡石島、諏訪之瀨島、寶島ヲ除ク）
	伊集院	阿多郡、日置郡
	隈之城	薩摩郡、高城郡、南伊佐郡、甑島郡
	出水	出水郡
	大口	北伊佐郡、菱刈郡
	加治木	始良郡、桑原郡、西囎唹郡
	岩川	東囎唹郡、南諸縣郡
	鹿屋	肝屬郡、南大隅郡
	種子島	熊毛郡、馭謨郡
	大島	大島郡、川邊郡ノ内（硫黄島、黒島、竹島、口之島、臥蛇島、平島、中之島、惡石島、諏訪之瀨島、寶島）

○師範學校令 明治十九年四月十日勅令第十三號（抄）

一 師範學校ハ教員トナルヘキモノヲ養成スル所トス

但生徒ヲシテ順良信愛威重ノ氣質ヲ備ヘシムルコトニ注目スヘキモノトス

一 師範學校ヲ分チテ高等尋常ノ二等トス高等師範學校ハ文部大臣ノ管理ニ屬ス

一 高等師範學校ハ東京ニ一箇所尋常師範學校ハ府縣ニ各一箇所ヲ設置スヘシ

一 師範學校長及教員ノ任期ハ五箇年トス滿期ノ後猶ホ繼續スルコトアルヘシ

一 尋常師範學校長ハ其府縣ノ學務課長ヲ兼ヌルコトヲ得

○尋常師範學校官制 明治二十四年十一月十七日勅令第二百十七號（抄）

一 尋常師範學校ニ左ノ職員ヲ置ク

學校長
教諭
助教諭
舍監
訓導
書記

一 教諭助教諭舍監訓導及書記ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受ク但教諭ノ中一人ハ特ニ奏任

文官ト同一ノ待遇ヲ受ケシムルコトアルヘシ

一學校長ハ府縣知事ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ統督ス

一教諭ハ生徒ノ教育ヲ掌ル

一助教諭ハ教諭ノ職掌ヲ助ク

一舍監ハ教諭助教諭ノ中ヨリ之ニ兼任ス舍監ハ學校長ノ命ヲ承ケ寄宿舍ニ關スル事ヲ掌ル

一訓導ハ附屬小學校兒童ノ教育ヲ掌ル

一書記ハ學校長ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

一教諭助教諭舍監訓導及書記ノ人員及俸額ハ文部大臣之ヲ定ム

一府縣知事ハ教諭ノ中ヨリ附屬小學校主事ヲ命シ校務ヲ掌ラシム

○中學校令 明治十九年四月十（抄）日勅令第十五號

第一條 中學校ハ實業ニ就カント欲シ又ハ高等ノ學校ニ入ラント欲スルモノニ須要ナル教育ヲ爲ス所トス

第二條 中學校ヲ分チテ高等尋常ノ二等トス高等中學校ハ文部大臣ノ管理ニ屬ス

第六條 尋常中學校ハ各府縣ニ於テ一校ヲ設置スヘキモノトス但土地ノ情況ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ得テ數校ヲ設置シ又ハ本文ノ一校ヲ設置セサルコトヲ得

第九條 郡市町村ニ於テハ土地ノ情況ニ依リ須要ニシテ其區域内小學校ノ施設上妨ナキ場合ニアラサレハ尋常中學校ヲ設置スルコトヲ得ス

前項ノ制限内ニ於テ府縣知事尋常中學校ノ設置ヲ認可セントスルトキハ豫メ文部大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

第十二條 尋常中學校ハ農業工業商業等ノ專修科ヲ設クルコトヲ得

第十四條 高等女學校ハ女子ニ須要ナル高等普通教育ヲ施ス所ニシテ尋常中學ノ種類ト高等女學校ハ女子ニ須要ナル技藝專修科ヲ設クルコトヲ得

附則

第九條中ニ揭クル郡ハ郡制ヲ施行シタルモノニ限ル

○公立中學校高等女學校技藝學校職員名稱待遇及任免 明治二十四年十二月十四日勅令第二百（抄）四十四號

一公立中學校高等女學校技藝學校職員ノ名稱左ノ如シ

學校長
教諭
助教諭
舍監
寄宿舍ノ設アル學校ニ限ル
書記

一學校長教諭助教諭舍監書記ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受ク但學校ノ等位種類等ニ依リ學校長及教諭一名ハ特ニ奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受ケシムルコトアルヘシ

一奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル職員ノ任免ハ文部大臣之ヲ奏薦宣行シ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ハ府縣知事之ヲ專行ス

○府縣農事試驗場規程 明治二十七年八月十日農商務省訓令第二十七號（抄）

一此規程ニ府縣農事試驗場ト稱スルハ府縣稅（又ハ地方稅）若クハ之カ補助ヲ以テ設立スル府縣ノ農事試驗場ヲ謂フ

一府縣農事試驗場ハ總テ何府縣農事試驗場ト稱スヘシ但農事以外ノ事項ニ係ル試驗ヲ併行スルトキハ便宜之カ名稱ヲ定ムルコトヲ得

一府縣農事試驗場ハ農事試驗場本支場ノ試驗成績ヲ參照シ其府縣内農產ノ增殖改良ニ係ル事項ニ就キ試驗ヲ爲ス

一府縣農事試驗場ハ有益ナル試驗成績ヲ普及セシムルカ爲メ左ノ事業ヲ行フコトヲ得

（第四條）

一、講話
二、種苗ノ配付
三、報告ノ刊行
四、模範圃ノ設置
其他必要ト認ムル事業

一府縣農事試驗場ハ試驗用地ニ充ツル爲メ相當ノ田畑ヲ備フヘシ

一府縣農事試驗場ハ必要ナル場合ニ於テハ分場ヲ設クルコトヲ得

一地方長官ニ於テ府縣農事試驗場ヲ設立シ若クハ補助セントスルトキハ各種ノ豫定事業、各種ノ豫定設備及經費概算額ヲ具シ豫メ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一地方長官ハ前條ノ認可ヲ經府縣農事試驗場ヲ設立シ若クハ補助スルトキハ速ニ左ノ事項ヲ農商務大臣ニ届出ヘシ

但第二項ハ毎年三月三十一日マテニ其他ノ各項ハ變更ノ都度本條ノ手續ヲナスヘシ

一、名稱及位置
二、經費ノ種別及其豫算金額
三、試驗地ノ種別及其面積
四、建物ノ種別及其坪數
五、職員ノ履歷

一府縣農事試驗場ハ農事試驗場若クハ農事試驗場支場ト協議ノ上毎年施行スヘキ試驗ノ項目及其方法ヲ定ムヘシ

一府縣農事試驗場ハ毎年試驗成績及第四條ニ揭ケタル事業ノ功程ヲ農事試驗場若クハ農事試驗場支場ニ報告スヘシ

但重要ト認ムル講話ノ要領ハ其時々報告スヘシ

○農事講習所規程 明治二十七年八月六日農商務省訓令（抄）第二十八號

一此規程ニ農事講習所ト稱スルハ地方勸業費若クハ之カ補助ヲ以テ設立スル普通農事、蠶業、茶業、獸醫、蹄鐵、畜產ノ講習所若クハ傳習所ヲ謂フ

一農事講習所ハ地方ノ情況ニ應シ補助教科トシテ數學、丈量、氣象、物理、化學、博物、地理、圖畫ノ類ヲ加フルコトヲ得

一農事講習所ノ教科目ハ農事ニ係ルモノヲ主トシ地方ノ情況ニ應シ補助教科トシテ數學、丈量、氣象、物理、化學、博物、地理、圖畫ノ類ヲ加フルコトヲ得

一農事講習所ハ實習ヲ主トシ授業時間ノ過半ヲ之ニ充ツヘシ

一農事講習所ノ修業年限ハ二箇年以内トス

一地方長官ニ於テ農事講習所ヲ設立シ若クハ補助セントスルトキハ講習所規則各種ノ豫定設備及經費概算額ヲ具シ豫メ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一地方長官ハ前條ノ認可ヲ經農事講習所ヲ設立シ若クハ補助スルトキハ速ニ左ノ事項ヲ農商務大臣ニ届出ヘシ但第二項ハ毎年三月三十一日マテニ其他ノ各項ハ變更ノ都度本條ノ手續ヲ爲スヘシ

一、名稱及位置
二、經費ノ種別及其豫算金額
三、實習設備ノ種別及其數又ハ其面積
四、建物ノ種別及其坪數
五、職員ノ履歷及教師ノ擔任教科目

一地方長官ハ農事講習所ノ教師ヲシテ農事ニ關スル巡迴講話ヲナサシムルコトヲ得

一農事講習所ハ便宜ノ季節ヲ撰ヒ隨所ニ開設スルコトヲ得

一農事講習所業務ノ功程ハ前年度分取纏メ每年四月三十日マテニ農商務大臣ニ報告スヘシ

一水產講習所又ハ傳習所ハ此規程ニ準スヘシ

○農事講習所設置心得 明治二十七年八月六日農商務省訓令第二十六號

一農事講習所ハ地方ノ慣行ノ技藝ノ外學理ノ應用ヲ授ケ地方農事ノ改良進歩ヲ圖ルヲ以テ主眼トナスヘキモノナルカ故ニ成ルヘク當業者及其子弟ヲ養成スルコトヲ勉ムヘシ

一農事講習所ハ校舍ヲ常設シテ講習ヲ爲スト適宜ノ季節場所ヲ撰ンテ講習ヲ爲ストハ一ニ地方ノ便宜ニ任ス

一農事講習所ニ於ケル授業ハ勉メテ平易ナル講話體ヲ用ヒ教科目ハ濫ニ其數ヲ增サス補助教科ハ成ルヘク農事專門教科ト講スルニ方リ之ヲ引援教授スルヲ可トス然レトモ地方ノ情況ニヨリ特ニ補助教科目ヲ設置スルトキハ其講習ハ可成農事ニ關係アル事項以外ニ涉ラサルヲ要ス

○農事及水產巡迴教師設置心得 明治二十七年八月十日農商務省訓令第二十七號

一農事及水產巡迴教師ノ業務ハ左ノ項目ニ依リ之レヲ定ムヘシ

一巡迴講話實驗指導及質問應答ニ關スルコト

二、公費若クハ公費ノ補助ヲ以テ設立セル試驗事業ニ關スルコト
三、府縣內ノ共進會若クハ品評會ノ出品審査ニ關スルコト
其他必要ト認ムル事項

一農事及水產巡迴教師ヲ設置シタルトキハ速ニ其履歷及擔任事業ヲ届出ヘシ

一農事及水產巡迴教師ニ關スル經費ノ種別及豫算金額ハ每年三月三十一日マテニ其業務ノ功程ハ前年度分取纏メ每年四月三十日マテニ届出ヘシ

一地方長官ニ於テ重要ト認ムル農事及水產巡迴教師講話ノ要領ハ其時々報告スヘシ

○府縣農事試驗場農事講習所及水產講習所職員竝農事巡迴教師及水產巡迴教師ノ名稱待遇及任免

明治二十七年十一月二日勅令第百八十七號

一府縣稅又ハ地方稅ヲ以テ設立スル府縣農事試驗場職員左ノ如シ

場長
技手
書記

一府縣稅又ハ地方稅ヲ以テ常設スル農事講習所及水產講習所職員左ノ如シ

所長
教師
書記

一本令ニ於テ農事巡迴教師及水產巡迴教師ト稱スルハ府縣稅又ハ地方稅ヲ以テ常置スル者ヲ云フ

一府縣農事試驗場農事講習所及水產講習所職員竝農事巡迴教師及水產巡迴教師ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受ク但府縣農事試驗場長竝農事講習所長及水產講習所長ハ特ニ奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クルコトアルヘシ

一府縣農事試驗場農事講習所及水產講習所職員竝農事巡迴教師及水產巡迴教師ニシテ奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ノ任免ハ明治二十五年勅令第九十六號高等官等俸給令第四條第五條ノ例ニ依リ之ヲ行ヒ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ノ任免ハ府縣知事之ヲ行フ

一府縣農事試驗場長ハ農科大學農學科、農藝化學科、札幌農學校農學科、駒場農學校農學科、農藝化學科、舊東京農林學校農學部ヲ卒業シタル者若クハ之ト相當スル學力技能ヲ有スル者ヨリ任用スヘシ

一府縣知事ニ於テ前條ノ卒業者ニアラサル者ヲ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル府縣農事試驗場長ニ任用セントスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

○府縣制

明治二十三年五月十七日法律第三十五號

第一章　總則

第一條　府縣ノ廢置分合及府縣境界ノ變更ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

府縣境界ニ當ル郡市町村ノ境界ヲ變更スルトキハ府縣境界モ亦自ラ變更スルモノトス

本條ノ處分ニ付其財產處分ヲ要スルトキハ內務大臣之ヲ定ム但特ニ法律ノ規定アルモノハ此限ニ在ラス

第二章　府縣會

第二條　府縣會ハ府縣內郡市ニ於テ選舉シタル議員ヲ以テ之ヲ組織ス

郡市ニ於テ選舉スヘキ府縣會議員ノ定數ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但各郡市ヲシテ少クトモ一人ノ議員ヲ選舉セシムヘシ

第三條　府縣會議員ノ選舉ハ市ニ在テハ市會及市參事會會同シ市長ヲ會長トシ郡ニ在テハ郡會及郡參事會會同シ郡長ヲ會長トシ左ノ規定ニ依リ之ヲ行フヘシ但會長ハ投票ニ加ハラサルモノトス

一、投票ハ選舉人自ラ會長ノ面前ニ於テ之ヲ投票函ニ投入ス

二、左ノ投票ハ之ヲ無效トス

一、記載セル人名ノ讀ミ難キモノ

二、被選人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

三、被選權ナキ人名ヲ記載スルモノ

四、被選人氏名ノ外他ノ文字ヲ記入スルモノ但爵位職業身分住所又ハ敬稱ハ此限ニ在ラス

本項一ヨリ三ニ至ルノ場合ニ於テ票中他ニ列記ノ被選人ニ付テハ仍其效アリトス

三、有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キモノハ年長者ヲ取リ年齡相同キトキハ會長自ラ抽籤シテ其當選ヲ定ム

第四條　府縣內市町村ノ公民中選舉權ヲ有シ其府縣ニ於テ一年以來直接國稅十圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會ノ被選權ヲ有ス

住居ヲ移シタル爲市町村ノ公民權ヲ失ヒタル者其住居同府縣內ニ在リ且他ノ要件ヲ失ハサルトキハ仍府縣會ノ被選權ヲ有ス

其府（東京府ハ參縣ト讀ムモ）縣ノ官吏及有給吏員神官諸宗ノ僧侶又ハ教師ハ府縣會議員タルコトヲ得ス

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ本屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第五條　府縣會議員ハ名譽職トス其任期ハ四年トシ每二年其半數ヲ改選ス若其員數二分シ難キトキハ初會ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初會ニ於テ解任スヘキ者ハ府縣會議長府縣會ニ於テ自ラ抽籤シテ之ヲ定ム

解任ノ議員ハ再選セラルヽコトヲ得

第六條　議員中闕員アルトキハ遲クトモ六箇月以內ニ補闕選舉ヲ行フヘシ但會期ニ近キ補闕議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第七條　府縣會議員ノ選舉ハ府縣知事之ヲ行フヘシ其告示ハ遲クトモ選舉ノ日ヨリ十四日前ニ之ヲ發スヘシ

第八條　選舉ヲ終リ當選人ノ定マリタルトキハ郡長市長ハ直ニ當選人ニ通知シ及府縣知事ニ報告スヘシ

當選人其當選ノ通知ヲ受ケタルトキハ五日以內ニ其當選ヲ承諾スルヤ否ヲ府縣知事ニ届出ヘシ

一人ニシテ數箇所ノ選舉ニ當リタルトキハ同期限內ニ何レノ選舉ニ應スヘキコトヲ府縣知事ニ届出ヘシ

前二項ノ届出ヲ其期限內ニ爲サヽルトキハ總テ選舉ヲ辭スル者ト視做スヘシ

第九條　當選人其當選ヲ辭シ又ハ承諾ノ届出ヲ爲サヽルトキハ府縣知事ハ其郡市ヲシテ府縣會議員ノ選舉ヲ行ハシムヘシ

第十條　當選人確定シタルトキハ府縣知事ハ直ニ當選證書ヲ付與シ及管內ニ告示スヘシ

第十一條　選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願セントスルトキハ府縣會ハ其權限ニ屬スル事件ヲ府縣參事會ニ委任スルコトヲ得

第十二條　當選人其當選ノ際資格ノ要件ヲ有セサリシコト發覺スルトキハ其當選ヲ無效トス

當選人當選後資格ノ要件ヲ失フトキハ議員ノ職ヲ失フモノトス

第十三條　府縣會ニ於テ其議員中議員ノ資格ヲ有セサル者アルコトヲ發見スルトキハ其議決ヲ以テ之ヲ府縣知事ニ通知スヘシ

第十四條　府縣會議員被選權ノ有無及選舉ノ效力ハ府縣參事會之ヲ裁決ス

府縣參事會ノ裁決ニ不服ナル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十五條　府縣會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

一、府縣ノ歲入出豫算ヲ定ムル事

二、決算報告ヲ認定スル事

三、府縣稅ノ賦課徵收方法ヲ定ムル事

四、府縣有不動產ノ賣買交換讓渡讓受竝ニ貸入書入ノ事

五、歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事

六、府縣有財產ノ管理及營造物ノ維持方法ヲ定ムル事

其他法律命令ニ依リ府縣會ノ權限ニ屬スル事項ヲ議決ス

第十六條　府縣會ハ其權限ニ屬スル事件ヲ府縣參事會ニ委任スルコトヲ得

第十七條　府縣會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意

見ヲ陳述スヘシ

府縣會ハ其府縣ノ全部又ハ一部ノ公益ニ關スル事件ニ付府縣知事又ハ內務大臣ニ建議スルコトヲ得

第十八條　府縣會議員ハ選舉人ノ指示若ハ委囑ヲ受クヘカラサルモノトス

第十九條　府縣會ハ改選後ノ初會ニ於テ議長及副議長各一名ヲ互選スヘシ其任期ハ議員ノ任期ニ從フ

議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時議長ヲ互選スヘシ

第二十條　府縣知事若ハ特ニ知事ノ委任ヲ受ケタル府縣ノ官吏若ハ吏員ハ府縣會ノ議事ニ參與スルコトヲ得但議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ何時ニテモ之ヲ許スヘシ

第二十一條　府縣會ハ每年一回秋季ニ於テ通常會ヲ開ク通常會ノ會期ハ三十日以內トス其他必要アルトキハ其事件ニ限リ七日以內ヲ會期トシテ臨時會ヲ開クコトヲ得

府縣會ハ府縣知事之ヲ招集ス其招集ハ開會ノ日ヨリ十四日前迄ニ告示スヘシ但急施ヲ要スル場合ハ此限ニ在ラス

府縣會ハ府縣知事之ヲ開閉ス

第二十二條　府縣會ハ議員三分ノ一以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第二十三條　府縣會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第二十四條　議員ハ自己及其父母兄弟若ハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ會議ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ府縣會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

第二十五條　府縣會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ第三條ノ規定ニ依ルヘシ

第二十六條　府縣會ノ會議ハ公開ス但左ノ場合ハ此限ニ在ラス

一、府縣知事ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

二、議長又ハ議員五名以上ノ發議ニ由リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

第二十七條　東京府京都府大阪府府會ノ市部議員トアルハ東京市京都市大阪市市會ニ於テ選舉シタル議員ヲ云ヒ郡部議員トアルハ東京市京都市大阪市ヲ除キ其他ノ部分ニ於テ選舉シタル議員ヲ云フ

市部會郡部會ヲ置キタル縣ニ於テ縣會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ專ラ市ニ關スルモノト專ラ其他ノ部分ニ關スルモノト分別スルコトヲ要スルモノアルトキハ縣會ノ議決ニ依リ之ヲ分別スルコトヲ得但分別シタル縣ニ於テハ此法律中特ニ東京府京都府大阪府ニ關シ定メタル各條項ハ之ヲ適用ス

第二十八條　議長ハ議事ノ順序ヲ定メ會議及選舉ノ事ヲ總理シ其日ノ會議ヲ開閉シ並ニ延會シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第二十九條　議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用井及他人ノ身上ニ渉リ言論スルコトヲ得ス

第三十條　會議中此法律若ハ議事規則ニ違ヒ其他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ又ハ制止シ又ハ發言ヲ取消サシムル命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシムヘシ若强抗ニ渉ル者アルトキハ警察官ニ命シテ之ヲ退去セシムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第三十一條　議員中議場ノ秩序ヲ紊ルコトニ回以上ニ及フ者アルトキハ議長又ハ議員ノ發議ニ依リ議會ノ議決ヲ以テ七日以內其出席ヲ停止スルコトヲ得

第三十二條　會議ノ傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騷ニ渉リ其他議事ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若命ニ從ハサルトキハ警察官ニ命シテ之ヲ退場セシムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシムルコトヲ得

第三十三條　府縣知事若ハ特ニ其委任ヲ受ケタル官吏若ハ吏員及議員ハ議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ議場ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第三十四條　第三十條第三十二條ニ依リ議長ノ命ニ應セシムル爲府縣知事（東京府ハ警視總監）ハ每會期警察官ニ議場掛羣務ヲ命スヘシ

第三十五條　府縣會ニ書記ヲ置キ議長ニ隷屬シテ庶務ヲ掌理セシム

書記ハ議長之ヲ選任ス

第三十六條　府縣會ハ書記ヲシテ議事錄ヲ製シ議決及選舉ノ顚末竝ニ出席議員ノ氏名ヲ記錄セシムヘシ議事錄ハ議長及議員二名以上之ニ署名スヘシ其議員ハ會議ノ前議會ニ於テ豫メ之ヲ定メ議事錄中ニ其氏名ヲ記載シ置クヘシ

第三十七條　府縣會ハ議事規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ內務大臣ノ認可ヲ受テ之ヲ施行スヘシ

第三章　府縣參事會

第三十八條　府縣ニ府縣參事會ヲ置キ府縣事高等官二名及名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス

府ノ名譽職參事會員ハ八名トス郡部議員ニ於テ其議員中ヨリ之ヲ互選スヘシ

第三十九條　府縣參事會員ハ四名トス縣會ニ於テ其議員中ヨリ四名ヲ互選シ市部議員ニ於テ其議員中ヨリ四名ヲ互選スヘシ

府縣ノ名譽職參事會員ハ四名トス縣會ニ於テ其議員中ヨリ之ヲ互選スヘシ

第四十條　府縣參事會ハ府縣知事ヲ以テ議長トス議長故障アルトキハ高等官會員之ヲ代理ス

第四十一條　府縣會ハ每通常會ニ於テ名譽職參事會員ノ補充員府ハ八名縣ハ四名ヲ互選シ其名譽職參事會員ノ闕員アルトキハ府縣知事ニ於テ補充員中投票多數ノ順次ニ依リ之ヲ補充スヘシ但其既ニ補充シタル者ハ前任者ノ任期中在職スルモノトス

第四十二條　名譽職參事會員ノ任期ハ議員ノ任期ニ從フ但任期滿限ノ後ト雖後任者就職スルモノトス

於テ豫メ之ヲ定メ議事錄中ニ其氏名ヲ記載シ置クヘシ

第三十七條　府縣會ハ議事規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ內務大臣ノ認可ヲ受テ之ヲ施行スヘシ

第三章　府縣參事會

第三十八條　府縣ニ府縣參事會ヲ置キ府縣事高等官二名及名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス

府ノ名譽職參事會員ハ八名トス郡部議員ニ於テ其議員中ヨリ之ヲ互選スヘシ

第三十九條　府縣參事會員ハ四名トス縣會ニ於テ其議員中ヨリ四名ヲ互選シ市部議員ニ於テ其議員中ヨリ四名ヲ互選スヘシ

府縣ノ名譽職參事會員ハ四名トス縣會ニ於テ其議員中ヨリ之ヲ互選スヘシ

第四十條　府縣參事會ハ府縣知事ヲ以テ議長トス議長故障アルトキハ高等官會員之ヲ代理ス

第四十一條　府縣會ハ每通常會ニ於テ名譽職參事會員ノ補充員府ハ八名縣ハ四名ヲ互選シ其名譽職參事會員ノ闕員アルトキハ府縣知事ニ於テ補充員中投票多數ノ順次ニ依リ之ヲ補充スヘシ但其既ニ補充シタル者ハ前任者ノ任期中在職スルモノトス

第四十二條　名譽職參事會員ノ任期ハ議員ノ任期ニ從フ但任期滿限ノ後ト雖後任者就職スルモノトス

名譽職參事會員ハ補充員ヲ以テ其闕員ヲ補充シ仍闕員ヲ生シタル場合ニ於テハ二箇月以內ニ臨時其選舉ヲ行フヘシ

第四十三條　府縣參事會ノ職務權限左ノ如シ

一、府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二、府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ府縣知事ニ於テ府縣會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ府縣會ニ代テ議決ヲ爲ス事

三、府縣會ノ定メタル方法ノ範圍內ニ於テ府縣有財產ノ管理又ハ營造物ノ維持ニ關シ必要ナル事件ニ付議決ヲ爲ス事

四、府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ノ次第順序其他必要ナル事件ニ付議決ヲ爲ス事

五、府縣知事及其他官廳ノ諮問ニ對シ意見ヲ述フル事

六、府縣知事ヨリ發スル府縣會議案ニ付府縣知事ニ意見ヲ述ヘ及會議ニ報告スル事

七、臨時必要アルトキ府縣ノ出納ヲ檢查スル事

其他法律命令ニ依リ府縣參事會ノ權限ニ屬スル事務ヲ處理ス

第四十四條　府縣參事會ハ府縣知事之ヲ招集スヘシ

會員半數以上ノ請求アルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ヲ招集スヘシ

第四十五條　府縣參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

ス

第四十六條　府縣參事會ハ議長又ハ其代理者及名譽職會員半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス但第四十三條第二ノ議決ヲ爲ストキハ高等官會員ハ其議決ニ加ハラサルモノトス

府縣參事會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

議決ノ事件ハ之ヲ議事錄ニ登記シ議長及名譽職參事會員二名以上之ニ署名スヘシ

第四十七條　府縣參事會員ハ自己及其父母兄弟若ハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付府縣參事會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項規定ノ爲出席ノ參事會員減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ府縣知事ハ補充員ヲ以テ臨時之ニ充テ仍其數ヲ得サルトキハ府縣參會議員ニシテ該事件ニ關係ナキ者ノ內ヨリ臨時ニ指名シ名譽職參事會員ノ不足ヲ補充シテ第三十八條ノ定數ニ滿タシムヘシ

第四十八條　市制町村制ノ規定ニ依リ府縣參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ二府縣以上ノ郡市町村ニ交涉スルモノアルトキハ其府縣知事ノ具狀ニ依リ內務大臣ニ於テ其事件ヲ管轄スヘキ府縣參事會ヲ指定スヘシ

第四十九條　東京府京都府大阪府參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ專ラ東京市京都市大阪市ニ關スルモノハ其郡部名譽職參事會員ニ於テ其事件ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス其東京市京都市大阪市外ノ市町村若ハ郡ニ關スルモノハ市部名譽職參事會員ニ於テ其事件ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

此法律中東京府京都府大阪府參事會員トアルハ市部議員ニ於テ選擧シタル名譽職參事會員トアルハ郡部議員ニ於テ選擧シタル名譽職參事會員ヲ云ヒ郡部名譽職參事會員ヲ云フ

第五十條　府縣知事ハ府縣會及府縣參事會ノ議決ヲ施行シ及府縣有財產及營造物ヲ管理シ竝ニ府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ヲ執行ス

府縣ニ於テ他人ニ對シ義務ヲ負擔スヘキ證書及委任狀ニハ知事ノ外名譽職參事會員二名以上之ニ署名捺印スヘシ

第五十一條　府縣會ニ於テ名譽職參事會員ヲ選擧セス又ハ參事會成立セス又ハ招集ニ應セサルトキハ其府縣知事ハ府縣參事會ノ權限ニ屬スル迄府縣知事ハ府縣參事會ノ權限ニ屬スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得

非常事變ニ際シ府縣參事會ヲ招集スルノ暇ナク又ハ名譽職參事會員ノ出席半數以上ニ至ラサルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ權限ニ屬スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次回ノ府縣會會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第五十二條　府縣知事ハ府縣會ノ議決ニ依リ府縣ノ費有ヲ以テ府縣有財產又ハ營造物ノ管理若ハ土木工事ニ必要ナル有給ノ府縣吏員ヲ置クコトヲ得但府縣吏員ハ府縣知事ニ於テ之ヲ任免監督ス

府縣吏員ノ給料手當退隱料等ハ府縣會ノ議決スル所ニ依ル其身元保證金ヲ要スルトキ其金額ヲ定ムルモ亦同シ

第五十三條　府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置キ府縣事務ノ一部ヲ調査セシメ又ハ府縣有財產及營造物ノ一部ヲ管理セシムルコトヲ得其選擧又ハ選任ノ方法及任期ハ府縣會ノ議決スル所ニ依ル

委員ハ名譽職トス

第四章　府縣ノ會計

第五十四條　府縣有財產及營造物管理ノ費用府縣參事會府縣參事會及委員ノ費用府縣吏員ノ給料退隱料其他諸給與及從來法律命令若ハ慣例ニ依リ竝ニ將來法律勅令ニ依リ府縣ノ負擔ト定ムル事件ノ費用ハ府縣ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

第五十五條　名譽職參事會員及委員ニハ旅費滯在手當及出務日當ヲ給スルコトヲ得府縣會議員ニハ旅費及滯在手當ニ限リ之ヲ給スルコトヲ得但滯在手當ハ日當ヲ併セ一日一圓五十錢ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十六條　府縣ノ支出ハ府縣稅其他府縣ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第五十七條　府縣稅目及其賦課徵收方法ニ關スル規定ハ此法律ニ依リ變更シタルモノヲ除クノ外從前地方稅ニ關スル規定ニ依ル

第五十八條　府縣知事ハ府縣會ノ議決ニ依リ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケ其府縣ノ全部若ハ市制施行ノ地ニ家屋稅ヲ賦課スルコトヲ得但家屋稅賦課ノ地ニ於テハ戶數割ヲ賦課スルコトヲ得ス

第五十九條　府縣內ニ土地家屋ヲ所有シ又ハ店舖ヲ定メテ營業ヲ爲ス者ハ其土地家屋營業ニ對シテ賦課スル府縣稅ヲ納ムルモノトス其法人タルトキモ亦同シ但郵便電信及官設鐵道ノ業ハ此限ニ在ラス

府縣內ニ一戶ヲ構ヘ三箇月以上ニ及フ者ハ其戶數ニ對シテ府縣稅ヲ納ムルモノトス但其課稅ハ一戶ヲ構ヘタル初ニ遡リ徵收スヘシ

第六十條　府縣稅ノ賦課ニ付テハ納稅者其府縣外ニ於テ店舖ニ定メタル營業ノ收入ヲ其標準ニ算入スルコトヲ得ス

第六十一條　府縣會ハ各市町村內ニ於テ徵收スル府縣稅賦課ノ細目ニ係ル事項ヲ關係市町村會ノ議決ニ付スルコトヲ得

前項市町村會ノ議決ニ牴觸スルコトヲ得ス

市町村會ニ於テ府縣會ノ指定シタル期限內ニ其議決スヘシ

第六十二條　營業ノ狀況又ハ收入ヲ標準トシテ賦課スル府縣稅ニ付テハ府縣知事ハ府縣會ノ議決ニ依リ府縣稅義務ノ移轉ヲ受ケタル者ハ其前納期限ノ終迄納稅セサルモノトス

第六十三條　府縣稅ハ法律命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルモノヲ除クノ外各市町村長ニ於テ市町村稅徵收ノ手續ニ依リ之ヲ徵收スヘシ

第六十四條　府縣稅ノ賦課ニ對シ錯誤アルコトヲ發見シタル者ハ徵稅傳令書ノ交付後三箇月以內ニ之ヲ其傳令書ヲ發シタル廳ニ申立ルコトヲ得但申立ノ爲其納稅ヲ拒ムコトヲ得ス

第六十五條　府縣會ハ家屋稅又ハ戶數割ノ全部又ハ一部ノ代納トシテ府縣ノ費用ヲ以テ營業若ハ營造物ニ對シ補助金ヲ與フルコトヲ得

第六十六條　前條ノ申立ヲ爲シタル後二十一日以內ニ其更正ヲ得サルトキ又ハ其更正ヲ得ルモ之ニ不服ナルトキハ十四日以內ニ郡參事會ニ訴願シ郡參事會ノ裁決ニ不服ナルトキハ其裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ十四日以內ニ府縣參事會ニ訴願シ府縣參事會ノ裁決ニ不服ナルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但市ニ在テハ府縣參事會ニ訴願シ府縣參事會ノ裁決ニ不服ナルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七十條　府縣稅ノ免稅若ハ納稅延期ハ特

別ノ事情アルモノニ限リ府縣知事ニ於テ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ許スコトヲ得

府縣稅ノ滯納處分ハ國稅滯納處分法ニ依ル

第七十一條　東京府京都府大阪府ニ在テハ府ノ支出ニ充ツヘキ府稅ヲ市部及郡部ニ分賦ス其分賦ノ割合ハ府會ニ於テ之ヲ議決シ內務大臣ノ認可ヲ受ケテ施行スヘシ

前項市部ノ分賦額ハ市ニ於テ之ヲ市ノ豫算ニ編入シ市稅トシテ徵收シ其總額ヲ府金庫ニ納ムヘシ郡部ノ分賦額ハ此法律ノ規定ニ依リ之ヲ徵收ス但市部議員ハ其徵收ニ關スル議事ニ參與シ及議決ニ加ハラサルモノトス此場合ニ於テ若議長副議長市部議員ナルトキハ郡部議員ニ於テ臨時議長ヲ互選スヘシ

第七十二條　市制施行ノ府縣ニ在テハ郡廳舍建築修繕費郡吏員給料旅費及廳費ハ市ヲ除キ其他ノ部分ノミヲシテ其負擔ニ任セシムヘシ

前項ノ府縣ニ在テハ其府縣ノ支出費目中市ト其他ノ部分ト利害ノ厚薄ヲ異ニシ均一ノ負擔ニ任セシムルコトヲ得サルモノアルトキハ其費目ニ限リ其一方ノ負擔ヲ增加スルコトヲ得但負擔ノ割合ハ府縣會ニ於テ之ヲ議決シ內務大臣ノ許可ヲ受クヘシ若之ヲ許可スヘカラスト認ムルトキハ內務大臣之ヲ確定ス

第一項ノ負擔ニ任セシメ及第二項ニ依リ一方ノ負擔ヲ增加スルハ賦課ノ稅率ヲ增加スルニ止メ其會計ヲ異ニスルコトヲ得ス但東京府京都府大阪府ニ在テハ前條ニ依ル

前項ニ依リ稅率ヲ增加スヘキ稅目ハ府縣會ノ議決スル所ニ依ル

第七十三條　府縣內ノ或ル部分ニ對シ特ニ利益アル土木事業ヲ起ストキハ府縣會ノ議決ニ依リ該部分ニ對シ通常府縣稅賦課ノ外其利益ノ厚薄ニ應シ特ニ夫役現品ヲ增課スルコトヲ得

第七十四條　府縣ハ其舊債元額ヲ償還スル爲又ハ天災事變ノ爲已ムヲ得サル支出又ハ府縣ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歲入ヲ增加スルトキハ府縣ノ負擔ニ堪ヘサルノ場合ニ限リ勅令ノ定ムル所ニ依リ府縣會ノ議決ヲ以テ府縣債ヲ起スコトヲ得

府縣債ヲ起スノ議決ヲ爲ストキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ムヘシ

府縣債償還ノ初期ハ三年以內ト爲シ年々ノ償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三十年以內ニ還了スヘシ

歲入出豫算內ノ支出ヲ爲スカ爲必要ナル一時ノ借入金ニシテ其年度內ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノハ本條ノ例ニ依ルノ限ニ在ラス但府縣參事會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第七十五條　府縣知事ハ每年其翌年度ニ係ル歲入出豫算ヲ調製スヘシ但府縣ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ハ府縣會ノ議決ニ付スルノ前府縣參事會ノ審査ニ付スヘシ若府縣知事ト府縣參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ知事ハ參事會ノ意見ヲ豫算ニ添ヘ府縣會ニ提出スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ニ付テモ亦同シ

內務大臣ハ省令ヲ以テ豫算調製ノ式ヲ定メ竝ニ費目流用ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第七十六條　豫算ハ每年府縣會ノ議決ヲ取リ之ヲ內務大臣ニ報告シ竝ニ府縣ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ヲ議決シタル場合ニ於テモ亦同シ

府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其費用ヲ支出スヘキモノハ府縣會ノ議決ヲ以テ其年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

豫算ヲ府縣會ニ提出スルトキハ府縣知事ハ併セテ其府縣有財產表ヲ提出スヘシ

第七十七條　歲入出豫算中ニ豫備費ヲ設クヘシ豫備費ハ府縣知事ニ於テ府縣參事會ノ議決ヲ經テ已ムヲ得サル豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツルコトヲ得但府縣會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第七十八條　府縣ノ收支命令ハ府縣知事之ヲ發スヘシ

第七十九條　會計事務ヲ管理スル官吏ハ前條ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス及其命令アルモ支出ノ豫算ナキカ又ハ豫備費支出及費目流用ノ規定ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第八十條　決算ハ會計事務ヲ管理スル官吏ニ於テ會計年度後三箇月以內ニ之ヲ府縣知事ニ提出シ府縣知事ハ府縣參事會ヲシテ之ヲ檢査セシメ次回ノ通常府縣會ノ認定ニ付スヘシ

決算報告書竝ニ之ニ關スル府縣會ノ議決ハ府縣知事ヨリ之ヲ內務大臣ニ報告シ竝ニ決算ハ府縣ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ

第五章　監督

第八十一條　府縣ノ行政ハ內務大臣之ヲ監督ス

第八十二條　府縣ノ行政ニ關スル訴願ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以內ニ其理由ヲ具シテ內務大臣ニ提出スヘシ

此法律ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事ノ處分又ハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁判所ニ出訴セントスル者ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以內ニ出訴スヘシ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第八十三條　內務大臣ハ府縣行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其事務錯亂澁滯セサルヤ否ヲ監視スヘシ內務大臣ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徵シ竝ニ實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察シ出納ヲ檢閱スルノ權ヲ有ス

第八十四條　府縣會又ハ府縣參事會ノ議決公益ヲ害スト認ムルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメ猶其議決ヲ改メサルトキハ直ニ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

府縣會又ハ府縣參事會ノ議決其權限ヲ超エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ府縣知事ハ其議決ヲ取消スヘシ此場合ニ於テ府縣知事ノ處分ニ不服ナルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十五條　府縣會又ハ府縣參事會ニ於テ法律命令又ハ慣行ニ依テ府縣ノ負擔ニ屬スル行政上又ハ公益上必要ノ費用ヲ否決シ又ハ議決スト雖必要ノ給需ヲ缺クトキハ府縣知事ハ內務大臣ニ具狀シ其指揮ヲ請ヒ原案ヲ執行スルコトヲ得但內務大臣ハ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金額以內ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第八十六條　府縣會招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ府縣知事ハ內務大臣ノ指揮ヲ請ヒ處分スルコトヲ得

前項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第八十七條　府縣會又ハ府縣參事會ニ於テ其議決スヘキ議案ヲ議決セス又ハ府縣會ニ於テ招集前正當ノ手續ヲ以テ告知セラレタル議案ヲ第二十一條第一項ニ定メタル期限內ニ議了セサル場合ニ於テ其事緊急ヲ要スルトキハ府縣知事ハ內務大臣ニ具狀シ其指揮ヲ請ヒ原案ヲ執行スルコトヲ得但其議決セス又ハ議了セサル議案歲入出豫算ニ係リ內務大臣ニ於テ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金額以內ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第八十八條　內務大臣ハ府縣ノ歲入出豫算中不適當ノ支出ト認ムル費目アルトキハ之ヲ削除シ及其府縣ノ資力ニ比シ不急ノ支出ト認ムル費目アルトキハ之ヲ削除若ハ減殺スルコトヲ得此場合ニ於テハ收入科目中ニ就キ之ニ相當スル收入額ヲ減殺スヘシ

第八十九條　府縣會ノ解散ハ勅令ヲ以テス此場合ニ於テハ三箇月以內ニ議員ヲ改選スヘシ

前項解散ノ場合ニ於テハ名譽職參事會員モ亦解職スルモノトス

府縣會解散ノ後改選結了ニ至ル迄ノ間急施ヲ要スル事件アルトキハ府縣知事ハ專決處分スルコトヲ得

前項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第九十條　左ノ事件ニ關スル府縣會ノ議決ハ內務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

一、新ニ府縣債ヲ起シ又ハ其額ヲ增加シ若ハ償還ノ方法ヲ變更スル事

二、地租四分ノ一ヲ超過スル府縣稅ヲ土地ニ賦課スル事

三、法律勅令ノ規定ニ依リ官廳ヨリ下渡ス歩合金ニ對シ支出金額ヲ定ムル事

第九十一條　左ノ事件ニ關スル府縣會ノ議決ハ內務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

一、府縣有不動產ノ賣却讓渡竝ニ質入書入ノ事

二、第七十二條第二項ニ依リ市若ハ其他ノ部分ノ負擔ヲ增加スル事
三、第七十三條ニ依リ府縣內ノ或ル部分ニ對シ特ニ夫役現品ヲ增課スル事
四、第七十六條第二項ニ依リ繼續費ヲ定メ及其年期內ニ議決ヲ變更スル事

第六章　附則

第九十二條　行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間此法律ニ依リ行政裁判所ニ屬スル職務ハ現行ノ行政裁判手續ニ從ヒ控訴院ニ於テ之ヲ行フヘシ

第九十三條　市制町村制施行ノ爲定ムル直接稅ノ種類ハ此法律ノ施行ニ付テモ亦之ヲ適用ス

市制町村制郡制及此法律施行ノ爲將來ノ諸稅ニ付直接稅ト爲スヘキモノハ內務大臣及大藏大臣之ヲ告示スヘシ

第九十四條　此法律ハ郡制市制ヲ施行シタル各府縣ニ施行スルモノトス其施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ內務大臣之ヲ定ム

第九十五條　此法律施行ノ後ハ市制第百二十二條第三ニ定ムル附加稅徵收ノ許可ハ東京市京都市大阪市ニ在テハ地租七分ノ三、二五（二十八分ノ十三）其他ノ市ニ在テハ其七分ノ一、五（十四分ノ三）ヲ超過スルトキ之ヲ要スルモノトス

第九十六條　府縣內ニ在ル島嶼ノ其本地ニ對スル關係ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設ク

郡制ヲ施行セサル島嶼ヨリ選出スヘキ府縣會議員ノ選擧ニ關シテハ別ニ勅令ヲ以テ其制ヲ定ム

第九十七條　明治十三年四月第十五號布告府縣會規則明治十四年二月第八號布告區郡部會規則明治二十二年二月法律第六號府縣會規則其他此法律ニ抵觸スル成規ハ此法律施行ノ府縣ニ於テ其施行ノ時期ヨリ廢止ス

第九十八條　內務大臣ハ此法律施行ノ爲ニ任シ之カ爲必要ナル命令ヲ發布スヘシ

○郡制（明治二十三年五月十七日法律第三十六號）

第一章　總則

第一條　郡ノ廢置分合及郡界ノ變更ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

郡界ニ當ル市町村ノ境界ヲ變更スルトキハ郡界モ亦自ラ變更スルモノトス

第二條　郡內ノ町村ヲ變シテ市ト爲シ若ハ市ヲ變シテ郡內ノ町村ト爲スハ其市會町村會ノ申請ニ依リ內務大臣之ヲ定ム

第三條　第一條第二條ノ處分ニ付其財產處分ヲ要スルトキハ府縣參事會之ヲ議決スヘシ

但特ニ法律ノ規定アルモノハ此限ニ在ラス

第四條　郡會ハ郡內町村ニ於テ選擧シタル議員及大地主ニ於テ選擧シタル議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條　町村ニ於テ選擧スヘキ議員定數ハ每町村各一名ノ數ニ二十名以上ニ及フトキハ二十名ヲ以テ町村ニ於テ選擧スヘキ議員定數ノ外其定數ノ三分ノ一ヲ互選スルモノトス若端數ヲ生スルトキハ之ヲ棄却スヘシ

選擧ヲ行フコトヲ得ヘキ大地主ニシテ其員數町村ニ於テ選擧スヘキ議員定數ノ三分ノ一以下ナルトキハ其大地主ハ選擧ニ依ラシテ郡會議員タルモノトス但定期改選ノ期限內ニ於テハ大地主ノ員數減シテ三分ノ一以下ニ至ルト雖解散ノ爲改選スル場合ヲ除ク外初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシメ次回ニ於テ解任スヘキ者ハ郡會議長郡會議員ノ協議ヲ以テ之ヲ定ム

第六條　一町村ニ於テ一名以上ノ議員ヲ選擧スルハ其町村會之ヲ行ヒ數町村ニ於テ一名若ハ一名以上ノ議員ヲ選擧スルハ其各町村會會同シテ之ヲ行フヘシ

第七條　町村組合ニシテ組合會ヲ設ケ其町村一切ノ事務ヲ共同處分スルモノハ第四條乃至第六條ノ規定ニ關シテハ之ヲ一町村ト同視シ其組合會ニ於テ議員選擧ヲ行フヘシ

第八條　大地主ハ町村ニ於テ選擧スヘキ議員定數ノ外其定數ノ三分ノ一ヲ互選スルモノトス若端數ヲ生スルトキハ之ヲ棄却スヘシ

選擧ヲ行フコトヲ得ヘキ大地主ニシテ其員數町村ニ於テ選擧スヘキ議員定數ノ三分ノ一以下ナルトキハ其大地主ハ選擧ニ依ラシテ郡會議員タルモノトス但定期改選ノ期限內ニ於テハ大地主ノ員數減シテ三分ノ一以下ニ至ルト雖解散ノ爲改選スル場合ヲ除ク外初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシメ次回ニ於テ解任スヘキ者ハ郡會議長郡會議員ノ協議ヲ以テ之ヲ定ム

第九條　大地主トハ郡內ニ於テ町村稅ノ賦課ヲ受クル所有地ニシテ地價總計一萬圓以上ヲ有スル地主ヲ云フ

第十條　郡內町村公民ニシテ町村會ノ選擧ニ參與スルコトヲ得ヘキ者及大地主中自ラ選擧ニ加ハルコトヲ得ヘキ者ハ總テ郡會ノ被選擧權ヲ有ス

住居ヲ移シタル爲町村ノ公民權ヲ失ヒタル者其住居同郡內ニ在リ且他ノ要件ヲ失ハサルトキハ仍郡會ノ被選擧權ヲ有ス

左ニ揭クル者ハ選擧ニ係ルト否トヲ問ハス郡會議員タルコトヲ得ス

一、所屬府（東京府ハ參縣郡トモ）縣竝ニ其郡ノ官吏

二、其郡ノ有給吏員

三、神官及諸宗ノ僧侶又ハ教師

四、小學校教員

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選ニ應シ又ハ第八條第二項ノ權利ヲ行ハントスルトキハ本屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

第十一條　大地主ニシテ選擧權ヲ有スルハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル男子ニ限ル

年齡二十歲未滿ノ者及治產ノ禁ヲ受ケタル者ハ選擧權ヲ有セサルモノトス

大地主ノ選擧權ハ身代限處分中又ハ租稅滯納處分中又ハ公權ノ剝奪若ハ停止ヲ附加スヘキ重輕罪ノ爲裁判上ノ訊問若ハ勾留中ハ之ヲ停止ス

本條ノ規定ハ選擧ニ依ラスシテ郡會議員タル者ニモ適用ス

第十二條　選擧權ヲ有スル大地主ハ代人ヲ以テ選擧ヲ行フコトヲ得

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ代人ヲ以テスルニ非サレハ選擧ヲ行フコトヲ得ス

代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ町村制ニ定メタル獨立ノ男子ニ限ル但一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス且代人ハ委任狀ヲ以テ代理ノ證トスヘシ

本條ノ規定ハ第八條第二項ノ權利ヲ行フ場合ニモ適用スルモノトス但其代人ハ郡會ニ於テ有スル者ニシテ郡會議員タラサル者ニ限ル

第十三條　郡會議員ハ名譽職トス

町村ニ於テ選擧シタル議員ノ任期ハ六年トシ每三年其半數ヲ改選ス若其員數二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシメ次回ニ於テ解任スヘキ者ハ郡會議長郡會議員ノ協議ヲ以テ之ヲ定ム

大地主ニ於テ選擧シタル議員ノ任期ハ三年トシ每三年其全數ヲ改選ス

第十四條　議員中闕員アルトキハ遲クトモ六箇月以內ニ補闕選擧ヲ行フヘシ

補闕議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第十五條　郡長ハ郡會議員改選前選擧權アル大地主ノ名簿ヲ製シ之ニ其資格ヲ記載シ其氏名ヲ告示スヘシ

第十六條　大地主ニ於テ選擧ヲ行フトキハ左ノ規定ニ依ルヘシ

一、郡長ハ遲クトモ選擧ノ日ヨリ七日前ニ

ハ首トシテ人口ヲ標準トシ郡會ニ於テ議決シ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

郡會議員ノ數十名ニ滿タサルトキハ郡會ノ議決ニ依リ府縣知事ノ認可ヲ經其數ヲ增シテ十名ニ至ルコトヲ得其配當法ハ首トシテ人口ヲ標準トシ郡會ニ於テ議決シ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

本條議員配當法ハ郡內ノ町村數ニ增減アリタル場合ノ外初回ハ三年間爾後ハ十二年以上ニ至リ町村ノ人口ニ著シキ增減アルニ非サレハ改正セサルモノトス

議員配當法ヲ改正スルトキハ議員全數ヲ改選スヘシ

第六條　一町村ニ於テ一名以上ノ議員ヲ選擧スルハ其町村會之ヲ行ヒ數町村ニ於テ一名若ハ一名以上ノ議員ヲ選擧スルハ其各町村會會同シテ之ヲ行フヘシ

第七條　町村組合ニシテ組合會ヲ設ケ其町村一切ノ事務ヲ共同處分スルモノハ第四條乃至第六條ノ規定ニ關シテハ之ヲ一町村ト同視シ其組合會ニ於テ議員選擧ヲ行フヘシ

第八條　大地主ハ町村ニ於テ選擧スヘキ議員定數ノ外其定數ノ三分ノ一ヲ互選スルモノトス若端數ヲ生スルトキハ之ヲ棄却スヘシ」

選擧ヲ行フコトヲ得ヘキ大地主ニシテ其員數町村ニ於テ選擧スヘキ議員定數ノ三分ノ一以下ナルトキハ其大地主ハ選擧ニ依ラシテ郡會議員タルモノトス但定期改選ノ期限內ニ於テハ大地主ノ員數減シテ三分ノ一以下ニ至ルト雖解散ノ爲改選スル場合ヲ除ク外初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシメ次回ニ於テ解任スヘキ者ハ郡會議長郡會議員ノ協議ヲ以テ之ヲ定ム

第九條　大地主トハ郡內ニ於テ町村稅ノ賦課ヲ受クル所有地ニシテ地價總計一萬圓以上ヲ有スル地主ヲ云フ

第十條　郡內町村公民ニシテ町村會ノ選擧ニ參與スルコトヲ得ヘキ者及大地主中自ラ選擧ニ加ハルコトヲ得ヘキ者ハ總テ郡會ノ被選擧權ヲ有ス

住居ヲ移シタル爲町村ノ公民權ヲ失ヒタル者其住居同郡內ニ在リ且他ノ要件ヲ失ハサルトキハ仍郡會ノ被選擧權ヲ有ス

左ニ揭クル者ハ選擧ニ係ルト否トヲ問ハス郡會議員タルコトヲ得ス

一、所屬府（東京府ハ參縣郡トモ）縣竝ニ其郡ノ官吏

二、其郡ノ有給吏員

三、神官及諸宗ノ僧侶又ハ教師

四、小學校教員

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選ニ應シ又ハ第八條第二項ノ權利ヲ行ハントスルトキハ本屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

第十一條　大地主ニシテ選擧權ヲ有スルハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル男子ニ限ル

年齡二十歲未滿ノ者及治產ノ禁ヲ受ケタル者ハ選擧權ヲ有セサルモノトス

大地主ノ選擧權ハ身代限處分中又ハ租稅滯納處分中又ハ公權ノ剝奪若ハ停止ヲ附加スヘキ重輕罪ノ爲裁判上ノ訊問若ハ勾留中ハ之ヲ停止ス

本條ノ規定ハ選擧ニ依ラスシテ郡會議員タル者ニモ適用ス

第十二條　選擧權ヲ有スル大地主ハ代人ヲ以テ選擧ヲ行フコトヲ得

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ代人ヲ以テスルニ非サレハ選擧ヲ行フコトヲ得ス

代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ町村制ニ定メタル獨立ノ男子ニ限ル但一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス且代人ハ委任狀ヲ以テ代理ノ證トスヘシ

本條ノ規定ハ第八條第二項ノ權利ヲ行フ場合ニモ適用スルモノトス但其代人ハ郡會ニ於テ有スル者ニシテ郡會議員タラサル者ニ限ル

第十三條　郡會議員ハ名譽職トス

町村ニ於テ選擧シタル議員ノ任期ハ六年トシ每三年其半數ヲ改選ス若其員數二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシメ次回ニ於テ解任スヘキ者ハ郡會議長郡會議員ノ協議ヲ以テ之ヲ定ム

大地主ニ於テ選擧シタル議員ノ任期ハ三年トシ每三年其全數ヲ改選ス

第十四條　議員中闕員アルトキハ遲クトモ六箇月以內ニ補闕選擧ヲ行フヘシ

補闕議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第十五條　郡長ハ郡會議員改選前選擧權アル大地主ノ名簿ヲ製シ之ニ其資格ヲ記載シ其氏名ヲ告示スヘシ

第十六條　大地主ニ於テ選擧ヲ行フトキハ左ノ規定ニ依ルヘシ

一、郡長ハ遲クトモ選擧ノ日ヨリ七日前選

舉人ニ招集狀ヲ發シ選舉ノ場所日時ヲ告知スヘシ

二、選舉掛ハ選舉會長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ選任シタル立會人二名若ハ四名及選舉會長ヲ以テ之ヲ組織ス

選舉會長ハ選舉會ヲ開閉シ其會場ノ取締ニ任ス

三、選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タリトモ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス

四、投票ハ選舉人自ラ選舉會長ノ面前ニ於テ之ヲ投票函ニ投入ス

投票ハ匿名トス

五、左ノ投票ハ之ヲ無效トス

一、記載セル人名ノ讀ミ難キモノ

二、被選人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

三、被選權ナキ人名ヲ記載スルモノ

四、被選人氏名ノ外他ノ文字ヲ記入スルモノ但爵位職業身分住所又ハ敬稱ハ此限ニ在ラス

本項一ヨリ三ニ至ルノ場合ニ於テ票中他ニ列記ノ被選人ニ付テハ仍其效アリトス」

投票ノ受理竝ニ效力ニ關スル事項ハ選舉掛假ニ之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選舉會長之ヲ決ス

六、有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キモノハ年長者ヲ取リ年齡相同キトキハ選舉會長自ラ抽籤シテ其當選ヲ定ム

七、選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顚末ヲ記錄シ選舉ヲ終リタル後之ヲ期讀シテ署名スヘシ

八、投票ハ選舉ノ效力確定スル迄之ヲ保存スヘシ

第十九條　選舉ヲ終リ當選人定マリタルトキハ町村會ニ於テ行フ選舉ニ在テハ町村長數ノ權利ヲ有スル者ト雖二重ニ其權ヲ行フコトヲ得サルモノトス

第二十條　議員ノ當選ヲ辭シ又ハ之ヲ爲サヽルトキハ郡長ハ七日以內ニ更ニ選舉ヲ行ヒ又ハ町村長ニ命シテ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ

第二十一條　當選人確定シタルトキハ郡長ハ當選證書ヲ付與シ及管內ニ告示スヘシ

第二十二條　選舉人選舉ノ效力ニ關シ訴願アルトキハ意見ヲ陳述スヘシ

第二十三條　當選人其當選ノ際資格ノ要件ヲ有セサリシコト發覺スルトキハ其當選ハ無效トス

當選人當選後資格ノ要件ヲ失フトキハ議員ノ職ヲ失フモノトス

第二十四條　郡會ニ於テ其議員中議員ノ資格ヲ有セサル者アルコトヲ發見スルトキハ其議決ヲ以テ之ヲ郡長ニ通知スヘシ

第二十五條　郡會議員被選權ノ有無及選舉ノ效力ハ郡參事會之ヲ裁決ス

郡參事會ノ裁決ニ不服ナル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服ナル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十六條　郡會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ」

一、郡ノ歲入出豫算ヲ定ムル事

二、決算報告ヲ認定スル事

三、郡有不動產ノ賣買交換讓渡讓受竝ニ貸入書入ノ事

四、歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事

五、郡有財產ノ管理及營造物ノ維持方法ヲ定ムル事

其他法律命令ニ依リ郡會ノ權限ニ屬スル事項ヲ議決ス

第二十七條　郡會ハ其權限ニ屬スル事件ヲ郡參事會ニ委任スルコトヲ得

第二十八條　郡會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述スヘシ

郡會ハ其郡ノ全部又ハ一部ノ公益ニ關スル事件ニ付郡長又ハ府縣知事ニ建議スルコトヲ得

第二十九條　郡會議員ハ選舉人ノ指示若ハ委囑ヲ受クヘカラサルモノトス

第三十條　郡會ハ郡長ヲ以テ議長トス

郡會ハ改選後ノ初會ニ於テ議長代理者一名ヲ互選スヘシ

議長及議長代理者共ニ故障アルトキハ臨時議長代理ヲ互選スヘシ

第三十一條　郡長若ハ特ニ郡長ノ委任ヲ受ケタル郡吏員ハ郡會ノ議事ニ參與スルコトヲ得但議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ何時ニテモ之ヲ許スヘシ

第三十二條　郡會ハ每年一回通常會ヲ開クヘシ其他必要アルトキハ其事件ニ限リ臨時會ヲ開クコトヲ得

郡會ハ郡長之ヲ招集ス若議員三分ノ一以上ニ於テ臨時ノ招集ヲ請求スルトキハ之ヲ招集スヘシ招集ハ開會ノ日ヨリ十四日前迄ニ告示スヘシ但急施ヲ要スル場合ハ此限ニ在ラス

郡會ハ郡長之ヲ開閉ス

第三十三條　郡會ハ議員半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス但同一ノ議事ニ付開會再回ニ至ルモ議員猶其半數ニ滿タサルトキハ此限ニ在ラス

第三十四條　郡會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十五條　議員ハ自己及其父母兄弟若ハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ會議ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ郡會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

第三十六條　郡會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ第十八條四ヨリ六ニ至ル規定ニ依ルヘシ

第三十七條　郡會ノ會議ハ公開ス但左ノ場合ハ此限ニ在ラス

一、郡長ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

二、議長又ハ議員三名以上ノ發議ニ由リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

議長又ハ議員ノ發議ハ討論ヲ用ヰスシテ可否ヲ決スヘシ

第三十八條　議長ハ議事ノ順序ヲ定メ會議及選舉ノ事ヲ總理シ其日ノ會議ヲ開閉シ竝ニ延會シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第三十九條　議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用ヰ及他人ノ身上ニ渉リ言論スルコトヲ得ス

第四十條　會議中此法律若ハ議事規則ニ違ヒ其他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ又ハ制止シ又ハ發言ヲ取消サシムル命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシムヘシ若强抗ニ渉ル者アルトキハ警察官ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第四十一條　會議ノ傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騷ニ渉リ其他議事ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長故障アルトキハ會員ニ於テ臨時議長代

理ヲ互選スヘシ

第四十八條　郡會ハ每通常會ニ於テ郡會ノ互選シタル名譽職參事會員ノ補充員三名ヲ互選シ其名譽職參事會員ノ闕員アルトキハ郡長ニ於テ補充員中投票多數ノ順次ニ依リ之ヲ補充スヘシ但其既ニ補充シタル者ハ前任者ノ任期中在職スルモノトス

第四十九條　名譽職參事會員ノ任期ハ議員ノ任期ニ從フ但任期滿限ノ後ト雖後任者就職ノ日迄在職スルモノトス

郡會ノ互選シタル名譽職參事會員ハ補充員ヲ以テ其闕員ヲ補充シ仍闕員ヲ生シタル場合ニ於テハ二箇月以內ニ臨時其選擧ヲ行フヘシ

第五十條　郡參事會ノ職務權限左ノ如シ

一、郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二、郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ郡長ニ於テ郡會ヲ招集スルノ暇ナシト認ルトキ郡會ニ代テ議決ヲ爲ス事

三、郡會ノ定メタル方法ノ範圍內ニ於テ郡有財產ノ管理又ハ營造物ノ維持ニ關シ必要ナル事件ニ付議決ヲ爲ス事

四、郡ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ノ次第順序其他必要ナル事件ニ付議決ヲ爲ス事

五、郡長其他官廳ノ諮問ニ對シ意見ヲ述フル事

六、郡長ヨリ發スル郡會議案ニ付郡長ニ意見ヲ述ヘ及會議ニ報告スル事

七、臨時必要アルトキ郡ノ出納ヲ檢查スル事

其他法律命令ニ依リ郡參事會ノ權限ニ屬スル事務ヲ處理ス

第五十一條　郡參事會ハ郡長之ヲ招集ス

會員半數以上ノ請求アルトキハ郡長ハ郡參事會ヲ招集スヘシ

第五十二條　郡參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第五十三條　郡參事會ハ議長又ハ其代理者及會員半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

郡參事會ノ議決ハ過半數ニ依ルヘシ可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

議決ノ事件ハ之ヲ議事錄ニ登記シ議長及名譽職參事會員二名以上之ニ署名スヘシ

第五十四條　郡參事會員ハ自己及其父母兄弟若ハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付郡參事會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ規定ノ爲出席ノ參事會員數ヲ減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ郡長ハ補充員ヲ以テ臨時之ニ充テ仍其數ヲ得サルトキハ郡參事會員ニシテ該事件ニ關係ナキ者ノ內ヨリ臨時ニ指名シ名譽職參事會員ノ不足ヲ補充シテ第四十六條ノ定數ニ滿タシムヘシ

第五十五條　郡長ハ郡參事會ノ議決ヲ經テ郡有財產又ハ營造物ノ管理若ハ土木工事ニ必要ナル有給郡吏員ヲ置クコトヲ得但其郡吏員ハ他ノ郡吏員ニ準シ府縣知事ニ於テ之ヲ任免監督ス

前項郡吏員ノ給料手當退隱料等ハ郡會ノ議決スル所ニ依ル其身元保證金ヲ要スルトキ其金額ヲ定ムルモ亦同シ

第五十六條　郡長ハ郡會及郡參事會ノ議決ヲ施行シ及郡有ノ財產及營造物ヲ管理シ竝ニ郡ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ヲ執行ス

郡ニ於テ他人ニ對シ義務ヲ負擔スヘキ證書及委任狀ニハ郡長ノ外名譽職參事會員二名以上之ニ署名捺印スヘシ

前項ノ文書中郡會又ハ參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其議決ヲ經タルモノハ其旨ヲ記入スヘシ

第五十七條　郡會ニ於テ名譽職參事會員ヲ選擧セス又ハ參事會成立セス又ハ招集ニ應セサルトキハ參事會成立シ又ハ招集ニ應スル迄郡長ハ郡參事會ノ權限ニ屬スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得

非常事變ニ際シ郡參事會ヲ招集スルノ暇ナク又ハ名譽職參事會員ノ出席半數以上ニ至ラサルトキハ郡長ハ郡參事會ノ權限ニ屬スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次回ノ郡會會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第五十八條　郡ハ府縣稅ヲ以テ支辨スル郡吏員ノ外郡會ノ議決ニ依リ郡ノ費用ヲ以テ郡有財產又ハ營造物ノ管理若ハ土木工事ニ必要ナル有給郡吏員ヲ置クコトヲ得但其郡吏員ハ他ノ郡吏員ニ準シ府縣知事ニ於テ之ヲ任免監督ス

前項郡吏員ノ給料手當退隱料等ハ郡會ノ議決スル所ニ依ル其身元保證金ヲ要スルトキハ其金額ヲ定ムルモ亦同シ

第五十九條　郡長ハ郡會ノ議決ヲ經テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置キ郡事務ノ一部ヲ調查セシメ又ハ郡有財產及營造物ノ一部ヲ管理セシムルコトヲ得

委員ハ郡會ニ於テ之ヲ選擧ス其選擧ノ方法及任期ハ郡會ノ議決スル所ニ依ル

委員ハ名譽職トス

第四章　郡ノ會計

第六十條　郡有財產及營造物管理ノ費用郡會郡參事會及委員ノ費用第五十八條ノ郡吏員ノ給料退隱料其他諸給與及法律勅令ニ依リ郡ノ負擔ト定ムル事件ノ費用ハ其郡ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

第六十一條　郡會議員名譽職參事會員及委員ニハ旅費及日當ヲ給スルコトヲ得但日當ハ一日五十錢ヲ超ユルコトヲ得ス

第六十二條　郡ノ支出ニ充ツル費用ハ郡有財產ヨリ生スル收入其他雜收入ヲ以テ充ツルモノヽ外ハ郡內各町村ニ分賦ス各町村分賦ノ割合ハ各町村前年度ノ直接國稅府縣稅ノ徵收額ニ據ル

各町村分賦ノ額ハ各町村ニ於テ之ヲ町村ノ豫算ニ編入シ町村稅トシテ徵收シ其總額ヲ郡金庫ニ納ムヘシ

第六十三條　郡內ノ或ル部分ニ對シ特ニ利益アル土木事業ヲ起ストキハ郡會ノ議決ニ依リ該部分ノ町村ニ對シ通常分賦額ノ外其利益ノ厚薄ニ應シ特ニ夫役現品ヲ增課スルコトヲ得

第六十四條　郡ハ天災事變ノ爲已ムヲ得サル支出又ハ其郡ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歲入ヲ增加スルトキハ郡內町村ノ負擔ニ堪ヘサルノ場合ニ限リ勅令ノ定ムル所ニ依リ郡會ノ議決ヲ以テ郡債ヲ起スコトヲ得

郡債ヲ起スノ議決ヲ爲ストキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ムヘシ」

郡債償還ノ初期ハ三年以內ト爲シ年々ノ償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三十年以內ニ還了スヘシ

歲入出豫算內ノ支出ヲ爲スカ爲必要ナル一時ノ借入金ニシテ其年度內ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノハ本條ノ例ニ依ルノ限ニ在ラス但郡參事會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第六十五條　郡長ハ每年其翌年度ニ係ル歲入出豫算ヲ調製スヘシ但郡ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

第七十條　郡ノ出納ハ每月例日ヲ定メテ檢查シ及每年少クトモ一回臨時檢查ヲ爲スヘシ檢查ハ郡長又ハ其代理者之ヲ爲シ臨時檢查ニハ郡參事會員一名以上ノ立會ヲ要ス

第七十一條　決算ハ會計事務ヲ管理スル郡役所會計吏ハ前條ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス及其命令アルモ支出ノ豫算ナキカ又ハ豫備費支出及費目流用ノ規定ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

豫算ハ郡會ノ議決ニ付スルノ前郡參事會ノ審查ニ付スヘシ若郡長ト郡參事會ノ意見ヲ異ニスルトキハ郡長又ハ其代理者之ヲ爲シ臨時檢查ニハ郡參事會員一名以上ノ立會ヲ要ス

第七十二條　決算ハ會計事務ヲ管理スル郡役所會計吏ニ於テ會計年度後三箇月以內ニ之ヲ郡長ニ提出シ郡長ハ郡參事會ヲシテ之ヲ檢查セシメ次回ノ通常郡會ノ認定ニ付スヘシ

決算報告書竝ニ之ニ關スル郡會ノ議決ハ郡長ヨリ之ヲ府縣知事ニ報告シ竝ニ決算ハ郡慣行ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ

第五章　監督

第七十三條　郡ノ行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ內務大臣之ヲ監

督ス

第七十三條　此法律中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外郡ノ行政ニ關スル府縣知事又ハ府縣參事會ノ處分若ハ裁決ニ不服ナル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

郡ノ行政ニ關スル訴願ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以內ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

此法律ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事ノ處分又ハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁判所ニ出訴セントスル者ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以內ニ出訴スヘシ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第七十四條　監督官廳ハ郡行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其事務錯亂滯セサルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徵シ竝ニ實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察シ出納ヲ檢閱スルノ權ヲ有ス

第七十五條　郡會又ハ郡參事會ノ議決其權限ヲ越エ法律命令ニ背キ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメ猶其議決ヲ更メサルトキハ直ニ府縣知事ノ裁決ヲ請フヘシ

其權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ府縣知事ノ裁決ニ不服ナル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七十六條　郡會又ハ郡參事會ニ於テ法律命令又ハ慣行ニ依テ郡ノ負擔ニ屬スル行政上又ハ公益上必要ノ費用ヲ否決シ又ハ議決スト雖必要ノ給料ヲ缺クトキハ郡長ハ府縣知事ノ指揮ヲ請ヒ原案ヲ執行スルコトヲ得但府縣知事ハ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金額以內ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第七十七條　郡會招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ郡長ハ府縣知事ノ指揮ヲ請ヒ處分スルコトヲ得但府縣知事ハ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金額以內ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第七十八條　郡會又ハ郡參事會ニ於テ其議決スヘキ議案ヲ議決セサル場合ニ於テ其事緊急ヲ要スルトキハ郡長ハ府縣知事ニ具狀シ其指揮ヲ請ヒ原案ヲ執行スルコトヲ得但其議決セサル議案歲入出豫算ニ係リ府縣知事ニ於テ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金額以內ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第七十九條　府縣知事ハ郡ノ歲入出豫算中不適當ノ支出ト認ムル費目アルトキハ之ヲ削減若ハ其郡ノ資力ニ比シ不急ノ支出ト認ムル費目アルトキハ之ヲ削除若ハ減殺スルコトヲ得此場合ニ於テハ收入科目中ニ就キ之ニ相當スル收入額ヲ減殺スヘシ

第八十條　郡會ハ內務大臣之ヲ解散セシムルコトヲ得此場合ニ於テハ三箇月以內ニ議員ヲ改選スヘシ

前項解散ノ場合ニ於テハ名譽職參事會員モ亦解職スルモノトス

郡會ノ解散ニ依リ解職スルノ限ニ在ラス但改選郡會ノ議決ヲ以テ之ヲ行フヘシ

第八十一條　左ノ事件ニ關スル郡會ノ議決ハ內務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

一、新ニ郡債ヲ起シ又ハ其額ヲ增加シ若ハ償還ノ方法ヲ變更スル事

第八十二條　左ノ事件ニ關スル郡會ノ議決ハ府縣知事ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

一、郡有不動產ノ賣却讓渡竝ニ質入書入ノ事

二、第六十三條ニ依リ郡內ノ或ル部分ニ對シ特ニ夫役現品ヲ增課スル事

三、第六十六條第二項ニ依リ繼續費ヲ定メ及其年期內ニ議決ヲ變更スル事

第六章　附則

第八十三條　郡內總町村ノ共有ニ屬スル財產及營造物ハ郡內總町村ノ聯合又ハ組合ヲ以テ設立セル小學校ヲ除クノ外此法律施行ノ日ヨリ郡ノ所有ニ歸シ其權利義務トモ同時ニ郡ニ移ルモノトス

第八十四條　府縣參事會及行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間此法律ニ依リ府縣參事會ニ屬スル職務ハ府縣知事、行政裁判所ニ屬スル職務ハ現行ノ行政裁判手續ニ從ヒ控訴院ニ於テ之ヲ行フヘシ

第八十五條　島司ヲ置ケル島嶼ニ於テハ別ニ勅令ヲ以テ其制ヲ定ム

第八十六條　此法律ニ依リ始メテ議員ヲ選舉スルニ付郡會及郡參事會ノ職務ハ郡長ニ於テ之ヲ行フヘシ

第八十七條　町村制施行ノ爲ニ定ムル直接稅ノ種類ハ此法律ノ施行ニ付テモ亦適用ス

第八十八條　此法律施行ノ後ハ町村制第百二十六條第三ニ定ムル附加稅徵收ノ許可ハ地租七分ノ一、五（十四分ノ三）ヲ超過スルトキノ之ヲ要スルモノトス

第八十九條　此法律ハ町村制ヲ施行シタル各府縣ニ施行スルモノトス其施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ內務大臣之ヲ定ム

第九十條　明治十一年七月第十七號布告郡區町村編制法其他此法律ニ牴觸スル成規ハ此法律施行ノ地ニ於テ其施行ノ時期ヨリ總テ之ヲ廢止ス

第九十一條　內務大臣ハ此法律施行ノ責ニ任シ之カ爲必要ナル命令ヲ發布スヘシ

○市制

明治二十一年四月二十五日法律第一號

市制

第一章　總則

第一款　市及其區域

第二款　市住民及其權利義務

第三款　市條例

第二章　市會

第一款　組織及選舉

第二款　職務權限及處務規程

第三章　市行政

第一款　市參事會及市吏員ノ組織選任

第二款　市參事會及市吏員ノ職務權限及處務規程

第三款　給料及給與

第四章　市有財產ノ管理

第一款　市有財產及市稅

第二款　市ノ歲入出豫算及決算

第五章　特別ノ財產ヲ有スル市區ノ行政

第六章　市行政ノ監督

第七章　附則

市制

第一章　總則

第一款　市及其區域

第一條　此法律ハ市街地ニシテ郡ノ區域ニ屬セス別ニ市ト爲スノ地ニ施行スルモノトス

第二條　市ハ法律上一個人ト均ク權利ヲ有シ義務ヲ負擔シ凡市ノ公共事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ自ラ之ヲ處理スルモノトス

第三條　凡市ハ從來ノ區域ヲ存シテ之ヲ變更シ又ハ町村ヲ市ニ合併シ及市ノ區域ヲ分割スルコトアルトキハ第四條ヲ適用ス

第四條　市ノ境界ニ關スル爭論ハ府縣參事會之ヲ裁決ス其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二款　市住民及其權利義務

第五條　凡市內ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ其市住民トス

凡市住民タル者ハ此法律ニ從ヒ公共ノ營造物竝市有財產ヲ共用スルノ權利ヲ有シ及市ノ負擔ヲ分任スルノ義務ヲ有スルモノトス

但特ニ民法上ノ權利及義務ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラス

第七條　凡帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子二年以來（一）市ノ住民トナリ（二）其市ノ負擔ヲ分任シ及（三）其市內ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接國稅年額二圓以上ヲ納ムル者ハ其市公民トス其公費ヲ以テ救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者ハ此限ニ在ラス但場合ニ依リ市會ノ議決ヲ以テ本條ニ定ムル二箇年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得

此法律ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歲以上ニシテ一戶ヲ構ヘ且治產ノ禁ヲ受ケサル者ヲ云フ

第八條　凡市公民ハ市ノ選舉ニ參與シ市ノ名譽職ニ選擧セラルヽノ權利ヲ又其名譽職ヲ擔任スルハ市公民ノ義務ナリトス

左ノ理由アルニ非サレハ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職スルコトヲ得ス

一、疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者

二、營業ノ爲メ常ニ其市內ニ居ルコトヲ得サル者

三、年齡滿六十歲以上ノ者

四、官職ノ爲メ市ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者

五、四年間無給ニシテ市吏員ノ職ニ任シ爾後四年ヲ經過セサル者及六年間市會議員ノ職ニ居リ爾後六年ヲ經過セサル者

六、其他市會ノ議決ニ於テ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ若クハ無任期ノ職務ヲ少クモ三年間擔當セス又ハ其職務ヲ實際ニ執行セサル者ハ市會ノ議決ヲ以テ三年以上六年以下其市公民タルノ權ヲ停止シ且同年期間其負擔スヘキ市費ノ八分一乃至四分一ヲ增課ス

ルコトヲ得

前項市會ノ議決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九條　市公民タル者第七條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ其公民タルノ權ヲ失フモノトス

市公民タル者身代限處分中又ハ公權ノ剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重輕罪ノ爲メ裁判上ノ訊問若クハ勾留中又ハ租税滯納處分中ハ其公民タルノ權ヲ停止ス

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ市ノ公務ニ參與セサルモノトス

市公民タル者ニ限リテ任スヘキ職務ニ在ル者本條ノ場合ニ當ルトキハ其職務ヲ解ク可キモノトス

第三款　市條例

第十條　市ノ事務及市住民ノ權利義務ニ關シ此法律中ニ明文ナク又ハ特例ヲ設クルコトヲ許セル事項ハ各市ニ於テ特ニ條例ヲ設ケテ之ヲ規定スルコトヲ得

市ニ於テハ其市ノ設置ニ係ル營造物ニ關シ規則ヲ設クルコトヲ得

市條例及規則ハ法律命令ニ牴觸スルコトヲ得ス且之ヲ發行スルトキハ地方慣行ノ公告式ニ依ル可シ

第二章　市會

第一款　組織及選擧

第十一條　市會議員ハ其市ノ選擧人其被選擧權アル者ヨリ之ヲ選擧ス其定員ハ人口五萬未滿ノ市ニ於テハ三十人トシ人口五萬以上ノ市ニ於テハ三十六人トス

人口十萬以上ノ市ニ於テハ人口五萬ヲ加フル毎ニ人口二十萬以上ノ市ニ於テハ人口十萬ヲ加フル毎ニ議員三人ヲ增シ六十人ヲ定限トス

議員ノ定員ハ市條例ヲ以テ特ニ之ヲ增減スルコトヲ得但定限ヲ超ユルコトヲ得ス

第十二條　市公民（第七條）ハ總テ選擧權ヲ有ス但其公民權ヲ停止セラルヽ者（第八條第三項第九條第二項）及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニ在ラス

凡内國人ニシテ公權ヲ有シ直接市税ヲ納ムル者其額市公民ノ最多ク納税スル者三名中ノ一人ヨリモ多キトキハ第七條ノ要件ニ當ラスト雖モ選擧權ヲ有ス但公民權ヲ停止セラルヽ者及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニ在ラス

法律ニ從テ設立シタル會社其他法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキモ亦同シ

第十三條　選擧人ハ分テ三級ト爲ス

選擧人中直接市税ノ納額最多キ者ヲ合セテ選擧人總員ノ納ムル總額ノ三分一ニ當ル可キ者ヲ一級トス

一級選擧人ノ外直接市税ノ納額多キ者ヲ合セテ選擧人總員ノ納ムル總額ノ三分一ニ當ル可キ者ヲ二級トシ爾餘ノ選擧人ヲ三級トス

各級ノ間納税額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ル可シ又兩級ノ間ニ同額ノ納税者二名以上アルトキハ其市ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年齡ヲ以テシ年齡ニモ依リ難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ム可シ

選擧ハ毎級各別ニ議員ノ三分一ヲ選擧ス其被選擧人ハ同級内ノ者ニ限ラス三級ニ通シテ選擧セラルヽコトヲ得

第十四條　區域廣濶又ハ人口稠密ナル市ニ於テハ市條例ヲ以テ選擧區ヲ設クルコトヲ得但特ニ二級若クハ三級選擧ノ爲メ之ヲ設クルモ妨ケナシ

選擧區ノ數及其區域竝各選擧區ヨリ選出スル議員ノ員數ハ市條例ヲ以テ選擧人ノ員數ニ準シ之ヲ定ム可シ

選擧人ハ其住居ノ地ニ依テ其所屬ノ區ヲ定ム其市内ニ住居ナキ者ハ課税ヲ受ケタル物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム若シ數選擧區ニ亘リ納税スル者ハ課税ノ最多キ物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム可シ

被選擧人ハ其選擧區内ノ者ニ限ラサルモノトス

第十五條　選擧權ヲ有スル市公民（第十二條第一項）ハ總テ被選擧權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ市會議員タルコトヲ得ス

一、所屬府縣ノ官吏

二、有給ノ市吏員

三、檢察官及警察官吏

四、神官僧侶及其他諸宗教師

五、小學校教員

其他官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受ク可シ

代言人ニ非スシテ他人ノ爲メニ裁判所又ハ其他ノ官廳ニ對シテ事ヲ辨スルヲ以テ業ト爲ス者ハ議員ニ選擧セラルヽコトヲ得ス

父子兄弟タルノ緣故アル者ハ同時ニ市會議員タルコトヲ得ス其同時ニ選擧セラレタルトキハ投票ノ數ニ依テ其多キ者一人ヲ當選トシ若シ同數ナレハ年長者ヲ當選トス其時ヲ異ニシテ選擧セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス

市參事會員トノ間父子兄弟タルノ緣故アル者ハ之ト同時ニ市會議員タルコトヲ得ス若シ議員トノ間ニ其緣故アル者市參事會員ノ任ヲ受クルトキハ其緣故アル議員ハ其職ヲ退ク可シ

第十六條　議員ハ名譽職トス其任期ハ六年トシ毎三年各級ニ於テ其半數ヲ改選ス若シ各級ノ議員二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回ニ於テ解任ス可キ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

退任ノ議員ハ再選セラルヽコトヲ得

第十七條　議員中闕員アルトキハ毎三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補闕選擧ヲ行フ可シ若シ定員三分ノ一以上闕員アルトキ又ハ市會、市參事會若クハ府縣知事ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ムルトキハ定期前ト雖モ其補闕選擧ヲ行フ可シ

補闕議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

定期改選及補闕選擧トモ前任者ノ選擧セラレタル選擧等級及選擧區ニ從テ之カ選擧ヲ行フ可シ

第十八條　市長ハ選擧ヲ行フ毎ニ其選擧前六十日ヲ限リ選擧原簿ヲ製シ各選擧人ノ資格ヲ記載シ此原簿ニ據リテ選擧人名簿ヲ製ス可シ但選擧區ヲ設クルトキハ毎區各別ニ原簿及名簿ヲ製ス可シ

選擧人名簿ハ七日間市役所又ハ其他ノ場所ニ於テ之ヲ關係者ノ縱覽ニ供ス可シ若シ關係者ニ於テ訴願セントスルコトアルトキハ同期限内ニ之ヲ市長ニ申立ツ可シ市長ハ市會ノ裁決（第三十五條第一項）ニ依リ名簿ヲ修正ス可キトキハ選擧前十日ヲ限リテ之ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿ト爲シ之ニ登錄セラレサル者ハ何人タリトモ選擧ニ關スルコトヲ得ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ當選ヲ辭シ若クハ選擧ノ無效トナリタル場合ニ於テ更ニ選擧ヲ爲ストキモ亦之ヲ適用ス

第十九條　選擧ヲ執行スルトキハ市長ハ選擧ノ場所日時ヲ定メ及選擧ス可キ議員ノ數ヲ各級各區ニ分チ選擧前七日ヲ限リテ之ヲ公告ス可シ

各級ニ於テ選擧ヲ行フノ順序ハ先ツ三級ノ選擧ヲ行ヒ次ニ二級ノ選擧ヲ行ヒ次ニ一級ノ選擧ヲ行フ可シ

第二十條　選擧掛ハ名譽職トシ市長ニ於テ臨時ニ選擧人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ市長若クハ其代理者ハ其掛長トナリ選擧會ヲ開閉シ其會場ノ取締ニ任ス但選擧區ヲ設クルトキハ毎區各別ニ選擧掛ヲ設ク可シ

第二十一條　選擧開會中ハ選擧人ノ外何人タリトモ選擧會場ニ入ルコトヲ得ス選擧人ハ選擧會場ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第二十二條　選擧ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選擧人ノ氏名ヲ記シ封緘ノ上選擧人自ラ掛長ニ差出ス可シ但選擧人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

選擧人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選擧人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入ス可シ但投票函ハ投票ヲ終ル迄之ヲ開クコトヲ得ス

第二十三條　投票ニ記載ノ人員其選擧ス可キ定數ニ過キ又ハ不足アルモ其投票ヲ無效トセス其定數ニ過クルモノハ末尾ニ記載シタル人名ヲ順次ニ棄却ス可シ

左ノ投票ハ之ヲ無效トス

一、人名ヲ記載セス又ハ記載セル人名ノ讀ミ難キモノ

二、被選擧人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

三、被選擧權ナキ人名ヲ記載スルモノ

四、被選擧人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノ

投票ノ受理竝效力ニ關スル事項ハ選擧掛假ニ之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス

第二十四條　選擧ハ選擧人自ラ之ヲ行フ可シ他人ニ託シテ投票ヲ差出スコトヲ許サス

第十二條第二項ニ依リ選擧權ヲ有スル者ハ代人ヲ出シテ選擧ヲ行フコトヲ得若シ其獨立ノ男子ニ非サル者又ハ會社其他法人ニ係ルトキハ必ス代人ヲ以テス可シ其代人ハ内國人ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子ニ限ル

但一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス且代人ハ委任狀ヲ選擧掛ニ示シテ代理ノ證ト可シ

第二十五條　議員ノ選擧ハ有效投票ノ多數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キモノハ年長者ヲ取リ同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其當選ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選擧スルトキハ（第十七條）投票數ノ最多キ者ヲ以テ殘任期ノ最長キ前任者ノ補闕ト爲シ其數相同キトキハ抽籤ヲ以テ其順序ヲ定ム

第二十六條　選擧掛ハ選擧錄ヲ製シテ選擧ノ顚末ヲ記錄シ選擧ヲ終リタル後之ヲ郡長ニ報告シ府縣知事ニ於テ選擧人名簿其他關係書類ヲ合綴シテ之ニ署名ス可シ

投票ハ之ヲ選擧錄ニ附屬シ選擧ヲ結了スルニ至ル迄之ヲ保存ス可シ

第二十七條　選擧ヲ終リタル後選擧掛長ハ直ニ當選者ニ其當選ノ旨ヲ告知ス可シ其當選ヲ辭セントスル者ハ五日以內ニ之ヲ市長ニ申立ツ可シ

一人ニシテ數級又ハ數區ノ選擧ニ當リタルトキハ同期限內何レノ選擧ニ應ス可キコトヲ申立ツ可シ其期限內ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其選擧ヲ辭スル者トナシ第八條ノ處分ヲ爲ス可シ

第二十八條　選擧人選擧ノ效力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選擧ノ日ヨリ七日以內ニ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得（第三十五條第一項）

本條ノ訴願及訴訟ノ爲メニ其執行ヲ停止スルコトヲ得ス但判決確定スルニ非サレハ更ニ選擧ヲ爲スコトヲ得ス

第三十六條　凡議員タル者ハ選擧人ノ指示若クハ委囑ヲ受ク可カラサルモノトス

第三十七條　市會ハ每歷年ノ初メ一周年ヲ限リ議長及其代理者各一名ヲ互選ス

第三十八條　會議ノ事件議長及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事アルトキハ議長ニ故障アルモノトシテ其代理者之ニ代ル可シ

議長代理者共ニ故障アルトキハ市會ハ年長ノ議員ヲ以テ議長ト爲ス可シ

第三十九條　市參事會員ハ會議ニ列席シテ議事ヲ辨明スルコトヲ得

第四十條　市會ハ會議ノ必要アル每ニ議長之ヲ招集ス若シ議員四分ノ一以上ノ請求アルトキ又ハ市長若クハ市參事會ノ請求アルトキハ必ス之ヲ招集ス可シ其招集竝會議ノ事件ヲ告知スルハ急施ヲ要スル場合ヲ除クノ外少クモ會議ノ三日前タル可シ但市會ノ議決ヲ以テ豫メ會議日ヲ定ムルモ妨ケナシ」

市參事會員ヲ市會ノ會議ニ招集スルトキモ亦前項ノ例ニ依ル

第四十一條　市會ハ議員三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議決スルコトヲ得ス但同一ノ議事ニ付招集再回ニ至ルモ議員猶三分ノ二ニ滿タサルトキハ此限ニ在ラス

第四十二條　市會ノ議決ハ可否ノ多數ニ依リ之ヲ定ム可否同數ナルトキハ再議議決ス可シ若シ猶同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第四十三條　議員ハ自己及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ市會ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

市會ハ議事錄ノ謄寫又ハ原書ヲ以テ其議決ヲ市長ニ報告ス可シ

市會ノ書記ハ市會之ヲ選任ス

第四十八條　市會ハ其會議細則ヲ設ク可シ其細則ニ違背シタル議員ニ科ス可キ過怠金ニ圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

第三章　市行政

第一款　市參事會及市吏員ノ組織選任

第四十九條　市ニ市參事會ヲ置キ左ノ吏員ヲ以テ之ヲ組織ス

一、市長　一名

二、助役　東京ハ三名京都大阪ハ各二名其他ハ一名

三、名譽職參事會員　東京ハ十二名京都大阪ハ各九名其他ハ六名

助役及名譽職參事會員ハ市條例ヲ以テ其定員ヲ增減スルコトヲ得

第五十條　市長ハ有給吏員トス其任期ハ六年トシ內務大臣市會ヲシテ候補者三名ヲ推薦セシメ上奏裁可ヲ請フ可シ若シ其裁可ヲ得サルトキハ再推薦ヲ爲サシム可シ再推薦ニシテ猶裁可ヲ得サルトキハ追テ推薦セシメ裁可ヲ得ルニ至ルノ間內務大臣ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ市費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ市長ノ職務ヲ管掌セシム可シ

第五十一條　助役及名譽職參事會員ハ市會之ヲ選擧ス其選擧ハ第四十四條ニ依テ行フ可シ但投票同數ナルトキハ抽籤ノ法ニ依ラス府縣參事會之ヲ決ス可シ

市長ハ選擧ヲ終リタル後之ヲ府縣知事ニ報告シ府縣知事ニ於テ選擧ノ效力ニ關シ異議アルトキハ訴願ノ有無ニ拘ラス府縣參事會ニ付シテ處分ヲ行フコトヲ得

選擧ノ定規ニ違背スルコトアルトキハ其選擧ヲ取消シ更ニ選擧ヲ行ハシム可シ

第二十九條　當選者中其資格ノ要件ヲ有セサル者アルコトヲ發見シ又ハ就職後其要件ヲ失フ者アルトキハ其人ノ當選ハ效力ヲ失フモノトス其要件ノ有無ハ市會之ヲ議決ス

第二款　職務權限及處務規程

第三十條　市會ハ其市ヲ代表シ此法律ニ準據シテ市ニ關スル一切ノ事件竝從前特ニ委任セラレタルモノヲ除クノ外其事件ヲ議決スルモノトス

第三十一條　市會ノ議決ス可キ事件ノ概目左ノ如シ

一、市條例及規則ヲ設ケ竝改正スル事

二、市費ヲ以テ支辨ス可キ事業但第七十四條ニ揭クル事務ハ此限ニ在ラス

三、歲入出豫算ヲ定メ豫算外ノ支出及豫算超過ノ支出ヲ認定スル事

四、決算報告ヲ認定スル事

五、法律勅令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手數料、市稅及夫役現品ノ賦課徵收ノ法ヲ定ムル事

六、市有不動產ノ賣買交換讓受讓渡竝質入ノ事

七、基本財產ノ處分ニ關スル事

八、歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事

九、市有ノ財產及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事

十、市吏員ノ身元保證金ヲ徵シ竝其金額ヲ定ムル事

十一、市ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

第三十二條　市會ハ法律勅令ニ依リ其職權ニ屬スル市吏員ノ選擧ヲ行フ可シ

第三十三條　市會ハ市ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閱シ市長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理議決ノ施行竝收入支出ノ正否ヲ監査スルノ職權ヲ有ス

市會ハ市ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ監督官廳ニ差出スコトヲ得

第三十四條　市會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述ス可シ

第三十五條　市住民及公民タル權利ノ有無、選擧權及被選擧權ノ有無、選擧人名簿ノ正否竝其等級ノ當否、代理ヲ以テ執行スル選擧權（第十二條第二項）及市會議員選擧ノ效力（第二十八條）ニ關スル訴願ハ市會之ヲ裁決ス

市會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ事件ニ付テハ市長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ爲スコトヲ得

記錄セシム可シ議事錄ハ會議ノ末之ヲ朗讀シ議長及議員二名以上之ニ署名ス可シ

市會ハ議事錄ノ謄寫又ハ原書ヲ以テ其議決ヲ市長ニ報告ス可シ

市會ノ書記ハ市會之ヲ選任ス

第四十八條　市會ハ其會議細則ヲ設ク可シ其細則ニ違背シタル議員ニ科ス可キ過怠金ニ圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

第三章　市行政

第一款　市參事會及市吏員ノ組織選任

第四十九條　市ニ市參事會ヲ置キ左ノ吏員ヲ以テ之ヲ組織ス

一、市長　一名

二、助役　東京ハ三名京都大阪ハ各二名其他ハ一名

三、名譽職參事會員　東京ハ十二名京都大阪ハ各九名其他ハ六名

助役及名譽職參事會員ハ市條例ヲ以テ其定員ヲ增減スルコトヲ得

第五十條　市長ハ有給吏員トス其任期ハ六年トシ內務大臣市會ヲシテ候補者三名ヲ推薦セシメ上奏裁可ヲ請フ可シ若シ其裁可ヲ得サルトキハ再推薦ヲ爲サシム可シ再推薦ニシテ猶裁可ヲ得サルトキハ追テ推薦セシメ裁可ヲ得ルニ至ルノ間內務大臣ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ市費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ市長ノ職務ヲ管掌セシム可シ

第五十一條　助役及名譽職參事會員ハ市會之ヲ選擧ス其選擧ハ第四十四條ニ依テ行フ可シ但投票同數ナルトキハ抽籤ノ法ニ依ラス府縣參事會之ヲ決ス可シ

第五十二條　助役ハ有給吏員トシ其任期ハ六年トス

助役ノ選擧ハ府縣知事ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス若シ其認可ヲ得サルトキハ再選擧ヲ爲ス可シ再選擧ニシテ猶其認可ヲ得サルトキハ追テ選擧ヲ行ヒ認可ヲ得ルニ至ルノ間府縣知事ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ市費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ助役ノ職務ヲ管掌セシム可シ

第五十三條　市長及助役ハ其市公民タル者ニ限ラス但其任ヲ受クルトキハ其公民タルノ權ヲ得

第五十四條　名譽職參事會員ハ其市公民中年齡滿三十歲以上ニシテ選擧權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選擧ス其任期ハ四年トス任期滿限ノ後ト雖モ後任者就職ノ日迄在職スルモノトス

名譽職參事會員ハ毎二年其半數ヲ改選ス若シ二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ退任セシム初回ノ退任者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但退任者ハ再選セラルヽコトヲ得

若シ闕員アルトキハ其殘任期ヲ補充スル爲メ直ニ補闕選擧ヲ爲ス可シ

第五十五條　市長及助役其他參事會員ハ第十五條第二項ニ掲載スル職ヲ兼ヌルコトヲ得ス同條第四項ニ掲載スル者ハ名譽職參事會員ニ選擧セラルヽコトヲ得ス

父子兄弟タルノ緣故アル者ハ同時ニ市參事會員タルコトヲ得ス若シ其緣故アル者市長ノ任ヲ受クルトキハ其緣故アル市參事會員ハ其職ヲ退ク可シ其他ハ第十五條第五項ヲ適用ス

市長及助役ハ三箇月前ニ申立ツルトキハ隨時退職ヲ求ムルコトヲ得此場合ニ於テハ退隱料ヲ受クルノ權ヲ失フモノトス

第五十六條　市長及助役ハ他ノ有給ノ職務ヲ兼任シ又ハ株式會社ノ社長及重役トナルコトヲ得ス其他ノ營業ハ府縣知事ノ認許ヲ得ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第五十七條　名譽職參事會員ノ選擧ニ付テハ市參事會自ラ其效力ノ有無ヲ議決ス

當選者中其資格ノ要件ヲ有セサル者アルコトヲ發見シ又ハ就職後其要件ヲ失フ者アルトキハ其人ノ當選ハ效力ヲ失フモノトス其要件ノ有無ハ市參事會之ヲ議決ス其議決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得其他ハ第三十五條末項ヲ適用ス

第五十八條　市ニ收入役一名ヲ置ク收入役ハ市參事會ノ推薦ニ依リ市會之ヲ選任ス

收入役ノ選任ハ府縣知事ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス其他ハ第五十一條、第五十二條、第五十三條第五十五條及第七十六條ヲ適用ス」

收入役ハ身元保證金ヲ出ス可シ

第五十九條　市ニ書記其他必要ノ附屬員並使丁ヲ置キ相當ノ給料ヲ給ス其人員ハ市會ノ議決ヲ以テ之ヲ定メ市參事會之ヲ任用ス

第六十條　凡市ハ處務便宜ノ爲メ市參事會ノ意見ヲ以テ之ヲ數區ニ分チ毎區區長及其代理者各一名ヲ置クコトヲ得區長及其代理者ハ名譽職トス但東京京都大阪ニ於テハ區長ヲ有給吏員ト爲スコトヲ得

區長及其代理者ハ市會ニ於テ其區若クハ隣區ノ公民中選擧權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選擧ス區會（第百十三條）ヲ設クル區ニ於テハ其區會ニ於テ之ヲ選擧ス但東京京都大阪ニ於テハ市參事會之ヲ選任ス

東京京都大阪ニ於テハ前條ニ依リ區ニ附屬員並使丁ヲ置クコトヲ得

第六十一條　市ハ市會ノ議決ニ依リ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得其委員ハ名譽職トス

委員ハ市參事會員又ハ市會議員ヲ以テ之ニ充テ又ハ市參事會員及市會議員ヲ以テ之ヲ組織シ又ハ會員議員ト市公民中選擧權ヲ有スル者トヲ以テ之ヲ組織シ市參事會員一名ヲ以テ委員長トス

委員中市會議員ヨリ出ツル者ハ市會之ヲ選擧シ選擧權ヲ有スル公民ヨリ出ツル者ハ市參事會之ヲ選擧シ其他ノ委員ハ市長之ヲ選任ス

常設委員ノ組織ニ關シテハ市條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第六十二條　區長及委員ニハ職務取扱ノ爲メニ要スル實費辨償ノ外市會ノ議決ニ依リ勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

第六十三條　市吏員ハ任期滿限ノ後再選セラルヽコトヲ得

市吏員及使丁ハ別段ノ規定又ハ規約アルモノヲ除クノ外隨時解職スルコトヲ得

第二款　市參事會及市吏員ノ職務權限及處務規程

第六十四條　市參事會ハ其市ヲ統轄シ其行政事務ヲ擔任ス

市參事會ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一、市會ノ議事ヲ準備シ及其議決ヲ執行スル事若シ市會ノ議決其權限ヲ越エ法律命令ニ背キ又ハ公衆ノ利益ヲ害スト認ムルトキハ市參事會ハ自己ノ意見ニ由リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ由リ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメ猶其議決ヲ更メサルトキハ府縣參事會ノ裁決ヲ請フ可シ其權限ヲ越エ又ハ法律勅令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

二、市ノ設置ニ係ル營造物ヲ管理スル事若シ特ニ之カ管理者アルトキハ其事務ヲ監督スル事

三、市ノ歲入ヲ管理シ歲入出豫算表其他市會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事

四、市ノ權利ヲ保護シ市有財產ヲ管理スル事

五、市吏員及使丁ヲ監督シ市長ヲ除クノ外其他ニ對シ懲戒處分ヲ行フ事其懲戒處分ハ譴責及十圓以下ノ過怠金トス

六、市ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

七、外部ニ對シテ市ヲ代表シ市ノ名義ヲ以テ其訴訟並和解ニ關シ又ハ他廳若クハ人民ト商議スル事

八、法律勅令ニ依リ又ハ市會ノ議決ニ從テ使用料、手數料、市稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事

九、其他法律命令又ハ上司ノ指令ニ依テ市參事會ニ委任シタル事務ヲ處理スル事

第六十五條　市參事會ハ議長又ハ其代理者及名譽職會員定員三分ノ一以上出席スルトキハ議決ヲ爲スコトヲ得

其議決ハ可否ノ多數ニ依リ之ヲ定ム可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

議決ノ事件ハ之ヲ議事錄ニ登記ス可シ

市參事會ノ議決其權限ヲ越エ法律命令ニ背キ又ハ公衆ノ利益ヲ害スト認ムルトキハ市長ハ自己ノ意見ニ由リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ由リ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ府縣參事會ノ裁決ヲ請フ可シ其權限ヲ越エ又ハ法律勅令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第六十六條　第四十三條ノ規定ハ市參事會ニモ亦之ヲ適用ス但同條ノ規定ニ從ヒ市參事會正當ノ會議ヲ開クコトヲ得サルトキハ市會之ニ代テ議決スルモノトス

第六十七條　市長ハ市政一切ノ事務ヲ指揮監督シ處務ノ澁滯ナキコトヲ務ム可シ

市長ハ市參事會ヲ召集シ之カ議長トナル市長故障アルトキハ其代理者ヲ以テ之ニ充ツ」

市長ハ市參事會ノ議事ヲ準備シ其議決ヲ執行シ市參事會ノ名ヲ以テ文書ノ往復ヲ爲シ及之ニ署名ス

第六十八條　急施ヲ要スル場合ニ於テ市參事會ヲ召集スルノ暇ナキトキハ市長ハ市參事會ノ事務ヲ專決處分シ次回ノ會議ニ於テ其處分ヲ報告ス可シ

第六十九條　市參事會員ハ市長ノ職務ヲ補助シ市長故障アルトキ之ヲ代理ス

市長ハ市會ノ同意ヲ得テ市參事會員ヲシテ市行政事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得此場合ニ於テハ名譽職會員ハ職務取扱ノ爲メニ要スル實費辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ受クルコトヲ得

市條例ヲ以テ助役及名譽職會員ノ特別ナル職務並市長代理ノ順序ヲ規定ス可シ若シ條例ノ規定ナキトキハ府縣知事ノ定ムル所ニ從ヒ上席者之ヲ代理ス可シ

第七十條　市收入役ハ市ノ收入ヲ受領シ其費用ノ支拂ヲ爲シ其他會計事務ヲ掌ル

第七十一條　書記ハ市長ニ屬シ庶務ヲ分掌ス

第七十二條　區長及其代理者（第六十條）ハ市參事會ノ機關トナリ其指揮命令ヲ受ケテ區內ニ關スル市行政事務ヲ補助執行スルモノトス

第七十三條　委員ハ（第六十一條）市參事會ノ監督ニ屬シ市行政事務ノ一部ヲ分掌シ又ハ營造物ヲ管理シ若クハ監督シ又ハ一時ノ委託ヲ以テ事務ヲ處辨スルモノトス

市長ハ隨時委員會ニ列席シテ議決ニ加ハリ其議長タルノ權ヲ有ス常設委員ノ職務權限

ニ關シテハ市條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第七十四條　市長ハ法律命令ニ從ヒ左ノ事務ヲ管掌ス

一、司法警察補助官タルノ職務及法律命令ニ依テ其管理ニ屬スル地方警察ノ事務但別ニ官署ヲ設ケテ地方警察事務ヲ管掌セシムルトキハ此限ニ在ラス

二、浦役場ノ事務

三、國ノ行政竝府縣ノ行政ニシテ市ニ屬スル事務但別ニ吏員ノ設ケアルトキハ此限ニ在ラス

右三項中ノ事務ハ監督官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ市參事會員ノ一名ニ分掌セシムルコトヲ得

本條ニ掲載スル事務ヲ執行スルカ爲メニ要スル費用ハ市ノ負擔トス

第三款　給料及給與

第七十五條　名譽職員ハ此法律中別ニ規定アルモノヲ除クノ外職務取扱ノ爲メニ要スル實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

實費辨償額及報酬額ハ市會之ヲ議決ス

第七十六條　市長助役其他有給吏員及使丁ノ給料額ハ市會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

市會ノ議決ヲ以テ市長ノ給料額ヲ定ムルトキハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス若シ之ヲ許可ス可カラスト認ムルトキハ内務大臣之ヲ確定ス

市會ノ議決ヲ以テ助役ノ給料額ヲ定ムルトキハ府縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス府縣知事ニ於テ之ヲ許可ス可カラスト認ムルトキハ府縣參事會ノ議決ニ付シテ之ヲ確定ス

市長助役其他有給吏員ノ給料額ハ市條例ヲ以テ之ヲ規定スルコトヲ得

第七十七條　市條例ノ規定ヲ以テ市長其他有給吏員ノ退隱料ヲ設クルコトヲ得

第七十八條　有給吏員ノ給料、退隱料其他第七十五條ニ定ムル給與ニ關シテ異議アルトキハ關係者ノ申立ニ依リ府縣參事會之ヲ裁決ス其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七十九條　退隱料ヲ受クル者官職又ハ府縣郡市町村及公共組合ノ職務ニ就キ給料ヲ受クルトキハ其間之ヲ停止シ又ハ更ニ退隱料ヲ受クルノ權ヲ得ルトキハ其額舊退隱料ト同額以上ナルトキハ舊退隱料ハ之ヲ廢止ス

第八十條　給料、退隱料、報酬及辨償ハ總テ市ノ負擔トス

第四章　市有財産ノ管理

第一款　市有財産及市税

第八十一條　市ハ其不動産、積立金穀等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スルノ義務アリ

臨時ニ收入シタル金穀ハ基本財産ニ加入ス可シ但寄附金等寄附者其使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此限ニ在ラス

第八十二條　凡市有財産ハ全市ノ爲メニ之ヲ管理シ及共用スルモノトス但特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラス

第八十三條　舊來ノ慣行ニ依リ市住民中特ニ其市有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ市會ノ議決ヲ經ルニ非サレハ其舊慣ヲ改ムルコトヲ得ス

第八十四條　市住民中特ニ市有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ得ントスル者アルトキハ市條例ノ規定ニ依リ使用料若クハ一時ノ加入金ヲ徴收シ又ハ使用料加入金ヲ共ニ徴收シテ之ヲ許可スルコトヲ得但特ニ民法上使用ノ權利ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス

第八十五條　使用權ヲ有スル者（第八十三條、第八十四條）ハ使用ノ多寡ニ準シテ其土地物件ニ係ル必要ナル費用ヲ分擔ス可キモノトス

第八十六條　市會ハ市ノ爲メニ必要ナル場合ニ於テハ使用權（第八十三條、第八十四條）ヲ取上ケ又ハ制限スルコトヲ得但特ニ民法上使用ノ權利ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス

第八十七條　市有財産ノ賣却貸與又ハ建築工事及物品調達ノ請負ハ公ケノ入札ニ付ス可シ但臨時急施ヲ要スルトキ及入札ノ價額其費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ市會ノ認許ヲ得ルトキハ此限ニ在ラス

第八十八條　市ハ其必要ナル支出及從前法律命令ニ依テ賦課セラレ又ハ將來法律勅令ニ依テ賦課セラルヽ支出ヲ負擔スルノ義務アリ

市ハ其財産ヨリ生スル收入及使用料、手數料（第八十九條）竝科料、過怠金其他法律勅令ニ依リ市ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ猶不足アルトキハ市税（第九十條）及

夫役現品（第百一條）ヲ賦課徴收スルコトヲ得

第八十九條　市ハ其所有物及營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ數個人ノ爲メニスル事業ニ付使用料又ハ手數料ヲ徴收スルコトヲ得

第九十條　市税トシテ賦課スルコトヲ得可キ目左ノ如シ

一、國税府縣税ノ附加税

二、直接又ハ間接ノ特別税

附加税ハ直接ノ國税又ハ府縣税ニ附加シ均一ノ税率ヲ以テ市ノ全部ヨリ徴收スルヲ常例トス特別税ハ附加税ノ外別ニ市限リ税目ヲ起シテ課税スルコトヲ要スルトキ賦課徴收スルモノトス

第九十一條　此法律ニ規定セル條項ヲ除クノ外使用料、手數料（第八十九條）特別税（第九十條第一項第二）及從前ノ區町村費ニ關スル細則ハ市條例ヲ以テ之ヲ規定ス可シ其條例ニハ科料一圓九十五錢以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

科料ニ處シ及之ヲ徴收スルハ市參事會之ヲ掌ル其處分ニ不服アル者ハ令狀交付後十四日以内ニ司法裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十二條　三箇月以上市内ニ滯在スル者ハ其市税ヲ納ムルモノトス但其課税ハ滯在ノ初ニ遡リ徴收ス可シ

第九十三條　市内ニ住居ヲ構ヘス又ハ三箇月以上滯在スルコトナシト雖モ市内ニ土地家屋ヲ所有シ又ハ營業ヲ爲ス者（店舗ヲ定メサル行商ヲ除ク）ハ其土地家屋營業若クハ其所得ニ對シテ賦課スル市税ヲ納ムルモノトス其法人タルトキモ亦同シ但郵便電信及官設鐵道ノ業ハ此限ニ在ラス

第九十四條　所得税ニ附加税ヲ賦課シ及市ニ於テ特別ニ所得税ヲ賦課セントスルトキハ納税者ノ市外ニ於ケル所有ノ土地家屋又ハ營業（店舗ヲ定メサル行商ヲ除ク）ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除ス可キモノトス

第九十五條　數市町村ニ住居ヲ構ヘ又ハ滯在スル者ニ前條ノ市税ヲ賦課スルトキハ其所得ヲ各市町村ニ平分シ其一部分ニノミ課税ス可シ但土地家屋又ハ營業ヨリ收入スル所得ハ此限ニ在ラス

第九十六條　所得税法第三條ニ掲クル所得ハ市税ヲ免除ス

第九十七條　左ニ掲クル物件ハ市税ヲ免除ス

一、政府、府縣郡市町村及公共組合ニ屬シ直接ノ公用ニ供スル土地、營造物及家屋

二、社寺及官立公立ノ學校病院其他學藝、美術及慈善ノ用ニ供スル土地、營造物及家屋

三、官有ノ山林又ハ荒蕪地但官有山林又ハ荒蕪地ノ利益ニ係ル事業ヲ起シ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ得テ其費用ヲ徴收スルハ此限ニ在ラス

新開地及開墾地ハ市條例ニ依リ年月ヲ限リ免除スルコトヲ得

第九十八條　前二條ノ外市税ヲ免除ス可キモノハ別段ノ法律勅令ニ定ムル所ニ從フ皇族ニ係ル市税ノ賦課ハ追テ法律勅令ヲ以テ定ムル迄現今ノ例ニ依ル

第九十九條　數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修繕及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

市内ノ一區ニ於テ專ラ使用スル營造物アルトキハ其區内ニ住居シ若クハ滯在シ又ハ土地家屋ヲ所有シ營業（店舗ヲ定メサル行商ヲ除ク）ヲ爲ス者ニ於テ其修繕及保存ノ費用ヲ負擔ス可シ但其一區ノ所有財産アルトキハ其收入ヲ以テ先ツ其費用ニ充ツ可シ

第百條　市税ハ納税義務ノ起リタル翌月ノ初ヨリ免税理由ノ生シタル月ノ終迄月割ヲ以テ之ヲ徴收ス可シ

會計年度中ニ於テ納税義務消滅シ又ハ變更スルトキハ納税者ヨリ之ヲ市長ニ届出ツ可シ其届出ヲ爲シタル月ノ終迄ハ從前ノ税ヲ徴收スルコトヲ得

第百一條　市公共ノ事業ヲ起シ又ハ公共ノ安寧ヲ維持スルカ爲メニ夫役及現品ヲ以テ納税者ニ賦課スルコトヲ得但學藝、美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外直接市税ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課ス可シ

夫役ヲ課セラレタル者ハ其便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又急迫ノ場合ヲ除クノ外金圓ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第百二條　市ニ於テ徴收スル使用料、手數料（第八十九條）市税（第九十條）夫役ニ代フル

金圓（第百一條）共有物使用料及加入金（第八十四條）其他市ノ收入ヲ定期內ニ納メサルトキハ市參事會ハ之ヲ督促シ猶之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ徵收ス可シ其督促ヲ爲スニハ市條例ノ規定ニ依リ手數料ヲ徵收スルコトヲ得

納稅者中無資力ナル者アルトキハ市參事會ノ意見ヲ以テ會計年度內ニ限リ納稅延期ヲ許スコトヲ得其年度ヲ越ユル場合ニ於テハ市會ノ議決ニ依ル

本條ニ記載スル徵收金ノ追徵、期滿得免及先取特權ニ付テハ國稅ニ關スル規則ヲ適用ス

第百三條　地租ノ附加稅ハ地租ノ納稅者ニ賦課シ其他土地ニ對シテ賦課スル市稅ハ其所有者又ハ使用者ニ賦課スルコトヲ得

第百四條　市稅ノ賦課ニ對スル訴願ハ賦課令狀ノ交付後三箇月以內ニ之ヲ市參事會ニ申立ツ可シ此期限ヲ經過スルトキハ其年度內減稅免稅及償還ヲ請求スルノ權利ヲ失フモノトス

第百五條　市稅ノ賦課及市ノ營造物、市有財產竝其所得ヲ使用スル權利ニ關スル訴願ハ市參事會之ヲ裁決ス但民法上ノ權利ニ係ルモノハ此限ニ在ラス

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ訴願及訴訟ノ爲メニ其處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得ス

第百六條　市ニ於テ公債ヲ募集スルハ從前ノ公債元額ヲ償還スル爲メ又ハ天災時變等已ムヲ得サル支出若クハ市ノ永久ノ利益トナル可キ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歲入ヲ增加スルトキハ其市住民ノ負擔ニ堪ヘサルノ場合ニ限ルモノトス

市會ニ於テ公債募集ノ事ヲ議決スルトキハ併セテ其募集ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ム可シ償還ノ初期ハ三年以內ト爲シ年々償還ノ步合ヲ定メ募集ノ時ヨリ三十年以內ニ還了ス可シ

定額豫算內ノ支出ヲ爲スカ爲メ必要ナル一時ノ借入金ハ本條ノ例ニ依ラス其年度內ノ收入ヲ以テ償還ス可キモノトス但此場合ニ於テハ市會ノ議決ヲ要セス

第二款　市ノ歲入出豫算及決算

第百七條　市參事會ハ每會計年度收入支出ノ豫知シ得可キ金額ヲ見積リ年度前二箇月ヲ限リ歲入出豫算表ヲ調製ス可シ但市ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

內務大臣ハ省令ヲ以テ豫算表調製ノ式ヲ定ムルコトヲ得

第百八條　豫算表ハ會計年度前市會ノ議決ヲ取リ之ヲ府縣知事ニ報告シ竝地方慣行ノ方式ヲ以テ其要領ヲ公告ス可シ

豫算表ヲ市會ニ提出スルトキハ市參事會ハ併セテ其市ノ事務報告書及財產明細表ヲ提出ス可シ

第百九條　定額豫算外ノ費用又ハ豫算ノ不足アルトキハ市會ノ認定ヲ得テ之ヲ支出スルコトヲ得

定額豫算中臨時ノ場合ニ支出スルカ爲メニ豫備費ヲ置キ市參事會ハ豫メ市會ノ認定ヲ受ケスシテ豫算外ノ費用又ハ豫算超過ノ費用ニ充ツルコトヲ得但市會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第百十條　市會ニ於テ豫算表ヲ議決シタルトキハ市長ヨリ其謄寫ヲ以テ之ヲ收入役ニ交付ス可シ其豫算表中監督官廳若クハ參事會ノ許可ヲ受ク可キ事項アルトキハ（第百二十一條ヨリ第百二十三條ニ至ル）先ツ其許可ヲ受ク可シ

收入役ハ市參事會（第六十四條第二項第三）又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス又收入役ハ市參事會ノ命令ヲ受クルモ其支出豫算表中ニ豫定ナキカ又ハ其命令第百九條ノ規定ニ據ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ニ背キタル支拂ハ總テ收入役ノ責任ニ歸ス

第百十一條　市ノ出納ハ每月例日ヲ定メテ檢査シ及每年少クモ一回臨時檢査ヲ爲ス可シ例月檢査ハ市長又ハ其代理者之ヲ爲シ臨時檢査ハ市長又ハ其代理者ノ外市會ノ互選シタル議員一名以上ノ立會ヲ要ス

第百十二條　決算ハ會計年度ノ終ヨリ三箇月以內ニ之ヲ結了シ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ市參事會ニ提出シ市參事會ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シテ之ヲ市會ノ認定ニ付ス可シ其市會ノ認定ヲ經タルトキハ市長ヨリ之ヲ府縣知事ニ報告ス可シ

決算報告ヲ爲ストキハ第三十八條及第四十三條ノ例ニ準シ市參事會員故障アルモノトス

第五章　特別ノ財產ヲ有スル市區ノ行政

第百十三條　市內ノ一區ニシテ特別ニ財產ヲ所有シ若クハ營造物ヲ設ケ其區限リ特ニ其費用（第九十九條）ヲ負擔スルトキハ府縣參事會ハ其市會ノ意見ヲ聞キ條例ヲ發行シ財產及營造物ニ關スル事務ノ爲メ區會ヲ設クルコトヲ得其會議ハ市會ノ例ヲ適用スルコトヲ得

第百十四條　前條ニ記載スル事務ハ市ノ行政ニ關スル規則ニ依リ市參事會之ヲ管理ス可シ但區ノ出納及會計ノ事務ハ之ヲ分別ス可シ

第六章　市行政ノ監督

第百十五條　市行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ內務大臣之ヲ監督ス但法律ニ指定シタル場合ニ於テ府縣參事會ノ參與スルハ別段ナリトス

第百十六條　此法律中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外凡市ノ行政ニ關スル府縣知事若クハ府縣參事會ノ處分若クハ裁決ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

市ノ行政ニ關スル訴願ハ處分書若クハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ十四日以內ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出ス可シ但此法律中別ニ期限ヲ定ムルモノハ此限ニ在ラス

此法律中ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁判所ニ出訴セントスル者ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ二十一日以內ニ出訴ス可シ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許シタル場合ニ於テハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

訴願及訴訟ヲ提出スルトキハ處分又ハ裁決ノ執行ヲ停止ス但此法律中別ニ規定アリ又ハ當該官廳ノ意見ニ依リ其停止ノ爲メニ市ノ公益ニ害アリト爲ストキハ此限ニ在ラス

第百十七條　監督官廳ハ市行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其事務錯亂澁滯セサルヤ否ヲ監視ス可シ監督官廳ハ之カ爲メニ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徵シ竝實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察シ出納ヲ檢閱スルノ權ヲ有ス

第百十八條　市ニ於テ法律勅令ニ依テ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依テ命令スル所ノ支出ヲ定額豫算ニ載セス又ハ臨時之ヲ承認セス又ハ實行セサルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ其支出額ヲ定額豫算表ニ加ヘ又ハ臨時支出セシム可シ

市ニ於テ前項ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第百十九條　凡市會又ハ市參事會ニ於テ議決ス可キ事件ヲ議決セサルトキハ府縣參事會代テ之ヲ議決ス可シ

第百二十條　內務大臣ハ市會ヲ解散セシムルコトヲ得解散ヲ命シタル場合ニ於テハ同時ニ三箇月以內更ニ議員ヲ改選ス可キコトヲ命ス可シ但改選市會ノ集會スル迄ハ府縣參事會市會ニ代テ一切ノ事件ヲ議決ス

第百二十一條　左ノ事件ニ關スル市會ノ議決ハ內務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一、市條例ヲ設ケ竝改正スル事

二、學藝、美術ニ關シ又ハ歷史上貴重ナル物品ノ賣却讓與質入書入交換若クハ大ナル變更ヲ爲ス事

前項第一ノ場合ニ於テハ勅裁ヲ經テ之ヲ許可ス可シ

第百二十二條　左ノ事件ニ關スル市會ノ議決ハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一、新ニ市ノ負債ヲ起シ又ハ負債額ヲ增加シ及第百六條第二項ノ例ニ違フモノ但償還期限三年以內ノモノハ此限ニ在ラス

二、市特別稅竝使用料、手數料ヲ新設シ增額シ又ハ變更スル事

三、地租七分ノ一其他直接國稅百分ノ五十ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事

四、間接國稅ニ附加稅ヲ賦課スル事

五、法律勅令ノ規定ニ依リ官廳ヨリ補助スル步合金ニ對シ支出金額ヲ定ムル事

第百二十三條　左ノ事件ニ關スル市會ノ議決ハ府縣參事會ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一、市ノ營造物ニ關スル規則ヲ設ケ竝改正

スル事
二、基本財産ノ處分ニ關スル事（第八十一條）
三、市有不動産ノ賣却讓與竝質入書入ヲ爲ス事
四、各個人特ニ使用スル市有土地使用法ノ變更ヲ爲ス事（第八十六條）
五、各種ノ保證ヲ與フル事
六、法律勅令ニ依テ負擔スル義務ニ非スシテ向五箇年以上ニ亘リ新ニ市住民ニ負擔ヲ課スル事
七、均一ノ稅率ニ據ラスシテ國稅府縣稅ニ附加稅ヲ賦課スル事（第九十條第二項）
八、第九十九條ニ從ヒ數個人又ハ市内ノ一區ニ費用ヲ賦課スル事
九、第百一條ノ準率ニ據ラスシテ夫役及現品ヲ賦課スル事
第百二十四條　府縣知事ハ市長、助役、市參事會員、委員、區長其他市吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其懲戒處分ハ譴責及過怠金トス其過怠金ハ二十五圓以下トス
追テ市吏員ノ懲戒法ヲ設クル迄ハ左ノ區別ニ從ヒ官吏懲戒例ヲ適用ス可シ
一、市參事會ノ懲戒處分（第六十四條第二項第五）ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ府縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
二、府縣知事ノ懲戒處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
三、本條第一項ニ揭載スル市吏員職務ニ違フコト再三ニ及ヒ又ハ其情狀重キ者又ハ行狀ヲ亂リ廉恥ヲ失フ者、財產ヲ浪費シ其分ヲ守ラサル者又ハ職務擧ラサル者ハ懲戒裁判ヲ以テ其職ヲ解クコトヲ得其隨時解職スルコトヲ得可キ者ハ（第六十三條）懲戒裁判ヲ以テスルノ限ニ在ラス
第百二十六條　市吏員及使丁其職務ヲ盡サス又ハ公益上ノ必要アルトキハ關係者ノ異議ニ拘ハラス町村ヲ合併シ又ハ其境界ヲ變更スルコトアル可シ
本條ノ處分ニ付其町村トキハ併セテ之ヲ議決ス可シ
第百二十七條　府縣參事會及市參事會ハ市吏員ノ懲戒處分ニ關スル爭論ハ郡參事會ノ裁決ヲ經過セサル者及六年間町村ノ選舉ニ參與シ町村ノ名譽職ニ選擧セラルヽノ權利アリ又其名譽職ヲ擔任スルハ町村公民ノ義務ナリトス」左ノ理由アルニ非サレハ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職スルコトヲ得ス
一、疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者
二、營業ノ爲メニ常ニ其町村内ニ居ルコトヲ得サル者
三、年齡滿六十歲以上ノ者
四、官職ノ爲メニ町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者
五、四年間無給ニシテ町村吏員ノ職ニ任シ爾後四年ヲ經過セサル者及六年間町村議員ノ職ニ居リ爾後六年ヲ經過セサル者
六、其他町村會ノ議決ニ於テ正當ノ理由アリト認ムル者
前項ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ若クハ無任期ノ職務ヲ少クモ三年間擔當セス又ハ其職務ヲ實際ニ執行セサル者ハ町村會ノ議決ヲ以テ三年以上六年以下其町村公民タルノ權ヲ停止シ且同年期間其負擔ス可キ町村費ノ八分一乃至四分一ヲ增課スルコトヲ得
前項町村會ノ議決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第九條　町村公民タル者第七條ニ揭載スル要件ノ一ヲ失フトキハ其公民タルノ權ヲ失フモノトス町村公民タル者身代限處分中又ハ公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重輕罪ノ爲メ裁判上ノ訊問若クハ勾留中又ハ租稅滯

第百二十八條　此法律ニ依リ初テ議員ヲ選擧スルニ付市參事會及市會ノ職務竝市條例ヲ以テ定ム可キ事項ハ府縣知事又ハ其指命スル官吏ニ於テ之ヲ施行ス可シ
第百二十九條　社寺宗教ノ組合ニ關シテハ此法律ヲ適用セス現行ノ例規及其地ノ習慣ニ從フ
第百三十條　此法律中ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依リ現役軍人ヲ除キタル數ヲ云フ
第百三十一條　現行ノ租稅中此法律ニ於テ直接稅又ハ間接稅トス可キ類別ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス
第百三十二條　明治九年十月第百三十號布告各區町村金穀公借共有物取扱土木起功規則、明治十一年七月第十七號布告郡區町村編制法第四條、明治十七年五月第十四號布告區町村會法、明治十七年五月第十五號布告、明治十七年七月第二十三號布告、明治十八年八月第二十五號布告其他此法律ニ抵觸スル成規ハ此法律施行ノ日ヨリ總テ之ヲ廢止ス
第百三十三條　内務大臣ハ此法律實行ノ責任シ之カ爲メ必要ナル命令及訓令ヲ發布ス可シ

○町村制

明治二十一年四月二十五日法律第一號

町村制

第一章　總則

第一款　町村及其區域
第二款　町村住民及其權利義務
第三款　町村條例

第二章　町村會

第一款　組織及選擧
第二款　職務權限及處務規程
第三章　町村行政
第一款　町村吏員ノ組織選任
第二款　町村吏員ノ職務權限
第三款　給料及給與
第四章　町村有財産ノ管理
第一款　町村有財産及町村稅
第二款　町村ノ歲入出豫算及決算
第五章　町村内各部ノ行政
第六章　町村組合
第七章　町村行政ノ監督
第八章　附則

町村制

第一章　總則

第一款　町村及其區域
第一條　此法律ハ市制ヲ施行スル地ヲ除キ總テ町村ニ施行スルモノトス
第二條　町村ハ法律上一個人ト均ク權利ヲ有シ義務ヲ負擔シ凡町村公共ノ事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ自ラ之ヲ處理スルモノトス
第三條　凡町村ハ從來ノ區域ヲ存シテ之ヲ變更セス但將來其變更ヲ要スルコトアルトキハ此法律ニ準據ス可シ
第四條　町村ノ廢置分合ヲ要スルトキハ關係アル市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會之ヲ議決シ内務大臣ノ許可ヲ受ク可シ
町村境界ノ變更ヲ要スルトキハ關係アル町村會及地主ノ意見ヲ聞キ郡參事會之ヲ議決ス其數郡ニ涉リ若クハ市ノ境界ニ涉ルモノハ府縣參事會之ヲ議決ス

納處分中ハ其公民タルノ權ヲ停止ス

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ町村ノ公務ニ參與セサルモノトス

町村公民タル者ニ限リテ任ス可キ職務ニ在ル者本條ノ場合ニ當ルトキハ其職務ヲ解ク可キモノトス

第三款　町村條例

第十條　町村ノ事務及町村住民ノ權利義務ニ關シ此法律中ニ明文ナク又ハ特例ヲ設クルコトヲ許セル事項ハ各町村ニ於テ特ニ條例ヲ設ケテ之ヲ規定スルコトヲ得

町村ニ於テハ其町村ノ設置ニ係ル營造物ニ關シ規則ヲ設クルコトヲ得

町村條例及規則ハ法律命令ニ抵觸スルコトヲ得ス且之ヲ發行スルトキハ地方慣行ノ公告式ニ依ル可シ

第二章　町村會

第一款　組織及選擧

第十一條　町村會議員ハ其町村ノ選擧人其被選擧權アル者ヨリ之ヲ選擧ス其定員ハ其町村ノ人口ニ準シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ定ム但町村條例ヲ以テ特ニ之ヲ增減スルコトヲ得

一　人口千五百未滿ノ町村ニ於テハ　議員八人
一　人口千五百以上五千未滿ノ町村ニ於テハ　議員十二人
一　人口五千以上一萬未滿ノ町村ニ於テハ　議員十八人
一　人口一萬以上二萬未滿ノ町村ニ於テハ　議員二十四人
一　人口二萬以上ノ町村ニ於テハ　議員三十人

第十二條　町村公民（第七條）ハ總テ選擧權ヲ有ス但其公民權ヲ停止セラルヽ者（第八條第三項、第九條第二項）及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニ在ラス

凡内國人ニシテ公權ヲ有シ直接町村稅ヲ納ムル者其額町村公民ノ最多ク納稅スル者三名中ノ一人ヨリモ多キトキハ第七條ノ要件ニ當ラスト雖モ選擧權ヲ有ス但公民權ヲ停止セラルヽ者及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニ在ラス

法律ニ從テ設立シタル會社其他法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキモ亦同シ

第十三條　選擧人ハ分テ二級ト爲ス

選擧人中直接町村稅ノ納額多キ者ヲ合セテ選擧人全員ノ納ムル總額ノ半ニ當ル可キ者ヲ一級トシ爾餘ノ選擧人ヲ二級トス

一級二級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ一級ニ入ル可シ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名以上アルトキハ其町村內ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ一級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年齡ヲ以テシ年齡ニモ依リ難キトキハ町村長抽籤ヲ以テ之ヲ定ム可シ

選擧人每級各別ニ議員ノ半數ヲ選擧ス其被選擧人ハ同級內ノ者ニ限ラス兩級ニ通シテ選擧セラルヽコトヲ得

第十四條　特別ノ事情アリテ前條ノ例ニ依リ難キ町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ別ニ選擧ノ特例ヲ設クルコトヲ得

第十五條　選擧權ヲ有スル町村公民（第十二條第一項）ハ總テ被選擧權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ町村會議員タルコトヲ得ス

一、所屬府縣郡ノ官吏
二、有給ノ町村吏員
三、檢察官及警察官吏
四、神官僧侶及其他諸宗教師
五、小學校教員

其他官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受ク可シ

代言人ニ非スシテ他人ノ爲メニ裁判所又ハ其他ノ官廳ニ對シテ事ヲ辨スルヲ以テ業ト爲ス者ハ議員ニ選擧セラルヽコトヲ得ス

父子兄弟タルノ緣故アル者ハ同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス其同時ニ選擧セラレタルトキハ投票ノ數ニ依テ其多キ者一人ヲ當選トシ若シ同數ナレハ年長者ヲ當選トス其時ヲ異ニシテ選擧セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス

町村長若クハ助役トノ間父子兄弟タルノ緣故アル者ハ之ト同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス若シ議員トノ間ニ其緣故アル者町村長若クハ助役ニ選擧セラレ認可ヲ受クルトキハ其緣故アル議員ハ其職ヲ退ク可シ

第十六條　議員ハ名譽職トス其任期ハ六年トシ每三年各級ニ於テ其半數ヲ改選ス若シ各級ノ議員二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回ニ於テ解任ス可キ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

退任ノ議員ハ再選セラルヽコトヲ得

第十七條　議員中闕員アルトキハ每三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補闕選擧ヲ行フ可シ若シ定員三分ノ一以上闕員アルトキ又ハ町村會町村長若クハ郡長ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ムルトキハ定期前ト雖モ其補闕選擧ヲ行フ可シ

補闕議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

定期改選及補闕選擧トモ前任者ノ選擧セラレタル選擧等級ニ從テ之カ選擧ヲ行フ可シ

第十八條　町村長ハ選擧ヲ行フ每ニ其選擧前六十日ヲ限リ選擧原簿ヲ製シ各選擧人ノ資格ヲ記載シ此原簿ニ據リテ選擧人名簿ヲ製ス可シ

選擧人名簿ハ七日間町村役場ニ於テ之ヲ關係者ノ縱覽ニ供ス可シ若シ關係者ニ於テ訴願セントスルコトアルトキハ同期限內ニ之ヲ町村長ニ申立ツ可シ町村長ハ町村會ノ裁決（第三十七條第一項）ニ依リ名簿ヲ修正ス可キトキハ選擧前十日ヲ限リテ之ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿トナシ之ニ登錄セラレサル者ハ何人タリトモ選擧ニ關スルコトヲ得ス」

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ當選ヲ辭シ若クハ選擧ノ無效トナリタル場合ニ於テ更ニ選擧ヲ爲ストキモ亦之ヲ適用ス

第十九條　選擧ヲ執行スルトキハ町村長ハ選擧ノ場所日時ヲ定メ及選擧ス可キ議員ノ數ヲ各級ニ分チ選擧前七日ヲ限リテ之ヲ公告ス可シ

各級ニ於テ選擧ヲ行フノ順序ハ先ツ二級ノ選擧ヲ行ヒ次ニ一級ノ選擧ヲ行フ可シ

第二十條　選擧掛ハ名譽職トシ町村長ニ於テ臨時ニ選擧人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ町村長若クハ其代理者ハ其係長トナリ選擧會ヲ開閉シ其會場ノ取締ニ任ス

第二十一條　選擧開會中ハ選擧人ノ外何人タリトモ選擧會場ニ入ルコトヲ得ス選擧人ハ選擧會場ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第二十二條　選擧ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選擧人ノ氏名ヲ記シ封緘ノ上選擧人自ラ掛長ニ差出ス可シ但選擧人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

選擧人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選擧人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入ス可シ但投票函ハ投票ヲ終ル迄之ヲ開クコトヲ得ス

第二十三條　投票ニ記載ノ人員其選擧ス可キ定數ニ過キ又ハ不足アルモ其投票ヲ無效トセス其定數ニ過クルモノハ末尾ニ記載シタル人名ヲ順次ニ棄却ス可シ

左ノ投票ハ之ヲ無效トス

一、人名ヲ記載セス又ハ記載セル人名ノ讀ミ難キモノ
二、被選擧人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
三、被選擧權ナキ人名ヲ記載スルモノ
四、被選擧人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノ

投票ノ受理竝ニ效力ニ關スル事項ハ選擧掛假ニ之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス

第二十四條　選擧ハ選擧人自ラ之ヲ行フ可シ他人ニ託シテ投票ヲ差出スコトヲ許サス

第十二條第二項ニ依リ選擧權ヲ有スル者ハ代人ヲ出シテ選擧ヲ行フコトヲ得若シ其獨立ノ男子ニ非サル者又ハ會社其他法人ニ係ルトキハ必ス代人ヲ以テス可シ其代人ハ內國人ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子ニ限ル但一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス且代人ハ委任狀ヲ選擧掛ニ示シテ代理ノ證トス可シ

第二十五條　町村ノ區域廣濶ナルトキ又ハ人口稠密ナルトキハ町村會ノ議決ニ依リ區畫ヲ定メテ選擧分會ヲ設クルコトヲ得但特ニ二級選擧人ノミ此分會ヲ設クルモ妨ケナシ」

分會ノ選擧掛ハ町村長ノ選任シタル代理者ヲ以テ其長トシ第二十條ノ例ニ依リ掛員二名若クハ四名ヲ選任ス

選擧分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票函ノ儘本會ニ集メテ之ヲ合算シ總數ヲ以テ當選ヲ定ム

選擧分會ハ本會ト同日時ニ之ヲ開ク可シ其他選擧ノ手續會場ノ取締等總テ本會ノ例ニ依ル

第二十六條　議員ノ選擧ハ有效投票ノ多數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キモノハ年長者ヲ取リ同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其當選ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選擧スルトキハ（第十七條）投票數ノ最多キ者ヲ以テ殘任期ノ最長キ前任者ノ補闕ト爲シ其數相同キトキハ抽籤ヲ以テ其順序ヲ定ム

第二十七條　選擧掛ハ選擧錄ヲ製シテ選擧ノ顚末ヲ記錄シ選擧ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選擧人名簿其他關係書類ヲ合綴シテ之ニ署名ス可シ

投票ハ之ヲ選擧錄ニ附屬シ選擧ヲ結了スル

ニ至ル迄之ヲ保存ス可シ
第二十八條　選擧ヲ終リタル後選擧掛長ハ直ニ當選者ニ其當選ノ旨ヲ告知ス可シ其當選ヲ辭セントスル者ハ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツ可シ
一人ニシテ兩級ノ選擧ニ當リタルトキハ同期限内何レノ選擧ニ應ス可キコトヲ申立ツ可シ其期限内ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其選擧ヲ辭スル者トナシ第八條ノ處分ヲ爲ス可シ
第二十九條　選擧人選擧ノ效力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選擧ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得（第三十七條第一項）
町村長ハ選擧ヲ終リタル後之ヲ郡長ニ報告シ郡長ニ於テ選擧ノ效力ニ關シ異議アルトキハ訴願ノ有無ニ拘ラス郡參事會ニ付シテ處分ヲ行フコトヲ得
選擧ノ定規ニ違背スルコトアルトキハ其選擧ヲ取消シ又被選擧人中其資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其人ノ當選ヲ取消シ更ニ選擧ヲ行ハシム可シ
第三十條　當選者中其資格ノ要件ヲ有セサル者アルコトヲ發見シ又ハ就職後其要件ヲ失フ者アルトキハ其人ノ當選ハ效力ヲ失フモノトス其要件ノ有無ハ町村會之ヲ議決ス
第三十一條　小町村ニ於テハ郡參事會ノ議決ヲ經町村條例ノ規定ニ依リ町村會ヲ設ケス選擧權ヲ有スル町村公民ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第二款　職務權限及處務規程

第三十二條　町村會ハ其町村ヲ代表シ此法律ニ準據シテ町村一切ノ事件並從前特ニ委任セラレ又ハ將來法律勅令ニ依テ委任セラルル事件ヲ議決スルモノトス
第三十三條　町村會ノ議決ス可キ事件ノ概目左ノ如シ
一、町村條例及規則ヲ設ケ並改正スル事
二、町村費ヲ以テ支辨ス可キ事業但第六十九條ニ揭クル事務ハ此限ニ在ラス
三、歳入出豫算ヲ定メ豫算外ノ支出及豫算超過ノ支出ヲ認定スル事
四、決算報告ヲ認定スル事
五、法律勅令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手數料、町村税及夫役現品ノ賦課徵收ノ法ヲ定ムル事
六、町村有不動產ノ賣買交換讓受讓渡並質入書入ヲ爲ス事
七、基本財產ノ處分ニ關スル事
八、歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事
九、町村有ノ財產及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
十、町村吏員ノ身元保證金ヲ徵シ並其金額ヲ定ムル事
十一、町村ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事
第三十四條　町村會ハ法律勅令ニ依リ其職權ニ屬スル町村吏員ノ選擧ヲ行フ可シ
第三十五條　町村會ハ町村ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ町村長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理、議決ノ施行並收入支出ノ正否ヲ監査スルノ職權ヲ有ス
町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ監督官廳ニ差出スコトヲ得
第三十六條　町村會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述ス可シ
第三十七條　町村住民及公民タル權利ノ有無、選擧權及被選擧權ノ有無、選擧人名簿ノ正否並其等級ノ當否、代理ヲ以テ執行スル選擧權（第十二條第二項）及町村會議員選擧ノ效力（第二十九條）ニ關スル訴願ハ町村會之ヲ裁決ス
前項ノ訴願中町村住民及公民タル權利ノ有無並選擧權ノ有無ニ關スルモノハ町村會ノ設ケナキ町村ニ於テハ町村長之ヲ裁決ス
町村會若クハ町村長ノ裁決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
本條ノ事件ニ付テハ町村長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ爲スコトヲ得
本條ノ訴願及訴訟ノ爲メニ其執行ヲ停止スルコトヲ得ス但判決確定スルニ非サレハ更ニ選擧ヲ爲スコトヲ得ス
第三十八條　凡議員タル者ハ選擧人ノ指示若クハ委囑ヲ受ク可ラサルモノトス
第三十九條　町村會ハ町村長ヲ以テ其議長トス若シ町村長故障アルトキハ其代理タル町村助役ヲ以テ之ニ充ツ

第四十條　會議ノ事件議長及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事アルトキハ議長ニ故障アルモノトシテ其代理者之ニ代ル可シ
議長代理者共ニ故障アルトキハ町村會ハ年長ノ議員ヲ以テ議長ト爲ス可シ
第四十一條　町村長及助役ハ會議ニ列席シテ議事ヲ辨明スルコトヲ得
第四十二條　町村會ハ會議ノ必要アル毎ニ議長之ヲ招集ス若シ議員四分ノ一以上ノ請求アルトキハ必ス之ヲ招集ス可シ其招集並會議ノ事件ヲ告知スルハ急施ヲ要スル場合ヲ除クノ外少クモ開會ノ三日前タル可シ但町村會ノ議決ヲ以テ豫メ會議日ヲ定ムルモ妨ケナシ
第四十三條　町村會ハ議員三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議決スルコトヲ得ス但同一ノ議事ニ付招集再回ニ至ルモ議員猶三分ノ二ニ滿タサルトキハ此限ニ在ラス
第四十四條　町村會ノ議決ハ可否ノ多數ニ依リ之ヲ定ム可否同數ナルトキハ再議議決ス可シ若シ猶同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル
第四十五條　議員ハ自己及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ町村會ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス
議員ノ數此除名ノ爲メニ減少シテ會議ヲ開クノ定數ニ滿タサルトキハ郡參事會町村會ニ代テ議決ス
第四十六條　町村會ニ於テ町村吏員ノ選擧ヲ行フトキハ其一名毎ニ匿名投票ヲ以テ之ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス若シ過半數ヲ得ル者ナキトキハ最多數ヲ得ル者二名ヲ取リ之ニ就テ更ニ投票セシム若シ最多數ヲ得ル者三名以上同數ナルトキハ議長自ラ抽籤シテ其二名ヲ取リ更ニ投票セシム此再投票ニ於テモ猶過半數ヲ得ル者ナキトキハ抽籤ヲ以テ當選ヲ定ム其他ハ第二十二條、第二十三條、第二十四條第一項ヲ適用ス
前項ノ選擧ニハ町村會ノ議決ヲ以テ指名推選ノ法ヲ用フルコトヲ得
第四十七條　町村會ノ會議ハ公開ス但議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ得
第四十八條　議長ハ各議員ニ事務ヲ分課シ會議及選擧ノ事ヲ總理シ開會閉會並延會ヲ命シ議場ノ秩序ヲ保持ス若シ傍聽者ノ公然賛成又ハ擯斥ヲ表シ又ハ喧擾ヲ起ス者アルトキハ議長ハ之ヲ議場外ニ退出セシムルコトヲ得
第四十九條　町村會ハ書記ヲシテ議事錄ヲ製シテ其議決及選擧ノ顚末並出席議員ノ氏名ヲ記錄セシム可シ議事錄ハ會議ノ末之ヲ朗讀シ議長及議員二名以上之ニ署名ス可シ
町村會ノ書記ハ議長之ヲ選任ス
第五十條　町村會ハ其會議細則ヲ設ク可シ其細則ニ違背シタル議員ニ科ス可キ過怠金二圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得
第五十一條　第三十二條ヨリ第四十九條ニ至ルノ規定ハ之ヲ町村總會ニ適用ス

第三章　町村行政

第一款　町村吏員ノ組織選任

第五十二條　町村ニ町村長及町村助役各一名ヲ置ク可シ但町村條例ヲ以テ助役ノ定員ヲ增加スルコトヲ得
第五十三條　町村長及助役ハ町村會ニ於テ其町村公民中年齡滿三十歳以上ニシテ選擧權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選擧ス
町村長及助役ハ第十五條第二項ニ揭載スル職ヲ兼ヌルコトヲ得ス
父子兄弟タルノ緣故アル者ハ同時ニ町村長及助役ノ職ニ在ルコトヲ得ス若シ其緣故アル者助役ノ選擧ニ當ルトキハ其當選ヲ取消シ其町村長ノ選擧ニ當リテ認可ヲ得ルトキハ其緣故アル助役ハ其職ヲ退ク可シ
第五十四條　町村長及助役ノ任期ハ四年トス
町村長及助役ノ選擧ハ第四十六條ニ依テ行フ可シ但投票同數ナルトキハ抽籤ノ法ニ依ラス郡參事會之ヲ決ス可シ
第五十五條　町村長及助役ハ名譽職トス但第五十六條ノ有給町村長及有給助役ハ此限ニ在ラス
町村長ハ職務取扱ノ爲メニ要スル實費辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ受クルコトヲ得
助役ニシテ行政事務ノ一部ヲ分掌スル場合（第七十條第二項）ニ於テモ亦同シ
第五十六條　町村ノ情況ニ依リ町村條例ノ規定ヲ以テ町村長ニ給料ヲ給スルコトヲ得又大ナル町村ニ於テハ町村條例ノ規定ヲ以テ助役一名ヲ有給吏員ト爲スコトヲ得
有給町村長及有給助役ハ其町村公民タル者

ニ限ラス但當選ニ應シ認可ヲ得ルトキハ其公民タルノ權ヲ得

第五十七條　有給町村長及有給助役ハ三箇月前ニ申立ツルトキハ隨時退職ヲ求ムルコトヲ得此場合ニ於テハ退隱料ヲ受クルノ權ヲ失フモノトス

第五十八條　有給町村長及有給助役ハ他ノ有給ノ職務ヲ兼任シ又ハ株式會社ノ社長及重役トナルコトヲ得ス其他ノ營業ハ郡長ノ認許ヲ得ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第五十九條　町村長及助役ノ選擧ハ府縣知事ノ認可ヲ受ク可シ

第六十條　府縣知事前條ノ認可ヲ與ヘサルトキハ府縣參事會ノ意見ヲ聞クコトヲ要ス若シ府縣參事會同意セサルモ猶府縣知事ニ於テ認可ス可カラスト爲ストキハ自己ノ責任ヲ以テ之ニ認可ヲ與ヘサルコトヲ得

府縣知事ノ不認可ニ對シ町村長又ハ町村會ニ於テ不服アルトキハ內務大臣ニ具申シテ認可ヲ請フコトヲ得

第六十一條　町村長及助役ノ選擧其認可ヲ得サルトキハ再選擧ヲ爲ス可シ

再選擧ニシテ猶其認可ヲ得サルトキハ追テ選擧ヲ行ヒ認可ヲ得ルニ至ルノ間認可ノ權アル監督官廳ハ臨時ニ代理者ヲ選任シ又ハ町村費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ町村長及助役ノ職務ヲ管掌セシム可シ

第六十二條　町村ニ收入役一名ヲ置ク收入役ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ選任ス

收入役ハ有給吏員ト爲シ其任期ハ四年トス」

收入役ハ町村長及助役ヲ兼ヌルコトヲ得ス

其他第五十六條第二項、第五十七條及第七十六條ヲ適用ス

收入役ノ選任ハ郡長ノ認可ヲ受ク可シ若シ認可ヲ與ヘサルトキハ郡長ハ郡參事會ノ意見ヲ聞クコトヲ要ス郡參事會之ニ同意セサルモ猶郡長ニ於テ認可ス可カラスト爲ストキハ自己ノ責任ヲ以テ之ニ認可ヲ與ヘサルコトヲ得其他第六十一條ヲ適用ス

郡長ノ不認可ニ對シ町村長又ハ町村會ニ於テ不服アルトキハ府縣知事ニ具申シテ認可ヲ請フコトヲ得

收入支出ノ寡少ナル町村ニ於テハ郡長ノ許可ヲ得テ町村長又ハ助役ヲシテ收入役ノ事務ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十三條　町村ニ書記其他必要ノ附屬員並使丁ヲ置キ相當ノ給料ヲ給ス其人員ハ町村會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム但町村長ニ相當ノ書記料ヲ給與シテ書記ノ事務ヲ委任スルコトヲ得

町村附屬員ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ選任シ使丁ハ町村長之ヲ任用ス

第六十四條　町村ノ區域廣濶ナルトキ又ハ人口稠密ナルトキハ處務便宜ノ爲メ町村會ノ議決ニ依リ之ヲ數區ニ分チ毎區區長及其代理者各一名ヲ置クコトヲ得區長及其代理者ハ名譽職トス

區長及其代理者ハ町村會ニ於テ其町村ノ公民中選擧權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選擧ス區會（第百十四條）ヲ設クル區ニ於テハ其區會ニ於テ之ヲ選擧ス

第六十五條　町村ハ町村會ノ議決ニ依リ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得其委員ハ名譽職トス

委員ハ町村會ニ於テ町村會議員又ハ町村公民中選擧權ヲ有スル者ヨリ選擧シ町村長又ハ其委任ヲ受ケタル助役ヲ以テ委員長トス」

常設委員ノ組織ニ關シテハ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第六十六條　區長及委員ニハ職務取扱ノ爲メニ要スル實費辨償ノ外町村會ノ議決ニ依リ勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

第六十七條　町村吏員ハ任期滿限ノ後再選セラルヽコトヲ得

町村吏員及使丁ハ別段ノ規定又ハ規約アルモノヲ除クノ外隨時解職スルコトヲ得

第二款　町村吏員ノ職務權限

第六十八條　町村長ハ其町村ヲ統轄シ其行政事務ヲ擔任ス

町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一、町村會ノ議事ヲ準備シ及其議決ヲ執行スル事若シ町村會ノ議決其權限ヲ越エ法律命令ニ背キ又ハ公衆ノ利益ヲ害スト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメ猶其議決ヲ更メサルトキハ郡參事會ノ裁決ヲ請フ可シ其權限ヲ越エ又ハ法律勅令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於

テ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

二、町村ノ設置ニ係ル營造物ヲ管理スル事若シ特ニ之カ管理者アルトキハ其事務ヲ監督スル事

三、町村ノ歲入ヲ管理シ歲入出豫算表其他町村會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事

四、町村ノ權利ヲ保護シ町村有ノ財產ヲ管理スル事

五、町村吏員及使丁ヲ監督シ懲戒處分ヲ行フ事其懲戒處分ハ譴責及五圓以下ノ過怠金トス

六、町村ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

七、外部ニ對シテ町村ヲ代表シ町村ノ名義ヲ以テ其訴訟並和解ニ關シ又ハ他廳若クハ人民ト商議スル事

八、法律勅令ニ依リ又ハ町村會ノ議決ニ從テ使用料、手數料、町村稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事

九、其他法律命令又ハ上司ノ指令ニ依テ町村長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事

第六十九條　町村長ハ法律命令ニ從ヒ左ノ事務ヲ管掌ス

一、司法警察補助官タルノ職務及法律命令ニ依テ其管理ニ屬スル地方警察ノ事務但別ニ官署ヲ設ケテ地方警察事務ヲ管掌セシムルトキハ此限ニ在ラス

二、浦役場ノ事務

三、國ノ行政並府縣郡ノ行政ニシテ町村ニ屬スル事務但別ニ吏員ノ設ケアルトキハ此限ニ在ラス

右三項中ノ事務ハ監督官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ助役ニ分掌セシムルコトヲ得

本條ニ掲載スル事務ヲ執行スルカ爲メニ要スル費用ハ町村ノ負擔トス

第七十條　町村助役ハ町村長ノ事務ヲ補助ス

町村長ハ町村會ノ同意ヲ得テ助役ヲシテ町村行政事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得」

助役ハ町村長故障アルトキ之ヲ代理ス助役數名アルトキハ上席者之ヲ代理ス可シ

第七十一條　町村收入役ハ町村ノ收入ヲ受領シ其費用ノ支拂ヲ爲シ其他會計事務ヲ掌ルス

第七十二條　書記ハ町村長ニ屬シ庶務ヲ分掌ス

第七十三條　區長及其代理者ハ町村長ノ機關トナリ其指揮命令ヲ受ケテ區內ニ關スル町村長ノ事務ヲ補助執行スルモノトス

第七十四條　委員（第六十五條）ハ町村行政事務ノ一部ヲ分掌シ又ハ營造物ヲ管理シ若クハ監督シ又ハ一時ノ委託ヲ以テ事務ヲ處辨スルモノトス

委員長ハ委員ノ議決ニ加ハルノ權ヲ有ス助役ヲ以テ委員長ト爲ス場合ニ於テモ町村長ハ隨時委員會ニ出席シテ其委員長ト爲リ並其議決ニ加ハルノ權ヲ有ス

常設委員ノ職務權限ニ關シテハ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三款　給料及給與

第七十五條　名譽職員ハ此法律中別ニ規定アルモノヲ除クノ外職務取扱ノ爲メニ要スル實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

實費辨償額、報酬額及書記料ノ額（第六十三條第一項）ハ町村會之ヲ議決ス

第七十六條　有給町村長有給助役其他有給吏員及使丁ノ給料額ハ町村會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

町村會ノ議決ヲ以テ町村長及助役ノ給料額ヲ定ムルトキハ郡長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス郡長ニ於テ之ヲ許可ス可カラスト認ムルトキハ郡參事會ノ議決ニ付シテ之ヲ確定ス

第七十七條　町村條例ノ規定ヲ以テ有給吏員ノ退隱料ヲ設クルコトヲ得

第七十八條　有給吏員ノ給料、退隱料其他第七十五條ニ定ムル給與ニ關シテ異議アルトキハ關係者ノ申立ニ依リ郡參事會之ヲ裁決ス其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七十九條　退隱料ヲ受クル者官職又ハ府縣郡市町村及公共組合ノ職務ニ就キ給料ヲ受クルトキハ其間之ヲ停止シ又ハ更ニ退隱料ヲ受クルノ權ヲ得ルトキハ其額舊退隱料ト同額以上ナルトキハ舊退隱料ハ之ヲ廢止ス

第八十條　給料、退隱料、報酬及辨償等ハ總テ町村ノ負擔トス

第四章　町村有財產ノ管理

第一款　町村有財產及町村稅

第八十一條　町村ハ其不動產、積立金穀等ヲ以テ基本財產ト爲シ之ヲ維持スルノ義務アリ

臨時ニ收入シタル金穀ハ基本財產ニ加入スヘシ但寄附金等寄附者其使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此限ニ在ラス

第八十二條　凡町村有財產ハ全町村ノ爲メニ之ヲ管理シ及共用スルモノトス但特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラス

第八十三條　舊來ノ慣行ニ依リ町村住民中特ニ其町村有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ町村會ノ議決ヲ經ルニ非サレハ其舊慣ヲ改ムルコトヲ得ス

第八十四條　町村住民中特ニ其町村有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ得シトスル者アルトキハ町村條例ノ規定ニ依リ使用料若クハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料加入金ヲ共ニ徵收シテ之ヲ許可スルコトヲ得但特ニ民法上使用ノ權利ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス

第八十五條　使用權ヲ有スル者（第八十三條第八十四條）ハ使用ノ多寡ニ準シテ其土地物件ニ係ル必要ナル費用ヲ分擔スヘキモノトス

第八十六條　町村會ハ町村ノ爲メニ必要ナル場合ニ於テハ使用權（第八十三條第八十四條）ヲ取上ケ又ハ制限スルコトヲ得但特ニ民法上使用ノ權利ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス

第八十七條　町村有財產ノ賣却貸與又ハ建築工事及物品調達ノ請負ハ公ケノ入札ニ付スヘシ但臨時急施ヲ要スルトキ及入札ノ慣額其費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ町村會ノ認許ヲ得ルトキハ此限ニ在ラス

第八十八條　町村ハ其必要ナル支出及從前法律命令ニ依テ賦課セラレ又ハ將來法律勅令ニ依テ賦課セラルヽ支出ヲ負擔スルノ義務アリ

町村ハ其財產ヨリ生スル收入及使用料、手數料（第八十九條）竝科料、過怠金其他法律勅令ニ依リ町村ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ猶不足アルトキハ町村稅（第九十條）及夫役現品（第百一條）ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第八十九條　町村ハ其所有物及營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ數個人ノ爲メニスル事業ニ付使用料又ハ手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第九十條　町村稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキ目左ノ如シ

一、國稅府縣稅ノ附加稅

二、直接又ハ間接ノ特別稅

第九十一條　此法律ニ規定セル條項ヲ除クノ外使用料、手數料（第八十九條）特別稅（第九十條第一項第二）及從前ノ町村費ニ關スル細則ハ町村條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ其條例ニハ科料一圓九十五錢以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

科料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ町村長之ヲ掌ル其處分ニ不服アル者ハ令狀交付後十四日以內ニ司法裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十二條　三箇月以上町村內ニ滯在スル者ハ其町村稅ヲ納ムルモノトス但其課稅ハ滯在ノ初ニ遡リ徵收スヘシ

第九十三條　町村內ニ住居ヲ構ヘ又ハ三箇月以上滯在スルコトナシト雖モ町村內ニ土地家屋ヲ所有シ又ハ營業ヲ爲ス者（店舖ヲ定メサル行商ヲ除ク）ハ其土地家屋營業若クハ其所得ニ對シテ賦課スル町村稅ヲ納ムルモノトス其法人タルトキモ亦同シ但郵便電信及官設鐵道ノ業ハ此限ニ在ラス

第九十四條　所得稅ニ附加稅ヲ賦課シ及町村ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課セントスルトキハ納稅者ノ町村外ニ於ケル所有ノ土地家屋又ハ營業（店舖ヲ定メサル行商ヲ除ク）ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

第九十五條　數市町村ニ住居ヲ構ヘ又ハ滯在スル者ニ前條ノ町村稅ヲ賦課スルトキハ其所得ヲ各市町村ニ平分シ其一部分ニノミ課稅スヘシ但土地家屋又ハ營業ヨリ收入スル所得ハ此限ニ在ラス

第九十六條　所得稅法第三條ニ揭クル所得ハ町村稅ヲ免除ス

第九十七條　左ニ揭クル物件ハ町村稅ヲ免除ス

一、政府、府縣郡市町村及公共組合ニ屬シ直

接ノ公用ニ供スル土地、營造物及家屋

二、社寺及官立公立ノ學校病院其他學藝、美術及慈善ノ用ニ供スル土地、營造物及家屋

三、官有ノ山林又ハ荒蕪地但官有山林又ハ荒蕪地ノ利益ニ係ル事業ヲ起シ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ得テ其費用ヲ徵收スルハ此限ニ在ラス

新開地及開墾地ハ町村條例ニ依リ年月ヲ限リ免稅スルコトヲ得

第九十八條　前二條ノ外町村稅ヲ免除スヘキモノハ別段ノ法律勅令ニ定ムル所ニ從フ皇族ニ係ル町村稅ノ賦課ハ迫テ法律勅令ヲ以テ定ムル迄現令ノ例ニ依ル

第九十九條　數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修繕及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課スヘシ

町村內ノ一部ニ於テ專ラ使用スル營造物アルトキハ其部內ニ住居シ若クハ滯在シ又ハ土地家屋ヲ所有シ營業（店舖ヲ定メサル行商ヲ除ク）ヲ爲ス者ニ於テ其修繕及保存ノ費用ヲ負擔ス可シ但其一部ノ所有財產アルトキハ其收入ヲ以テ先ツ其費用ニ充ツ可シ

第百條　町村稅ハ納稅義務ノ起リタル翌月ノ初ヨリ免稅理由ノ生シタル月ノ終迄月割ヲ以テ之ヲ徵收ス可シ

會計年度中ニ於テ納稅義務消滅シ又ハ變更スルトキハ納稅者ヨリ之ヲ町村長ニ屆出ツ可シ其屆出ヲ爲シタル月ノ終迄ハ從前ノ稅ヲ徵收スルコトヲ得

第百一條　町村公共ノ事業ヲ起シ又ハ公共ノ安寧ヲ維持スルカ爲メニ夫役及現品ヲ以テ納稅者ニ賦課スルコトヲ得但學藝、美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外直接町村稅ヲ準率ト爲シ且ツ之ヲ金額ニ算出シテ賦課ス可シ

夫役ヲ課セラレタル者ハ其便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又急迫ノ場合ヲ除クノ外金圓ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第百二條　町村ニ於テ徵收スル使用料、手數料（第八十九條）町村稅（第九十條）夫役ニ代フル金圓（第百一條）共有物使用料及加入金（第八十四條）其他町村ノ收入ヲ定期內ニ納メサルトキハ町村長ハ之ヲ督促シ猶之ヲ完意見ヲ以テ會計年度內ニ限リ納稅延期ヲ許スコトヲ得其年度ヲ越ユル場合ニ於テハ町村會ノ議決ニ依ル

納稅者中無資力ナル者アルトキハ町村長ノ徵收金ノ追徵、期滿得免及先取特權ニ付テハ國稅ニ關スル規則ヲ適用ス

第百三條　地租ノ附加稅ハ地租ノ納稅者ニ賦課シ其他土地ニ對シテ賦課スル町村稅ハ其所有者又ハ使用者ニ賦課スルコトヲ得

第百四條　町村稅ノ賦課ニ對スル訴願ハ賦課令狀ノ交付後三箇月以內ニ之ヲ町村長ニ申立ツ可シ此期限ヲ經過スルトキハ其年度內減稅免稅及償還ヲ請求スルノ權利ヲ失フモノトス

第百五條　町村稅ノ賦課及町村ノ營造物、町村有ノ財產竝其所得ヲ使用スル權利ニ關スル訴願ハ町村長之ヲ裁決ス但民法上ノ權利ニ係ルモノハ此限ニ在ラス

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ訴願及訴訟ノ爲メニ其處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第百六條　町村ニ於テ公債ヲ募集スルハ從前ノ公債元額ヲ償還スル爲メ又ハ天災時變等已ムヲ得サル支出若クハ町村永久ノ利益トナル可キ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歲入ヲ增加スルトキハ其町村住民ノ負擔ニ堪ヘサルノ場合ニ限ルモノトス

町村會ニ於テ公債募集ノ事ヲ議決スルトキハ併セテ其募集ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ムル可シ償還ノ初期ハ三年以內ニ爲シ年々償還ノ歩合ヲ定メ募集ノ時ヨリ三十年以內ニ還了ス可シ

定額豫算內ノ支出ヲ爲スカ爲メ必要ナル一時ノ借入金ハ本條ノ例ニ依ラス其年度內ノ收入ヲ以テ償還ス可キモノトス

第二款　町村ノ歲入出豫算及決算

第百七條　町村長ハ每會計年度收入支出ノ豫

知シ得可キ金額ヲ見積リ年度前二箇月ヲ限リ歳入出豫算表ヲ調製ス可シ但町村ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

内務大臣ハ省令ヲ以テ豫算表調製ノ式ヲ定ムルコトヲ得

第百八條　豫算表ハ會計年度前町村會ノ議決ヲ取リ之ヲ郡長ニ報告シ竝地方慣行ノ方式ヲ以テ其要領ヲ公告ス可シ

豫算表ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併セテ其町村事務報告書及財産明細表ヲ提出ス可シ

第百九條　定額豫算外ノ費用又ハ豫算ノ不足アルトキハ町村會ノ認定ヲ得テ之ヲ支出スルコトヲ得

定額豫算中臨時ノ場合ニ支出スルカ爲メニ豫備費ヲ置キ町村長ハ豫メ町村會ノ認定ヲ受ケスシテ豫算外ノ費用又ハ豫算超過ノ費用ニ充ツルコトヲ得但町村會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第百十條　町村會ニ於テ豫算表ヲ議決シタルトキハ町村長ヨリ其謄寫ヲ以テ之ヲ收入役ニ交付ス可シ其豫算表中監督官廳若クハ參事會ノ許可ヲ受ク可キ事項アルトキハ（第百二十五條ヨリ第百二十七條ニ至ル）先ツ其許可ヲ受ク可シ

收入役ハ町村長（第六十八條第二項第三）又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス又收入役ハ町村長ノ命令ヲ受クルモ其支出豫算表中ニ豫定ナキカ又ハ其命令第百九條ノ規定ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ニ背キタル支拂ハ總テ收入役ノ責任ニ歸ス

第百十一條　町村ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ檢査シ及毎年少クモ一回臨時檢査ヲ爲ス可シ例月檢査ハ町村長又ハ其代理者之ヲ爲シ臨時檢査ハ町村長又ハ其代理者ノ外町村會ノ互選シタル議員一名以上ノ立會ヲ要ス

第百十二條　決算ハ會計年度ノ終ヨリ三箇月以内ニ之ヲ結了シ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ町村長ニ提出シ町村長ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シテ之ヲ町村會ノ認定ニ付ス可シ第六十二條第六項ノ場合ニ於テハ前例ニ依リ町村長ヨリ直ニ之ヲ町村會ニ提出ス可シ其町村會ノ認定ヲ經タルトキハ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告ス可シ

第百十三條　決算報告ヲ爲ストキハ第四十條ノ例ニ準シテ議長代理者共ニ故障アルモノトス

第五章　町村内各部ノ行政

第百十四條　町村内ノ區（第六十四條）又ハ町村内ノ一部若クハ合併町村（第四條）ニシテ別ニ其區域ヲ存シテ一區ヲ爲スモノ特別ニ財産ヲ所有シ若クハ營造物ヲ設ケ其一區限リ特ニ其費用（第九十九條）ヲ負擔スルトキハ郡參事會ハ其町村會ノ意見ヲ聞キ條例ヲ發行シ財産及營造物ニ關スル事務ノ爲メ區會又ハ區總會ヲ設クルコトヲ得其會議ハ町村會ノ例ヲ適用スルコトヲ得

第百十五條　前條ニ記載スル事務ハ町村ノ行政ニ關スル規則ニ依リ町村長之ヲ管理ス可シ但區ノ出納及會計ノ事務ハ之ヲ分別ス可シ

第六章　町村組合

第百十六條　數町村ノ事務ヲ共同處分スル爲メ其協議ニ依リ監督官廳ノ許可ヲ得テ其町村ノ組合ヲ設クルコトヲ得

法律上ノ義務ヲ負擔スルニ堪フ可キ資力ヲ有セサル町村ニシテ他ノ町村ト合併（第四條）スルノ協議整ハス又ハ其事情ニ依リ合併ヲ不便ト爲ストキハ郡參事會ノ議決ヲ以テ數町村ノ組合ヲ設ケシムルコトヲ得

第百十七條　町村組合ヲ設クルノ協議ヲ爲ストキハ（第百十六條第一項）組合會議ノ組織、事務ノ管理方法竝其費用ノ支辨方法ヲ併セテ規定ス可シ

前條第二項ノ場合ニ於テハ其關係町村ノ協議ヲ以テ組合費用ノ分擔法等其他必要ノ事項ヲ規定ス可シ若シ其協議整ハサルトキハ郡參事會ニ於テ之ヲ定ム可シ

第百十八條　町村組合ハ監督官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ解クコトヲ得ス

第七章　町村行政ノ監督

第百十九條　町村ノ行政ハ第一次ニ於テ郡長之ヲ監督シ第二次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第三次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス但法律ニ指定シタル場合ニ於テ郡參事會及府縣參事會ノ參與スルハ別段ナリトス

第百二十條　此法律中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外凡町村ノ行政ニ關スル郡長若クハ

郡參事會ノ處分若クハ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事若クハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

町村ノ行政ニ關スル訴願ハ處分書若クハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出ス可シ但此法律中別ニ期限ヲ定ムルモノハ此限ニ在ラス

此法律中ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁判所ニ出訴セントスル者ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ二十一日以内ニ出訴ス可シ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許シタル場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

訴願及訴訟ヲ提出スルトキハ處分又ハ裁決ノ執行ヲ停止ス但此法律中別ニ規定アリ又ハ當該官廳ノ意見ニ依リ其停止ノ爲メニ町村ノ公益ニ害アリト爲ストキハ此限ニ在ラス

第百二十一條　監督官廳ハ町村行政ノ法律命令ニ背戻セサルヤ其事務錯亂澁滯セサルヤ否ヲ監視ス可シ監督官廳ハ之カ爲メニ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徵シ竝實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

第百二十二條　町村又ハ其組合ニ於テ法律勅令ニ依テ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依テ命令スル所ノ支出ヲ定額豫算ニ載セス又ハ臨時之ヲ承認セス又ハ實行セサルトキハ郡長ハ理由ヲ示シテ其支出額ヲ定額豫算表ニ加ヘ又ハ臨時支出セシム可シ

町村又ハ其組合ニ於テ前項ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第百二十三條　凡町村會ニ於テ議決ス可キ事件ヲ議決セサルトキハ郡參事會代テ之ヲ議決ス可シ

第百二十四條　内務大臣ハ町村會ヲ解散セシムルコトヲ得解散ヲ命シタル場合ニ於テハ同時ニ三箇月以内更ニ議員ヲ改選ス可キコトヲ命ス可シ但改選町村會ノ集會スル迄ハ郡參事會町村會ニ代テ一切ノ事件ヲ議決ス

第百二十五條　左ノ事件ニ關スル町村會ノ議決ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一、町村條例ヲ設ケ竝改正スル事

二、學藝、美術ニ關シ又ハ歷史上貴重ナル物品ノ賣却讓與質入書入交換若クハ大ナル變更ヲ爲ス事

前項第一ノ場合ニ於テ人口一萬以上ノ町村ニ係ルトキハ勅裁ヲ經テ之ヲ許可ス可シ

第百二十六條　左ノ事件ニ關スル町村會ノ議決ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一、新ニ町村ノ負債ヲ起シ又ハ負債額ヲ增加シ及第百六條第二項ノ例ニ違フモノ但償還期限三年以内ノモノハ此限ニ在ラス

二、町村特別稅竝使用料、手數料ヲ新設シ增額シ又ハ變更スル事

三、地租七分ノ一其他直接國稅百分ノ五十ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事

四、間接國稅ニ附加稅ヲ賦課スル事

五、法律勅令ノ規定ニ依リ官廳ヨリ補助スル步合金ニ對シ支出金額ヲ定ムル事

第百二十七條　左ノ事件ニ關スル町村會ノ議決ハ郡參事會ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一、町村ノ營造物ニ關スル規則ヲ設ケ竝改正スル事

二、基本財産ノ處分ニ關スル事（第八十一條）

三、町村有不動産ノ賣却讓與竝質入書入ヲ爲ス事

四、各個人特ニ使用スル町村有土地使用法ノ變更ヲ爲ス事（第八十六條）

五、各種ノ保證ヲ與フル事

六、法律勅令ニ依テ負擔スル義務ニ非スシテ向五箇年以上ニ亙リ新ニ町村住民ニ負擔ヲ課スル事

七、均一ノ稅率ニ據ラスシテ國稅府縣稅ニ附加稅ヲ賦課スル事（第九十條第二項）

八、第九十九條ニ從ヒ數個人又ハ町村内ノ一部ニ費用ヲ賦課スル事

九、第百一條ノ準率ニ據ラスシテ夫役及現品ヲ賦課スル事

第百二十八條　府縣知事郡長ハ町村長、助役、委員、區長其他町村吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其懲戒處分ハ譴責及過怠金トス郡長ノ處分ニ係ル過怠金ハ十圓以下府縣

知事ノ處分ニ係ルモノハ二十五圓以下トス

迫テ町村吏員ノ懲戒法ヲ設クル迄ハ左ノ區別ニ從ヒ官吏懲戒例ヲ適用スヘシ

一、町村長ノ懲戒處分（第六十八條第二項第五）ニ不服アル者ハ郡長ニ訴願シ其郡長ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其府縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

二、郡長ノ懲戒處分ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ府縣知事ノ懲戒處分及其裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

三、本條第一項ニ掲載スル町村吏員職務ニ違フコト再三ニ及ヒ又ハ其情狀重キ者又ハ行狀ヲ亂リ廉恥ヲ失フ者、財產ヲ浪費シ其分ヲ守ラサル者又ハ職務擧ラサル者ハ懲戒裁判ヲ以テ其職ヲ解クコトヲ得其隨時解職スルコトヲ得可キ者ハ（第六十七條）懲戒裁判ヲ以テスルノ限ニ在ラス

總テ解職セラレタル者ハ自己ノ所爲ニ非スシテ職務ヲ執ルニ堪ヘサルカ爲メ解職セラレタル場合ヲ除クノ外退隱料ヲ受クルノ權ヲ失フモノトス

四、懲戒裁判ハ郡長其審問ヲ爲シ郡參事會之ヲ裁決ス其裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得」

監督官廳ハ懲戒裁判ノ裁決前吏員ノ停職ヲ命シ竝給料ヲ停止スルコトヲ得

第百二十九條　町村吏員及使丁其職務ヲ盡サス又ハ權限ヲ越エタル事アルカ爲メ町村ニ對シテ賠償ス可キコトアルトキハ郡參事會之ヲ裁決ス其裁決ニ不服アル者ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ七日以內ニ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但訴願ヲ爲シタルトキハ郡參事會ハ假ニ其財產ヲ差押フルコトヲ得

第八章　附則

第百三十條　郡參事會、府縣參事會及行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間郡參事會ノ職務ハ郡長、府縣參事會ノ職務ハ府縣知事、行政裁判所ノ職務ハ內閣ニ於テ之ヲ行フ可シ

第百三十一條　此法律ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ付町村長及町村會ノ職務竝町村條例及町村會ノ議事項ハ郡長又ハ其指命スル官吏ニ於テ之ヲ施行ス可シ

第百三十二條　此法律ハ北海道、沖繩縣其他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ニ之ヲ施行セス別ニ勅令ヲ以テ其制ヲ定ム

第百三十三條　前條ノ外特別ノ事情アル地方ニ於テハ町村會及町村長ノ具申又ハ郡參事會ノ具申ニ依リ勅令ヲ以テ此法律中ノ條規ヲ中止スルコトアル可シ

第百三十四條　社寺宗教ノ組合ニ關シテハ此法律ヲ適用セス現行ノ例規及其地ノ習慣ニ從フ

第百三十五條　此法律中ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依リ現役軍人ヲ除キタル數ヲ云フ

第百三十六條　現行ノ租稅中此法律ニ於テ直接稅又ハ間接稅トス可キ類別ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

第百三十七條　此法律ハ明治二十二年四月一日ヨリ地方ノ情況ヲ裁酌シ府縣知事ノ具申ニ依リ內務大臣ノ指揮ヲ以テ之ヲ施行ス可シ

第百三十八條　明治九年十月第百三十號布告各區町村金穀公借共有物取扱土木起功規則、明治十一年七月第十七號布告郡區町村編制法第六條及第九條但書、明治十七年五月第十四號布告區町村會法、明治十七年五月第十五號布告、明治十七年七月第二十三號布告、明治十八年八月第二十五號布告其他此法律ニ抵觸スル成規ハ此法律施行ノ日ヨリ總テ之ヲ廢止ス

第百三十九條　內務大臣ハ此法律實行ノ責ニ任シ之カ爲メ必要ナル命令及訓令ヲ發布ス可シ

○市制中特例

（明治二十二年三月二十三日法律第十二號）

一東京市京都市大阪市ニ於テハ市長及助役ヲ置カス市長ノ職務ハ府知事之ヲ行ヒ助役ノ職務ハ書記官之ヲ行フ

一東京市京都市大阪市ノ市參事會ハ府知事書記官及名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス

一東京市京都市大阪市ニ於テハ收入役書記其他ノ附屬員ヲ置カス府廳ノ官吏其職務ヲ行フ

○府縣制郡制施行地

（內務省報告）

愛知縣　山梨縣　長野縣　宮城縣
青森縣　山形縣　秋田縣　福井縣
石川縣　德島縣　高知縣　大分縣

○市制施行地

（明治二十二年二月二日內務省告示第一號同年三月十八日同第十號同年六月十日同第十八號同年九月十一日同第二十四號二十四年十月九日同第四十九號）

東京府管下　東京　京都府管下　京都
大阪府管下　大阪　神奈川縣管下　橫濱
兵庫縣管下　神戶　堺　長崎縣管下　長崎
新潟縣管下　新潟　群馬縣管下　前橋
茨城縣管下　水戶　三重縣管下　津
愛知縣管下　名古屋　靜岡縣管下　靜岡
山梨縣管下　甲府　岐阜縣管下　岐阜
宮城縣管下　仙臺　盛岡　鰺手縣管下
青森縣管下　弘前　山形縣管下　米澤
秋田縣管下　秋田　福井縣管下　福井
石川縣管下　金澤　富山縣管下　高岡　富山
鳥取縣管下　鳥取　島根縣管下　松江
岡山縣管下　岡山　廣島縣管下　廣島
山口縣管下　赤間關　和歌山縣管下　和歌山
德島縣管下　德島　香川縣管下　高松
愛媛縣管下　松山　高知縣管下　高知
福岡縣管下　福岡　久留米　佐賀縣管下　佐賀
熊本縣管下　熊本　鹿兒島縣管下　鹿兒島

○町村制不施行島嶼

（明治二十二年一月十七日勅令第一號）

東京府管下　小笠原島　伊豆七島
長崎縣管下　對馬國
島根縣管下　隱岐國
鹿兒島縣管下
大隅國大島郡　大島　德之島　喜界島　沖永良部島
與論島
薩摩國川邊郡　硫黃島　黑島　竹島　口之島　臥蛇島
平島　中之島　惡石島　諏訪之瀨島
寶島

○官職等級俸給制

○高等官官等俸給令 明治二十五年十一月十四日勅令第九十六號（抄）

一親任式ヲ以テ敍任スル官ヲ除ク外高等官ヲ分テ九等トス親任式ヲ以テ敍任スル官及一等官二等官ヲ勅任官トシ三等官乃至九等官ヲ奏任官トスル

一高等官官等ハ別ニ定ムルモノヲ除ク外本令中ノ文武高等官官等表ニ依ル

官制上他ノ官ニ在ル者ヲ以テ兼任セシメ又ハ之ニ充ツルノ官ニシテ別ニ官等ヲ定メサルモノハ本官ノ官等ニ依ル

一初メテ奏任文官ニ任セラルヽ者ノ官等ハ六等以下トス

奏任文官ヲ勤メ退官シタル者再ヒ奏任官ニ任セラルヽ場合ニ於テ其官等ハ前官ノ官等以下トス

一奏任官ノ官等ハ別ニ進級ノ例ヲ定メタルモノヲ除ク外在職滿三年ヲ踰ユルニアラサレハ陞敍スルコトヲ得ス

一高等文官ノ俸給ニ關シテ別ニ定ムル所ナキモノハ總テ本令ノ規定ニ依ル

陸海軍武官ノ俸給ニ關スル規程ハ別ニ定ムル所ニ依ル

一同一ノ官職ニシテ官等ニ依リ其俸給ヲ異ニスルモノハ本令定ムル所ノ高等文官官等相當俸給表ニ依リ各其官等ニ照シテ之ヲ給ス

一同一官職ノ同一官等内ニ於テ其俸給ニ數級アル場合ニ於テハ其等級ニ依リ事務ノ繁簡ニ從ヒ本屬長官便宜之ヲ增減スルヲ得

一年俸ハ十二分シテ毎月之ヲ支給ス

文武高等官官等表

官等＼官廳		內閣	樞密院	外務省	
勅任	親任	內閣總理大臣	樞密院議長、樞密院副議長、樞密顧問官	外務大臣	
	一等	內閣書記官長、賞勳局總裁、法制局長官	樞密院書記官長	外務次官	內務次官
	二等	同上、賞勳局副總裁、同上	同上	同上、局長	同上、局長
奏任	三等	局長、內閣書記官、內閣總理大臣秘書官、賞勳局書記官、法制局參事官	樞密院書記官	外務省參事官、外務大臣秘書官、外務書記官	同上、內務省參事官
	四等	同上、同上、同上、同上、同上、恩給局審査官	同上	同上、同上、同上	同上、同上
	五等	同上、同上、同上、同上、同上、同上	同上	同上、同上、同上、外務省翻譯官	同上、同上
	六等	同上、同上、同上、同上、同上	同上	同上、同上、同上、同上	同上
	七等	同上、同上、同上	同上	同上、同上、同上、同上	同上
	八等			同上	
	九等				

内務省	大藏省	陸軍省	海軍省	司法省
内務大臣	大藏大臣	陸軍大臣	海軍大臣	司法大臣
中央衛生會會長 同 上		陸軍次官 同	海軍次官 同 上	
靜官 勅主 同 上	大藏次官 同 局長 上	陸軍大將 陸軍中將 陸軍少將 並相當官 上	海軍大將 海軍中將 海軍少將 並相當官 上	司法次官 同 局長 上
内務大臣秘書官 同	大藏大臣秘書官 同 上	陸軍大佐 並相當官 上 同 上 同	海軍大佐 並相當官 同 上 同	司法省參事官 同
内務書記官 同	大藏省參事官 同 上	陸軍中佐 並相當官 上 同 上 同	海軍中佐 並相當官 同 上 同	司法大臣秘書官 同
中央衛生會幹事 同	大藏大臣秘書官 同	陸軍少佐 並相當官 上 同 上 同	海軍少佐 並相當官 上 同	司法書記官 同
臨時檢疫港務局次長 同 上	大藏省主計官 同	陸軍大尉 並相當官 上 同 上 同	海軍大尉 並相當官 同 上 同	
靜官 勅主 同 上	大藏省主稅官 同	陸軍中尉 並相當官 上 同 上 同	海軍中尉 並相當官 上 同	
内務大臣官房 同 上	造幣局長 同	陸軍少尉 並相當官 上 同 上 同	海軍少尉 並相當官 上 同	
内務書記官 同 上	印刷局長 同			
中央衛生會幹事 同	稅關長 同			
臨時檢疫港務局次長 同 上	稅關鑑定官 同			
衛生局長 同 上				
衛生技師 同 上				
衛生事務官 同 上				
衛生書記官 同 上				
衛生技手 同 上				
檢疫官 同 上				
檢疫醫官 同 上				
檢疫事務官 同 上				
檢疫書記官 同 上				
檢疫技手 同 上				
檢疫官補 同 上				
檢疫醫官補 同 上				
檢疫事務官補 同 上				
檢疫書記官補 同 上				
檢疫技手補 同 上				
警視總監 同 上				
警視廳官房主事 同 上				
警視廳官房書記官 同 上				
警視廳警視 同 上				
警視廳技師 同 上				
警視廳事務官 同 上				
警視廳書記官 同 上				
警視廳技手 同 上				
警視廳警部 同 上				
警視廳警部補 同 上				
警視廳巡查部長 同 上				
警視廳巡查 同 上				
警視廳看守部長 同 上				
警視廳看守 同 上				
警視廳消防監視 同 上				
警視廳消防士 同 上				
警視廳消防手 同 上				
警視廳消防組頭 同 上				
警視廳消防副組頭 同 上				
警視廳消防組 同 上				
警視廳消防副組 同 上				
警視廳消防組長 同 上				
警視廳消防副組長 同 上				
警視廳消防部長 同 上				
警視廳消防副部長 同 上				
警視廳消防監督 同 上				
警視廳消防副監督 同 上				
警視廳消防司令 同 上				
警視廳消防副司令 同 上				
警視廳消防總監 同 上				
警視廳消防副總監 同 上				

文部省	農商務省	遞信省	會計檢查院	行政裁判所
文部大臣	農商務大臣	遞信大臣		
文部次官 同 局長 上	農商務次官 同 局長 上	遞信次官 同 局長 上	會計檢查院長 同 上	行政裁判所長官 同 上
文部參事官 同	農商務參事官 同 上	遞信參事官 同	會計檢查院部長 同 上	行政裁判所評定官 同 上
文部大臣秘書官 同	農商務大臣秘書官 同	遞信大臣秘書官 同	檢查官 同 上	
文部書記官 同	農商務書記官 同	遞信書記官 同	會計檢查院書記官 同 上	
	特許局審查官 同	遞信省參事官 同		
	特許局審判官 同	一等郵便電信局長 同		
	林務官 同	航路標識管理所長 同		
	礦山監督官 同	郵便爲替貯金管理所長 同		
		船舶司檢所司檢官 同		
		商船學校長 同		
		商船學校教授 同		
		東京郵便電信學校教授 同		
		檢查官補 同		

警視廳	北海道廳	府縣	貴族院事務局	衆議院事務局	技術官
警視總監	北海道廳長官	府縣知事	貴族院書記官長	衆議院書記官長	
同上	同上	同上	同上	同上	技監
警視	北海道廳書記官 札幌農學校長	府縣書記官			技師
同上 消防司令長	同上 北海道廳警部長 北海道廳財務長 同上	同上 府縣警部長 府縣收稅長 府縣島司	貴族院書記官	衆議院書記官	同上
同上 同上 警察署長	同上 同上 同上 北海道廳參事官 北海道集治監典獄 同上	同上 同上 同上 同上 府縣參事官	同上	同上	同上
同上 同上 同上 警視廳典獄	同上 同上 同上 同上 北海道廳典獄 同上 北海道集治監分監長 北海道郡區長	同上 同上 同上 同上 同上 府縣典獄 府縣郡長 府縣立師範學校長	同上	同上	同上
同上 同上 同上	同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上	同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上	同上	同上	同上
同上 同上	同上 同上 同上 札幌農學校舍監	同上 同上 同上 同上			同上
	同上				

高等文官官等相當俸給表

官名＼等級	一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等
府縣立師範學校長						一級俸	二級俸 三級俸 四級俸	五級俸 六級俸	

○文武判任官等級表 明治二十七年四月十三日勅令第四十三號

等級	一等	二等	三等	四等	五等
各廳各局	特別俸 一級俸 二級俸	三級俸 四級俸	五級俸 六級俸	七級俸 八級俸	九級俸 十級俸

一等	二等	三等	四等	五等
各廳書記 一級俸 二級俸	各廳書記 三級俸 四級俸	各廳書記 五級俸 六級俸	各廳書記 七級俸 八級俸	各廳書記 九級俸 十級俸
公使館領事館書記生 同同	公使館領事館書記生 同同	公使館領事館書記生 同同	公使館領事館書記生 同同	公使館領事館書記生 同同
		神宮主典	神宮宮掌	
稅關鑑定吏 特別俸 一級俸 二級俸	稅關鑑定吏 同同	稅關鑑定吏 五級俸 六級俸	稅關鑑定吏 七級俸 八級俸	稅關鑑定吏 同同
稅關監吏 同同同	稅關監吏 同同	稅關監吏 同同	稅關監吏 同同	稅關監吏 同同
				稅關監吏補
陸軍砲工兵上等監護	陸軍各兵曹長並相當官	陸軍各兵一等軍曹並相當官	陸軍各兵二等軍曹並相當官	
陸軍二等軍樂長	陸軍火工曹長	陸軍火工一等軍曹	陸軍火工二等軍曹	
陸軍各兵曹長（下副官、級官補）	陸軍屯田火工曹長	陸軍屯田火工一等軍曹	陸軍屯田火工二等軍曹	
	陸軍砲工兵監護	陸軍各兵諸工長	陸軍各兵諸工下長	
	陸軍砲臺監守			
陸軍錄事 一級俸 二級俸	陸軍錄事 三級俸 四級俸	陸軍錄事 五級俸 六級俸	陸軍錄事 七級俸 八級俸	陸軍錄事 九級俸 十級俸
陸軍助教 同同	陸軍助教 同同	陸軍助教 同同	陸軍助教 同同	陸軍助教 同同
陸軍編修書記 同同	陸軍編修書記 同同	陸軍編修書記 同同	陸軍編修書記 同同	陸軍編修書記 同同
陸地測量手 同同	陸地測量手 同同	陸地測量手 同同	陸地測量手 同同	陸地測量手 同同
		陸軍馬補充署技手 一級俸 二級俸	陸軍馬補充署技手 三級俸 四級俸	陸軍馬補充署技手 五級俸 六級俸
		陸軍監獄書記 同同	陸軍監獄書記 同同	陸軍監獄書記 同同
		陸軍監獄看守長 同同	陸軍監獄看守長 同同	陸軍監獄看守長 同同
海軍上等兵曹	海軍一等兵曹	海軍二等兵曹	海軍三等兵曹	
	海軍一等信號手	海軍二等信號手	海軍三等信號手	
海軍軍樂師	海軍一等軍樂手	海軍二等軍樂手	海軍三等軍樂手	
海軍機關師	海軍一等機關手	海軍二等機關手	海軍三等機關手	
海軍船匠師	海軍一等船匠手	海軍二等船匠手	海軍三等船匠手	
	海軍一等鍛冶手	海軍二等鍛冶手	海軍三等鍛冶手	
海軍上等看護手	海軍一等看護手	海軍二等看護手	海軍三等看護手	
海軍上等主帳	海軍一等主帳	海軍二等主帳	海軍三等主帳	
海軍錄事 特別俸 一級俸 二級俸	海軍錄事 三級俸 四級俸	海軍錄事 五級俸 六級俸	海軍錄事 七級俸 八級俸	海軍錄事 九級俸 十級俸
海軍編修書記 同同同	海軍編修書記 同同	海軍編修書記 同同	海軍編修書記 同同	海軍編修書記 同同
		海軍監獄書記 一級俸 二級俸	海軍監獄書記 三級俸 四級俸	海軍監獄書記 五級俸 六級俸
		海軍監獄看守長 同同	海軍監獄看守長 同同	海軍監獄看守長 同同

一等	二等	三等	四等	五等
		望樓長 一級俸	望樓長 二級俸 三級俸	望樓長 四級俸 五級俸
			望樓手 一級俸 二級俸	望樓手 三級俸 四級俸 五級俸
帝國大學助手 特別俸 一級俸 二級俸	帝國大學助手 三級俸 四級俸	帝國大學助手 五級俸 六級俸	帝國大學助手 七級俸 八級俸	帝國大學助手 九級俸 十級俸
文部省直轄諸學校助教授 同同同	文部省直轄諸學校助教授 同同	文部省直轄諸學校助教授 同同	文部省直轄諸學校助教授 同同	文部省直轄諸學校助教授 同同
高等師範學校 女子高等師範學校 助教諭 同同同	高等師範學校 女子高等師範學校 助教諭 同同	高等師範學校 女子高等師範學校 助教諭 同同	高等師範學校 女子高等師範學校 助教諭 同同	高等師範學校 女子高等師範學校 助教諭 同同
高等師範學校 女子高等師範學校 東京盲啞學校 訓導 同同同	高等師範學校 女子高等師範學校 東京盲啞學校 訓導 同同	高等師範學校 女子高等師範學校 東京盲啞學校 訓導 同同	高等師範學校 女子高等師範學校 東京盲啞學校 訓導 同同	高等師範學校 女子高等師範學校 東京盲啞學校 訓導 同同
女子高等師範學校保姆 同同同	女子高等師範學校保姆 同同	女子高等師範學校保姆 同同	女子高等師範學校保姆 同同	女子高等師範學校保姆 同同
東京圖書館司書 同同同	東京圖書館司書 同同	東京圖書館司書 同同	東京圖書館司書 同同	東京圖書館司書 同同
審査官補 同同同	審査官補 同同	審査官補 同同	審査官補 同同	審査官補 同同
林務官補 同同同	林務官補 同同	林務官補 同同	林務官補 同同	
大林區署 鑛山監督署 書記 二級俸	大林區署 鑛山監督署 書記 同同	大林區署 鑛山監督署 書記 同同	大林區署 鑛山監督署 書記 同同	大林區署 鑛山監督署 書記 九級俸 十級俸
鑛山監督署技手 同	鑛山監督署技手 同同	鑛山監督署技手 同同	鑛山監督署技手 同同	鑛山監督署技手 同同
	營林主事 同同	營林主事 同同	營林主事 同同	營林主事 同同
			營林主事補 二十圓以上	營林主事補 八圓以上
				森林監守
遞信省鐵道書記 特別俸 一級俸 二級俸	遞信省鐵道書記 同同	遞信省鐵道書記 同同	遞信省鐵道書記 七級俸 八級俸	遞信省鐵道書記 九級俸 十級俸
遞信省鐵道技手 同同同	遞信省鐵道技手 同同	遞信省鐵道技手 同同	遞信省鐵道技手 同同	遞信省鐵道技手 同同
郵便電信書記 同同同	郵便電信書記 同同	郵便電信書記 同同	郵便電信書記 同同	郵便電信書記 同同
電信建築技手 同同同	電信建築技手 同同	電信建築技手 同同	電信建築技手 同同	電信建築技手 同同

官名	等級
郵便爲替貯金書記	特別俸 一級俸 二級俸
司檢官補	同同同
商船學校 東京郵便電信學校 助教	同同同
集治監書記	同同同
北海道廳 府縣屬	同同同
警部	同同同
警視屬	同同同
消防士	同同同
消防機關士	同同同
集治監 北海道廳 監獄醫	同同同
警視廳警察醫	同同同
監獄書記	同同同
看守長	同同同
收税屬	同同同
郡區島廳書記	同同同
札幌農學校助教授	同同同
郵便爲替貯金書記	三級俸 四級俸
司檢官補	同同
商船學校 東京郵便電信學校 助教	同同
集治監書記	同同
北海道廳 府縣屬	同同
警部	同同
警視屬	同同
消防士	同同
消防機關士	同同
集治監 北海道廳 監獄醫	同同
警視廳警察醫	同同
監獄書記	同同
看守長	同同
收税屬	同同
郡區島廳書記	同同
札幌農學校助教授	同同
郵便爲替貯金書記	五級俸 六級俸
三等郵便電信局長	
航路標識看守	特別俸
司檢官補	五級俸 六級俸
商船學校 東京郵便電信學校 助教	同同
集治監書記	同同
北海道廳 府縣屬	同同
警部	同同
警視屬	同同
消防士	同同
消防機關士	同同
集治監 北海道廳 監獄醫	同同
警視廳警察醫	同同
監獄書記	同同
看守長	同同
收税屬	同同
郡區島廳書記	同同
札幌農學校助教授	同同
郵便爲替貯金書記	七級俸 八級俸
三等郵便局長	
航路標識看守	一級俸 二級俸
司檢官補	七級俸 八級俸
商船學校 東京郵便電信學校 助教	同同
集治監書記	同同
北海道廳 府縣屬	同同
警部	同同
警視屬	同同
消防士	同同
消防機關士	同同
集治監 北海道廳 監獄醫	同同
警視廳警察醫	同同
監獄書記	同同
看守長	同同
收税屬	同同
郡區島廳書記	同同
札幌農學校助教授	同同
郵便爲替貯金書記	九級俸 十級俸
遞信省鐵道書記補 郵便電信書記補 郵便爲替貯金書記補	三級俸 四級俸 五級俸
航路標識看守	九級俸 十級俸
司檢官補	
商船學校 東京郵便電信學校 助教	同同
集治監書記	九級俸 十級俸 十二圓未滿
北海道廳 府縣屬	同同同
警部	同同同
警視屬	同同同
消防士	同同同
消防機關士	同同同
集治監 北海道廳 監獄醫	同同同
警視廳警察醫	同同同
監獄書記	同同同
看守長	同同同
收税屬	同同同
郡區島廳書記	同同同
札幌農學校助教授	九級俸 十級俸

官名	等級
貴族院 衆議院 守衛長	特別俸 一級俸 二級俸
貴族院 衆議院 守衛番長	同同同
裁判所書記	同同同
各廳技手	同同同
貴族院 衆議院 守衛長	三級俸 四級俸
貴族院 衆議院 守衛番長	同同
裁判所書記	同同
各廳技手	同同
貴族院 衆議院 守衛長	五級俸 六級俸
貴族院 衆議院 守衛番長	同同
裁判所書記	同同
各廳技手	同同
貴族院 衆議院 守衛長	七級俸 八級俸
貴族院 衆議院 守衛番長	同同
裁判所書記	同同
各廳技手	同同
貴族院 衆議院 守衛長	九級俸 十級俸
貴族院 衆議院 守衛番長	同同
裁判所書記	九級俸 十圓以下六圓以上
各廳技手	九級俸 十級俸 十二圓未滿

○判任官俸給令 明治二十四年七月二十七日勅令第八十三號（抄）

一判任文官ノ月俸ヲ別テ十級トシ左表ニ依リ支給ス

一判任官最上級俸ヲ受ケ五年ヲ踰ヘ事務練熟優等ナル者ハ特別ヲ以テ左表ノ範圍ニ拘ラス漸次七十五圓マテ増俸スルコトアルヘシ

一級	六十圓
二級	五十圓
三級	四十五圓
四級	四十圓
五級	三十五圓
六級	三十圓
七級	二十五圓
八級	二十圓
九級	十五圓
十級	十二圓

一北海道廳府縣（島廳郡區ヲ包含ス）及集治監判任官ニハ本表中最低額以下六圓マテノ月俸ヲ給スルコトアルヘシ 明治二十六年十月三十一日勅令第百八十二號

○技術官俸給令 明治二十四年七月二十七日勅令第八十四號（抄）

一各廳ニ於テ工藝技術ヲ要スルモノハ職員ノ外特ニ技術官ヲ置ク

一技術官ヲ分テ技監技師技手トス

一技監ハ勅任トシ技師ハ奏任トシ技手ハ判任トス

一技監及技師ノ年俸ハ別ニ定ムルモノヽ外左表ニ依ル

一技術官ハ各廳事務ノ繁簡ニ依リ俸給最低額以下ヲ給スルコトアルヘシ

一本令ニ規定スルモノヲ除クノ外技監技師ニ關シテハ明治二十五年勅令第九十六號高等官官等俸給令ヲ適用シ技手ニ關シテハ明治二十四年勅令第八十三號判任官俸給令ヲ適用ス

官名	年俸等級											
技監	一級 三千五百圓	二級 三千圓										
技師	一級 二千五百圓	二級 二千二百圓	三級 二千圓	四級 千八百圓	五級 千六百圓	六級 千四百圓	七級 千二百圓	八級 千圓	九級 九百圓	十級 八百圓	十一級 七百圓	十二級 六百圓

○文官試補及見習規程 明治二十六年十月三十一日勅令第百八十六號

一明治二十六年勅令第百八十三號文官任用令及同年勅令第百八十四號ニ依リ奏任文官ニ任用セラルヘキ資格ヲ有スル者ハ試補トシ明治二十六年勅令第百八十三號文官任用令ニ依リ判任文官ニ任用セラルヘキ資格ヲ有スル者ハ見習トシテ各官廳ノ事務ヲ練習セシムルコトヲ得

一試補ハ奏任官見習ハ判任官ノ待遇トス但俸給ヲ支給セス

○北海道廳高等官年俸 明治二十四年七月二十七日勅令第百十九號

官名	年俸
長官	四千圓
書記官 上級	二千二百圓
書記官 下級	二千圓
警部長 財務長	千八百圓
參事官	千圓
典獄	八百圓
郡區長	六百圓

一内務大臣ニ於テ特ニ指定スル各郡區ノ郡區長ハ年俸八百圓ヲ給ス但其人員ハ七人以内トス

一書記官ハ上級俸下級俸各一人トス

○北海道郡長特別年俸支給郡名 明治二十四年八月十五日内務省告示第四十一號

檜山郡久遠郡 奥尻郡太櫓郡 瀬棚郡爾志郡	小樽郡高島郡 忍路郡余市郡 古平郡美國郡 積丹郡	根室郡花咲郡 野付郡標津郡 目梨郡國後郡 色丹郡得撫郡 新知郡占守郡	札幌郡空知郡 夕張郡樺戸郡 雨龍郡上川郡 石狩郡厚田郡 濱益郡千歳郡	增毛郡留萌郡 苫前郡天塩郡 中川郡上川郡	釧路郡厚岸郡 川上郡廣尾郡 當縁郡十勝郡 中川郡河西郡 河東郡上川郡 白糠郡阿寒郡 足寄郡	紗那郡振別郡 擇捉郡蘂取郡

○北海道集治監高等官年俸 明治二十四年七月二十七日勅令第百十五號

官名	年俸
北海道集治監典獄	千八百圓
北海道集治監分監長	八百圓

○札幌農學校高等官年俸 明治二十四年七月二十七日勅令第百四十三號二十六年九月九日勅令第九十五號

官名	年俸
學校長	二千圓
舍監	五百圓

一札幌農學校教授ノ官等俸給ハ文部省直轄諸學校教授ノ例ニ依ル

○帝國大學文部省直轄學校及東京圖書館高等官官等俸給令 明治二十六年八月二十五日勅令第八十八號（抄）

一文部省直轄諸學校教官ハ高等官三等以下トス

文部省直轄諸學校教官ニシテ高等官三等ニ敍セラルヽ者ハ定員ノ七分ノ一以内四等ニ敍セラルヽ者ハ四分ノ一以内トス

一文部省直轄諸學校教官ノ年俸ハ左表ニ依ル

一文部省直轄諸學校教官ハ其ノ授業ノ時間及學科ノ難易輕重ニ依リ別表ニ掲クル最低額以下ノ年俸ヲ給スルコトアルヘシ

一文部省直轄諸學校教官ニシテ一校若クハ數校ノ教官ヲ兼任スル者ニハ本官竝兼官ニ於ケル授業ノ時間及學科ノ難易輕重ニ應シ其ノ本官ノ俸額ヲ分割シテ各學校ヨリ支給スルコトヲ得

一文部省直轄諸學校官制第十五條ニ依リ某學科ノ授業ヲ擔任スル囑託講師ニハ教官俸給額ノ内ヨリ相當ノ手當ヲ給スルコトヲ得

官名	年俸等級									
文部省直轄諸學校教授	一級 二千圓	二級 千八百圓	三級 千六百圓	四級 千四百圓	五級 千二百圓	六級 千圓	七級 九百圓	八級 八百圓	九級 七百圓	十級 六百圓

（備考） 官制ノ部札幌農學校ニ關スル件參看

○地方高等官年俸 明治二十四年七月二十七日勅令第百二十號

官名	東京府 / 三府及神奈川兵庫長崎新潟愛知宮城廣島熊本ノ八縣	其他ノ諸縣
知事	東京府 四千圓 / 三府及神奈川兵庫長崎新潟愛知宮城廣島熊本ノ八縣 三千五百圓	三千圓
書記官	二千圓	千五百圓
警部長 收税長	千四百圓	千百圓
參事官	千圓 但九百圓又ハ八百圓ヲ給スルコトアルヘシ	
典獄	八百圓	六百圓

一東京府書記官ハ特ニ年俸二千二百圓ヲ給スルコトヲ得

大阪府警部長ハ特ニ年俸千八百圓ヲ給スルコトヲ得

大阪府典獄ハ特ニ年俸千圓ヲ給スルコトヲ得

一郡長ノ年俸ハ六百圓トス

内務大臣ニ於テ特ニ指定スル各郡ノ郡長ハ年俸八百圓ヲ給ス但其人員ハ二百人以内トス

一島司ノ年俸ハ千二百圓トス

○府縣郡長特別年俸支給郡名 明治二十三年十一月一日内務省告示第三十九號、二十四年九月二十四日同第四十六號二十五年一月二十三日同第六號同年二月二十四日同第十三號二十六年十一月二十八日同第五十六號

東京	荏原、北豐島、東多摩、南豐島、南多摩
京都	與謝、天田、紀伊、加佐、船井
大阪	西成、南日根、石川、八上、古市、安宿部、錦部、志紀、丹南、東成、住吉
神奈川	三浦、足柄下、橘樹、大住、淘綾
兵庫	明石、津名、城崎、美含、氣多、武庫、菟原、氷上、川邊、揖東、揖西
長崎	西彼杵、南高來、北松浦
新潟	中頸城、北蒲原、古志、雜太、加茂、羽茂、刈羽、南蒲原
埼玉	北足立、新座、入間、高麗、秩父、大里、幡羅、榛澤、男衾
群馬	東群馬、南勢多、西群馬、片岡、佐位、那波、山田
千葉	千葉、市原、印旛、下埴生、南相馬、安房、平、朝夷、長狹、海上、匝瑳、望陀、周准、天羽
茨城	新治、眞壁、久慈、東茨城、那珂
栃木	河內、下都賀、足利、梁田
奈良	添上、添下、山邊、廣瀨、平群、宇智、吉野、式上、式下、十市、宇陀
三重	度會、三重、朝明、桑名、阿拜、山田、飯高、飯野
愛知	渥美、額田、知多、愛知、中島、碧海
靜岡	長上、敷知、濱名、賀茂、那賀、有渡、安倍、駿東、豐田、山名、磐田
山梨	中巨摩、南都留、北巨摩
滋賀	滋賀、犬上、坂田、東淺井、蒲生、甲賀
岐阜	大野、益田、吉城、安八、厚見、各務、方縣、惠那、羽栗、中島
長野	東筑摩、上水內、小縣、下伊那、上伊那、北佐久
宮城	牡鹿、志田、玉造、柴田、刈田、宮城、栗原
福島	伊達、信夫、北會津、菊多、磐前、磐城、田村、耶麻
巖手	西磐井、東磐井、東閉伊、中閉伊、北閉伊、南九戶、北九戶、稗貫、東和賀、西和賀、南岩手、北岩手、紫波
青森	東津輕、三戶、南津輕
山形	飽海、西田川、南村山、最上
秋田	南秋田、仙北、北秋田、山本
福井	阪井、南條、今立、遠敷、敦賀、大野
石川	鹿島、能美、鳳至
富山	射水、礪波、上新川
鳥取	會見、汗入、久米、河村、八橋、邑美、法美、岩井
島根	那賀、島根、秋鹿、意宇、出雲、楯縫、神門、邇摩、安濃
岡山	西西條、西北條、東南條、東北條、淺口、兒島、小田、川上、上房、邑久、上道、都宇、窪屋
廣島	安藝、御調、世羅、深津、沼隈、安那、佐伯、賀茂
山口	佐波、吉敷、阿武、三島、玖珂、豐浦
和歌山	名草、海部、西牟婁、那賀
德島	那賀、板野、美馬、名東
香川	那珂、多度、大內、寒川、三木、三野、豐田
愛媛	南宇和、北宇和、風早、和氣、溫泉、久米、越智、野間、新居、周布、桑村、西宇和
高知	幡多、高岡、土佐
福岡	企救、三瀦、遠賀、上妻、下妻、上座、下座、夜須、山門
大分	大分、下毛、日田、直入、北海部
佐賀	東松浦、佐賀、杵島
熊本	飽田、託麻、宇土、天草、玉名、八代、葦北、山鹿、山本、菊池、合志
宮崎	宮崎、北那珂、東臼杵、北諸縣
鹿兒島	鹿兒島、谿山、北大隅、高城、薩摩、甑島、南伊佐、姶良、桑原、西囎唹、給黎、揖宿、頴娃、川邊

○戶長年月俸 北海道廳及長崎島根鹿兒島三縣報告

一戶長身分取扱方ハ判任官ニ准シ其俸給ハ道廳長官府縣知事適宜之ヲ定ム（明治十九年十月二十六日內務省令第二十一號）

縣別／等級	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級
北海道廳	三十五圓以下十圓以上									
長崎縣	十八圓	十六圓	十四圓	十二圓	十一圓	十圓	九圓	八圓		
島根縣	二十五圓	二十圓	十五圓	十三圓	十二圓	十一圓	十圓	九圓	八圓	七圓
鹿兒島縣	年俸 百八十圓以下五十圓以上									

一鹿兒島縣戶長最上俸ヲ受ケ滿三年ヲ踰エ功勞顯著ナル者ハ特別ヲ以テ年俸二百五十圓マテ增俸スルヲ得

○區長年俸 明治二十二年七月十三日東京市條例第二號京都大阪兩府報告

市別／等級	一級	二級	三級	四級	五級	六級
東京市	千圓	九百圓	八百圓	七百圓	六百圓	
京都市	七百圓	六百圓	五百圓			
大阪市	千圓	九百圓	八百圓	七百圓	六百圓	五百圓

○區書記月俸 明治二十二年七月十三日東京市條例第二號及京都大阪兩府報告

市別／等級	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級
東京市	四十圓	三十五圓	三十圓	二十五圓	二十圓	十五圓	十二圓	十圓	八圓		
京都市	三十五圓	三十圓	二十五圓	二十圓	十七圓	十四圓	十二圓	十圓	九圓	八圓	
大阪市	四十圓	三十五圓	三十圓	二十五圓	二十圓	十七圓	十四圓	十二圓	十圓	九圓	八圓

○府縣立師範學校長任命及俸給令 明治二十四年八月十八日勅令第百七十二號（抄）

一府縣立師範學校長ハ奏任トス
一府縣立師範學校長ノ年俸ハ左表ニ依リ之ヲ支給ス
一本令ニ規定スルモノヽ外總テ明治二十五年勅令第九十六號高等官官等俸給令ニ依ル

一級	二級	三級	四級	五級	六級
千二百圓	千圓	九百圓	八百圓	七百圓	六百圓

○尋常師範學校教諭助教諭訓導及書記俸額 明治二十五年四月三十日文部省令第六號

一尋常師範學校教諭ノ俸給ハ其月俸ヲ別テ五級トシ一號表ニ依リ支給スヘシ
　但奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ハ該表ノ範圍ニ拘ラス特ニ百圓マテ增俸スルコトヲ得
一尋常師範學校助教諭訓導及書記ノ俸給ハ其月俸ヲ別テ五級トシ二號表ニ依リ支給スヘシ
一尋常師範學校教諭助教諭及訓導ノ俸給ハ其授業ノ時間及學科ノ輕重難易等ニ依リ一號表及二號表ニ掲クル俸給等級相當ノ額ヲ減給スルコトヲ得

一號表

職名		月俸等級 一級	二級	三級	四級	五級
教諭	上	七十五圓	六十五圓	五十五圓	四十五圓	三十五圓
	下	七十圓	六十圓	五十圓	四十圓	三十圓

二號表

職名	月俸等級
助教諭 訓導 書記	一級 三十圓 二級 二十五圓 三級 二十圓 四級 十五圓 五級 十二圓

○公立學校職員官等等級配當 明治二十五年四月二十九日勅令第三十九號

一奏任文官又ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル公立學校職員ノ官等等級ハ其俸給額ニ應シ左表ニ依リ文武高等官官等又ハ文武判任官等級ニ配當ス
　但同官等又ハ同等級內ニ於テハ文武官吏ノ次席タルヘシ

奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル公立學校職員官等配當表

奏任	公立中學校 公立高等女學校 公立專門學校 公立技藝學校	尋常師範學校
五等	學校長 年俸千六百圓以上 教諭 年俸千六百圓以上	
六等	學校長 年俸千二百圓以上千六百圓未滿 教諭 年俸千二百圓以上千六百圓未滿	
七等	學校長 年俸八百圓以上千二百圓未滿 教諭 年俸八百圓以上千二百圓未滿	教諭 一級俸
八等	學校長 年俸六百圓以上八百圓未滿 教諭 年俸六百圓以上八百圓未滿	教諭 二級俸 三級俸

判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル公立學校職員等級配當表

判任	公立中學校 公立高等女學校 公立專門學校 公立技藝學校	尋常師範學校	市町村立小學校
一等	學校長 月俸五十圓以上 教諭 月俸五十圓以上 舍監 月俸五十圓以上	教諭 一級俸 二級俸 三級俸 舍監 本務俸給ニ依ル	學校長 本務月俸五十圓以上
二等	學校長 月俸四十圓以上五十圓未滿 教諭 月俸四十圓以上五十圓未滿 舍監 月俸四十圓以上五十圓未滿	教諭 四級俸 舍監 本務俸給ニ依ル	學校長 本務月俸四十圓以上五十圓未滿 訓導 月俸四十圓以上
三等	教諭 月俸四十圓未滿 助教諭 月俸三十圓以上 舍監 月俸三十圓以上四十圓未滿 書記 月俸三十圓以上	教諭 五級俸 助教諭 一級俸 舍監 本務俸給ニ依ル 訓導 一級俸 書記 一級俸	學校長 本務月俸三十圓以上四十圓未滿 訓導 月俸三十圓以上四十圓未滿
四等	助教諭 月俸二十圓以上三十圓未滿 舍監 月俸二十圓以上三十圓未滿 書記 月俸二十圓以上三十圓未滿	助教諭 二級俸 三級俸 舍監 本務俸給ニ依ル 訓導 二級俸 三級俸 書記 二級俸 三級俸	學校長 本務月俸二十圓以上三十圓未滿 訓導 月俸二十圓以上三十圓未滿
五等	助教諭 月俸二十圓未滿 舍監 月俸二十圓未滿 書記 月俸二十圓未滿	助教諭 四級俸 五級俸 舍監 本務俸給ニ依ル 訓導 四級俸 五級俸 書記 四級俸 五級俸	學校長 本務月俸二十圓未滿 訓導 月俸二十圓未滿

○府縣農事試驗場農事講習所及水產講習所職員竝農事巡迴敎師及水產巡迴敎師官等等級配當（明治二十七年十一月二日勅令第百八十七號）

一府縣農事試驗場農事講習所及水產講習所職員竝農事巡迴敎師及水產巡迴敎師ニシテ奏任文官又ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ノ官等等級ハ其ノ俸給額ニ應シ左表ニ依リ文武高等官官等又ハ文武判任官等級ニ配當ス

但同官等內又ハ同等級內ニ於テハ文武官吏ノ次席タルヘシ

奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル府縣農事試驗場長農事講習所長及水產講習所長竝農事巡迴敎師及水產巡迴敎師官等配當表

奏任

六等	七等	八等	九等
年俸千二百圓以上	年俸九百圓以上千二百圓未滿	年俸七百圓以上九百圓未滿	年俸五百圓以上七百圓未滿

判任

	一等	二等	三等	四等	五等
府縣農事試驗場長 水產講習所長	月俸五十圓以上	月俸五十圓未滿			
府縣農事試驗場技手 水產講習所敎師 農事巡迴敎師		月俸五十圓以上	月俸四十圓以上五十圓未滿	月俸三十圓以上四十圓未滿	月俸二十圓以上三十圓未滿
府縣農事試驗場書記 水產講習所書記				月俸三十圓以上	月俸二十圓以上三十圓未滿

○宮中儀式上席次表（明治二十四年十二月二十二日宮內省達甲第六號）

一宮中儀式上ノ席次ハ左表ニ依リ其次第ヲ定ム

但職務上ニ關スルモノニアラス

一同等中ノ順次ハ任補ノ日ヲ以テ之ヲ定ム若シ其任補ノ日同シキ時ハ前官ノ席次ニ據ル

但爵香間錦鷄間祇候ハ爵位勳ノ內其高キヲ以テ席次シ及有爵有勳者ハ從前ノ例ヲ以テ席次ス

一同等中ニテ官職ヲ轉スルコトアルトモ初メテ其等ニ進ミタル日ヲ以テ席次ヲ定ム

一兼官アルモノハ本官ト兼官トヲ問ハス其高キニ據ル

一初任ニシテ同日同等ノ者全ク席次ヲ定ムヘキ事由ナキ時ハ其年齡ニ據ル

一廢官辭職ノ後三十日以內ニ更ニ前官ト同等ノ官ニ任補ノ輩ハ尙ホ前席ヲ保ツコトヲ得

一官職ヲ降リタル者ハ現官同等中ノ首座トス

但親任ヨリ一等ニ一等ヨリ二等ニ降リタルモノハ同等中特別席ノ次席トス

一特ニ席次ヲ定メラルヽ者ハ此條項ノ限リニアラス

一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等
大勳位 以前ノ後ヲ 以テ席次ス	會計檢査院長 二等							
內閣總理大臣	任補ノ 前後ヲ 以テ席次ス	高等官二等 任補ノ 前後ヲ 以テ席次ス						
各大臣 樞密院議長 任官ノ 前後ヲ 以テ席次ス	爵位勳ノ內其キヲ以テ席次ス							
式部長 任補ノ前後ヲ 以テ席次ス	侍從長 樞密顧問官 任官ノ 前後ヲ 以テ席次ス	高等官三等 任補ノ 前後ヲ 以テ席次ス						
宮內大臣 皇太后宮大夫 皇后宮大夫 任補ノ前後ヲ 以テ席次ス	樞密顧問官 ハ一等官中特別席ニ列シ任補ノ前後ヲ以テ席次ス	高等官四等 任補ノ 前後ヲ 以テ席次ス						
陸軍大將 海軍大將 同上	勳一等 旭日桐花章 任補ノ 前後ヲ 以テ席次ス	高等官五等 任補ノ 前後ヲ 以テ席次ス						
會計檢査院長 政務ノ判所長官 任官ノ 前後ヲ 以テ席次ス	公爵 任官ノ 前後ヲ 以テ席次ス	高等官六等 任補ノ 前後ヲ 以テ席次ス						
中將ニシテ參謀長及伯爵 陸軍治軍參謀長ニ補セラルヽコトアルトキ	勳二等 旭日章 瑞寶章 同上	雅樂部副長 高等官七等 任補ノ 前後ヲ 以テ席次ス						
陸軍中將 海軍中將 同上	勳三等 旭日章 瑞寶章 同上	雅樂部長 高等官八等 任補ノ 前後ヲ 以テ席次ス						
侯爵	勳四等 旭日章 瑞寶章 同上	高等官九等 任補ノ 前後ヲ 以テ席次ス						

○北海道廳

札幌區北三條西五町目

長官一等

從三、勳三 北垣國道 札幌區北一條西五町目一番地官舍

書記官

五等下級 文官普通試驗委員長 正六、勳六 木米三郎 札幌區北三條西四町目一番地官舍

官報報告主任 從六、勳六 財部羌 函館區元町四十三番地官舍

五等(叙) 警部長 文官普通試驗委員 從六、勳六 不破次郎 札幌區北三條西四町目一番地官舍

五等下級 庶務長 文官普通試驗委員主任收入官吏 正七 酒匂常明 札幌區北三條西四町目一番地官舍

參事官

六等 官報報告主任 文官普通試驗委員 官國幣社神職等 常試驗委員 正七 白仁武 札幌區北一條西四町目一番地官舍

六等 文官普通試驗委員小學校教員銓衡委員 從六 小野德太郎 札幌區北二條西四町目一番地官舍

六等 一等郵便電信局長 從六、勳六 吉田正秀 札幌區大通西五町目十二番地官舍

文官普通試驗委員 正七 廣井勇 札幌郡苗穗村二番地

正七、勳六 阿曾沼次郎 札幌區北一條西六町目一番地

農商課長 統計官 從七 伊吹鎗造 札幌區北四條西四町目一番地

七等十一級 水產課長 從七 和田健三 札幌區北二條西七町目一番地官舍

七等十二級 林務課長 從七 田中壤 札幌區北二條西七町目一番地官舍

典獄 六等 從七、勳六 石川慶吾 札幌郡苗穗村監獄署所屬官舍

○長官官房

書記

物品會計官吏 四 高橋秀好

內務部兼勤 六 西川諫

六 石田友治郎

七 丸山能一

九 千野房成

十 高野安定

十 木村茂之助

十 石原周文

十 吉川忠眞 (月二)

文官普通試驗委員 五 林文次郎

文官普通試驗書記 七 野村楢次

文官普通試驗書記 九 飯塚信晴

十 今田圭稅

文官普通試驗書記 十 西本子之吉

文官普通試驗書記 十 伊關次郎

十 池田秀滿

文官普通試驗書記 十 金賀銖次郎 (月二)

十 平田本之助 (月二)

大谷信夫 (月一〇)

上野清 (月九)

五井清吉

三浦勇太郎

○内務部

部長 書記官 鈴木米三郎
地理課長兼殖民課長 參事官 白仁武
郡治課長 參事官 小野德太郎

屬
二 庶務課長兼教育課長 緒方益井
三 土木課長心得出納官吏 宮澤磯之助
二 青木政德
四 正八 河田保
四 兒玉忠廣
五 官國幣社神職尋常試驗委員 大野四郎五郎
五 柳橋友八郎
六 森信元
六 國松英太郎
六 加藤重頴
六 長屋平太郎
六 勳七 中村則貞
七 白尾國芳
七 島田又三郎
七 長官官房書記兼勤 大村益荒
七 物品會計官吏 西村鴻三
七 繁野辰之助
八 小坂幸四郎
八 生田目隆定
八 古屋仲二
八 葛田經國
八 勝目覺二
八 渡部正
八 天野堯撫
八 野崎質
三 松村茂助
四 上田載憲
四 高山龍之助
五 渡邊貞臣
(兼) 郵便電信書記 相頁利吉
六 山田利吉
六 小學校教員銓衡委員 鈴木源二郎
六 勳七 御子柴五百彦
六 村上小源太
六 五十嵐修治
七 森見作
七 關根勘作
七 奥井寛信
七 桑原外助
七 飯田吉迪
八 丸山五之助
八 加藤英一
八 古川喜四郎
八 美馬久二太郎
八 片岡常德
八 久保義三郎
八 瀧田豐雄
八 立入壽太郎
八 大谷義男
九 國澤能章
九 鈴木治信
九 重藤幹一
九 三馬貞一
九 岩田平吉
十 田口辰平
(月一二) 出田平馬
(月一二) 風間虎一
(月一二) 近藤美之
(月一二) 津留嘉久藏
(月一〇) 太細德太郎
(月一〇) 池田實
(月一〇) 田村彌三郎
(月九) 西館德逸
九 倉永源一郎
九 富田秀雄
九 河田猪三郎
九 井口元一郎
九 狩野信平
十 小菅保之助
(月一二) 佐藤儀七郎
(月一二) 岩崎與三吉
(月一二) 高畑宜一
(月一二) 山本彦市
(月一〇) 筑葉豐三郎
(月一〇) 奥村嘉仲
(月一〇) 永富正人
(月一〇) 桑原五郎
(月九) 齋藤朴

技手
三 石川貞治
三 吉川美衞
四 藤村信吉
四 仁科信藏
四 岡崎文吉
五 菅道匡
六 菅沼正吉
六 小泉粂治郎
六 窪田定次郎
六 小野政衞
七 堀江正
七 柳田淺吉
七 吉川昌則
七 谷本篤治
八 山村廣司
八 山峰德吉
八 近藤力次郎
八 諏訪喜右衛門
八 宮崎繁太郎
三 野澤俊次郎
三 水科七三郎
四 村垣素行
(兼) 札幌農學校助教授 横山壯次郎
五 星野和太郎
五 小野常治
六 山内福松
六 三上源藏
六 小池國信
六 山中榮一
七 近藤義從
七 古林芳三郎
七 佐藤勇次郎
八 田中千代吉
八 山形平五郎
八 矢野龍三郎
八 山部亦三
八 長谷川清美
八 神原鉦松
九 小島友義
九 佐藤寅太郎
九 犬飼清信
九 三好勝太郎
九 豐藏鎔吾
九 柳川振

○警察部

部長 警部長 陶不盈次郎

警部
五 警務課長 西野忠經
六 柚木佐久
七 中野茂
九 進藤千代吉
九 栗山文五郎
六 高等警察主任 橋本强造
八 飯田誠一
九 石川直治
十 高等警察主任 加藤政德

○札幌警察署 札幌區大通西三町目

警部
署長 五 山口綱三郎
八 塙浩氣
九 岩見澤分署長 原四郎三郎
十 市來知分署長 熊野和三郎
十 出納官吏物品會計官吏 岸田三右衛門
十 巡査教習所教官兼勤 大友康次郎
十 伊庭平内

○函館警察署 函館區宮岡町

警部
署長 二 出納官吏 南條博親
七 谷内茂雄
八 小野岡堯敏
八 淵菊太郎
八 巡査教習所教官兼勤物品會計官吏 中村俊清
八 中村半次郎
九 池田駒太郎

○七飯警察署 龜田郡七飯村

警部
署長 六 物品會計官吏 品川篤次郎
十 龜田分署長 千田彦太郎

○福山警察署 松前郡横町

警部 六
署長 物品會計官吏 手塚貞

○江差警察署 檜山郡中歌町

警部
署長 七 森尾鐵太郎
八 物品會計官吏 青木武助

○壽都警察署 壽都郡渡島町

警部 七
署長 出納官吏物品會計官吏勳七 清水文敏

○岩内警察署 岩内郡御鉾内町

警部 七
署長 三上常和

○小樽警察署 小樽郡量徳町

警部
署長 五 鳥居貞紀
九 打越萬二
九 物品會計官吏 清水洌
十 足立七次郎
十 福田中堅

○増毛警察署 増毛郡永壽町

警部 七
署長 物品會計官吏 佐藤貫一

○室蘭警察署 室蘭郡札幌通

警部
署長 七 物品會計官吏 諏訪善太郎
九 有珠分署長 小沼岩次

○浦河警察署 浦河郡浦河村

署長 浦河外六郡長 迫田喜一
警部
六 出納官吏物品會計官吏 榑松珍麿
九 幌泉分署長出納官吏 松宮直次郎
樣似分署長 樣似郡各村戸長出納官吏 高橋今朝藏
門別分署長 沙流郡各村戸長出納官吏 瀬島新平
下々方分署長 静内郡下々方外十五村新冠郡高江外十村戸長出納官吏 内藤雄平
姨布分署長 三石郡各村戸長出納官吏 佐藤六郎

○釧路警察署 釧路郡幣舞町

警部
署長 六 物品會計官吏 松山爲治
九 厚岸分署長出納官吏 子ノ日弘毅

○根室警察署 根室郡梅ヶ枝町

警部
署長 六 齋藤親廣
九 物品會計官吏 盛田竹次郎

○網走警察署 網走郡北見町

署長 網走外三郡長 三澤秀二
警部
八 間山久太郎
斜里分署長 斜里郡斜里外四村戸長 中山維重
紋別分署長 紋別郡紋別外九村戸長 田村順厚
常呂分署長 常呂郡常呂外六村戸長 松田三次郎

○宗谷警察署 宗谷郡稚内村

警部 七
署長 物品會計官吏 稲吉綱五郎

○紗那警察署 紗那郡紗那村

署長 紗那外三郡長 簗瀬勇七
警部
七 出納官吏物品會計官吏 中山忠治
留別分署長 紗那郡留別村振別郡振別外一村擇捉郡内保外一村戸長勳八 菊地永章
蘂取分署長 蘂取郡蘂取外一村戸長 久慈誠紀

○財務部

部長 財務長 酒匂常明

屬
一 監査課長勳八 松浦信元
二 歳入課長 岩波常景
二 經理課長 藁品槍太郎
二 歳出課長兼調度課長物品會計官吏 一柳友次郎
二 内務部及參事官附兼勤 堀信次
四 半澤時中
四 小澤要吉
五 出納官吏 豐崎亥三郎
六 生野盈明
六 安孫子莊七
七 齋藤信一
七 小西猛夫
七 吉田彌壽松
七 豐浦旦明
八 中山嘉茂
八 加藤牧夫
八 薩種次郎
八 大森長三郎
九 吉瀬不退
九 高橋艮昌
三 足穗寶作
四 高瀬深策
四 山下三次
六 菊池元
六 長谷川千代二
六 間宮斐男
七 山下兼有
七 井上甃平
七 白井喜三郎
八 玉川吉太郎
八 寺澤守正
八 酒井正一
八 村上茂太郎
九 大坪功
九 深瀧信平
九 桐野綱藏

九 齋藤 一 九 宗都野 勳
九 樋口 迪 九 細川 健
九 三浦 泰造 九 津田 廣見
九 眞柄七男次郎 九 陸軍屯田步兵二等軍曹 島津千代松
十 吉田 金陵 十 垣見 俊道
十 村井 太久 十 井上 壽八
十 五十嵐五郎 十 上田 榮造
十 松井鉅之助 十 横田 彦三
十 山岡 侃 十 大門房太郎
(月一二) 門松 佐吉 (月一二) 丹內 又吉
(月一二) 杉田 種吉 (月一二) 高橋季四郎
(月一二) 貝沼 彌藏 (月一二) 美濃輪文太郎
(月一二) 澤野 三八 (月一二) 森 莊三
(月一〇) 菊地 矢治 (月一〇) 岡部 直記
(月一〇) 江口 玉吉 (月一〇) 川口 如矢
(月九) 林 力三 (月九) 江村 昂

○函館在勤

書記官 財部 羌
屬 五 小島倉太郎 六 四屋 章之
十 加藤 義雄

○監獄署 札幌郡苗穗村

署長 典獄 石川 慶吾
監獄書記 五 物品會計官吏 小林鎗次郎 看守長第一課長兼第三課長看守教習所長教官兼勤出納官吏正八 古野 嵩央
八 石原金次郎 八 平出 機一
九 藤村 紀綱 九 成田 房隆
九 分任收入官吏 澤田福太郎 十 片桐岩次郎
(月一〇) 牧野 正雄 十 工藤 岩根
(月九) 須藤 忠護
(月九) 安達 吉彌
看守長
六 監獄醫七 武田 源八 九 第二課長兼監獄書記 藤田 德彌
八 能登谷正靖
三上 道春

○龜田監獄支署 龜田郡龜田村

支署長 看守長六 兼監獄書記看守教習所龜田支所長兼教官陸軍步兵少尉正八、勳六 下平 冽
監獄書記 八 出納官吏分任收入官吏物品會計官吏 根本德太郎
八 手塚 強 九 宮崎喜太郎
十 須藤 守正 十 薗田 守光
十 富樫 源治 十 田中 薦郎
(月九) 村上 元治 (月九) 定澤 源瑛
看守長 八 並河 健平 九 宮川 晴吉
監獄醫七 立澤峯太郎

○根室監獄支署 根室郡根室村

支署長 看守長七 兼監獄書記出納官吏物品會計官吏 片岡 義道
監獄書記 八 白石 武資 九 分任收入官吏 佐々木雅五郎
(月一〇) 鈴木 利吉 (月一〇) 村尾 忠次
(月九) 長內 義治
看守長九 看守教習所根室支所教官 丹野 保廣
監獄醫六 菊地 英三

○龜田、上磯、茅部、山越郡役所 龜田郡七飯村

郡長七等 正七、勳六 木村 廣凱
郡書記 六 出納官吏物品會計官吏 中島 富潤 七 海老名保貞
七 池田 醇 八 大橋 東悟
八 分任收入官吏 木村 薰明 九 須田常次郎
九 伊藤 重清 十 梁川 隆平
(月一〇) 鈴木錫五郎 (月一〇) 八木傳之助
(月一〇) 宮田隊次郎 (月一〇) 瀧澤 爲吉
(月九) 西山 豐太 (月九) 石河 鉄男
(月九) 若松 長吉

戸長
茅部郡森、尾白內、宿野邊、鷲ノ木、蛯谷、石倉村 (月二五) 出納官吏分任收入官吏 三井 勝用
上磯郡上磯、谷好、富川、淸川、中野村 (月二五) 出納官吏分任收入官吏 鹽谷國三郎
龜田郡龜田鍜治、神山、赤川、石川、桔梗村 (月二〇) 出納官吏分任收入官吏 宮津磯次郎
龜田郡市渡、本郷、大野、文月、千代田、一本木村 (月一八) 出納官吏分任收入官吏 鎌田 寧固
上磯郡泉澤、札苅、木古內、釜谷村 (月一五) 出納官吏分任收入官吏 三井計次郎
山越郡長万部村 (月一五) 出納官吏分任收入官吏 鈴木 亘助
茅部郡臼尻、熊泊村兼同郡尾札部村 (月一五) 出納官吏分任收入官吏 篠田 順
上磯郡茂邊地、石別村 (月一五) 出納官吏分任收入官吏 吉田 藤八

山越郡山越內、八雲村 (月一五) 出納官吏分任收入官吏 上田 貢三
上磯郡知內、小谷石村 (月一三) 出納官吏分任收入官吏 高津勝之助
龜田郡志苔、錢龜澤、根崎、石崎村 (月一三) 出納官吏分任收入官吏 蛯子嘉一郎
龜田郡下湯ノ川、上湯ノ川、龜尾村 (月一三) 出納官吏分任收入官吏 神谷小太郎
龜田郡七飯鶴野、藤城、峠下、軍川大中山村 (月一三) 出納官吏分任收入官吏 長尾 壯一
龜田郡小安、戸井村 (月一三) 伊東 保之
龜田郡椴法華村 (月一二) 出納官吏分任收入官吏 岩間 勝從
茅部郡砂原、掛澗村 (月一二) 出納官吏分任收入官吏 大瀧 信孝
龜田郡尻岸內村 (月一二) 出納官吏分任收入官吏 蒲原 利和
茅部郡鹿部村 (月一二) 出納官吏分任收入官吏 木內 忠明
茅部郡落部村 (月一二) 出納官吏分任收入官吏 松浦 翠

○松前郡役所 松前郡河原町

郡長七等 正七、勳六 山內 久內
郡書記 六 出納官吏分任收入官吏正八 大崎 進三 七 佐藤 信壽
七 關 央 八 物品會計官吏 竹田 岩吉
九 布川渙之丞 九 寒川 亮
十 石黒 光 十 勳七 齋藤 豐吉
十 蛯子重三郎 十 柴內 親至
(月一一) 菊池敏四郎 (月一一) 中村熊次郎
(月一〇) 後藤 一記 (月一〇) 古谷 遜

戸長
松前郡根部田、赤神、札前、茂草、雨垂石村 (月一五) 分任收入官吏 井田 與作
松前郡上及部、大澤、荒谷、炭燒澤村 (月一四) 分任收入官吏 西村 利久
松前郡白符、福島村 (月一四) 出納官吏分任收入官吏 田中 正平
松前郡江良町、原口、淸部村 (月一四) 出納官吏分任收入官吏 吉川 思義
松前郡吉岡、禮髭、宮歌村 (月一二) 分任收入官吏 豐卷 祐弘

○檜山、爾志、久遠、奧尻、太櫓、瀨棚郡役所 檜山郡江差中歌町

郡長七等 從七 金田 吉郎
郡書記 六 出納官吏物品會計官吏 石川 辨治 七 脇 勝吉
八 分任收入官吏 齋藤學太郎 八 田中館寬次郎
八 大島 久剛 九 秋田富太郎
十 渡邊 忠吉 十 大橋 半造
十 工藤嘉四郎 十 周防爲之助
十 木村 亘作 十 武藤喜久治
十 大高 弘 (月一一) 小山安太郎
(月一一) 杉浦瑛次郎 (月一二) 平野 權藏
(月一二) 石田 詮治 (月一一) 椿田 文藏
(月一〇) 工藤 宥馬

戸長
瀨棚郡瀨棚、梅花都、中歌、虻羅、島歌村 (月二〇) 出納官吏分任收入官吏 淺田雄二郎
奧尻郡釣掛、赤石、藥師、青苗村 (月二〇) 出納官吏分任收入官吏 工藤 克巳
爾志郡熊石、相沼內、泊川村兼久遠郡長磯、貝取澗、平田內村 (月二〇) 出納官吏分任收入官吏 露口 三松
爾志郡乙部、小茂內、突符、三谷、蚊柱村 (月一五) 分任收入官吏 菊池 正吉
檜山郡上ノ國、北、大留、木ノ子、汐吹、石崎、小砂子村 (月一五) 分任收入官吏 鈴木廉四郎
檜山郡泊、田澤、休木戸、柳崎、小黑部、鰔川村 (月一四) 分任收入官吏 白井 利信
久遠郡久遠、太田、上古丹、湯ノ尻村 (月一四) 出納官吏分任收入官吏 宗像 健輔
太櫓郡鵜泊、亘瑠石、古櫓多、太櫓村 (月一三) 分任收入官吏 佐藤 勝志
檜山郡目名、土橋、俄虫、館、鶉、赤沼、安野呂村 (月一三) 分任收入官吏 田中 庄造

○壽都、島牧、歌棄、磯谷郡役所 壽都郡渡島町

郡書記 六 神田 勝彌 七 出納官吏物品會計官吏 松崎 範
八 小川 景義 八 伊藤 義道
八 分任收入官吏 新井田隆治 九 山下 屈三
十 高松 宗精 十 佐藤 庄吉
十 下山勝三郎 十 黑瀧 永作
(月一一) 大槌 惇崇
(月一〇) 後備陸軍工兵一等軍曹 永江 虎市
(月九) 池田 鉄男

戸長

島牧郡永豐、江泥邊、千走、原歌、歌島、本目、輕臼村 (月一八) 出納官吏分任收入官吏 田中 好平
歌棄郡潮路、美谷、種前、有戸、作開、熱郛村 (月一五) 分任收入官吏 瓜生 捨吉
磯谷郡能津登、尻別、島古丹、横澗村 (月一四) 出納官吏分任收入官吏 上田留五郎
壽都郡政泊村 (月一二) 分任收入官吏 遠藤 茂作
壽都郡湯別、樽岸村 (月一二) 分任收入官吏 上野 代八
壽都郡黑松内村 (月一〇) 分任收入官吏 中谷 豐松

○岩内古宇郡役所 岩内郡御鉾内町

郡長七等 從七 一柳 平太郎

郡書記

八 出納官吏分任收入官吏 齋川 眞吉　八 長谷川清五郎
九 中島 榮八　九 宮川源太郎
九 盛田孫兵衛　十 佐々木格次郎
十 佐藤 榮吉　十 堀 德次郎
十 大河内周造　(月一〇) 平田鐘太郎
(月一〇) 沼宮内常忠
(月一〇) 物品會計官吏 齋藤 和藏
(月一〇) 松川 壽憲

戸長

古宇郡神惠内、赤石、珊内村 (月一八) 分任收入官吏 中里 秀彥
古宇郡泊、盃、興志内村 (月一五) 出納官吏分任收入官吏 齋藤忠次郎

岩内郡堀株、茅沼、發足村 (月一二) 分任收入官吏 桐林市太郎

○小樽、高島、忍路、余市、古平、美國、積丹郡役所 小樽郡量德町

郡長六等 正七 添田 弼

郡書記

五 前田 憲　(乘) 北海道屬 柳橋友八郎
六 分任收入官吏 菊地 直喜　七 伊勢田善一郎
八 出納官吏分任收入官吏物品會計官吏 岸元 亨
八 島田 四郎　八 安田 正路
(乘) 北海道屬 天野 堯撫　九 高橋多喜衛
九 高橋清太郎　十 菅谷 則男
十 島谷 吉郎　十 牧 信任
十 品田左一郎　十 高橋 惣吉
十 佐藤 憲也　十 松坂源之丞
(月一二) 西川 雍　(月一二) 西野才太郎
(月一〇) 佐藤 紫朗　(月九) 鈴木誠次郎

戸長

余市郡各町、黑川、山田、畚部、沖村 (月一二) 出納官吏分任收入官吏 一柳 文彥
古平郡濱、港、入船、新地、丸山町、群來、澤江、歌棄、沖村 (月一九) 出納官吏分任收入官吏 長谷川正路
積丹郡野塚、日司、入舸、出岬、西河、余別、來岸、神岬村 (月一七) 分任收入官吏 田中 陞
忍路郡各村 (月一七) 分任收入官吏 東海林雄吉
小樽郡錢函、朝里、張碓、熊碓村 (月一六) 分任收入官吏 河原 勝興

余市郡仁木、大江、山道村 (月一五) 分任收入官吏勳七 立花 敬勝
美國郡各村 (月一五) 分任收入官吏 寺沼 蓮郎

○札幌、千歲、夕張、空知、雨龍、上川、樺戸、石狩、厚田、濱益郡役所 札幌區大通西三町目

郡長六等 正七 林 悅郎

郡書記

(乘) 札幌區書記 澁谷金次郎　(乘) 札幌區書記出納官吏分任收入官吏 高島喜代太
(乘) 札幌區書記 松田壽三郎　(乘) 札幌區書記分任收入官吏 岩館 廉次
(乘) 札幌區書記物品會計官吏 星川 吾助　(乘) 札幌區書記 阿部 愼
(乘) 札幌區書記 相原 貞次　(乘) 札幌區書記 村井 信也
(乘) 札幌區書記 松岡 清倍　(乘) 札幌區書記 鈴木 寅吉
(乘) 札幌區書記 今 誠之助　(乘) 札幌區書記 西村 賢弘
(乘) 札幌區書記 松浦 橘彌　(乘) 札幌區書記 木村末太郎
(乘) 札幌區書記 佐々木忠太郎　(乘) 札幌區書記 名須川準太郎
(乘) 札幌區書記 佐藤 芳夫　(乘) 札幌區書記 遠藤 亘輔
(乘) 札幌區書記 山中 梧一　(乘) 札幌區書記 松永 泰
(乘) 札幌區書記 瀧澤虎之助

戸長

石狩郡親船、仲、本、新、濱、辨天、横、船場、若生、八幡町生振、花畔、樽川村 (月三〇) 出納官吏分任收入官吏 齋藤 皓
樺戸郡新十津川村雨龍郡雨龍、深川村 (月三〇) 出納官吏分任收入官吏 西村 皓平
札幌郡江別、對雁村石狩郡篠津村 (月二〇) 分任收入官吏 河野 通隆

空知郡岩見澤、幌向、栗澤村 (月二〇) 出納官吏分任收入官吏 乾 宣恕
上川郡旭川、神樂、神居、鷹栖村 (月一八) 出納官吏分任收入官吏 本田 親美
濱益郡各村 (月一八) 出納官吏分任收入官吏 宮城 昌章
厚田郡各村 (月一五) 出納官吏分任收入官吏 佐藤 宗正
札幌郡豐平、上白石、白石、平岸、月寒村 (月一五) 出納官吏分任收入官吏 船橋八五郎
札幌郡札幌、雁來、苗穗、丘珠、篠路村 (月一五) 分任收入官吏 加藤 一魯
空知郡市來知、幌内、幾春別、沼貝村 (月一五) 出納官吏分任收入官吏 五十嵐關次郎
上川郡永山村 (月一五) 分任收入官吏 相浦丈一郎
空知郡瀧川、奈江村 (月一五) 出納官吏分任收入官吏 月居 忠清
千歲郡各村 (月一四) 分任收入官吏 增川 兵藏
札幌郡山鼻、圓山村 (月一三) 出納官吏分任收入官吏 遠藤 正明
札幌郡琴似、發寒村 (月一三) 出納官吏分任收入官吏陸軍屯田步兵少尉正八、勳八 安孫子倫彥
札幌郡廣島村 (月一三) 分任收入官吏 一色 潔
札幌郡上手稻、下手稻、山口村 (月一三) 出納官吏分任收入官吏 奧村 駒吉
夕張郡由仁、長沼、角田、登川村 (月一三) 出納官吏分任收入官吏 鈴木 定道
石狩郡當別村 (月一二) 出納官吏分任收入官吏 鮎田 小隅

樺戸郡月形村 (月一二) 出納官吏分任收入官吏 加藤小万二

○增毛、留萌、苫前、天鹽、中川、上川郡役所 增毛郡永壽町

郡長六等 從七 林 顯三

郡書記

六 蔭山 逸夫　七 出納官吏分任收入官吏 寺戸 信久
八 木村繁太郎　八 物品會計官吏 椿 久
九 和井内喜之　九 保科 可怜
九 岩田 秀雅　十 椿 虎平
(月一二) 笹井 百三　(月一二) 澤村 秀信
(月一二) 佐野繼三郎　(月九) 後藤 貞亘
(月九) 手塚兵太郎

戸長

苫前郡羽幌、苫前、力晝村 天鹽、中川、上川郡各村 (月一五) 出納官吏分任收入官吏 興津 寅亮
留萌郡留萌、三泊、禮受村 (月一七) 出納官吏分任收入官吏 磯松年太郎
留萌郡鬼鹿、天登雁村 (月一三) 出納官吏分任收入官吏 森岡 吉邦
苫前郡燒尻、天賣村 (月一二) 出納官吏分任收入官吏 尾石儀三郎

○宗谷、枝幸、利尻、禮文郡役所 宗谷郡稚内村

郡書記

五 分任收入官吏 富永錠次郎　七 加藤 直政
八 泉田 政成　八 井元 廣譽
九 出納官吏 筧 知廣　十 物品會計官吏 中村鍵太郎
十 山本 菊藏　十 豫備陸軍步兵一等軍曹 中西 熊治
(月一二) 中西 豪興

戸長

枝幸郡枝幸、頓別、歌登、禮文村 (月一七) 出納官吏分任收入官吏 白坂 庫太
禮文郡香深、尺忍村 (月一五) 出納官吏分任收入官吏 相原 節藏
利尻郡鬼脇、石崎、仙法志村 (月一四) 出納官吏分任收入官吏 綾部 正吉
利尻郡鴛泊、本泊、沓形村 (月一三) 出納官吏分任收入官吏 能條伊之吉
禮文郡神崎、船泊村 (月一三) 出納官吏分任收入官吏 金田寬十郎

○網走、斜里、常呂、紋別郡役所 網走郡北見町

郡長七等 從七 三澤 秀二

郡書記

六 出納官吏分任收入官吏 垣沼武次郎　九 伊山 守正
十 芦澤作太郎　十 和賀 魚取
十 櫻庭松太郎　(月一二) 物品會計官吏 田口 轉
(月一〇) 永井傳次郎　(月九) 豐田 虎雄

戸長

斜里郡斜里、蒼瑁、止別、朱圓、遠音別村 (月一六) 出納官吏分任收入官吏 中山 維重
常呂郡常呂、少牛、鐺沸、生顔常、太茶苗、野付牛、手師學村 (月一三) 出納官吏分任收入官吏 松田三次郎
網走郡活汲、杵端邊、美幌、古梅、達媚、飜木禽村 (月一三) 分任收入官吏 野崎 政長

紋別郡紋別、藻鼈、瑠橡、渚滑、幌內、興部、澤木、湧別、沙留、雄武村
(月一三) 出納官吏分任收入官吏 田村 順厚

○室蘭、有珠、虻田、幌別、勇拂、白老郡役所 室蘭郡札幌通
郡長 八等 蓼原 鄕一
郡書記
六 物品會計官吏 露崎 廣 六 岡村 巖
八 河內 定爾 八 出納官吏 菊池 暹吾
九 三浦 純一 九 分任收入官吏 江刺家 雄吉
(兼) 北海道廳屬 倉永 源一郎 十 大井 幹男
十 中山 熊太郎 十 秋場 全勇
(月一二) 豫備陸軍步兵一等軍曹 利波 禮之丞
(兼) 北海道廳屬 太細 德太郎 (兼) 北海道廳屬 奥村 嘉仲
(月九) 市島 金治

戸長
有珠郡西紋鼈、東紋鼈、稀府、黄金蘂、長流、有珠村室蘭郡千舞鼈村
(月二五) 出納官吏分任收入官吏 齋藤 頁知
幌別郡鷲別、幌別、登別村室蘭郡輪西、室蘭村
(月二〇) 分任收入官吏 石川 光親
勇拂郡苫小牧、勇拂、厚眞、鵡川、井目戸、萠別、生鼈、似灣、累標、穗別、邊富內、植苗、小絲魚、錦多峰、覺生、樽前村
(月一五) 出納官吏分任收入官吏 赤松 圓太
虻田郡各村
(月一五) 分任收入官吏 伊藤 逵
白老郡各村
(月一二) 分任收入官吏 迫 彦太郎

○浦河、沙流、新冠、靜內、三石、樣似、幌泉郡役所 浦河郡浦河村
郡長 八等 正八 迫田 喜二
郡書記
五 原 直五郎 六 物品會計官吏 氏家 文太郎
八 分任收入官吏 荒谷 行道 八 西川 吉貫
九 荒 甚三郎 九 清水 一郎
十 山本 茂 (月一二) 梶山 慶時
(月一二) 館坂 市太

戸長
(月一八) 幌泉郡各村 分任收入官吏 福島 耕叟
(月一五) 沙流郡各村 分任收入官吏 瀨島 新平
靜內郡下下方、中下方、上下方、日名、遠佛、碧蘂、市父、野家、幕別、有頁、㭊別、婦蟹、佐妻、春立、音江、遠別村新冠郡高江、大狩部、葉朽、受乞、元神部、比宇、泊津、去童、姉去、万揃、滑若村
(月一五) 分任收入官吏 內藤 雄平
(月一三) 三石郡各村 分任收入官吏 佐藤 六郎
(月一二) 樣似郡各村 分任收入官吏 高橋 今朝藏

○釧路、廣尾、當緣、十勝、中川、河西、河東、上川、白糠、阿寒、足寄、川上、厚岸郡役所 釧路郡眞砂町
郡長 七等 桐野 弘
郡書記
六 中河 裕美 六 宮內 敬信
八 物品會計官吏 磯部 定藏 八 山本 清明
九 神保 晃芳 九 北島 鐃
九 兼稅關屬出納官吏分任收入官吏豫備陸軍砲兵一等軍曹 遠野 熊次郎
十 佐々木 覺之進 十 恩地 久治
十 山下 勇之進 十 佐藤 隆之祐
十 井上 尙芳 (月一二) 近藤 喜孝
(月一二) 下宮 松樹 (月一〇) 野村 義男
(月八) 福田 祐雄

戸長
厚岸郡灣月、松葉、梅香、若竹町奔渡、眞龍、苫多、床潭、末廣、璃瑠瀾、別寒邊牛村兼厚岸郡太田村
(月二〇) 出納官吏分任收入官吏 相川 小次郎
十勝、中川郡各村
(月一七) 出納官吏分任收入官吏 大谷 發
河西、河東、上川郡各村
(月一六) 分任收入官吏 大岩 武四郎
厚岸郡霧多布村榊町濱中、琵琶瀨、散布、後靜村
(月一五) 出納官吏分任收入官吏豫備陸軍屯田步兵二等軍曹 林 友英
白糠郡白糠、庶路、尺別村足寄郡淕別足寄、利別、螺灣村
(月一五) 分任收入官吏 須貝 太治
廣尾、當緣郡各村
(月一四) 出納官吏分任收入官吏 古賀 悠吉
釧路郡昆布森、跡永賀、仙鳳趾村
(月一三) 分任收入官吏 小川 一誠
釧路郡鳥取村兼阿寒郡各村
(月一三) 分任收入官吏 長尾 景成
川上郡熊牛、塘路、弟子屈、屈斜路、虹別村
(月一二) 出納官吏分任收入官吏 宮內 總次郎

○根室、花咲、野付、標津、目梨、國後、色丹、得撫、新知、占守郡役所 根室郡常盤町
郡長 六等 従七 高岡 直吉
郡書記
六 大場 宗明 七 村津 寬
八 廣瀨 誠郎 八 物品會計官吏 山本 里介
八 分任收入官吏 佐藤 平太 八 出納官吏 菊池 隆
八 林 正氣 八 片山 玄次郎
九 平柳 源八 十 安藤 勇八
(月一二) 中島 薫 (月一〇) 讚井 長三郎
(月一〇) 梅澤 壽作 (月一〇) 高橋 權次郎
(月九) 山根 榮

戸長
色丹郡斜古丹村
(月二〇) 兼斜古丹郵便局長出納官吏 和田 頁成
野付郡別海、平糸、野付村根室郡西別、走古潭村
(月一八) 出納官吏分任收入官吏 春日 鍾次郎
根室郡和田村花咲郡昆布盛落石村
(月一五) 分任收入官吏 山野 勳一
國後郡泊、東沸、留夜別、米戸賀、秩苅別村
(月一五) 出納官吏分任收入官吏豫備陸軍屯田步兵少尉正八 堰八 主稅
標津郡標津、伊茶仁村目梨郡忠類、薫別、植別、崎無異村野付郡茶志骨村
(月一五) 出納官吏分任收入官吏豫備陸軍屯田步兵少尉正八 井上 榮策

○紗那、振別、擇捉、蘂取郡役所 紗那郡紗那村
郡長 六等 従七 簗瀨 勇七
郡書記
六 出納官吏物品會計官吏分任收入官吏 鈴木 瑞枝
七 宮原 知貞 九 木村 義一郎
九 小笠原 敏太郎 九 荒川 太郎
十 篠崎 早右衞門

戸長
紗那郡留別村振別郡振別、老門村擇捉郡內保、丹根萠村
(月一七) 分任收入官吏勳八 菊地 永章
蘂取郡蘂取、乙今牛村
(月一六) 分任收入官吏 久慈 誠紀

○札幌區役所 札幌區大通西三町目
區長 六等(兼) 札幌外九郡長 林 悦郎
區書記
四 澁谷 金次郎 六 出納官吏分任收入官吏 高島 喜代太
六 松田 壽三郎 八 分任收入官吏 岩館 廉次
八 物品會計官吏 星川 吾助 九 阿部 愼
九 相原 貞次 九 村井 信也
九 松岡 清悟 九 鈴木 寅吉
九 今 誠之助 十 西村 賢弘
十 松浦 橘彌 十 木村 末太郎
十 佐々木 忠太郎 十 永峰 松三郎
(月一二) 名須川 準太郎 (月一二) 佐藤 芳夫
(月一〇) 遠藤 頁輔 (月一〇) 山中 梧一
(月九) 松永 泰 (月九) 瀧澤 虎之助

○函館區役所 函館區元町
區長 七等(兼) 書記官 財部 羌
區書記
(兼) 北海道廳屬 小島 倉太郎 六 分任收入官吏 西川 尙
六 北守 政直 六 津隈 宏
七 出納官吏物品會計官吏 本村 邦崇 七 野田 寅之進
八 吉井 前 八 從五 五條 爲明
九 更科 虎五郎 十 村木 清貞
十 吉田 豐吉 十 齋藤 鴻
十 大谷 直枝 十 伏見 竹三郎
(月一二) 佐々木 毅 (月一二) 木村 榮
(月一二) 松野尾 勝重 (兼) 北海道廳屬 加藤 義雄
(月一〇) 伊藤 房吉 (月一〇) 福士 貞久
(月九) 高間館 正直 (月九) 市川 一哉
(月九) 渡邊 克吉 (月九) 村垣 豐吉
(月八) 專田 多吉 (月八) 中川 朔治
(月八) 後備陸軍步兵一等軍曹 岩間 之脩

○北海道集治監 樺戸郡月形村
典獄 五等 出納官吏 従六、勳六 大井上 輝前 樺戸郡月形村集治監官舍
書記
三 兼看守長正八、勳八 千石 徹 四 物品會計官吏分任收入官吏 野崎 宏
七 中島 繁太郎 八 關 省策
八 大竹 京二 八 工藤 襄
八 鬼丸 丑藏 八 青柳 弘吉
九 宮村 直義 九 福士 謹吾
九 福田 保信 九 石川 友明
十 高岸 武也 十 田中 登一
十 竹內 令之助 (月一二) 佐久間 文郎
看守長
五 兼書記 工藤 悅太郎 七 草刈 次郎
七 四宮 知萬 九 高木 四郎
九 堺 銓平 九 藤田 軍平
九 小川 安次郎 九 新納 時敬
九 上田 富太郎 十 春日 市五郎

○空知分監　空知郡市來知村

分監長七等　出納官吏從七　畑　一嶽　空知郡市來知村　空知分監官舍

書記
- 五　分任收入官吏物品會計官吏　鴨澤　恒順　大
- 六　鈴木櫓三郎　七
- 八　吉岡一三　九
- 九　安田作五郎　九
- 九　鵜見鐵吉　十
- 十　戸田　進吉

看守長
- 四　叢書記　金田彌太郎　七
- 七　武川銓之助　八
- 九　西川　俊藏　九
- 九　大槌　義利　九
- 九　松田伊三太　九
- 九　川村　保吉　九
- 十　伊藤虎次郎
- 監獄醫　四　川島　義夫　六

○釧路分監　川上郡熊牛村

分監長七等　出納官吏從七　八田　哉明　川上郡熊牛村字標茶釧路分監官舍

書記
- 五　物品會計官吏分任收入官吏　高橋　吉明　六
- 七　南條　正中　七
- 八　宇佐美守彦　八
- 齋藤　穆
- 村田　明
- 井元傳十郎

看守長
- 九　新井　直　十
- 十　内山喜代太　十
- 兼平友太郎
- 西村　厭毅

書記
- 五　叢書記上島　職　七
- 九　後藤　直見　九
- 九　肥後　正彦　九
- 九　坂本　衍吉　九
- 十　笹森志馬之助　八
- 十　伊藤　卯吉　六
- 佐村覺四郎
- 叢書記四元　清
- 杉本平次郎
- 氏家　清典
- 動八

○網走分監　網走郡最寄村

分監長六等　出納官吏從七有馬　四郎助　網走郡最寄村網走分監官舍

書記
- 九　物品會計官吏分任收入官吏　熊谷　信吾　七
- 十　二宮　榮熊　九
- 因藤要次郎（月二）　中村　重教　三
- 叢書記長沼　明　七
- 叢書記野口　祐義　八
- 叢書記小澤千代藏　九
- 土橋　直八　九
- 東鄉嘉之助
- 豫備陸軍屯田步兵少尉正八　天野孝太郎　十
- 監獄醫七　佐村覺四郎

看守長
- 九　叢書記金田彌太郎　七
- 九　幸島謙太郎　九
- 九　中島　政則　九
- 九　富田　昭卓　九
- 九　伊藤常盤之助　九
- 八　上村　重隆　九
- 野間　政德
- 中島　政則
- 伊藤常盤之助
- 上村　重隆
- 叢常守長久代　樫郎　九
- 飯島　玄光　九
- 田中　雋　十
- 斯波淳次郎　九
- 小林銀次郎　八

教授
- 六等（兼）　技師廣井　勇　正七
- 六等五級　宮部　金吾　札幌區北三條西二町目一番地官舍
- 後藤　直見　職　七
- 肥後　正彦　九
- 坂本　衍吉　九
- 叢書記四元　清
- 杉本平次郎
- 氏家　清典
- 動八　笹森志馬之助　六
- 伊藤　卯吉　六
- 佐村覺四郎
- 六等五級　新渡戸　稻造　正七　札幌區北三條西一町目一番地官舍

七等七級
- 南　鷹次郎　從七　札幌區北八條西五町目一番地

七等九級
- 吉井　豐造　從七　札幌區北六條西一町目二番地

助教授
- 手島　十郎　三　北海道廳技手　佐瀨辰三郎
- 小寺甲子二（兼）　三　北海道廳技手　石川　貞治
- 橋本左五郎　四　橫山壯次郎
- 岡崎　文吉（兼）　四　平野他喜松
- 山崎　益　五

書記
- 四　叢舍監心得　井上小四郎　七
- 七　外任收入官吏　新井　穆　七
- 九　小關　義信　十
- 物品會計官吏　河野　寬治
- 築田　熙一
- 廣瀨　廣治

技手
- 五　田中芳四郎　五
- 七　叢舍監心得　照井　德治　七
- 九　叢書記鈴木　武夏
- 小室　昌陸
- 村田莊次郎

○寺常師範學校　札幌區南一條西十五町目

學校長六等一級　小學校教員銓衡委員從六　色川　圀士　札幌區南一條西十五町目師範學校官舍

教諭
- 四（下）　叢舍監訓導小學校教員銓衡委員　莊司　萬六
- 五（下）　叢訓導附屬小學校主事心得　川邊要之助

助教諭
- 二　成川　熊雄　三
- 飯田雄太郎

訓導
- 三　叢書記小林　藤吉　三
- 四　和田　義信　四

書記
- 四（當分月二三）　丸山　ぶん
- 牧口常三郎
- 村上半二郎
- 三　中里　正雄　三　物品會計官吏分任收入官吏　伊集院佐一

○函館商業學校　函館區元町

學校長（年一、〇〇〇）　正七　有森　新吉　函館區會所町七番地

教諭
- （月五五）　鈴木　鼎　（月四五）　山村　榮龜
- （月四〇）　立花　寬藏　（月四〇）　酒勾　吉藏
- （月三五）　叢舍監　水上　貫一

助教諭（月二〇）　五十嵐治郎

書記（月一七）　出納官吏物品會計官吏　新藤市左衛門

○札幌農學校　札幌區北二條西二町目

學校長五等　兼教授文官普通試驗委員從六　佐藤　昌介　札幌郡苗穗村一番地

○東京府　東京市麴町區有樂町二町目

知事 一等　從三、勳二　三浦　安　東京市京橋區木挽町九町目二十五番地

書記官 五等（年二二〇〇）　官報報告主任文官普通試驗委員長神職尋常試驗委員長主任收入官吏 正五　山縣　伊三郎　東京市麴町區富士見町六町目十四番地

收稅長 五等　文官普通試驗委員主任收入官吏 從六、勳六　大塚　貢　東京市芝區芝公園地第十八號七番

參事官 六等　文官普通試驗委員小學校教員檢定委員長小學校教員銓衡委員神職尋常試驗委員 正七　李家　裕二　東京市麴町區元園町二町目六番地

技師 五等（兼）　內務技師 從六　妻木　賴黃　東京市赤阪區丹後町七十七番地

六等八級　文官普通試驗委員 正七　倉田　吉嗣　東京市小石川區指ケ谷町七番地

六等八級　文官普通試驗委員 正七　原　龍太　東京市小石川區指ケ谷町七番地

八等十一級　正八　服部　鹿次郎　東京市本鄉區丸山福山町十五番地

○知事官房

屬

二

五 堤　和保
五 金井　義質
六 大城戸　宗重
七 加藤　善夫
七 玉名　貞勝
八 鈴木　志重
八 文官普通試驗書記 吉川　八郎
八 丹羽　氏彥
九 橫田　作之助
九 山崎　亘夫
十 青山　鍉太郎
十 近藤　金七郎
十 中村　忠太
（月一二）鵜殿　長生
（月一二）杉本　友衛
（月一〇）佐々木　高正
（月一〇）安東　悌吉

主幹文官普通試驗委員從七、勳八 高橋　昌長
五 寺田　寛之丞
六 興膳　駿郎
七 文官普通試驗書記 江原　金吾
七 瀧澤　規道
七 佐倉　孫三
八 福田　讓
八 奧畑　健太郎
八 文官普通試驗書記 足立　彌六
九 森　貫象
九 今井　熊之助
十 田中　亘次郎
十 山本　敏行
十 森田　靖男
（月一二）福原　莊太郎
（月一〇）工藤　祐之
（月一〇）澤田　甲子太郎
（月九）花澤　省三

○內務部

部長 書記官 山縣　伊三郎

第一課長 第三課長 參事官 李家　裕二

屬

一 第二課長從七、勳八 芥川　道章
（月七五）第四課長物品會計官吏從七、勳八 澤邊　祐順
一 第五課長從七、勳八 關　俊章

二 從七、勳八 渡邊　量
三 正八、勳八 川崎　實
三 長岡　往來
四 大西　重明
五 北村　侑
五 小學校教員銓衡委員 奧村　憲令
五 小原　八十吉
六 竹內　顯二
六 加藤　幹
六 保田　道明
六 神職尋常試驗委員 關　誠
六 勳七 五味　依薰
六 中野　半次
六 大胡　豐
六 三浦　純一
六 杉浦　耕成
七 山上　林造
七 林　見義
七 梅月瀨　太郎
七 野村　義長
七 野坂　直次
七 小栗　誓
七 岩瀨　武
八 柴崎　種方
八 駒野　里仁
八 太田　安茂
八 手島　忠順
八 豐田　資常
八 横田茂　次郎
八 延原　均一
八 田中　元雄
八 石塚　昇

三 中野　光亨
三 眞木　謙
四 布施　信成
五 中島　守眞
五 文官普通試驗書記 田中　端
五 龍　維直
六 長岡　安平
六 小林　正路
六 小學校教員檢定委員 布施　仲男
六 吉村　嚴
六 梅津　圭藏
六 山名　金明
六 荒木　照之
六 小學校教員檢定委員 高橋　磯八郎
六 鈴木　義則
六 比村　萬正
七 正七 江塚　庸謹
七 伊東　保次
七 中村　理喜三郎
七 長谷川　壽太郎
七 高瀨　久
七 岩井　福三
八 本岡　龍雄
八 進藤　賛雄
八 加藤　忠三郎
八 岡田　元熙
八 池上　幸操
八 高橋　友規
八 秋山　鑑藏
八 歸山　常吉
八 千賀　順應
八 戸村　理順

八 三戸頼猷
八 竹中卓郎
八 高島庸
八 町田安盈
八 堀田一衛
八 佐分利欽太郎
八 菅谷幸一郎
九 齋藤正幹
九 淺井圖南彌
九 笹谷常三
九 松井正誼
九 加藤錦之助
九 本多高皆
九 堀田元次郎
九 吾孫子巳太郎
九 笹井光久
九 井上正靜
九 木下文三郎
九 佐々木基
九 本多政辰
九 小川孝三郎
九 千里久春吉
九 竹口庄吉
十 勳七 柳瀬一與
十 山本千太郎
十 西鄕東藏
十 山田久作
十 古本崇
十 田中喜一郎
十 小野得三
十 池田鐘五郎
十 高橋信言
十 池上爲德
十 中村鉞治
十 靑山恒藏
(月一二) 大村武輝
(月一二) 小野爲治
(月一二) 佐藤益太郎

八 水野致堯
八 勳七 中井萬次郎
八 久保通猷
八 堀五正
八 戸塚爲一
八 山香他我一
九 熊谷謙吉
九 佐藤至誠
九 從八、勳八 武川武
九 脇谷扶義
九 杉本銓之助
九 小林鍊吉
九 齋藤信愛
九 江口孝平
九 岡部眞一
九 大須賀朔
九 鈴木琢磨
九 森寺勇吉
九 入江愼行
九 田邊耿介
九 伊東鍊之助
九 藤田菊太郎
九 彭城嘉津馬
十 福岡金之助
十 廣田政均
十 毛受吉亭
十 鈴木茂八郎
十 佐原恭太郎
十 滋野忠吉
十 平井巽成
十 見山正賀
十 法集三
十 北條亮明
十 長谷川安宅
(月一二) 伊藤正誼
(月一二) 佐々木壽盛
(月一二) 板垣修軒
(月一二) 江坂鋭太郎

(月一二) 横田久
(月一〇) 赤尾頼功
(月一〇) 三浦義忠
(月一〇) 佐和虎次郎
(月一〇) 一井九平
(月一〇) 加賀美國光
(月一〇) 鹽谷萬治
(月九) 里村紋四郎
(月九) 荒川諭
(月九) 馬場捨藏

(月一二) 竹永喜一
(月一〇) 谷廉
(月一〇) 加藤育藏
(月一〇) 淺見米次郎
(月一〇) 重田繁吉
(月一〇) 志波敬廣
(月一〇) 關口傳吉
(月九) 種子田則勝
(月九) 山本友邦

技手
四 小谷直溫
五 王供伊三郎
六 杉山福造
七 毛利昌能
七 三浦永淸
八 日野貞吉
八 石黑平吉
八 岩崎虎夫
八 都筑茂馬
九 館千太郎
九 森信吉
九 勳八 山田喜治
九 靑木廣太郎
九 小林萬藏
九 白井壽好
十 永田至善
十 朝比奈半之助
十 中村弼夫
十 中島元
十 尾關薰

五 小田切友之助
六 佐藤太藏
六 安達喜次郎
七 石田重道
七 金井彥三郎
八 藤下孝三
八 大竹麻治郎
八 南澤正
九 中村謙三
九 森文次郎
九 久岡一郎
九 菅野讃二郎
九 小田米太郎
九 小川忠之
九 恩田岳造
十 本田親幸
十 三田鍬次郎
十 桐原秀彦
十 森山朔介

○收稅部

部長 收稅長 大塚貢

收稅屬 二 第一課長物品會計官吏 大橋榮三

三 安藤鑒太郎
五 玉井幸太
六 綾部茂雄
七 太田猛司
九 坂本孝三
(月一〇)

第二課長 村里一貞
五 乃村禧三郎
七 高島貞彪
九 宇野信太郎
十 渡部昇

○幸橋收稅署　芝區愛宕町一町目四番地 眞福寺內

署長
六 內田綾雄
八 村崎常美
九 吉川光熙
九 永野惠直
九 物部眞一

收稅屬
三 鍵鐵三
七 分任收入官吏 笹井吉三郎
八 吉村彥太郎
九 友成直
九 江頭信義

○四谷收稅署　麹町區紀尾井町五番地

署長
七 加藤靜
八 高橋勝次郎
九 島崎敬孝
十 梶村秀三郎

收稅屬
四 竹內騣策
八 一宮七五三
九 分任收入官吏 古川克己
十 齋藤英太
十 日比野芳太郎

○萬世橋收稅署　神田區表神保町十番地

署長
六 豐都榮
八 坂部昌次
九 神谷芳造
十 谷本金次郎
十 尾崎又次郎
(月一〇) 黑川謙

收稅屬
三 堤田鶴三
八 戸方茂一
八 分任收入官吏 篠塚昇
九 塚崎淺太郎
十 山村稔
(月一一) 宮川央

○厩橋收稅署　淺草區南元町三十八番地

署長
七 島喜七郎
八 町田信成
八 山本行道
九 岡田駒吉
九 井上忠太郎
九 分任收入官吏 櫻間巳太郎

收稅屬
三 正八、勳八 綱澤嘉猷
八 豫備陸軍步兵少尉正八 野村丈太郎
八 河村春太郎
九 箕輪金丸
九 鈴木平吉
九 奥山定滿
十 藤波篤次郎

○新大橋收稅署　日本橋區箱崎町三町目一番地

署長
七 河野通直
八 分任收入官吏 妻島重太郎
九 新井晋
十 井上健太郎
(月一二) 赤堀宗吾

收稅屬
四 川部卓爾
八 鈴木寅三郎
八 須崎叔男
九 齋藤和三郎
十 伊藤愛之

○品川收稅署　荏原郡役所內

署長
九 分任收入官吏 仲村榮全
十 中根範

收稅屬
四 中野盈置
九 高橋茂一
(月一〇) 松原千代治

○淀橋收稅署　東多摩南豐島郡役所內

署長
九 分任收入官吏 西村幹忠
九 廣瀨千代吉

收稅屬
六 杉原俊太
九 平塚正己

○板橋收稅署　北豐島郡役所內

署長
九 分任收入官吏 三枝守之
十 小川尙德

收稅屬
五 奥山茂
九 高田米藏

○千住收稅署　南足立郡役所內

署長
十 山內茂太郎

收稅屬
五 關本銈太郎
十 分任收入官吏 渡邊彌一

○小松川收稅署　南葛飾郡役所內

署長
九 日比野太郎
(月一〇)

收稅屬
六 吉田慶之
十 有田幾太郎
分任收入官吏 伊集院兼利

○青梅收稅署　西多摩郡役所內

署長
九 本多直敬
十 分任收入官吏 細谷道太郎

收稅屬
六 賀來倉太
九 兒玉退藏
(月八) 濱中彥四郎

○八王子收稅署　南多摩郡役所內

署長
八 小寺房五郎
九 大島久治
十 島村淸藏

收稅屬
四 神谷眞太郎
八 分任收入官吏 吉田久高
十 莊野虎四郎

○府中收稅署　北多摩郡役所內

署長
八 渡邊正三
九 分任收入官吏 比留間熙
十 青木要

收稅屬
五 正八 森寺績造
九 地引鞆三郎
九 桑原剛三郎

○荏原郡役所　荏原郡品川町

郡長 大等 正七 林交周

郡書記
七 立石知周
十 月村茂益
十 木村周藏
(月一〇) 大竹仙藏
九 平林百太郎
十 河原源右衛門
十 中村太郎
(月八) 柴田峰太郎

町長
品川 山本重興

村長
大井 田中肇
入新井 平林逢之助
蒲田 月村惣左衛門
六鄕 石渡泰助
矢口 吉田喜三郎
調布 北川兵左衛門
池上 森井半四郎
馬込 加藤爲太郎
平塚 高橋勝藏
大崎 海老澤啓三郎
目黑 鏑木一朗
碑衾 栗山久次郎
駒澤 谷岡慶治
世田谷 橋本作左衛門
玉川 清水重五郎
松澤 山室彥三郎

○東多摩南豐島郡役所　南豐島郡淀橋町

郡長 六等 從六、勳六 藤井一虎

郡書記
八 大谷佐助
九 鈴木今太郎
(月九) 岩田松太郎
(月九) 紅野平太郎
八 小森豐救
十 相原喜一
(月九) 田中藏造

東多摩郡村長
中野 白井己胤
野方 伊藤祐治
杉並 玉野惣七
和田堀內 松島保太郎
井荻 星野紋左衛門
高井戸 內藤庄三郎

南豐島郡町長
內藤新宿 高松 喜六　淀橋 池田 伯保
同村長
大久保 片岡 種旺　戸塚 北田 重正
落合 鈴木喜三郎　代々幡 並木代右衛門
千馱谷 井田 忠信　澁谷 野口清右衛門

○北豐島郡役所　北豐島郡板橋町
郡長 七等 正七 金田 清風
郡書記
九 棚橋 正　十 山田 友衛
十 室井 平藏　(月一〇) 浮田久三郎
(月一〇) 津村 久吉　(月一〇) 飯田 銀吉
町長
板橋 青山五郎右衛門　南千住 渡邊太三郎
岩淵 清水勘兵衛　巣鴨 石井小兵衛
村長
瀧野川 保坂平三郎　中新井 森田 文超
志 荒井長三郎　高田 新倉德三郎
日暮里 小宮治右衛門　上練馬 篠田 藤八
赤塚 田中 武明　石神井 高橋 平藏
三河島 伊藤榮次郎　尾久 小泉金太郎
巣鴨 篠太郎左衛門　上板橋 飯島彌十郎
下練馬 新井七三郎　王子 熊谷源左衛門
長崎 鴨下 文藏　大泉 鈴木 政和

○南足立郡役所　南足立郡千住町
郡長 八等 正八 與倉 東雄
郡書記
八 高橋半之助　中村 賢
十 瀧山 芳雄　九 (月八) 上野藤太郎
(月八) 根岸松之助　(月七) 鈴木 精一
(月六) 南保 土是　千住 富岡彥太郎
町長
村長
西新井 吉澤 安吉　江北 清水 謙吾
舍人 小金井宣助　淵江 增田 梅藏
梅島 牛込 金三　綾瀨 大塚 豐藏
東淵江 金子松太郎　花畑 青木 荏三
伊興 宮城金之助

○南葛飾郡役所　南葛飾郡小松川村
郡長 八等 正八 岩田 士景
郡書記
八 森 孝則　九 宮崎龜之助
九 加山 安衛　十 村上 定一
十 宇佐美正直　(月一二) 森 忠廣
(月七) 坂 鼎
町長
新宿 中島藤左衛門
村長
小松川 長澤 十郎　松江 大場 將吉
一ノ江 岩楯源次郎　船堀 稻川 忠義
葛西 湯原彌三郎　瑞穗 須賀仙之助
鹿本 高橋 佐吉　平井 田口太郎一
寺島 小島重兵衛　吾嬬 町田鐵五郎
大木 宇田川芳之助　本田 菊田 長唯
龜青 橋本助右衛門　南綾瀨 吉田富太郎
篠崎 草薙八兵衛　小岩 杉浦與五郎
金町 宇田川安右衛門　水元 茂澤 清助
奥戸 山內兼太郎　隅田 小山源右衛門
大島 內藤 三藏　砂 小川 秀信

○西多摩郡役所　西多摩郡青梅町
郡長 七等 從七 村上 佳景
郡書記
八 岩村 正盛　九 小宮 尙光
九 分任收入官吏 森 久藏　(月九) 勳七 西野 法芳
(月八) 野村 長吉　(月七) 宮澤 武之
(月六) 師岡瀨三郎
町長
青梅 根岸善太郎　五日市 馬場勘左衛門
村長
西多摩 石田 茂助　東秋留 久保島源十郎
西秋留 瀨沼安兵衛　增戸 清水孫一郎
霞 安藤 常造　小曾木 宿谷 磯吉
成木 木崎 雄藏　調布 細谷 時平
吉野 川上 郡三　三田 板倉 正養
古里 原島甚三郎　氷川 木村源兵衛
小河內 杉田 郡平　小宮 栗原重郎治
戸倉 萩原角左衛門　大久野 三澤 三郎
檜原 坂本藏之助
箱根ヶ崎、石畑、殿ヶ谷、長岡村組合 村山信太郎
三ツ里、明治村組合 高尾道太郎　福生熊川村組合 笹本半兵衛
草花、原小宮、瀨戸岡、菅生、平井村組合 森田內藏之助

○南多摩郡役所　南多摩郡八王子町
郡長 六等 從七 原 豐穰
郡書記
八 嬉野恒三郎　九 小池 貞一
九 小林 祐之　十 橋本 愛雄
(月一〇) 城千代五郎　(月九) 分任收入官吏 山本岸太郎
(月九) 勳八 木崎 直藏　(月八) 杢代爲之助
町長
八王子 大平 安三　日野 中島傳之助
村長
由井 和田彥太郎　橫山 野崎 富太

淺川 栗原 賢治　元八王子 加藤 正茂
恩方 井橋 辨重　川口 坂本登名藏
加住 田中嘉右衛門　小宮 立川 周藏
桑田 齋藤 文太郎　七生 土方 篠三郎
由木 大澤 信重　多摩 富澤 政賢
稻城 原田所左衛門　鶴川 須崎 細作
南 細野喜代四郎　忠生 守屋五左衛門
町田 小川運太郎　堺 萩原半藏

○北多摩郡役所　北多摩郡府中町
郡長 七等 從七 奥村 精一
郡書記
八 分任收入官吏 高野鉄三郎　九 內野吉次郎
十 浦野 議助　(月一〇) 原 萬藏
(月八) 松本角太郎　(月七) 佐藤 清吉
(月七) 荒井三之助
町長
調布 谷戸市兵衛　府中 石坂信次郎
田無 海老澤政吉
村長
谷保 佐伯幸四郎　西府 內藤次左衛門
多磨 三岡 勘藏　神代 清水 彥太郎
狛江 小町 利三郎　千歲 佐野 豐行
三鷹 井上慶三郎　武藏野 三井謙太郎
小金井 大澤百太郎　國分寺 小柳九一郎
東村山 小島 證作　清瀨 村野 勝五郎
久留米 島崎 保平　小平 高橋 恭壽
砂川 宮崎五百里　立川 井上善次郎
大神、中神、築地、宮澤、福島、上河原、田中、拜島、鄉池村組合 中村半左衛門
中藤、横田、三ツ木、岸村組合 比留間邦之助
高木、清水、狹山、奈良橋、藏敷、芋窪村組合 尾又高次郎

○小笠原島廳　小笠原島父島大村
島司 六等 從六、勳六 北澤 正誠

島廳書記
六 兼稅關監吏 山口 子敬　八 兼警視廳警部 大室 傳
九 兼警視廳警部 高橋嘉藤太　九 永上 克己
九 笠向 寬助　九 市場 俊藏
十 兼郵便電信書記 佐藤 忠活　十 現金前渡官吏分任收入官吏物品會計官吏 長谷川直吉

○尋常師範學校　東京市小石川區竹早町
學校長 六等一級 小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員 正七 野尻 精一　東京市小石川區竹早町三十六番地
敎諭
三(上)(奏任待遇) 兼舍監小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員 角谷 源之助　東京市小石川區久堅町七十二番地
三(下)　小學校教員銓衡委員 鈴木 光愛
四(上) 依田 雄甫　四(下) 中山 民生
五(上) 大久保周八　五(上) 峯岸 米造
助敎諭
一(當分月一五) 山田源一郎　二 兼舍監 尾形 作吉
二 竹田 佐膳　三 大橋郁太郎
三 兼舍監 大島杢五郎
訓導
三(當分月一八)　下河邊半五郎
三(當分月一八) 小谷野チヨ　三(當分月一七) 會田 貢
五 高松覺太郎
書記
三 藏田 貞正　四 兼助敎諭 勳七 天野 靜也

○尋常中學校　東京市京橋區築地三町目
學校長 (年七〇〇)(奏任待遇) 勝浦 鞆雄　東京市麴町區元町一町目五番地
敎諭
(月五〇) 笹倉 新治
(月四五) 文官普通試驗委員兼書記 栗山錄三郎
(月四五) 衣斐鉸太郎　(月四〇) 森田 利房
(月四〇) 須川 賢久　(月三五) 歸山 信順
(月三〇) 深尾 重城　(月三〇) 杉 純介
(月三〇) 重野 健造　(月二五) 塚田 保三
(月二五) 今井 武將　(月二五) 田村 幸充
(月二五) 宮井 鑒　(月一〇) 飯河 三角
助敎諭 (月一八) 澤 定教
書記
(月二二) 東方作太郎　(月一〇) 森 數馬

○城北尋常中學校　東京市麴町區飯田町五町目
學校長 (月五五) 兼敎諭 今泉 定介
敎諭
(月五五) 木村 牧　(月四五) 深井鑑一郎
(月四〇) 村瀨太郎八　(月三二) 土岐隆次郎
(月三二) 宮田耀之助　(月三〇) 西村 豐
助敎諭 (月三〇) 山田 準
助敎諭心得 (月二〇) 三木五百枝
書記 (月二二) 上原多喜郎

○高等女學校　東京市京橋區南小田原町四町目
學校長 正七 李家 裕二
敎諭
(月四五) 岩谷英太郎　(月二三) 片岡 ツネ

(月一八) 牧 サハ
書記(月一八) 玉井 貞也

○巣鴨病院 東京市小石川區小石川駕籠町

醫長(囑託) 醫科大學教授正六、醫學博士 榊 俶
醫員(囑託) 醫科大學助手 呉 秀三
醫科大學助手 舟岡 英之助　醫科大學助手 荒木 蒼太郎
醫科大學助手 上野 瑋
醫科大學助手 井村 忠介
調藥掛(月一〇) 板垣 懋　(月一〇) 掛長 河瀨 謹吾
事務掛(月二〇) 增野 清一　(月一〇) 齋藤 傳助
(月八) 武藤 五十太郎
看護長(月一〇) 齋藤 安貞　(月一〇) 勳八 高柳 義光
(月一〇) 三宅 貞之

○本所病院 東京市本所區松代町三町目

醫長(月三〇) 村上 二東
醫員(月一五) 山田 謙哉　(月一二) 小高 文弘
調藥掛(月一〇) 丸山 豹
事務掛(月一五) 柏木 精一　(月一二) 內藤 丙午郎

○東京府消毒所 東京市深川區東大工町

取締(月一八) 田中 秀邦
助手(月一二) 片桐 正義

○東京市參事會

東京府知事 三浦 安
東京府書記官 山縣 伊三郎

名譽職市參事會員

芳野 世經　山田 忠兵衛
鈴木 信任　風間 信吉
仁杉 英　稻田 政吉
松田 秀雄　桐原 捨三
正六、勳六 今井 兼輔　青木 匡
從六 須藤 時一郎　正四 澁澤 榮一

○麴町區役所 麴町區麴町一町目

區長五級 從六、勳五 富士 重本
區書記
三 內海 利作　四 松島 澄人
五 古賀 俊雄　五 青木 慶三郎
六 瀧山 隼之助　六 山村 萬里
六 勳七 廣川 全作　六 石井 八十太郎
七 正七 矢部 常行　七 小林 政種
七 青崎 武志　八 島崎 佐吉
八 奧原 廣美　八 正木 時義
八 小川 義郎　九 布施 政義
九 花岡 久右衛門　九 山本 文一郎
九 森 正八

○神田區役所 神田區錦町二町目

區長一級 從五、勳六 澤 簡德
區書記
一 黑部 定能　三 村山 進
三 小林 恒輔　四 松波 孚強
四 岡村 政鄉　五 高木 孝勝
五 橫山 宗親　五 岡本 作兵衛
六 齋藤 吉平　六 大久保 宜教
六 金坂 道生　六 岩崎 重職
七 小縛 德基　七 羽鳥 慶太郎
七 高橋 長次郎　七 藤井 義在
七 城 知涯　八 小野崎 吉平
八 富尾木 新平　八 小泉 房元
八 平野 正親　八 安達 釜藏
八 鈴木 尙絅　八 杉崎 正信
九 守川 正躬　九 堀木 知紹
九 青木 信義　九 尾關 助太郎
九 田中 清次郎　九 草野 宗親
九 山崎 俊　九 野本 善吉
九 小野田 鎭　九 辻 順行

○日本橋區役所 日本橋區蠣殼町二町目

區長一級 正八 大胡 純
區書記
二 川井 正孝　二 中野 程之助
三 服部 確平　四 木村 確
五 宮澤 佐太郎　六 大島 晋一郎
六 野村 正邦　六 金澤 寸三郎
六 平林 政博　六 伊川 信三
六 力石 安之助　六 久野 三吾
七 進藤 宇兵衛　七 須田 景保
七 利根川 德三郎　七 高木 清
七 河野 富八　八 武藤 銈次郎
八 宮田 親和　八 赤坂 正廣
八 鮎貝 千矢　八 福田 學
八 關根 三右衛門　九 稻村 忠太郎
九 富田 元次郎　九 香西 景正
九 早乙女 彌三郎　九 佐々 正命
九 梅田 長太郎　九 藤井 德太郎

○京橋區役所 京橋區日吉町

區長一級 大森 敬之
區書記
一 橋口 正弘　三 石川 鎭吉
三 關 謙貞　四 酒寄 清緝
四 關屋 方壽　五 宮內 公濟

五 村田 岩次郎　五 湯川 義明
六 須藤 正治　六 桑島 牛十郎
六 勳八 河內 彌太郎　六 大芝 直繩
七 岩瀨 永造　七 加藤 壯太郎
七 高村 專之助　七 石川 近房
七 森 新八郎　八 後久 泰次郎
八 永瀨 喜三郎　八 桑原 幸政
八 中村 辰次郎　八 宮原 十五郎
八 勳七 野村 政吉　九 大河內 藤兵衛
九 兼澤 鉉吉　九 服部 廣淵
九 島田 太七郎　九 仁科 好三郎
九 山內 陽之助　九 井上 銳三郎

○芝區役所 芝區愛宕町三町目

區長一級 從七 鈴木 貞輔
區書記
三 浦口 善養　三 高橋 平兵衛
四 奧山 省三　四 溝口 豐次郎
五 田中 清　五 林 勝
五 佐川 常八　六 市瀨 純次
六 秋葉 鐵太郎　六 內田 竹次郎
六 中安 武貴　七 若林 岩次郎
七 戶室 巳三郎　七 齋藤 介保
七 大關 修平　七 伊藤 正氏
八 土屋 升　八 藤田 重太郎
八 榊原 玄義　八 糸川 潤
八 中江 巳熊　九 神谷 幸次
九 林口 吉盛　九 米山 恒銓
九 柴崎 彌太郎　九 浦壁 銚太郎
九 武谷 榮匡

○麻布區役所 麻布區市兵衛町二町目

區長四級 村木 義方
區書記
二 內藤 鐵藏　五 會田 興祖
五 秋本 政富　五 澤田 祇志
六 椙江 新平　六 西田 高朗
七 村越 秀明　七 村松 一穎
七 鷲尾 寬一　八 平澤 義憲
八 竹內 賢佐　八 松田 千代松
八 伊藤 勘一郎　九 田鹽 重敬
九 樋口 敏　九 若松 卯吉
九 寺島 督弘　九 勝田 吉次郎

○赤阪區役所 赤阪區表三町目

區長四級 近藤 政利
區書記
二 秋元 嘉晴　四 三浦 成辨
五 服部 潤太郎　五 國島 辰藏
六 勳八 高橋 慶三郎　六 曾谷 一規
七 鈴木 正義　八 村上 銈太郎
八 福與 赳　八 島村 恭次郎
八 田中 和會　九 富山 武兵衛
九 松平 繁吉　九 宮部 極平

○四谷區役所 四谷區荒木町

區長四級 津田 彥十郎
區書記
三 中村 辰三郎　四 矢島 知直
五 金長 貞介　五 中島 友德
六 加藤 藤次郎　六 谷木 俊介
七 高野 新七郎　七 村上 義爲
八 福田 溫之助　八 馬場 惟矩
八 水谷 清之助　九 櫻井 善作
九 坂本 字一郎　九 河戶 與六

○牛込區役所 牛込區簞笥町

區長四級 從五、勳五 佐伯 惟馨
區書記
四 久米 康吉　四 渡邊 魁
五 西山 藤次郎　五 白井 驥
六 中條 專吉　六 清水 直渙
七 松岡 貞亮　七 若泉 久徵
八 石野 正長　八 眞田 久則
八 清水 正次郎　八 武田 駒次郎
八 林 金太郎　九 稻田 綱太郎
九 東條 猛　九 多賀 高吉
九 出口 俊雄　九 吉井 政治
九 柴田 謹吾

○小石川區役所 小石川區金富町

區長三級 佐藤 正輿
區書記
二 松村 由長　四 杉 純
五 丹藤 正治　五 關 行正
六 木村 金政　六 江間 藤四郎
七 淺野 喜一郎　七 榊 策
七 石坂 敬一　八 上原 元德
八 福島 權平　八 辻 生江
八 小島 重篤　九 山田 清三郎
九 高田 英太郎　九 野口 錄造
九 大郁 弼八郎

○本鄉區役所 本鄉區龍岡町

區長四級 鴨池 宜之
區書記
一 今井 武夫　四 栃內 吉致
五 青木 正治　五 野々垣 虎之助
六 本多 矩誠　六 小田 信明
六 山形 甫　七 下津 長
七 千葉 重太郎　七 小林 義忠
七 森 五郎　八 羽田 嘉一郎
八 佐藤 十龜雄　八 中村 直藏
八 星野 乙衛　九 能見 孫三郎
九 石川 重男　九 大平 確次

小池鐵三郎　九
林勘之助　九　山野源太郎

○下谷區役所　下谷區伊御徒町四町目

區長五級
區書記

辻吉亭

渡邊憲　四
中山東一郎　五
和田音次郎　六
海野六郎　六
岡本知太郎　七
三宅代照　七
永田正吉　八
永野重敏　九
千賀方利　九
村越昌慶　九
星野貞吉　九
山岡景行　四
小林藤吉郎　二
安川雄三　三
高橋義忠　五
石川尚三郎　六
吉田等　七
山下利定　七
增山義孫　八
山下貞則　八
吉野貴宗　八
夏井新次郎　九

○淺草區役所　淺草區馬道町一町目

區長三級
區書記

杉本嘉兵衛

細谷多七　三
中村新太郎　四
金子親成　五
村上保太郎　六
平井省三　六
町田定　七
山口與助　七
澤田元貞　七
宮崎惣七　七
梶尾嘉十郎　八
相馬米太郎　八
矢部仙松　九
兒玉瀧藏　九
石川銈三郎　九
石井榮次郎　一
森脇依德　三
豐田宗忠　四
原善壽　五
福島正發　六
田口繁　六
稻村利行　七
岡本啓造　七
永田梧太郎　七
山内豐年　八
橋本富次郎　八
三日月辰太郎　八
丹羽忠順　八
村岡多美雄　九

森親之助　九
增山忠道　九
平井清　九　高梨正太郎
松野國次郎　九

○本所區役所　本所區相生町五町目

區長四級
區書記

飯島保篤

川村金次　三
田村光一　五
大原喜三郎　六
山內錦之助　六
梅澤圓之助　七
須田義忠　七
廣瀨半右衛門　八
中島榮忠　八
續清兵衛　八
川瀨健藏　九
宮本佐一郎　九
大崎賢三郎　九
中川米太郎　九
牧野德三郎　九
竹尾龜吉　三
石橋久兵衛　五
鴨下宇一　六
清浦利信　六
泉源八郎　七
兒玉猛次　七
林短行　八
村松時寬　八
佐藤喜市　八
內田喜太郎　九
淺越隆文七　九
淺野野間胤一　九

○東京市養育院　本所區長岡町

常設委員
委員長
正四　澁澤榮一

仁杉英　從五級六伊澤修二
中島行孝　從四子松平定敎
西村虎四郎　從三候伊達宗德
幹事（月三〇）　安達憲忠
幹事補（月二〇）　近藤善寶
書記
長屋玄次郎　（月一二）
香西權五郎　（月八）
中村將　（月六）
早川樂三　（月八）
高島登代作　（月一二）
細井英太郎　（月一二）
有田政宜　（月一二）
北村美次郎　（月一二）

中山兼吉　九
永瀨忠　九　伊藤末藏

○水道改良事務所

○澁務掛

事務員（年一〇〇〇）

今井右左楠　（月五〇）
加藤鼎叟　（月三五）
堀田正义　（月三五）
畔柳貞保　（月二五）
池田作太郎　（月二五）
石川清　（月一〇）
近藤秀太郎　（月一〇）
那須俊秀　（月一五）
嚴眞保壽　（月一五）
橫山順孝　（月一五）
野口米次郎　（月一五）
北村延次郎　（月一五）勤七
北脇豐晴　（月一五）
內海政貴　（月一五）
水野克讓　（月一五）
前田啓助　（月一二）
河野次郎　（月一二）
加藤三友　（月一二）
小笠原清勝　（月一二）
須田

掛長　楳川忠兵衛

福島甲子三　（月五〇）
堀田正义　（月三五）
池田作太郎　（月二五）
近藤秀太郎　（月一〇）
嚴眞保壽　（月一五）
野口米次郎　（月一五）
北脇豐晴　（月一五）
水野克讓　（月一五）
河野次郎　（月一二）
小笠原清勝　（月一二）

○工務掛

技師（年一八〇〇）　掛長正八　中島銳治

小林柏次郎　（年一五〇〇）
川上新太郎　（年一五〇〇）
西尾虎太郎　（年九〇〇）

工手（月五〇）
美川出生土　（月四五）
坂牛義任　（月四五）
齋藤久愼　（月四〇）
嘉納謙作　（月四〇）
佐野喜三郎　（月三五）
中島眞幹　（月三五）
飛田善太郎　（月三五）
小西得太郎　（月三〇）
橋本秀威　（月二五）
三木豐　（月二五）
名倉居善　（月二〇）
稻垣甚　（月四五）
關口三平　（月四〇）
木村鑄吉　（月三五）
永田銈輔　（月三五）
濱田晴高　（月三五）
伊澤雄司　（月三五）
宮田菊造　（月三五）
佐藤宣英　（月二五）
龜井重麿　（月二五）
高田和太郎　（月二五）
赤井親善　（月二五）

助手（月一八）
戶板文記　（月一八）
佐田謙次郎　（月一八）
森傳太　（月一八）
藤井猪之助　（月一八）
高橋直衛　（月一五）
松丸富吉　（月一五）
岩片三惠吉　（月一五）
山口犬彌　（月一五）
小島敬三郎　（月一五）
伊藤濟楫　（月一二）
坂井東五郎　（月一二）
和田兼吉　（月一二）
高橋留三郎　（月一二）
瀨賀熊太郎　（月一二）
岩崎彌太郎　（月一五）
伊藤定治郎　（月一五）
武廣岩吉　（月一五）
堀越十束　（月一五）
山上清　（月一五）
森軍藏　（月一五）
國分友輔　（月一五）
大澤長次郎　（月一五）
山本畯次　（月一五）
紀道　（月一二）勤八
野崎小輩　（月一二）
慶藏
森鎌次郎　（月一二）
石尾積　（月一二）
山田錦太郎　（月一二）

○給水掛

掛長（兼）　楳川忠兵衛

佐藤門吾　（月二〇）
杉野千太郎　（月一七）
二木貫　（月一五）
荒井鍊次郎　（月一五）
中山鐵三郎　（月一五）
古關周作　（月一五）
高桑省吾　（月一二）
小寺恒五郎　（月一〇）
田中十郎　（月一五）
森清房　（月一五）
宮川力太郎　（月一五）
神波鋲次郎　（月一五）
上村常知　（月一二）
西島祐吉　（月一二）
椎原國德　（月一二）
平間敏德　（月一二）

○京都府

京都市上京區下立賣通新町西へ入藪ノ內町

知事 一等 帝國京都博物館評議員 正四、勳三 渡邊千秋 京都市上京區下立賣通新町西入藪ノ內町官舍

書記官 四等 文官普通試驗委員長 正六 一坂俊太郎 京都市上京區東三本木上ノ町

警部長 五等 文官普通試驗委員 從六 田中貴道 京都市上京區新町通下立賣下ル春帶町官舍

收稅長 五等 文官普通試驗委員 從六、勳六 鳥海弘毅 京都市上京區南禪寺町

參事官 七等 從七 大槻龍治 京都市上京區上御靈前町

技師 六等九級 正七 谷井鋼三郎 京都市上京區新烏丸通上切通角新烏丸頭町

典獄 八等 文官普通試驗委員 從七 六角耕雲 京都市上京區千本通二條下ル東入主稅町官舍

○知事官房

屬

四(雜) 小林精一郎
六 若松雅太郎
七 文官普通試驗書記 岡松忠利
九 和田彦藏
九 細岡靈深
(月一二) 關 正治
(月一二) 丹羽氏行
(月九) 野口芳三郎
(月六) 鈴木 漠

六 正八 嚴本範治
六 官報報告主任文官普通試驗書記 山本長敬
九 荒木信正
九 笠井万壽
十 渡邊守睦
(月一二) 大角友信
(月一〇) 淡海 弘
(月八) 河根賢治

○內務部

部長 書記官 一坂俊太郎
第一課長 參事官 大槻龍治

屬

一 第二課長 加藤廣說
二 第五課長 荒居源太郎
三 第四課長 壁谷喜一
三 第三課長小學校教員銓衡委員 上田正當
三 宮崎豐次
四 文官普通試驗委員 兼田義路
五 三吉 艾
六 兼帝國京都博物館書記神職試驗委員 大澤敬之
六 牛井眞澄
六 波多野愛之輔
六 上井 保
六 朽木綱一
六 六浦徹矢
六 志賀政懿

四 小林精一郎
五 中山親和
五 文官普通試驗委員 莊林維新
六 熊谷永久
六 青山長祐
六 湯本文彦
六 鴨川正幸
六 久藤爲木
六 大原午之助
七 兼第四回內國勸業博覽會書記 從八 澁谷蓋生

七 從八 眞壁嘉綏
七 官報報告主任 堀場種次郎
兼帝國京都博物館書記 新庄幸之輔
七 角倉玄親
七 江村 弼
七 小柳堅太郎
七 荒川菊太郎
七 勳七 高井 淩
七 佐々木唯市
八 山田 榮
八 中川幸夫
八 木寺近信
八 中島外成
八 福家精一
八 中村和光
八 岩內勝次郎
九 從八 月岡儀行
九 岡崎忠睦
九 加藤哲之助
九 荒木猶一郎
九 勝野永英
九 南大路他五郎
九 西村辰夫
九 松田錠藏
九 石田恒之助
九 竹內長善
九 荒木正齊
九 東鄉 傳
十 奧村良重
十 吉田脩治
十 增井茂三郎
十 猿渡弘吉
(月一二) 山室久米
(月一二) 竹井貞太郎
(月一一) 寺田淺吉

七 從八 高田平次
七 官報報告主任 山田得多
七 鈴木常太郎
七 岸本 巖
七 北本 雄
七 岸田豐久
七 高谷義忠
七 勳八 鈴木重禮
七 上村安太郎
八 吉田 豐
八 北川忠重
八 岡村龜太郎
八 木原勝太郎
八 田邊吉次郎
八 武內數之輔
九 久我元通
九 砂川清瀨
九 阪崎良敏
九 本庄元彬
九 池田近勇
九 土山武秀
九 猪子氏智
九 岡本俊朗
九 渡邊 篤
九 木村與三郎
九 濱田新之允
九 田中宗軌
十 中村 淳
十 阿形精一
十 蒲原達彌
十 松本敬孝
(月一二) 中川玄太郎
(月一二) 水口清孝
(月一二) 池田勝次郎
(月一〇) 磯田爲義

高村高次郎（月一〇）　平田重吉（月一〇）
日比久賢（月一〇）　小笠原照太郎（月一〇）
眞名井純一（月一〇）　渡邊清太郎（月一〇）
三上儀武（月一〇）　中井正國（月一〇）
藤木行直（月一〇）　高野勇五郎（月一〇）
上林嫌三郎（月一〇）　柳原嶺夫（月九）
井關艮顯（月九）　三戸盤（月九）
曲淵義壽（月九）　三谷廣三郎（月九）
漢城基命（月九）　岡本明季（月九）
高田九郎（月九）　種山忠次郎（月九）
石川春太郎（月九）　服部壽太郎（月九）
黒坂鹿太郎（月八）　森田省三（月七）
内藤朝義（月七）　山田壽明（月七）
生咲政次郎（月七）　早田卓次（月七）

技手

三　正八、副八田所重禮　四　中廢直助
五　三原範治　六　森田玲彦
七　鈴木厭之介　七　田代早苗
七　村田五郎　七　細田信道
八　古畑重三郎　八　石崎長祐
八　矢島釣之助　八　山口元綱
八　警第四同内勤務兼場警部補　福田將善　八　喜多敬雄
八　白石一介（月一〇）　岡本學
村井安雄

○警察部

部長　警部長田中貴道

警部

四　警務課長巡査兼製圖所長文官普通試驗委員　山縣釩之助
五　保安課長廣澤銕郎
恩田壽夫　七　高等警察主任井田正忠
七　松村巖　七

警部

七　松井深通
服部盛久

警部

和田彦馬

警部

佐伯善之丞

警部

船井郡園部町

警部

五　根岸傳
飛田知濟

警部

大　大野政忠
九　上六人部分署長　荻野政敬

警部

加藤茂三郎

警部

何鹿郡綾部町

警部

五　阪崎半也

警部

阿部忠章　七
土持兼白
巡査教習所教官　坂田洋　八
廣瀨正義
田中百藏　八
大橋清賢
杉田宗七　十
加古才二郎

技手

河村汪　十
平中竹治郎

警部

山崎一　大　坂本久壽
九　隈元潔

警部

愛宕郡下鴨村

警部

鄉田福

警部

宇治郡山科村

警部

中川隆次　九
伊藤泰教
吉澤万之助

警部

中大路季白

警部

葛野郡桂村

警部

八　花園分署長笹田恕　六
角信勝
日高翼

警部

乙訓郡向日町

警部

新納時義

警部

紀伊郡伏見町

警部

四　萩原貳二
近藤治清

警部

久世郡大久保村

警部

香川省三

警部

西垣與吉郎　八　笠松藤四郎

警部

京都市下京區堀川通錦小路北入四坊堀川町

警部

山崎一　大　坂本久壽
九　隈元潔

警部

京都市上京區上長者町通智惠光院東入須濱町

警部

京都市上京區河原町通丸太町上ル枡屋町

警部

京都市下京區五條大橋西詰中島

警部

羽田信明
山田平三

警部

京都市下京區松原通建仁寺町東入弓矢町

警部

五　橋本幸正

警部

井手　警察署　綴喜郡井手村

警部

署長心得　八　木村靜登
八種分署長　織田信美

○木津警察署　相樂郡木津町

警部

署長　七　松井深通
服部盛久

○龜岡警察署　南桑田郡龜岡町

警部

署長　和田彦馬

○周山警察署　北桑田郡周山村

警部

八　佐伯善之丞

○園部警察署　船井郡園部町

警部

署長　五　根岸傳
飛田知濟

○福知山警察署　天田郡福知山町

警部

署長　大　大野政忠
九　上六人部分署長　荻野政敬

○綾部警察署　何鹿郡綾部町

警部

七　阪崎半也

○舞鶴警察署　加佐郡舞鶴町

警部

署長　十　井田惇
大　河守分署長山田重洋

○宮津警察署　與謝郡宮津町

警部

署長　八　加悦分署長堀内保正　九　大
河瀨昇
大野橋郎

○峯山警察署　中郡峯山町

警部

署長心得　八　星清次
吉岡久七郎

○網野警察署　竹野郡網野村

警部

署長心得　七　本井保一郎

○久美濱警察署　熊野郡久美濱村

警部

八　秋山清高

○收稅部

部長　收稅長鳥海弘毅

收稅屬

一　小林時亮
五　吉田豐吉
七　山中喜代治　八
京都收稅署署務　藤木辰之助　十

收稅屬

京都收稅署出口綾太（月一〇）　井内四十男
十　京都收稅署署務

○京都收稅署

收稅屬

署長　八　入江意之助
八　中西八百吉
九　守永量多
大　梅田幹夫
八　花井龍郎
九　桂田庄吉

○下京派出所　京都市寺町通綾小路下ル

收稅屬

所長　七　辻村三子松
九　大井昜
十　本鄉光治（月一〇）
收稅部署務　石崎宜穗
石井次郎
（月七）　岩田種吉
吉川房嗣
並河清

○伏見收稅署　紀伊郡伏見町

收稅屬

署長　七　師岡春胤
八　松本幸太郎
九　岡本忠利（月八）
木津收稅署署務　森永之
（月九）

○木津收稅署　相樂郡木津町

收稅屬

署長　七　田島耕平
九　烏田和三郎
十　駒崎庫之助
甲斐忠之
今永常太郎
九　菅野豐

○龜岡收稅署　南桑田郡龜岡町

收稅屬

署長　八　坂本靜之進

澤田　輪吉　九　佐治　正信
岩波　悦敬　十（月九）　槌本　正修
田伏盤次郎　十（月八）

○周山收稅署　北桑田郡周山村

收稅屬
署長　白石　綉一　八（月八）　矢島　轍
關　小二郎　川本實之助

○園部收稅署　船井郡園部町

收稅屬
署長　三木　敬修　五　來田孫十郎
三木　敬修　十　池田　貞介
守田　宗治　九（月九）　渡邊　守陳
陶山富太郎　十（月九）　高橋劍次郎
高田半三郎　十（月七）

○福知山收稅署　天田郡福知山町

收稅屬
署長　橫山　元吉　七　久田　義宣
九　豐福　廉作
岸田彌三郎　十（月八）　北條銑太郎
吉村猪之助

○綾部收稅署　何鹿郡綾部町

收稅屬
署長　竹內　正紀　八　廣崎　衛
力武國三郎　九（月七）　岡本　亦三
橫田　拙二

○舞鶴收稅署　加佐郡舞鶴町

收稅屬
署長　本間民之進　七

○監獄署　京都市上京區千本通二條下ル東へ入主稅町

典獄六角　耕雲

署長
監獄書記
八木房次郎　九
狩野　正芳　九
川村　正照　九
藤田　修一　十
稻本　久倶　十（月一〇）
南部兵次郎　十（月九）

看守長
菅谷　定輿　九
池田　安孝　十

○宮津收稅署　與謝郡宮津町

收稅屬
署長　加藤岩之丞　九
松田彌三郎　九（月九）

○峯山收稅署　中郡峯山町

收稅屬
署長　荻野千之介　九
森脇常次郎　九（月九）
梅本　乙治　九（月七）

西山與一郎　九
長篠　益吉　九（月一〇）
高取　定一　十（月八）

監獄醫　警務所長　大島甲子郎　十（月一六）
後藤源久郎　十（月一六）
藥劑生　能田禎次郎　十（月八）
監獄書記　山田悅次郎　九（月六）
梶川　辰二　九
支署長　中村兼次郎　十（月一六）
神森　勝晃　十（月一四）
新宮龍一郎　十（月一〇）

○宮津監獄支署　與謝郡宮津町

監獄書記
支署長　大塚　杉三　七　警視守長從八
加藤　釧　十（月一〇）
看守長　阪井　捨吉　十

○愛宕郡役所　愛宕郡田中村

郡長　片山　正中　正八

郡書記
渡邊　珍鐺　修學院
西川　孝　上賀茂
大宮　林彥右衛門　十塚利三郎　岩倉
大原　小原保匡　十塚利三郎　靜市野
鞍馬　廣谷文五郎　藤井喜次郎　花脊
白川　中島友三郎　下鴨
松ヶ崎　北野亦三郎　鷺峯
野口　井上伊三郎　雲ヶ畑
八瀨　長谷川半兵衛　久多

○葛野郡役所　葛野郡太秦村

郡長　川本　正路　正八

郡書記
永田　清彥　八　山田　友澄
小山源三郎　九（月九）　吉村　文三
吉田　正理　七（月七）　佐治榮太郎

村長　若山　庄造　七條
大內　湯川半左衛門　川岡　津田長左衛門
京極　村田　武長　西院　西村幸三郎
朱雀野　小山　繁松　桂　大八木良民
梅津　中村小三郎　嵯峨　井上與一郎
松尾　石田喜兵衛　花園　伊藤芳太郎
太秦　古谷　和之　小野鄉　日下部廣造
衣笠　藤井　清助　梅ヶ畑　吉川　右內
下嵯峨　吉田辰之助
中川

○乙訓郡役所　乙訓郡向日町

郡長　池上　勝太郎　正八、勳六

郡書記
森本和三郎　九（月一〇）　栗山　透
井尻　助淳　九（月七）　植田　忠雄

村長　川島松之助　淀
久世　羽束師　向日町
南行之助　安田治右衛門　安井爲三郎
新神足　岡本清一郎　大山崎　松田　孝秀
海印寺　小西與右衛門　乙訓　佐藤清右衛門
大原野　齋藤龜太郎　大枝　三宅清兵衛
久我

○紀伊郡役所　紀伊郡伏見町

郡長　荒井　公水　六等　正七

郡書記
仙石　卯策　九　高山　重藏

郡書記
河野　通威　十　讀訪　信明
文殊四郎兵衛　七（月七）　小島　善勝

町長　柳原　明石　民藏　伏見　築山三郎兵衛

村長　吉祥院　小原傳之丞　上鳥羽　堤彌左衛門
下鳥羽　奧田清兵衛　橫大路　藤田　權介
深草　愛川鍼次郎　堀內　丸谷紋次郎
向島　山田忠兵衛　東九條　田中　謙
竹田　長谷川庫之助

○宇治郡役所　宇治郡醍醐村

郡長　北原　保重　八等　正八

郡書記
二松　催忠　八（月八）　鎌田　寬隆

村長　中村　敏夫　醍醐
杉谷龜三郎　宇治

○久世郡役所　久世郡淀町

郡長　伴　時彥　八等　正八

郡書記
金万　景耀　九　高須幾次郎
清水勝太郎　八（月六）　芹川　賴吉

村長　今村　忠平　小倉
佐山　本田邦之助　北川　玉城
大久保　久津川　北尾四郎三郎　笠置　要太郎
寺田　堀治左衛門　森　高山　勇吉
御牧　中西　芳居　植島　岡田　佐吉

○綴喜郡役所　綴喜郡田邊村

郡長　梅垣　幸之　八等

郡書記
藤川　正路　八　杉浦　剛
吉川　忠信　七（月六）　上田　德藏
西川　定吉

八幡　中村英之助

浮田長次郎　有智鄉　西村　莊平
都々城　中野　末吉　大住　橋本孫四郎
田邊　北川甚右衛門　草內　古川　七三
三山木　井上喜右衛門　普賢寺　藤林　昴
井手　中坊久四郎　青谷　島本德次郎
田原　上尾七郎兵衛　宇治田原　永島太郎兵衛
多賀　山本延太郎

○相樂郡役所　相樂郡木津村

郡長　松野　新九郎　從七

郡書記
村長　阪部鍼太郎　八　片山安太郎
山科　石山　成一　七（月七）　澤井楢太郎
笠取　久保　恒德　九（月六）

芦原　有成　高麗
吉岡武平治　稻田　藤田金一郎
狛田　山田莊　上村源三郎
祝園　岩本平太郎　木津　橋村武次郎
相樂　吉村清右衛門　加茂　梶田九市郎
當尾　吉岡多十郎　西和束　林庄右衛門
瓶原　石井九郎右衛門　東和束　北　喜太郎
中和束　稻垣興兵衛　笠置　岡本正休
喜多健次郎　大河原　小島政次郎
大東太郎兵衛　上柏
大谷勘三郎
湯船

田中　源八
藤田金一郎
上村源三郎
橋村武次郎
梶田九市郎
林庄右衛門
北　喜太郎
岡本正休
小島政次郎

○南桑田郡役所　南桑田郡龜岡町

郡長八等　正八　皆川惇

郡書記

七　井口德太郎
十　藤田止慈

九　八羅忠遊
十　高橋雄

町長　栗山清三郎　樫田服部百太郎　西別院西田莊兵衛　曾我部岡村伊三郎　本梅山田新太郎　宮前田中逸平　千代川中川敬造　千歳岸八眞兵衛　旭村上蔦助

村長　古畑富之助　本莊長澤源吉　原田太眞助　川邊橫河齋　園部柿谷武兵衛　竹野侯野左平次　高原安藤新之丞　檜山川勝健次郎

篠東別院吉川薮田野畑野大井馬路河原林保津

町長　東本梅川勝孫太郎　秋田宗兵衛　片山庄左衛門　田中吾內　橫山正治　篠塚格之進　塙仁輔　高屋六一　加地敬太郎　山本喜藏　富本

村長　中井爲助　西本梅富庄　奥村官治　淺田寬司　蘭田弘三　松本巳之助　山村重助　明田吉五郎　大槻孝一郎　梅田　湯淺德三郎　木戸豐吉　林眞左衛門　川勝孫太郎

○北桑田郡役所　北桑田郡周山村

郡長八等　正八　辻直方

郡書記

九（月八）　青山維芳
藤野治眞

九（月九）　小島信一郎

村長　安田耕平　辻啓太郎　上野源次郎　谷口重兵衛

宇津　周山　黑田宮島　知井大野　細野

山岡弓削平野鵜ヶ岡神吉

村長　勝山仲四郎　西新次　武部源吾　土井新太郎　梅津弁次郎　河合島次郎

○船井郡役所　船井郡園部町

郡長八等　正八　有吉三七

○天田郡役所　天田郡福知山町

郡長六等　正七　柳島誠

郡書記

七（月一〇）　關川銳見
九（月九）　瀨川東
八（月一一）　雀部侃次郎
町長　山口重雄

福知山　吉田駿　土井宗兵衛　中島啓助　吉田岩次郎　萩野菁橘

村長　岩村律藏　藤田覺治　柏原末吉　池田卯右衛門　永澤甫　矢野孝造

○何鹿郡役所　何鹿郡綾部町

郡長七等　従七　竹中節

郡書記

九　猪間信義
十　大志万誠太郎
（月一〇）

久保佑太郎　川口正定　山添澄時

營沼　綾部　通顯　大槻藤左衛門　長岡九眞右衛門　平和善左衛門　志賀郷　大槻權右衛門　大槻孫之丞　川端政二郎　吉川新平

鹽見豐藏　物部　能勢長十郎　上原文次郎　小畑　猪間一夫　小林俊治

○加佐郡役所　加佐郡舞鶴町

郡長七等　従七　右田眞平

郡書記

八　木戸貞一
九　高島增八
九　和田信美
佐藤角次

小山實　山口三五　片山八郎

○中郡役所　中郡峯山町

郡長八等　正八　內藤潔

郡書記

九　後藤卯精
（月六・五）　段野磯治

中島啓助　吉田岩次郎　荻野菁橘

○竹野郡役所　竹野郡網野村

郡長八等　正八　兒玉友介

郡書記

十　篠田末五郎
（月七）　矢野孝造

谷田庸三　山中正規

○與謝郡役所　與謝郡宮津町

郡長六等　正七　粟飯原鼎

郡書記

七　檜山政久
九　加藤正金
九（月七）　稻垣治兵衛
武內宇之助

大石雲根　高橋新太郎　今林圧藏

○熊野郡役所　熊野郡久美濱村

郡長八等　後藤善二

郡書記

九　中野鋼三郎
十　小西武

今西喜代造

○尋常師範學校

學校長八等五級　小學校教員銓衡委員　正八　清水誠吾

京都市上京區油小路通下立賣下ル西裏辻町

教諭

四（上）　高木秀太郎　二

助教諭

四（上）　安藤季雄
四（下）　戶野周次郎
五（上）　正意
五（下）　石川辰一郎
（月一三）　高浦丈雄

訓導

三（當分月一八）　楠美恩三郎
二　寺町きぬ
三　三好いね

舍監小學校教員銓衡委員　舍監小學校教員銓衡委員　舍監橫田　舍監

三　伴虎之助
三　直井潔

村長　河守上　荒賀信右衛門　岡田上
河守　岸田金次郎
有路上　平野忠治　有路下
河西　仁張仁平　眞下利吉
岡田中　泉秀次郎　河東
東雲　池田郡藏　岡田下
由良　中西孫兵衛　丸八江
四所　上野思次郎　神崎
高野　坪內泰吉　中筋
餘內　柴田市五郎　池內
興保呂　宇留間盛藏　倉地
朝來　梅垣孫左衛門　志樂
西大浦　梅原俊治　東大浦

町長　宮津　村長　上宮津　荻野善右衛門　城東
栗田　井上仙藏　吉津
桑飼　段野利右衛門　與謝
市場　阪根庄三郎　岩屋
山田　神谷廣生　岩瀧
府中　小松純爾　世屋
野間　久江久兵衛　養老
伊根　西川保二郎　朝妻
本庄　三野久吉　鈴木五左衛門　品川万右衛門
石川　成毛甚右衛門　雲原　白川中垣儀右衛門

村長　三河內　江原德右衛門
日ヶ谷　久保辰藏　日置　橋本源次郎

村長　常吉　白杉清吉
三重　松村忠右衛門
口大野　大同盛平
奥大野　松田淺右衛門
新山　安達伊右衛門
吉原　瀧野平左衛門
河邊　五十河・大野　淺田佐兵衛　田中吉兵衛
高橋六眞右衛門　島田房藏
盛平　長善
丹波　井上清左衛門
五箇　田中宗右衛門
周枳　永島長兵衛

村長　上佐濃　奧田新之丞　下佐濃
田　高田三郎右衛門　神野
湊　木村嘉兵衛　海部
川上　飯室九郎右衛門　岡田久左衛門
久美濱　田中　佐藏　村野松之助

町長　河守　京都市上京區寺町通荒神口下ル松陰町

四（當分月一三）　川瀨房次郎
五　臼井　清司　（月一〇）　赤坂　末菊
書記
三　長岡　正之　五　池内　鼎三
囑託教員
（月二〇）　中村　鼻五　（月一八）　高田　年
雇教員
（月一五）　明石　松　（月一〇）　市川　ゆひ
（月八）　宮村　呈三

○尋常中學校　京都市上京區新町通下長者町下ル兩御靈町

學校長（年八五〇）（奏任待遇）　本庄　太一郎　京都市上京區東洞院通竹屋町下ル三本木五町目
教諭
（月七〇）　堀池彌太郎　（月五五）　谷千代太郎
（月四〇）　田中義五郎　（月四〇）　林　文五郎
（月三五）　前田七之丞　（月三〇）　小林　力彌
（月三〇）　大橋　貞彦
助教諭
（月二五）　奧平　清規　（月二五）　川原林愛之助
（月二三）　三國　一愨　（月二〇）　矢野　倫眞
（月二〇）　谷岡安三郎
書記
（月二五）　兼囑託教員　嶺　全明
（月一〇）　牛井　大治
囑託教員
（月二五）　岡澤鉦治郎　（月一八）　伊藤　介夫
（月一七）　大菅吉太郎　（月一二）　上村　長一
（月一〇）　長川　晄碩　（月一〇）　高田　年

（月一〇）　高木　尙義

○商業學校　京都市下京區堀川通蛸藥師下ル四坊堀川町

學校長（月六〇）　兼教諭　大坪　權六
教諭
（月四〇）　齋藤軍八郎　（月三五）　細川　俊茂
（月三五）　山形安次郎　（月三〇）　山之内兵十郎
助教諭
（月二〇）　山本　壽雄　（月二〇）　萩原　正勝
（月一五）　廣渡桂太郎　（月一五）　池田鹿之助
（月一二）　平清水亮太郎
書記（月一二）　佐野　忠振
囑託教員
（月九）　谷口小金吾　（月八）　本多孝三郎

○高等女學校　京都市上京區中筋通丸太町下ル駒ノ町

學校長（月五〇）　河原　一郎
教諭
（月七〇）　山根順三郎　（月四五）　金子重太郎
（月三〇）　猪熊　夏樹　（月二二）　小野　眞平
（月二〇）　粟飯原曦光　（月二〇）　平岡勝之助
（月二〇）　平野　のち　（月二〇）　尾見　ふミ
（月二〇）　岩原　愛　（月一八）　福田　せつ
助教諭
（月一五）　大森　岑尾　（月一二）　小川　その
書記
（月一〇）　馬淵遠太郎　（月八）　松井　立造
囑託教員
（月二五）　江口　弁吾　（月一五）　望月　玉泉
（月一五）　藤井　夏吉　（月一〇）　中村　たか

（月八）　五島　ひさ　（月七）　川瀨　益
（月七）　山本　ゑけ　（月六）　中村　ゑけ
（月六）　澤野　壽　（月六）　田中　まそ
（月五）　木村　ゑな　（月五）　前田　ふし
（月三）　茨木宗右衛門　（年二四）　正七　近藤　芳介
（年五〇）　廣瀨美屋子　（年四八）　千　玄室
（年二四）　池坊　專正　（年二四）　川越　蘭枝

○京都市美術工藝學校　京都市上京區丸太町通寺町西へ入

學校長（年一二〇〇）（奏任待遇）　今泉　雄作　京都市上京區寺町通丸太町上ル松蔭町
教諭
（月二五）　大村　西崖　（月二五）　榊原　長敏
（月二五）　鈴木　瑞彦　（月二五）　谷口　槌之助
（月二五）　菊池常次郎
助教諭（月一七）　大澤芳太郎
書記（月八）　富永　元濂
囑託教員
（年一五〇）　森川　曾文　（年一五〇）　原　在泉
（年五〇）　吉田　秀穀　（年三〇）　富岡　百鍊
（年二五）　山本　章夫

○京都市盲啞院　京都市上京區西洞院通丸太町上ル東裏辻町

教諭
（月二三）　兼院長事務取扱　鳥居嘉三郎
（月一二）　望月　玉泉
助教諭
（月一七）　塚田　秀苗　（月一四）　中村　望齋

○醫學校　京都市上京區御車道通清和院口上ル二町目梶井町

學校長（年二一〇〇）（奏任待遇）　兼教諭從六　猪子止戈之助　京都市上京區堺町通三條上ル大阪材木町
教諭
（月一四〇）　淺山郁次郎　（月一三五）　島村　俊一
（月一〇〇）　加門桂太郎　（月一〇〇）　平井毓太郎
（月一〇〇）　富永　兼棠　（月四五）　星野　元彦
（月四〇）　伊藤　正信　（月三〇）　喜多川義比
助教諭
（月二五）　山崎　直記
（月二〇）　兼書記長谷川直三郎
（月一五）　足立時五郎　（月一五）　淺木直之助
（月一五）　宇野　半吉　（月一五）　神服木之助
書記
（月二〇）　細井　恒賢　（月一八）　平井　如紘
（月一〇）　土橋　鶴三
囑託教師（月二五）　上田　勝行

○療病院

院長（年二一〇〇）　從六　猪子止戈之助
副院長（月一四〇）　醫局長眼科部長　淺山郁次郎
醫員
（兼）　島村　俊一
（月一〇〇）　加門桂太郎
（月一〇〇）　內科部長　平井毓太郎
（月四五）　星野　元彦
（月三〇）　調劑局長　喜多川義比
一等醫（月二五）　山崎　直記
二等醫
（月一五）　山上　爲雄　（月一五）　足立時太郎
（月一五）　宇野　半吉　（月一五）　神服木之助
（月一〇）　淺木直之助　（月一〇）　長岡　英吉
（月一〇）　朝井　元章　（月一〇）　齋藤茂太郎
三等醫
（月六）　岡部　重吉　（月六）　高木　克敬
（月六）　谷村　久吉　（月六）　融　祇三郎
（月六）　三方熊之助　（月六）　多田熊之助
調劑生
（月一二）　坂部　準　（月八）　中野　忠藏
調劑生補（月六）　木田　保
幹事（月四〇）　伊藤　正信
書記
（月二〇）　細井　恒賢　（兼）　平井　如弦
（月一〇）　三宅　省吾　（月一〇）　大野　清一
（月一〇）　土橋　鶴三　（月八）　井尻万三郎

○京都市參事會

京都府知事　渡邊　千秋
京都府書記官　一坂　俊太郎
名譽職市參事會員
富田半兵衛　內貴甚三郎
下間庄右衛門　宍戸龜三郎
朝尾　春直　西村治兵衛
山中小兵衛　上野　宇八
東枝吉兵衛

○上京區役所　京都市上京區中立賣通小川東入三丁町

區長二級　增田　正
區書記
四　城戸竹次郎　四　山崎芳太郎
五　畑　輝興　六　福山　安定
六　木俣晕太郎　六　後藤勘兵衛
七　神光　重公　七　橋本　幸友
七　中尾　旬望　七　富田　直詮
七　河原　政庸　七　大田半兵衛
七　植田嘉一郎　七　瀨波　濯
八　小畠　功一　八　鈴鹿　濂靖
八　倉田菊三郎　八　太田垣保之助
八　廣瀨　久吉　八　兼田　義宣
九　山內　正平　九　蒲田　英治
九　小倉　利助　十　小笠原正守
十　村井　義偏　十　長谷川雅吉
十　岡本猪之助　十　井上嘉右衛門
十　木下　隆禧　十　山本喜右二

○下京區役所　京都市下京區五條通高倉東入鹽竈町

區長一級　辻　信次郎
區書記
三　石野幸太郎　四　中山　研一
六　樋口　誠造　六　近藤市太郎
六　戸雁　光誠　六　平瀨　島
六　上木　爲吉　七　上島傳兵衛
七　大河內於菟二　七　森川　收藏
七　久保　貞義　七　上野　直次
七　倉田米七郎　七　安田豐三郎
八　西光　賢海　八　芦谷　安次
八　藤岡　房展　八　吉田　寅造
八　西村　宗助　九　乾　愛之助
九　石川得三郎　九　藤村　武助
九　清水松之助　九　河村　正憲
九　近藤　重藏　十　水島仁兵衛
十　高木伊三郎　十　中谷　冬樹
十　上野　重孝　十　辻　定祥
十　岡野　義裕　十　加藤熊次郎
十　山崎瀧之助　十　藤田　茂照
十　山田傳次郎　十　井手力之助
十　佐久間捨哉

○大阪府　大阪市西區江ノ子島上ノ町

知事 一等　從三勳二　山田信道　大阪市北區堂島濱通三町目四番屋敷官舍

書記官 五等　官報報告主任文官普通試驗委員長小學校教員銓衡委員主任稅外收入官吏主任歲入歲出外現金出納官吏海軍大主計 從六勳六　片岡直輝　大阪市北區堂島濱通三町目五番屋敷官舍

警部長 五等（年一八〇〇）　文官普通試驗委員 從六　鈴木定直　大阪市西區江ノ子島東ノ町一番屋敷官舍

收稅長 五等　文官普通試驗委員主任收入官吏 從六勳六　七里定嘉　大阪市北區旅籠町四番屋敷六號

參事官 七等　文官普通試驗委員 從七　石原健三　大阪市北區堂島濱通三町目一番屋敷官舍

技師 六等七級　文官普通試驗委員 正七　植木平之允　大阪市北區天滿橋筋一町目九十九番屋敷

○知事官房

屬
（兼）官報報告主任文官普通試驗書記　林俊太郎　四
香川千三郎　六
中野修太　七
益田文繼　十
島本篤兵衛（月一〇）
堀田久太郎（月九）
前田辰次郎　四　文官普通試驗書記
奥寺祐藏　六　文官普通試驗書記
兵須安積愼一　八
武藤教貞　八
森豐次郎　八
前田辰次郎　七
奥寺祐藏　八
兵須久　八
文繼　八
島本篤兵衛　八
堀田久太郎　八
小林三郎　大　文官普通試驗委員分任歲入歲出外現金出納官吏正七　大阪市北區末廣町十八番屋敷官舍
典獄 大等（年一〇〇〇）

○內務部

部長
書記官 片岡直輝
參事官 石原健三
技師 植木平之允

第一課長
第五課長
第二課長
屬

五　平井保德
四　石田英壽
四　久能省三　官報報告主任
五　有田濱生伊八郎
五　田中築郎　衆技手
五　正路秀　衆技手
六　高宮三宅織之　小學校教員檢定委員
四　松井行員　第三課長小學校教員檢定委員
四　板原兵三郎　小學校教員檢定委員
五　岩本玄雄　衆技手
五　兒島隆一　小學校教員檢定委員
六　別宮釀造　小學校教員檢定委員
六　角田鹽之助　第四課長心得物品會計官吏
六　小林謙二　官報報告主任文官普通試驗書記
六　香阪力　衆技手
六　村田宜寬　衆技手
六　後藤研一　衆技手
六　奧平武次郎　衆技手
六　山田美稻　衆技手
七　三浦短俠　衆技手
七　今井情　衆技手
七　杉浦聞多　衆技手
七　長谷川梅二　衆技手
八　齋藤基　衆技手
八　佐伯仲藏　衆技手
八　船越藏次郎　衆技手
八　前田宗恒　衆技手
八　松原敬惟　衆技手
九　中澤亘吉　衆技手
九　青木一　衆技手
九　金森又市　衆技手
九　中山幸七　衆技手
九　清水正喬　衆技手
九　淺井三男　衆技手
九　嵯峨渡邊幾之助　衆技手
九　三島泰吉　衆技手
十　太田源一　衆技手
十　高野馨太郎　衆技手
十　松井行員　衆技手
十　板原兵三郎　衆技手
十　岩本玄雄　衆技手
十　兒島隆一　衆技手
十　別宮釀造　衆技手
十　角田鹽之助　衆技手
十　小林謙二　官報報告主任文官普通試驗書記
十　香阪力　衆技手
十　村田宜寬　衆技手
十　後藤研一　衆技手
十　奧平武次郎　衆技手
十　山田美稻　衆技手
十　三浦短俠　衆技手
十　今井情　衆技手
十　杉浦聞多　衆技手
十　長谷川梅二　衆技手
十　齋藤基　衆技手
十　佐伯仲藏　衆技手
十　船越藏次郎　衆技手
十　前田宗恒　衆技手
十　松原敬惟　衆技手
十　中澤亘吉　衆技手
十　青木一　衆技手
十　金森又市　衆技手
十　中山幸七　衆技手
十　清水正喬　衆技手
十　淺井三男　衆技手
十　嵯峨渡邊幾之助　衆技手
十　三島泰吉　衆技手
十　太田源一　衆技手
十　高野馨太郎　衆技手
十　松井行員　衆技手
十　板原兵三郎　衆技手
十　岩本玄雄　衆技手
十　兒島隆一　衆技手
十　別宮釀造　衆技手
十　角田鹽之助　衆技手

(月一〇) 高橋種次郎 (月九) 小野悅二
(月九) 右田波次郎 (月九) 中川芳信
(月九) 中村己尾 (月九) 大森文麿
(月九) 牧野千里 (月九) 齋藤長藏
(月九) 長尾貞吉 (月八) 小川平馬
(月八) 中島道得 (月八) 今瀧武二郎

技手
五 森忠治 六 筏玉城
七 岡崎要吉 七 中村竹松
八 石川壽一郎 八 志道安太郎
八 下村榮次郎 八 山本仁一
九 庄野莞吉 十 恩田夏次郎
十 伊藤壽四郎 十 黑田喜陸
十 田中貞太郎 十 寄田庫太郎

○警察部

部長 警部長鈴木定直

警部
三 高等警察課長 相場駒次
三 警務課長兼巡査教習所長 沖本忠三郎
三 保安課長 瀧開武二
五 今橋重亮 六 槇田一郎
七 小笠原雅 七 高橋淺水
八 倉本西三郎 八 元山辰太郎
八 田村昌太郎 八 吉田與三郎
八 岡山與八 九 川畑潤
八 梶原平太郎 九 青木直固
九 兼屬 淺井三男 十 岡元三郎

○安治川水上警察署 大阪市北區安治川通上二町目

警部
署長 七 分任税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏 山中貫一郎
七 木津川分署長勳八 松岡景常 八 京橋分署長 本間訥郎
九 横田美里 十 園田勝次郎

○東警察署 大阪市東區本町二町目

警部
署長 五 分任税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏 渡邊謙次郎
八 勳七 佐藤三喜衛 八 池田龍五郎
九 杉岩太郎 九 小谷啓三
十 木村吉三郎 十 伊瀨地兼近

○西警察署 大阪市西區立賣堀北通三町目

警部
署長 五 分任税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏 阪田耘平
八 大和昌一 八 松本清一
九 益淵直介 九 今西作太郎
九 野口峰松 九 高橋文三郎
十 染川敬輔

○南警察署 大阪市南區東清水町

警部
署長 五 分任税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏勳七 吉永助一
七 井福信人 八 工藤吉之進
九 小山田市之助 九 星加環
九 齋藤鹿男 九 竹內新次郎
九 北島砂彦

○北警察署 大阪市北區若松町

警部
署長 五 分任税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏 山下嘉太郎
八 林光著 八 新納時應
九 澁谷貫尊 九 神田重高
九 竹田充穗 十 野村壽三郎

○曾根崎警察署 西成郡曾根崎村

警部
署長 六 分任税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏 柏原公敬
八 柴島分署長 辻銈明廸 八 北傳法分署長 田中宗之進
八 市來俊輔 八 森宗吉
九 野中分署長 岡田森久 九 木下昌太郎

○難波警察署 西成郡難波村

警部
署長 七 分任税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏 貞光寬
八 三軒屋分署長 長尾政次郎 九 松井美勝
九 江見多三次 十 四元矢之助

○天王寺警察署 東成郡天王寺村大字天王寺

警部
署長 五 分任税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏 野田正敎
八 日吉端 八 玉造分署長 內藤兼雄
八 平野分署長 中平元彦 八 本多常行
八 今福分署長 武藤剛 九 住吉分署長 鳥巢專吉

○池田警察署 豐島郡池田町

警部
署長 六 分任税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏 上田秀治
八 岡町分署長 南葉警三郎
九 池貢分署長 野村小三郎
九 豐永季松

○茨木警察署 島下郡茨木村大字茨木

警部
署長 七 分任税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏 三浦熹傳
九 高槻分署長 土居頁文 九 吹田分署長 栗原淳
九 富山武盛

○堺警察署 堺市市ノ町西一町

警部
署長 二 分任税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏 安井勝潔
八 大津分署長 村山次郎 八 三林分署長 森石太郎
九 前田廸吉 九 埇田培穗
九 福田分署長 北原兼彦 九 北王寺分署長 前田龍次郎

○岸和田警察署 南郡岸和田町大字岸和田本町

警部
署長 六 分任税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏 川畑直志
七 佐野分署長 日野市造 八 財部正彦
九 市場分署長 木谷資宣 九 貝掛分署長 大重喜之丞

○富田林警察署 石川郡富田林村大字富田林

警部
署長 六 分任税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏 谷口武兵衛
八 柏原分署長 藤田左右平 九 金田分署長 肥後直治
九 三日市分署長 重住佐平 九 古市分署長 莊野景美
九 阿彌分署長 佐藤本重 九 國分分署長勳七 上野靖
十 日置好治

○八尾警察署 若江郡八尾村大字八尾

警部
署長 五 分任税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏 和田銀三郎
七 更池分署長 林眞康 七 御厨分署長勳七 伊東庫太郎
九 高田三郎 九 額田分署長 高田猛
九 北蛇草分署長 渡邊富太郎 九 教興寺分署長 山岸伊三郎

○枚方警察署 茨田郡枚方町大字三矢

警部
署長 七 分任税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏 寺西徹
八 中野分署長勳七 尾形琢磨 九 津田分署長 武市駒勝
九 守口分署長勳八 荻釣三 十 津田勝美

○收稅部 大阪市北區中之島四町目

部長 收稅長七 里定嘉

收稅屬
三 數稅課長兼庶務課長物品會計官吏 宮崎德治
八 大須賀胤光 八 西村重光
八 藤本悅喜 九 米津高敏
九 櫻井藏之助 九 卜部敬三
九 弘政藏 九 松尾茂條
十 大西榮太郎 (月一一) 諏訪豐
(月一一) 兒玉仲之丞 (月九) 田中靜雄
(月九) 竹山金之助

○船場收稅署 大阪市東區北久寶寺町二町目

收稅屬
署長 六 分任收入官吏 竹村茂承
八 速水淳次郎 八 池田源十郎
九 石川清二 九 杉野方義
九 越久田誠 十 倉田稔
十 和田政太郎 (月九) 山田覺太郎
(月九) 杏甲子二郎

○中之島收稅署 大阪市北區中之島四町目

收稅屬
署長 三 分任收入官吏 石川文二
八 龍田富太郎 九 高橋健雄
九 西村司枝 九 新貝佑三郎
九 磯野充治 九 西美卯三郎
九 渡邊時也 (月一〇) 錢谷正三郎
(月一一) 荒木綱次郎 (月一〇) 渡邊內藏吉
(月九) 藤原楠右馬 (月九) 木村貞吉

○上福島收稅署 西成郡上福島村

收稅屬
署長 五 分任收入官吏 中島剛造
九 岸田甚內 九 水野重固
九 近松格太郎 十 毛利潤太郎
(月九) 安田一郎 (月九) 村井正明

○天王寺收稅署 東成郡天王寺村大字天王寺

收稅屬
署長 七 分任收入官吏 淺野頁美
九 牧光廣 十 郡保太郎
十 水野茂衛 十 士水鐘三郎

○池田收稅署 豐島郡池田町大字池田

收稅屬
署長 七 分任收入官吏 古住次郎

九 中川辰次郎　十 金森信久
(月九) 北條豐太郎

○茨木收稅署　島下郡茨木村大字茨木
收稅屬
署長　七 分任收入官吏 近藤正大
九 營森壽　十 川上鶴次郎
(月一〇) 都田知鎭　(月九) 重松弘吉
(月九) 木下茂

○堺收稅署　堺市大町東四町
收稅屬
署長　四 分任收入官吏 伴野良助
八 逢澤貞次郎　九 三木逸郎
九 河村庸雄　九 田尻謙二
九 大谷佐代治　九 渡邊武二郎
十 山口健二郎　(月九) 古市哲

○岸和田收稅署　南郡岸和田町大字岸和田
收稅屬
署長　六 分任收入官吏 八田諒
九 石黑孝次郎　九 北村董治
九 加川靜介　(月一〇) 天野忠雄
(月九) 岸田直吉

○富田林收稅署　石川郡富田林村大字富田林
收稅屬
署長　六 分任收入官吏 中島貴和
九 村岡良雄　九 三浦詮吉
十 齋藤良太郎　十 平井專一郎
十 加藤武　(月九) 岡野正俊

○八尾收稅署　若江郡八尾村大字八尾
收稅屬
署長　八 分任收入官吏 園田良明
九 山下雅元　十 蜂谷信吉
十 山本一貫　(月九) 木藤徇八

○枚方收稅署　茨田郡枚方町大字枚方
收稅屬
署長　六 分任收入官吏 高見休夫
九 中田正秀　九 高井光太郎
九 宮下寅次郎　十 綿谷文壽

○監獄署　西成郡川崎村
署長　典獄 小林三郎
監獄書記
四 第一課長監獄支署領置物品會計官吏 隔山利吉郎
七 第三課長 細川正雄
七 橋本元達　八 伊東錄次
九 島田正密　九 楠田政之輔
九 兼看守長 林繁雄　九 大西常次郎
十 中澤金三郎　(月一二) 岡本淸吉
(月一二) 村上昇次郎　(月一〇) 松崎建次
(月一〇) 富澤文一郎　(月一〇) 阿知波裕
(月九) 東尾第三郎　(月九) 桑原寬太郎
(月九) 沖山礒太郎　(月九) 俵遲
(月八) 大神辰次郎
看守長
四 兼監獄書記第二課長 永田直之丞
八 兼監獄書記 門川明一　九 飯尾美和足
九 兼監獄書記 村瀨愼吾　九 大島英
九 青山薰　九 三好弘見

○堺監獄支署　堺市車ノ町西二町
九 伊集院幸八　九 青木政生
九 海江田省三　十 樫木雅孝
監獄書記
支署長　七 兼看守長分任歲入歲出外現金出納官吏 岡田正章
十 岡田竹次郎　(月一〇) 上田八郎
看守長九　兼監獄書記 橫田義武

○西成郡役所　西成郡上福島村
郡長七等　正七、勳六 白石純治
郡書記
六 川本正廣
七 分任稅外收入官吏分任歲入歲出外現金出納官吏 長松之進
七 山越寬　八 安達貢
八 中村敏夫　九 近藤徹一
九 荒木正祐　九 宮田英一
十 中島義一　十 河野端一郎
十 殿村禮吉　十 林伊三郎
十 田中順一　十 石丸貞三
(月一〇) 境範藏　(月一〇) 天木楢松
(月九) 鷹見菊次郎　(月八) 松本貞亭
(月八) 岩橋鐐三郎
町長　西濱 西森源兵衛
村長
粉濱 本田勘四郎　勝間 後藤儀三郎
難波 日下重左衞門　今宮 渡邊庸次郎
木津 岡本宣淸　九條 土居五兵衞
三軒屋 於勢半三郎　川南村天保町組合 岡島嘉平次
川北 中谷德恭　下福島 天野元七
上福島 北村九輔　曾根崎 牧野伊兵衛

北野 高橋藤右衞門　川崎 關根一鄕
野田 藤富衞　鷲洲 馬淵源造
豐崎 木下重次郎　中津 橋本壽治郎
西中島 伊藤淸兵衞　豐里 乘岡理三郎
中島新庄村組合 鹽山武治郎　神津 北浦貞治郎
稗島 蔭山重之助　千船 鮒子多啓之助
福傳法村組合 井上小兵衞　北中島 生島源兵衞
大道 島田恭造

○東成住吉郡役所　東成郡天王寺村大字天王寺
郡長六等　正七 本山茂樹
郡書記
六 米田的道
七 分任稅外收入官吏分任歲入歲出外現金出納官吏 栢植宗信
八 辻岐三　十 田島道枝
十 角田岩太郎　十 青柳正路
十 北尾彌三郎　(月一〇) 增直孝
(月一二) 畠山重孝　(月一〇) 志津野直文
(月八) 塚田義正　(月八) 岩田新七
(月八) 大石雄三　(月七) 平田兵治
(月六) 木石訾登
東成郡町長
東平野 野崎喜一郎　玉造 生駒正義
同村長
天王寺 赤田瑳一　淸堀 佐伯芳郎
西高津 金井常三郎　生野 赤田永三郎
鶴橋 木村作之助　中本 三木芳樹
小路 井上和三郎　南新開莊 河田爲三郎
北新開莊 朝田種吉　榎本 大橋房太郎
鯰江 島田萬次郎　都島 山野助四郎
野田 井上鶴之助　城北 寺西長七
淸水 上野嘉右衞門

住吉郡町長
平野鄕 福井榮三郎　安立 卯野善兵衞
同村長
田邊 三杉長兵衞　北百濟 藤本繁
南百濟 藤本繁　住吉 木下新兵衞
敷津 柴谷伊之助

○島上島下郡役所　島下郡茨木村大字茨木
郡長七等　正七、勳六 深瀨和直
郡書記
七 從八、勳八 嘉來惟遵　七 岡田淸治
八 分任稅外收入官吏分任歲入歲出外現金出納官吏 境田秀成
九 和田義則　九 吉野和行
十 久角伊之助　十 奧田多賀雄
(月一二) 颯波又雄　(月一〇) 奧野賢二
(月九) 北村長明　(月八) 小林正義
(月八) 仲長十郎　(月六) 吉田淸直
島上郡村長
富田 阪田吉郎　如是 松田長二
三箇牧 木村孫太郎　高槻 里田操
大冠 山田久太郎　五領 梶村杢造
淸水 織了惠　芥川 下村併右衞門
磐手 牧彥之助　島本 西田延治郎
阿武野 元田章
島下郡村長
茨木 西田善五郎　三島 吉田勘右衞門
安威 乾縫之助　福井 鹽田淸次郎
溝咋 古川治左衞門　宮島 大池長三郎
豐川 笹川市兵衞　春日 森脇馬之助
三宅 田畑新吾　玉櫛 馬場三右衞門

味舌 久富俊藏　岸部 奧田千万造
山田 竹中慶次郎　吹田 木下直三郎
千里 山脇順治　新田 小畑作造
味生 前田太右衞門　鳥飼 濱口甚太郎
石河 辰見治一　見山 中島吉五郎
淸溪 奧野勘藏

○豐島能勢郡役所　豐島郡池田町
郡長八等　正八、勳六 高山節見
郡書記
八 三宅健吉　九 相良常行
九 藤澤恒次郎　(月一二) 木村淺治
(月一二) 分任稅外收入官吏分任歲入歲出外現金出納官吏 照內武之助
(月一〇) 伊藤貞藏　(月一〇) 杉村七平
(月一〇) 岸勝吉　(月九) 彌園才治
(月七) 樋口元吉　(月七) 山村峰太郎
豐島郡町長　池田 後藤常治郎
同村長
止々呂美　中谷友右衞門
細河 南佐兵衞　秦野 岸本新兵衞
箕面 梶山愛之輔　萱野 阪本林右衞門
櫻井谷 澁谷永之助　北豐島 加納重次郎
麻田 垂谷平右衞門　南豐島 野口郡太
豐中 奧野熊一郎　熊野田 深田與平次
豐島 尾崎庄三郎　小曾根 上野傳兵衞
豐津 垂水熊次郎　庄內 井上謙治
能勢郡村長
吉川 大原與實　東能勢 森本量義
東鄕 木戸次善　歌垣 畑龜次郎
田尻 大西近信　西鄕 寺倉隼之助
枳根莊 森本玄良

○大鳥、泉郡役所　大鳥郡鳳村大字長承寺

郡長 七等　從七　川越重徳

郡書記
七　上野梅三
八　安宅重三　外税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏
八　小長谷清夫
九　中村正甫
(月九)　南　豪明
(月九)　山野磋一
(月七)　角南美幸
(月七)　武元秀通
九　蓼沼　保
(月九)　阪尾義玄
(月九)　岸本繁吉
(月八)　木寺定太郎
(月七)　植田秀吉
(月六)　抽冬市太郎

大鳥郡村長
湊　和田久次郎
向井　八木榮次郎
五箇荘　山本武義
踞尾　濱田市造
鳳　新居哲太郎
取石　田林龜太郎
八田荘　青木好一
中百舌鳥　中井伊三郎
久世　中辻吉崎
西陶器　浦野仙三郎
舳松　正木治之
三寶　黒田恒吉
神石　角野利三郎
濱寺　杉野伊三郎
高石　奥野太郎四郎
鶴田　平田善三郎
西百舌鳥　柴田平學
東百舌鳥　霜野勝太郎
東陶器　朝比奈泰政
美木多　盛野市次郎

泉郡村長
信太　赤井堅治郎
大津　藤田瀬一郎
穴師　藤井光太郎
伯太　今井陳平
郷荘　山條徹治
北松尾　岡　元
東横山　岸脇楠太郎
南横山　小林楠治郎
山瀧　大植清左衞門
上條　川上壯太
忠岡　松元郁藏
國分　佐野瀧三郎
南王子　川合林三郎
北池田　高橋亘平
南池田　門林昊臣
西横山　東野清次郎
南松尾　辻林楠治郎
北上神　木寺三郎

○南、日根郡役所　南郡岸和田村

郡長 六等　正七　原　作藏

郡書記
六　細野繁明　外税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏
七　隨朝斌八
八　秦　正眞
十　從八　廣瀬敏
(月一〇)　森田　榮
(月八)　大石作藏
(月八)　馬杉幸太郎
(月七)　勲七　馬原憲造
(月七)　谷　巖
七　長田政藏
十　小久保勝
十　岡部源力
(月九)　大村千次郎
(月八)　路次常藏
(月八)　遠藤四郎
(月七)　柳原　信
(月六)　品川壽輔

南郡町長
岸和田濱　高井泰三
貝塚　新川雅夫

同村長
山直上　麻野德太郎
南掃守　荻野源之助
北掃守　白井　收
岸和田　浦田甚十郎
有眞香　木村傳十郎
島（麻生郷村組合）　川崎九郎平
西葛城　文野權治郎
山直下　佐々木佐治平
八木　泉本宅衞門
沼野　川崎長右衞門
土生郷　木岡愼平
東葛城　庄司太郎
木島　中野彌平治

日根郡村長
北近義　直　多策
熊取　原　勝造
佐野　道下太郎與茂
長瀧　角谷榮時
南中通　鹽谷彦之助
田尻　奥　安之助
東信達　山本政次郎
樽井　城野久七郎
尾崎　松井謹輔
西鳥取　須賀靜雄
南近義　角尾耕十郎
北中通　松浪治亘平
日根野　日　源六
上之郷　南　源十郎
大土　河原辰藏
新家　山田新五郎
西信達嗚瀧村組合　龜岡平三郎
雄信達　谷　朝宗
東鳥取　南　歡治郎
下荘　山中靜一
淡輪　古田治平
孝子　茂野重平
深日　川島治市郎
多奈川　戸口龜太郎

○石川、八上、古市、安宿部、錦部、丹南、志紀郡役所　石川郡富田林村大字富田林

郡長 七等　從七　島田祐信

郡書記
七　岡村　亨
八　杉田龜太郎　外税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏
八　小岩井規太郎
九　河内廣利
十　中村正純
(月一〇)　藤田辰次郎
(月七)　高田愛次郎
(月六)　東山鹿造
(月六)　矢野榮三郎
八　阪野延重
九　北岸　清
(月一〇)　千谷猛馬
(月八)　高辻　保
(月六)　梅川増太郎
(月六)　高田　養

石川郡村長
富田林　仲村一郎
喜志　阪井種治
石川　土井義藏
山田　松葉好太郎
河内　古川肇逸
赤坂　武部三郎
東條　中尾　實
新堂　平田三郎
大伴　吉岡重藏
磯長　武田貞次郎
白木　白須賀健造
中　長澤頼三
千早　鎌谷齋一

八上郡村長
金岡　小松寛治
北八下　織田源三郎
南八下　檀野藤吾

古市郡村長
古市　麻　秀一
西浦　辻本保太郎
駒ヶ谷　眞鍋新太郎

安宿部郡村長
國分　乾　倉次
玉手　小松市平

錦部郡村長
廿山　淺川信太郎
彼方　土井又平
長野　向井新治郎
天野　小谷德平
加賀田　中谷雄次郎
川上　堂浦九郎三郎
錦部　田中源太郎
市新野　田中新吉
高向　西　定治郎
三日市　南　文治
天見　大谷水吉

丹南郡村長
狹山　林部半三郎
大草　中村熊次郎
野田　田中龜太郎
黒山　川口源三郎
丹比　奥田甚三郎
高鷲　松村茂三郎
三都　山本信治
日置荘　寺山茂次
平尾　山口　潔
丹南　松川武司
埴生　山上淺太郎
長野　藤野完平

志紀郡村長
道明寺　麻野小四郎
柏原　小山玄松
三木本　樋口三郎
小山　池田平七
太田　小谷重造
志紀　清水政太郎

○丹北、河内、高安、大縣、若江、澁川郡役所　若江郡八尾村大字八尾

郡長 七等　從七　松村秀眞

郡書記
七　石川吉寛　外税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏從八
九　伊藤守信
九　竹田誠一
十　吉祇恒治郎
十　菅原仁策
(月一〇)　城　富三郎
(月九)　山中玄眞
九　宇賀正行
九　關田龜二
十　岡本兼次
(月一〇)　宮田保三郎
(月九)　木村董三郎
(月八)　石川勝利

丹北郡村長
長吉　城　意三郎
瓜破　森本源三郎
矢田　岡田松次郎
布忍　寺田駒藏
三宅　稲田伊三郎
天美　浦野澄夫
松原　芝池經太郎
惠我　樋口芳造

河内郡村長
日根市　向井馬太郎
枚岡　河原田逸藏
三野郷　村尾景命
東六郷　藤戸作次郎
大戸　芝野友次郎
枚岡南池島村組合　門脇源八郎
英田　大橋貞治

高安郡村長
北高安　植田勝太郎
南高安　高萩正次
中高安　阪本節三郎

大縣郡村長
堅下　松井總三郎
堅上　内田　縄

若江郡村長
八尾　松下源太郎
若江　西村幸五郎
彌刀　木田猪太郎
高井田　塚本毎次郎
楠根　栗山武一
西六郷　西村宗逸
曙川　高萩彌一郎
西郡　赤井健三郎
小阪　肌勢喜一郎
意岐部　武田後平
玉川　藤戸彦治
北江　木村源次

澁川郡村長
龍華　森田富三郎
加美　末久清一郎
布施　山田藤三郎
久寶寺　柴田喜太郎
長瀬　飯田佐次郎
巽　中谷元造

○茨田、交野、讚良郡役所　茨田郡枚方町大字三矢

郡長 八等　正八　向日保雄

郡書記
七　太田聿郎
七　早川董幸　外税外收入官吏分任歳入歳出外現金出納官吏
八　佐治則行
九　正富米三
十　平井小藤吉
(月一〇)　小山彦亮
(月八)　大久保正任
(月七)　三松俊雄
(月六)　松下勝太郎
(月一〇)　吉田政助
(月九)　奥村淺次郎
(月七)　源　一郎
(月六)　畠山嘉六
(月六)　竹内包文

茨田郡町長
守口　西田琢道
枚方　小林富三郎

同村長
三郷　橋本咲三郎
今津　原田増藏
門眞　喜多寛次郎
南郷　西村專太郎
庭窪　東田治三郎
友呂岐　西尾八郎治
諸堤　奥林恒治郎
古宮　三木甚五郎
二島　小寺幸十郎
大和田　濱田經二郎
九箇荘　塚田昌澄
蹉跎　丸谷樣次郎

交野郡村長
水本　田伏德治郎
川越　堀岡孫六
交野　原田英一郎
氷室　深尾龍三
山田　藤本與三次郎
招提　神田喜十郎
星田　和久田穰
津田　河崎利三郎
磐船　野田　伴
菅原　山中與三郎
牧野　岡田喜八郎
樟葉　小山七郎二

讚良郡村長
住道　石田德三郎
甲可　小西德平
豐野　澤田與三郎
四條　中川六郎
田原　田中龍造
寢屋川　前田豐作

○尋常師範學校　大阪市北區常安町

學校長 七等二級　文官普通試驗委員　小學校教員檢定試驗委員長　小學校教員銓衡委員　從七　渡邊洵一郎　大阪市北區堂島北町二百一番屋敷

教諭
二(上)(奏任待遇) 兼舍監小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員 久保田貞則 大阪市北區中之島四町目七十四番屋敷
三(下) 正木章太郎
三(下) 兼尋常中學校教諭大阪高等女學校教授囑託 福島本勝
三(下) 兼附屬小學校主事小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員 大村芳樹
四(上) 武田總七郎 (月四二) 大江礒吉
(月三八) 兼訓導 和田吉五郎 五(上) 五十川左武郎
五(下) 鹿野清次郎

助教諭
二 橋本光秋 二 大島頁治郎
二 兼舍監勤七 松原森賀 (月二二) 兼訓導 松政幾太郎
(月二三) 兼尋常中學校助教諭 松原三五郎 三 兼舍監訓導 井上テツ
三 古市貞 三 兼舍監 小笠原寛
(月一八) 兼尋常中學校助教諭 多梅稚 四 兼舍監 關スヤ

訓導
三 鹽谷粂次郎 (月一七) 貴志留吉
四 角一郎 五 片山周治郎
五 安井毎吉 (月九) 高橋トミ

書記
三 森井喜保 四 高濱鉞太郎
五 保々薰

○尋常中學校 大阪市北區堂島濱通三町目

學校長(年八〇〇)(奏任待遇) 文官普通試驗委員 山崎忠興 大阪市北區中之島六町目一番屋敷

教諭(年九〇〇)(奏任待遇) 文官普通試驗委員 石川彌太郎 大阪市北區玉江町一町目三十五番屋敷
(月五〇) 奧平市内 (月四五) 熊本謙二郎
(月四〇) 近藤時香 (月四〇) 古山榮三郎
(月三五) 森田專一 (月三〇) 安本健吉
(月三〇) 乾鍬藏 (月三〇) 宇都宮虎雄
(兼) 尋常師範學校教諭 福島本勝

助教諭
(月一八) 船田虎藏 (月一八) 川野健作
(月一七) 廣田竹次郎 (月一七) 林正治
(月一七) 大川眞澄
(手當月五)(兼) 尋常師範學校助教諭 松原三五郎
(手當月一二)(兼) 尋常師範學校助教諭 多梅稚

書記
(月一八) 中村千秋 (月一二) 丹下辰世

○農學校 東成郡鶴橋村大字岡

學校長(年七二〇)(奏任待遇) 正八 棚橋衡平 東成郡南平野町大字北平野番外二百九十一番屋敷

教諭(年六〇〇)(奏任待遇) 小島喜作 東成郡天王寺村番外四百六十七番屋敷
(月五〇) 陸原貞一郎 (月四五) 小林鏘一
(月四五) 吉田彦松

助教諭
(月三〇) 兼舍監(手當月三) 兒玉實詮
(月二二) 兼舍監(手當月三) 末近義介
(月二二) 加藤元治 (月一五) 上場龜次郎

舍監 兼助教諭(月一五) 田中讓

書記
(月一五) 三上知則 (月一〇) 野上謙一

○大阪醫學校 大阪市北區常安町

學校長(年二七〇〇)(奏任待遇) 兼第三高等學校教授 從六 清野勇 大阪市西區土佐堀通一町目二十二番屋敷

教諭(年一五六〇)(奏任待遇) 井上平造 大阪市東區伏見町二町目一番屋敷
(年一四〇〇) 柳琢藏 (年一三〇〇) 大西鍛
(年一三〇〇) 今居眞吉 (年一〇〇〇) 金子次郎
(年六〇〇) 佐多愛彦 (月四〇) 蓮井宗吉

助教諭
(月二七) 醫學校病院書記兼務 遠藤滿清
(月二五) 山本剛 (月二三) 石川喜直
(月一〇) 亘寛三 (月一二) 山中文器

書記
(月四〇) 非職裁判所書記 田邊直樹
(月一五) 高橋泰太郎 (月一二) 平野雄吉
(月一二) 石井新 (月九) 三宅義篤
(月九) 杉山新榮 (月九) 勳八 橫井昌則

教授囑託
(手當月三〇) 陸軍二等軍醫正 從六 江口襄
(手當月二五) 衛生試驗所技手 喜多尾元英

○大阪醫學校病院 醫學校內

院長 醫學校長 清野勇
內科醫長(兼)
副院長 外科醫長(兼) 醫學校教諭 井上平造
產科婦人科醫長(兼) 醫學校教諭 柳琢藏
精神科醫長(兼) 醫學校教諭 大西鍛
眼科醫長(兼) 醫學校教諭 今居眞吉

醫員
(月三〇) 岡潔 (月二〇) 井崎貞一郎
(月一五) 櫻根孝之進 (月一二) 秋澤克禮
(月一二) 岡本悌三 (月一二) 近藤成美
(月一二) 黑川佳吉 (月一二) 谷泰吉
(月一二) 米井千代松 (月一二) 馬淵秀治郎
(兼) 醫學校助教諭 亘寛三
調劑長心得(兼) 醫學校教諭 蓮井宗吉

調劑手
(月一二) 武田愛一 (月八) 杉本芳夫
(月八) 高橋芳三郎 (月八) 水川駒次郎
(月七) 田原太一 (月七) 小森太大
(月七) 川畑喜太郎

幹事(兼) 醫學校書記 田邊直樹

書記
(兼) 醫學校書記 高橋泰太郎 (兼) 醫學校助教諭書記 山中文器
(兼) 醫學校書記 平野雄吉 (兼) 醫學校書記 石井新
(兼) 醫學校書記 三宅義篤 (兼) 醫學校書記 杉山新榮
(兼) 醫學校書記 橫井昌則

○大阪商業學校 大阪市北區堂島濱通二町目

學校長(年一六〇〇)(奏任待遇) 兼非職高等商業學校教授 從六 成瀨隆藏 大阪市西區靭北通一町目四十五番屋敷

教諭
(月五〇) 岡野熊太郎 (月四五) 高島千代楠
(月三五) 平岩愼 (月三五) 原文次郎
(月三五) 鈴木茂雄 (月三五) 山田萬里四郎
(月三五) 上島綾藏 (月三〇) 加地利夫
(月三〇) 武村貞一郎 (月三〇) 齋藤良八

助教諭
(月二五) 松田齊之助 (月二〇) 雲田平太郎
(月一五) 五十川泉吾 (月一七) 兼書記 石井會一郎

書記
(月一三) 幸島武三郎 (月一二) 日野直治郎

教授囑託
(手當月三五) 大友泰一郎 (手當月二八) 福田直之進
(手當月二五) 成田元街 (手當月一五) 玉木本三郎
(手當月一五) 丸山平次郎 (手當月一五) 山内貞郎
(手當月一二) 宇佐美信

○大阪高等女學校 大阪市北區常安町

學校長(年六〇〇)(奏任待遇) 柴直太郎 大阪市西區靭北通四町目六十七番屋敷

教諭
(月四五) 鈴木直三郎 (月三三) 伊藤雅夫
(月三三) 石田道三郎

助教諭
(月二五) 豐田小八郎 (月二二) 宮崎タマ
(月二〇) 深川トシ (月二〇) 加藤クニ
(月二〇) 春田タカ (月二〇) 松本ヨネ
(月一五) 樫內節子

書記(月一五) 田島章太郎

教諭囑託(手當月七) 尋常師範學校教諭 福島本勝

○大阪市參事會

大阪府知事 山田信道
大阪府書記官 片岡直輝

名譽職市參事會員
河合利兵衛 後藤玉城
早瀨太郎三郎 佐野與兵衛
播本孝眞 上田武藏
中井一馬 石川市兵衛
松村九兵衛

○西區役所 西區江ノ子島東ノ町

區長四級 白男川實福

区書記
三 八木武雄 五
内藤義衛 五
大野秀護 七
永野成正 七
田中大七 七
杉井幸治 七
森茂毅 七
新川久吉 八
山田新太郎 八
宮崎賢乗 九
林幸次郎 九
山本秀作 十
荻野華堤 十
吉田銀之丞 十一
野崎龜次郎 十一
河村傳次郎 十一

吉城善次 四
熊田虎司 四
角田豐明 五
荻野尚 五
井吉喜三二 六
三木保吉 六
姫井吾郎 七
淺上庄太郎 七
會澤康太郎 八
水野駒之助 八
赤木安次郎 九
鬼丸記左衛門 九
兼田正夫 十
加藤勝哉 十
安藤照吉 十一
西川憲三 十一

○南區役所　南區長堀橋筋一町目

區長四級　安井健治

區書記
二 井上正陽 三
明石好清 五
加藤淡 六
小田瀬平 七
山岸柿八 八
木谷資道 八
大内蕭 九
男野安次郎 九
滿信 十
三矢量藏 十
糸重富三郎 十
中居武次郎 十一
和田米次郎 十一

平野利和 三
茂木重久 五
本多久吉 六
遠山宗謙 七
淺井類作 八
飯田熊藏 八
赤松操 九
井上武敷 九
喜多清一郎 十
織田謙 十
澁川繁 十
名倉競馬 十
齋藤 十一

○東區役所　東區高麗橋一町目

區長四級　從七　山口昌壽

區書記
四 三輪道泰 四
下川康三 五
橋本律太郎 六
常田正路 七
渡邊金太郎 七
淺羽勇四郎 八
貴田榮三 八
河村龜 九
上山貴陸 九
服部榮次郎 九
中村長兵衛 十
和田鐵次郎 十
齋藤忠幸 十一
伊藤奈良雄 十一
大根田喜三 十一
高田安次郎 十一
吉村三一 十一

小池多賀壽 直道
堀吉城 長嘉
木村三吉
永井幸三郎
谷村友直
永田松之助
藤本庄太郎
杉村彌
大村竹三郎
白崎廣文
難波友吉
川北捨二郎
井上信義
蘆田百三郎
佐々木猛夫

○北區役所　北區若松町

區長五級　山口幸七

區書記
谷村三十郎 三
朝倉周平 四
山田藤助 六
中江錢之助 七
中條熊太郎 八
石原廉 八
和田德次郎 八
會和龜之助 九
中山山二 九
柴田直吉 九

伴修 三
村上喜榮 四
加藤保次郎 六
三浦謙吉 七
菱田恒三郎 八
小澤芳三郎 八
廣部守根 八
工藤爲莊 八
保木六之助 九
矢部好禮 九

○堺市役所　東ノ町東一町

市長（年三〇〇）　北田豐三郎

助役（年三〇〇）　向野善路

名譽職市參事會員
川崎篤三郎
八木榮次郎
永野長一郎

柴谷武次郎
赤澤幸次郎

阪口竹松 九
早見省三 九
小野重庸 十
岡崎榮橘 十
加藤金次郎 十

山内小平太 九
荻野元長 十
田中喜包 十
難波哲太郎 十
加藤末吉 十

○神奈川縣　橫濱市本町

知事二等
臨時橫濱築港局長從四、勳三　中野健明　橫濱市伊勢町二町目十八番地

書記官四等
兼臨時橫濱築港局次長官報報告主任文官普通試驗委員長小學校教員銓衡委員　荒川義太郎

警部長五等
文官普通試驗委員從六、勳六　吉田弘藏　橫濱市伊勢町一町目七番地

收稅長六等
主任收入官吏文官普通試驗委員正七　吉井友兄　橫濱市伊勢町一町目九番地

參事官七等
文官普通試驗委員小學校教員檢定委員長神職試驗委員長正七　大木房英

技師六等七級
文官普通試驗委員正七　野口嘉茂　橫濱市伊勢町一町目三番地

典獄七等
文官普通試驗委員從七　小河滋次郎　橫濱市戶部町三町目八十二番地

○知事官房

屬
官報掛兼告主任　山田親良　三
官報掛兼告主任文官普通試驗委員　伊藤錦二　八
官報掛兼告主任文官普通試驗委員　小川善次郎　八
外任收入官吏　長野員三郎　九

渥美小源五 七
松尾美守 七
議入議出外現金出納官吏兼任收入官吏　高木可久 七
樋口忠五郎 七
高橋包三郎 七
議入議出外現金出納官吏兼任收入官吏　植木馬三 七
山本鍋一 八
大幡靜明 八
外任收入官吏　淺野蕭三郎 八
吉見仁三郎 八
磯貝正方 九
菊地好定 九
大野眞藏 九

小林亭吉 七

○內務部

部長
第三課長兼屬　書記官荒川義太郎
參事官大木房英

物品會計官吏　丸山太郎 四
荒木義諦 四
正八、勳八池田義重 五
大原哲治 五
小學校教員高崎均 六

第四課長文官普通試驗委員議入議出外現金出納官吏從七、勳八　山口秀胤
第二課長乾立夫 正八、勳八
小林淳一 吉田賀來 重朝 內藤義一 三國貞五郎　木重實
小學校教員檢定委員　淺野運重 長道
小學校教員檢定委員　小林熊男 清光 古屋照三（月一〇）

○警察部

部長
警部長吉田弘藏

瀨戶高明 六
龜井清 六
尾崎嘉太郎 七
寺井輔吉 七
金子恒 七
留守永秀 七
遠藤伊之作 七
伊吹政次郎 七
志儀長堯 八
長島格 八
小學校教員檢定委員　笠間忠一郎 八
勳八塚本敬男 八
正木律次郎 八
吉田清愼 八
栗原朝壽 九
木幡修輔 九
野溝三樹之助 九
南部謙吉 九
田中重造 九
勳八內藤功重 九
飯尾致一 十
米山孝廣 十
小倉收 十
阿部耕平（月一〇） 十
萩原德次郎（月一〇） 十

山添匡 六
日比知周 六
高野順 六
片山由三郎 七
大木六四郎 七
若林良之 七
大久保忠篤 七
河瀨常次郎 八
飯坂昌八 八
千葉悅次郎 八
中村繁造 八
岡宮忠恕 八
三澤千賀良 八
安達彌五郎 八
小倉勝周 八
譽我彌男 九
山川順之助 九
杉山昌作 九
豐田正平 九
林銀太郎 九
緒方壽吉郎 九
幸山清 十
大沼義定 十
關省三郎 十
竹本長溫 十

○技手

（月一一） 磯部爲造 七
大久保喜代八 八
鈴木熊男 九
古屋清光 九
一色照三（月一〇） 九

濱野牛兒 七
大橋鎭二 八
勳八山口平太郎 八
矢野繁之丞 八
三谷音十郎 十

警部
二
四 横山 信徴
四 黒川 重道
七 二宮若三郎
七 石田 善吉
九 手塚源太郎

○巡査教習所 橫濱市戸部町
警部 第一課長文官普通試験委員 宇高 正郎
所長（兼） 第二課長 石川 疏
教授 北野 孝一
鵜飼 元吉
吉田勝三郎
西村駒治郎

○伊勢佐木町警察署 橫濱市伊勢佐木町
警部 宇高 正郎
長崎 信守

署長 竹田 義則
十 若松習太郎
警部 橫濱市戸部町

○戸部分署
分署長 石井 達
十

○加賀町警察署 橫濱市加賀町
警部 七 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 山口 重清
署長 四 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 植木 武彦
五 河田 哲哉
井上 直猶
八 岡田佳太郎
九 湯淺 三吉

○水上分署 橫濱市西波止場
警部八 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 伊橋定之助
分署長
署長

○石川町警察署 橫濱市石川町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 海野 章
署長 三

○横須賀警察署 三浦郡橫須賀町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 市石 昭高
署長 勳七 近藤愛之助

○浦賀分署 三浦郡浦賀町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 新納 謙助
分署長

○藤澤警察署 高座郡藤澤大阪町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 加藤八次郎
署長

○戸塚警察署 鎌倉郡戸塚町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 吉澤 誠一
五

○都田警察署 都筑郡都田村
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 伊橋定之助
七
署長

○山手本町警察署 橫濱市山手本町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 後藤 文哉
署長 五

○神奈川警察署 橘樹郡神奈川町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 榊原 勝行
署長 四

○川崎分署 橘樹郡川崎町
警部八 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 今田 修
分署長 九

○高津分署 橘樹郡高津村
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 碇山 晋
九
分署長

○三崎分署 三浦郡三崎町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 小泉吉太郎
九
分署長

○浦賀分署 三浦郡浦賀町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 野村 盛徳
九
分署長

○日下分署 久良岐郡日下村
警部九 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 浦岡 清一
十 高橋 辰馬
分署長 九

○神奈川警察署 橘樹郡神奈川町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 川崎壽太郎
署長 十

○川崎分署 橘樹郡川崎町
警部八 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 大里慶次郎
分署長 六

○高津分署 橘樹郡高津村
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 井原 常保
九
分署長

○沸分署 高座郡濱村
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 加藤 官吉
分署長

○戸部分署 橫濱市戸部町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 野々部 茂
十 山上鎭八郎

○伊勢原分署 大住郡伊勢原町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 新山 政清
九
分署長

○秦野分署 大住郡秦野町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 森 明
九
分署長

○大磯警察署 淘綾郡大磯町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 岩男内藏太
五
署長

○松田警察署 足柄上郡松田村
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 岩田 茂哉
七
署長

○小田原警察署 足柄下郡小田原町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 武林 哲馬
署長 五
八

○厚木警察署 愛甲郡厚木町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 村松源次郎
六
署長

○中野警察署 津久井郡中野村
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 杉山 親照
六
署長

○収税部
部長 収税長吉井友兄

収税屬
署長 第一課長文官普通試験委員物品會計官吏 岩男内藏太
七 第二課長印紙類會計官吏 岡田 寛一
一 正八 千賀 春光
九 渡邊啓次郎
（月八） 石野 安造

○横濱収税署 神奈川縣廳構内
収税屬
署長 三 現金前渡官吏 滿口 潤太
七 分任收入官吏物品會計官吏 吉野 直敬
八 （月九） 古川 敬親
（月八） 後藤平三郎

○神奈川収税署 橘樹郡神奈川町
収税屬
署長 五 分任收入官吏物品會計官吏 石井 忠昭
九 永野 淺吉
十 綱島孝太郎
（月八） 佐野孝太郎

○横須賀収税署 三浦郡橫須賀町
収税屬
署長 五 分任收入官吏物品會計官吏 井上 義方
九 永松 清
十 藍田常太郎

○藤澤収税署 高座郡藤澤大阪町
収税屬
署長 分任收入官吏物品會計官吏 秋元 新藏
九 九 長島 戸平
（月九） 十 （月九） 齋藤 永吉
（月八） 富岡 義重

○大磯収税署 淘綾郡大磯町
収税屬
署長 八 荒井 終藏
九 兒玉 利謙
（月一〇） 十 三原 武人
（月八） 柳 秀太郎

○松田収税署 足柄上郡松田村
収税屬
署長 分任收入官吏物品會計官吏 古川 愛親
十 十 田邊 直哉
（月九） （月一〇） 三好 敏太

○小田原収税署 足柄下郡小田原町
収税屬
署長 分任收入官吏物品會計官吏 福田 正宣
七 九 山川 熊治
（月七）

○都田警察署 都筑郡都田村
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 伊橋定之助
七
署長

○横須賀警察署 三浦郡橫須賀町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 海野 章
署長 三

○浦賀分署 三浦郡浦賀町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 近藤愛之助
九

○藤澤警察署 高座郡藤澤大阪町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 新納 謙助
署長

○藤澤警察署 高座郡藤澤大阪町
警部大 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 加藤八次郎
署長

○戸塚警察署 鎌倉郡戸塚町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 吉澤 誠一
五

○都田警察署 都筑郡都田村
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 伊橋定之助
七
署長

○横須賀警察署 三浦郡橫須賀町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 海野 章
署長 三

○浦賀分署 三浦郡浦賀町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 近藤愛之助
九

○藤澤警察署 高座郡藤澤大阪町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 新納 謙助
署長

○藤澤警察署 高座郡藤澤大阪町
警部大 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 加藤八次郎
署長

○戸塚警察署 鎌倉郡戸塚町
警部 議入議出外現金出納官吏分任收入官吏 吉澤 誠一
五

○厚木收稅署　愛甲郡厚木町

收稅屬
署長　七　宇佐美次郎八
（分任收入官吏物品會計官吏）九　久保田充潔　十　小川勘四郎
（月八）　青木清太郎

○中野收稅署　津久井郡中野村

收稅屬
署長　七　石川　鈴輔
（分任收入官吏物品會計官吏）十　西郷佩四郎　（月一〇）　藤本　鐵治
（月九）　三隅　豐

○監獄署　典獄小河　滋次郎

署長
監獄書記　第三課長兼第一課長談入議出外現金出納官吏　七　丸山　信之
七　三井　久陽
（警視廳守長勤七）七　吉野鐵五郎　（警視廳守長）七　石川　三次
八　飯塚　艮吉　八　久保田信八
九　石野　正德　九　笹城芳太郎
大塚　壽艮

看守長　第二課長兼監獄書記　六　赤井　晉
（警視廳監獄書記）八　藤本　鹿藏　九　宮久保孝行
十　坂本　存
監獄醫　（醫務所長）（月一三）　鈴木　元士　（月一五）　奥住　謹吾
（月一二）　小池　幸夫

○橫須賀監獄支署　三浦郡豐島村

監獄書記　七
支署長　（警視廳守長議入議出外現金出納官吏）　町野　次周
看守長　九　（警視廳監獄書記）　大谷　元
監獄醫（月一二）　太田　豐明

○小田原監獄支署　足柄下郡小田原町

監獄書記　八　（警視廳守長議入議出外現金出納官吏）　木村　義利
支署長　伊藤　賢吉
監獄醫（月五）

○久良岐郡役所　橫濱市

郡長　七等
郡書記　（分任收入官吏）八　增田　政義　十
（月一〇）　金子　國松　（月一〇）　岡村　信意
安室幸太郎　（月八）　寺田　傳藏

○橘樹郡役所　久良岐郡日下村

郡長　六等　現金前渡官吏從七　簑輪　三郎
郡書記　本牧　鈴木藤右衛門
大岡川　服部　彦六
金澤　安田新五兵衛
中　打木安兵衛

○都筑郡役所　橘樹郡神奈川町

郡長　七等　現金前渡官吏從七　安達　安民
郡書記　（分任收入官吏）九　飯塚民治郎　十
木梨　秋藏　（月八）　栗原　傳藏
（月六）　久保倉森藏

○久保郡役所　都筑郡都田村

郡長　七等　現金前渡官吏從七　白根　鼎三
郡書記　（分任收入官吏）八　金子　泰吉
城鄉　大綱　樂輔
旭　橫濱　廣泰　子安　高忠
生見尾　關口　昭知　大師河原　富吉
田島　青木豐十郎　町田　添田　知義
御幸　鳥養彌兵衛　住吉　高橋善左衛門
日吉　深瀨啓十郎　高津　重孝
中原　安藤　久重　橘　木島茂兵衛
宮前　都倉　義知　向丘　井田　文三
生田　河合　平藏　稻田　喜重

○三浦郡役所　三浦郡橫須賀町

郡長　六等　現金前渡官吏從七　小川　茂周
郡書記　石井　三郎　八　三宅　勝武
（現金前渡官吏）九　青木彌四郎　九　（分任收入官吏）飯室楠之助
五十嵐九朗三郎　（月八）　安田　秀雄
（月七）　伊東　匡義　（月七）　三富直次郎
原　啓次郎

町長　江頭正五郎　浦賀
橫須賀　石渡　直道　宮井清左衛門
三崎
村長

浦鄉　渡戸市郎右衛門　豐島　石渡作右衛門
久里濱　山崎　元孝　衣笠　福本清之輔
葉山　伊東　春義　桐ヶ谷艮吉
北下浦　齋藤清右衛門　南下浦　飯島安兵衛
初聲　古山清之助　武山　山田清兵衛
中西浦　新倉彌三郎　長井　樋口　清愼

○鎌倉郡役所　鎌倉郡戶塚町

郡長　七等　現金前渡官吏從七　內田　亮坪
郡書記　齋藤不二三　九　（分任收入官吏）大山　初藏
（月一〇・五）　青木大治郎　（月八）　金子　鶴松
（月七・五）　中島富之助　（月六）　鈴木　新藏
（月六）　角田　眞一

町長　藤澤大富　青木　勝三　鎌倉　村田久四郎
戶塚　鈴木　小助
村長　加藤　庄藏　村岡　彥坂忠左衛門
（侯野村外組合二區制村）

○大住郡役所　淘綾郡大磯町

郡長　七等　現金前渡官吏從七　曾根　盛鎭

深澤　內海傳右衛門　川口　小池德五郎
腰越津　金子八郎右衛門
本鄉　小岩井六之丞　永野　瀨ノ間平治郎
川上　三枝木太左衛門　豐田　飯島七郎右衛門
中川　小島　嘉助　瀨谷　守谷　平輔
中和田　安西六郎兵衛　（小坂村外組合玉縄村組合）　兵藤　二平

○高座郡役所　高座郡藤澤大阪町

郡長　七等　現金前渡官吏從七　江森　保存
郡書記　（現金前渡官吏）八　國府田　學　九　高松　艮夫
（月一〇）　（現金前渡官吏）十　澁谷英一郎　（分任收入官吏）小倉敬之助
（月六）　堀內　貞一　大久保保爾
須藤　幹　大八木紋吉
（月一〇）

藤澤大阪　青木　察善
松林　永越　艮分
寒川　金子四郎右衛門
御所見　森　林造
古川　謙
海老名　新磯　安藤忠兵衛　吉村　虎藏
大澤　天野兼三郎　澁谷松五郎
大野　綾瀨　杉山　信尹
六會　渡邊　弘菴
田名　茅ヶ崎　伊藤里之助

○足柄上郡役所　足柄上郡松田村

郡長　七等　現金前渡官吏從七　中村　舜次郎
郡書記　（分任收入官吏）九　露木朝五郎　（月八）　齋藤眞之助
（月一二）　遠藤　常行

村長　中　金田　上秦野　共和　南足柄

曾根田重保　九　（分任收入官吏）船橋　周藏
（月一二）　杉浦　經
藤田　文次郎　（月一二）　今井傳太郎
中川　亮　（月七）　府川源右衛門
高麗　邦元

原田　清七　伊勢原
龜井　秦野
大澤喜十郎　佐藤　政吉

長橋總次郎　須馬
石田松之助　相川
片倉六左衛門　城島
吉川善六　岡崎
吉川長五郎　大田
金田　齋藤安治　高部屋
成瀨比々多　越地市太郎　土澤
宮田　寅治　大根
室田　齋助　南秦野
諸星　勝藏　北秦野
近藤市太郎　吾妻
露木　房吉

浦田幾三郎
加藤芳松
菅沼七左衛門
戶倉三左衛門
磯崎石之助
梶寅之助
石井金藏
今井國三郎
高橋元次郎
山口彌重郎
水島傳次郎

小澤八十次郎　米吉
中村直慶吾　會我
尾崎庸作　松田
古瀨左十郎　井上
加藤德兵衛　北足柄
福澤　逓政
本鄉　三平
川本　悅郎

酒田 瀬戸龤助
岡本 中村藤藏
世附村外二箇村組合 石田悌次郎
井ノ口 大垣覺純
吉田島 井上彌惣兵衛
櫻井 小澤秀雄
上中村山田村組合 小島玉三郎
神縄村外四箇村組合 山崎佐右衛門
寄 中津川鶴之助

○足柄下郡役所 足柄下郡小田原町

郡長六等 現金前渡官吏正七、勳六 中山信明
郡書記
九 分任收入官吏 牧野好静
十 現金前渡官吏 枚田源之丞
(月八) 拜郷武章
(月六・五) 本多道久
九 村山揆一
(月一〇) 岩田尚恒
(月八) 增田直重
町長
小田原 吉野直興
村長
芦子 磯崎大次郎
富水 小澤衡平
上府中 內田清右衛門
下會我 長谷川勝五郎
前羽 石塚米次郎
大窪 市川文次郎
溫泉 山口仙之助
土肥 高杉利兵衛
早川村外四箇村組合
眞鶴村外二箇村組合 檜原正德
田島 阿達藤藏
仙石原 勝俣澤次郎
二川 石川德次郎
豐川 成田常次郎
下府中 穗谷野源右衛門
下中 船津耀三郎
酒匂 川瀬市右衛門
湯本 天野門右衛門
吉濱 向笠省三
箱根町外二箇村組合 立木歸一
杉崎甚五兵衛
久野 久津間清左衛門
國府津 長谷川彌三郎
宮城野 勝俣太吉

○愛甲郡役所 愛甲郡厚木町

郡長七等 現金前渡官吏從七 吉野十郎
郡書記
九 井上灁之助
(月一〇) 分任收入官吏 霜島久圓
十 奧平周作
(月一〇) 二見滿次郎
(月九) 柳川半次郎
(月六) 志村金太郎
町長
厚木 千葉胤祿
村長
依知 石原與三郎
高峯 關戸竹次郎
小鮎 永島房次郎
南毛利 牧田宮一郎
三田村外五箇村組合 沼田初五郎
中津 中村正造
荻野 神崎正藏
玉川 臨時代理者 杉山清
煤ヶ谷宮ヶ瀬村組合 加藤權兵衛

○津久井郡役所 津久井郡中野村

郡長七等 現金前渡官吏從七、勳六 松尾豐材
郡書記
九 現金前渡官吏分任收入官吏 高城治寬
十 森田直充
十 山下恒吉
(月一〇) 現金前渡官吏 杉本昌保
(月七) 大塚豐
(月七) 小島兼吉
町長
小原町外一村一驛組合 青木藤次郎
村長
湘南 齋藤政次郎
內郷 山口長吉
青根 山口陸
青野原 井上達江
根小屋村外四箇村組合 大塚巳之助
吉野驛外二箇村組合
日連名倉村組合 山崎剛
三澤 高城新兵衛
川尻 宮崎嘉重
佐野川 清水德十郎
牧野 神原氏豐
青山長竹村組合 大內昌諄
大房清左衛門
鳥屋 中島金兵衛

○尋常師範學校 鎌倉郡鎌倉町

學校長八等五級 兼教諭文官普通試驗委員小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員正八 須田辰次郎 鎌倉郡鎌倉町雪ノ下三百七十五番地
教諭
三(下)(奏任待遇) 附屬小學校主事小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員 岩崎春二郎
四(上) 兼舍監 田井畝三郎
四(下) 兼訓導 西村光彌
四(下) 小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員 石井信五郎
五(下) 兼舍監 藤田信幸
五(下) 兼訓導 澤田鉚義
助教諭
二 小林錠之助
二 兼書記 小泉成一
三 兼舍監 和田仲造
訓導
(兼) 鎌倉郡尋常、高等鎌倉小學校訓導 鳥海彦三郎
(兼) 鎌倉郡尋常、高等鎌倉小學校訓導 村上猪之助
(兼) 鎌倉郡尋常、高等鎌倉小學校訓導 板倉鈴
書記
三 百東半七郎
五 河原井正德

○橫濱市役所 橫濱市本町

市長(年一五〇〇) 正八 佐藤喜左衛門
助役(年八〇〇) 中山忠次郎
名譽職市參事會員
正八 佐藤喜左衛門
從五 原六郎
正六 原善三郎
志村義路
中山忠次郎
木村利右衛門
中山沖右衛門
須田熏次郎

○兵庫縣 神戸市北長狹通四町目

知事二等 從四、勳四 周布公平 神戸市下山手通五町目二十八番屋敷官舍
書記官四等 官報報告主任文官普通試驗委員長主任收入官吏正六、勳六 秋山恕卿 神戸市中山手通五町目三番屋敷
警部長五等 從六、勳六 野間口兼一 神戸市下山手通四町目二番屋敷官舍
收稅長五等 從六 南挺三 神戸市中山手通五町目十九番屋敷
參事官七等(年八〇〇) 馬淵鋭太郎
技師
六等八級 正七 吉本龜三郎 神戸市下山手通六町目五百九十一番屋敷
七等十級 從七 穎川春平 神戸市中山手通二町目稅關一番官舍
典獄七等 文官普通試驗委員從七 櫻井高倚 神戸市荒田村番外五百十六番屋敷
電氣營業取締監查方囑託 電話交換局技師正七 森島剛太郎

○知事官房

一 小川忠武
七 內務部兼務 服部豐三郎
八 內務部兼務 岡本辨次
九 文官普通試驗書記 神保光輝
九 內務部兼務 柴田正
十 瀬良璉也
(月九) 今田武
(月八) 松本一次
二 堀政正
八 宮本良太郎
八 文官普通試驗書記 野口孝二郎
九 今井馬吉
十 田中正八
(月一〇) 木村心一
(月八) 福田太一

○內務部

部長 書記官 秋山恕卿
第一課長 參事官 馬淵鋭太郎
第二課長 技師 吉本龜三郎
勤務 技師 穎川春平
屬
二 兼技手第五課長 河井貞一
二 第四課長歲入歲出外現金出納官吏 磯野直諒
四 第三課長文官普通試驗委員 增野精亮
三 官報報告主任 丸山繼男
四 松崎龍
三 黑田直
四 物品會計官吏 近藤義次
四 小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員 佐藤弘毅
四 知事官房兼務 東文輔
五 乾貢
六 鈴木需
六 吉田一郎
六 官報報告主任 鍋島直身
七 笠井簑三
七 河野純一
七 田中清行
七 久保鉉七
七 山田豐吉
八 大篠丈吉
八 高田兼吉
八 中村榮太郎
八 板野慶三郎
八 香村隼吉
八 小鹽均一郎
九 清瀬一郎
九 藤本卯吉
九 堀音吉
十 野黑石太郎
十 田近鬼一郎
十 松尾磯四郎
十 永淵純吉
(月一二) 西村時若
(月一二) 西田龜太郎
(月一〇) 谷口嘉太郎
(月一〇) 石井雄吉
(月一〇) 芝野政吉
(月九) 土井內竹鶴
(月八) 池原粂三郎
(月八) 堀家四男
五 弓削信具
五 兼技手 茂呂信義
六 小學校教員檢定委員 和田九十郎
六 大河平武二
六 新井智三郎
七 河井澄江
七 三宅泰躬
七 山崎氏宜
七 味酒清淵
七 粟屋千輔
八 玉井三與吉
八 兼技手 柏田貢
八 櫻井丈太郎
八 河南休男
八 岡富太
八 尾形三藏
九 黑萩重信
九 池田敏介
十 城野常次郎
十 本木利右衛門
十 岡山次夫
十 伊秩達二
(月一二) 關忠利
(月一二) 山縣猪助
(月一〇) 森孝行
(月一〇) 山村嘉一
(月一〇) 橫山謙
(月九) 富村芳太郎
(月九) 河村庸吉
(月八) 星野鉚
(月七) 長香忠親
技手
五 橫山章作
六 山崎幸四郎
六 奧野李一郎
六 矢野新藏

八 松任外次郎
八 船越 茂次
八 河崎 東輔
八 三宅 長平
八 本村 藤吾
八 河合鉄太郎
九 兼屬 竹内 亨
九 前田 辰雄
九 王供 阿久
十 兼屬 齋藤 元喜
十 高橋茂次郎
十 川北粂次郎
十 兼屬 小管鈨太郎
十 兼屬 大塚 仲藏
(月一一) 井關源次郎
(月一一) 十倉 四郎
(月一〇) 神代 喜平

○警察部

部長 警部長 野間口 兼一

警部
一 保安課長 葛 寛藏
二 警務課長兼巡查教習所長文官普通試驗委員 兒玉 利實
四 衛生課長 片山佐知矢
七 高等警察主任 宗 眞彦
七 大宮 八藏
七 宮本 基德
八 鈴木 信彌
八 巡查教習所監督兼教員 山室甲子郎
九 石浦平三郎
九 柳井原立馬
十 村山 忠藏
十 三宅金三郎
十 鹽川彌太郎
(月一一) 井上 行造
(月一〇) 大西庄次郎
(月八) 野村 卓次
(月八) 津田 鑛吉

技手
十 大原 惇
(月一一) 兼屬 林 梁藏

○神戸警察署　神戸市三宮町一町目

警部
署長 五 園田牛之助
七 水上分署長 川添 爲一
九 大島元三郎
九 篠原雅太郎
九 葺合分署長 石崎 傳藏

○兵庫警察署　神戸市相生町

警部
署長 五 中澤 弘恭
八 戸場分署長 中村 兼彌
九 佐藤 壽之
九 松本喜代次
九 平尾 正義
十 藤澤 豐次

○須磨警察署　八部郡須磨村

警部八
署長 遠藤 忠興

○西宮警察署　武庫郡西宮町

警部
署長 七 山田 齊
九 御影分署長 小崎 久二
十 原 安太

○伊丹警察署　川邊郡伊丹町

警部
署長 七 阪田 正彦
九 尼ヶ崎分署長 關口順治郎
九 廣根分署長 牛尾 兵治
十 阪元正太郎

○三田警察署　有馬郡三田町

警部
署長 七 西村 重雄
九 湯山分署長 村島 亨

○明石警察署　明石郡明石町

警部
署長 五 勳七 詫摩 治邦
十 井手 豐次

○三木警察署　美嚢郡三木町

警部八
署長 福田 增夫

○北條警察署　加西郡北條町

警部八
署長 藤井 醇

○社警察署　加東郡社村

警部
署長 五 池永 三章
十 井上 權藏

○中村警察署　多可郡中村

警部七
署長 森村 清

○加古川警察署　加古郡加古川町

警部
署長 七 小野雄之介
九 高砂分署長 高階 寛住

○魚橋警察署　印南郡阿彌陀村

警部七
署長 朝枝 澄江

○姫路警察署　姫路市國府寺町

警部
署長 三 島村 勇
九 飾磨分署長 岩崎 甚七
十 天野彌三郎
十 光富 賢德
十 前ノ庄分署長 葛西三次郎

○福崎警察署　神西郡福崎村

警部
署長 八 瀨川 幸吉
九 福本分署長 吉安大四郎

○龍野警察署　揖西郡龍野町

警部
署長 七 前田 兼衛
九 鵤分署長 深瀨 猛夫
九 新宮分署長 樋口長太郎
十 町田 實信
十 網干分署長 北爪 壽

○佐用警察署　佐用郡佐用村

警部七
署長 秦 藤太郎

○赤穗警察署　赤穗郡赤穗町

警部
署長 七 古川 八郎
九 那波分署長 勳七 青木 重威
十 上郡分署長 吉安 錬

○山崎警察署　宍粟郡山崎町

警部
署長 七 高濱 信民
九 安積分署長 長手 參一

○篠山警察署　多紀郡篠山町

警部
署長 七 藤井 近治
九 福住分署長 上田平太郎
十 平野源之助

○柏原警察署　氷上郡柏原町

警部
署長 七 鹽見金之丞
九 藤江 虎一
十 佐治分署長 今田虎次郎
十 上田分署長 福永 幹

○豐岡警察署　城崎郡豐岡町

警部
署長 六 藤森 祐器
九 湯島分署長 木山 吉滿
九 香住分署長 鶴田 謙吉
九 江原分署長 田中勝三郎
十 井田龜太郎

○出石警察署　出石郡出石町

警部八
署長 德田 清貞

○和田山警察署　朝來郡牧田村

警部
署長 七 岸本龜信郎
九 生野分署長 北爪 宣壽
九 八鹿分署長 家城 覺三

○村岡警察署　七美郡村岡町

警部
署長 七 横山 文章
九 濱阪分署長 島田 政一
十 湯村分署長 高橋綱四郎

○洲本警察署　津名郡洲本町

警部
署長 六 井上角八郎
九 志筑分署長 田中 八作
九 假屋分署長 齋藤 龜彌
十 本間 琢次
十 郡家分署長 高田 方雄

○市村警察署　三原郡神代村

警部
署長 八 賀川 濟
九 福良分署長 鈴木忠之進

○收稅部

部長 收稅長 南 挺三

收稅屬
二 直稅課長物品會計官吏 末澤 廣吉
二 開稅課長文官普通試驗委員 朝比奈勝次
二 從七 室田 賴章
六 夏目小才次
六 村山貞之助
七 櫻井 貢吉
七 山田秀太郎
八 小笠原宇一郎
九 神戸收稅署兼勤 日向野通寶
九 小笹文三郎
十 石卷 重吉
(月一〇) 小島練之助
(月一〇) 千田 登
(月一〇) 佐多 彦美
(月一〇) 伊藤鎭二郎
(月一〇) 中山 直
(月八) 堀 永譽志

○神戸收稅署　神戸市東川崎町

收稅屬
署長 二 岡崎 龜雄
八 石山 峻
九 重松新四郎
九 河合 要造
(月一〇) 服部 嘉內
(月一〇) 日高時太郎
(月一〇) 三堀常三郎

○西宮收稅署　武庫郡西宮町

收稅屬
署長 六 西 正章
六 松田 左忠
八 石川 陳三
八 平井 朗晃
九 飯田 佐一
九 高井 岩
九 石原 義視
九 中島 惣次
九 都留 英二
九 朝倉 鏻吉
九 堀 義三郎
九 二日一龜佐久
十 堀 昌泰
十 小川 愚
(月一〇) 大村馬喜次
(月一〇) 小島 閑二
(月一〇) 清藤 秋夫

○伊丹收稅署　川邊郡伊丹町
收稅屬
署長　六　小林猪三吉
九　畑中壯二　九　大野郡治
十　三宅文吉　十　工藤瞭

○三田收稅署　有馬郡三田町
收稅屬
署長　八　廻助之丞
九　中村長次郎　(月一〇)　西山富三郎
(月一〇)　洲濱駿

○明石收稅署　明石郡明石町
收稅屬
署長　六　山田眞作
九　近藤純一　九　牧原元次郎
九　阿部總藏　十　川添鏈太郎
十　河本六藏　十　小島武四郎
(月八)　山本下賜夫

○社收稅署　加東郡社村
收稅屬
署長　七　松田幸太郎
八　山田五郎　九　宇敷敬一
九　佐野壽治　十　不動佳九郎
(月一〇)　柏木甚八　(月一〇)　結城親敬

○加古川收稅署　加古郡加古川町
收稅屬
署長　七　津田忍
八　北部正俊　九　和田鐸之助
九　譽田榮　十　竹澤湊一郎

○姫路收稅署　姫路市本町
收稅屬
署長　四　後藤博見
六　山家麓　八　小野久兵衛
九　眞野鷹一　十　井上吉之助
十　原鏗爾　(月八)　福本竹藏

○田原收稅署　神東郡田原村
收稅屬
署長　八　平田眞佐久
十　江口彥助　十　山本榮吉
(月一〇)　高橋綱四郎　(月八)　大塚彥太郎

○龍野收稅署　揖西郡龍野町
收稅屬
署長　七　鈴木啓三郎
八　小林正吉　九　內藤正衛
十　水谷哲太郎　十　內海充
(月一〇)　三尾孫一郎

○赤穗收稅署　赤穗郡赤穗町
收稅屬
署長　八　堀內三太郎
九　志知太一郎　九　山田莊次
九　月本節　十　平野孝始

○山崎收稅署　宍粟郡山崎町
收稅屬
署長　八　天野明性
十　田峯喜美　(月一〇)　齋藤哲
(月一〇)　瀧澤孝次郎　(月八)　山崎彥三郎

○豐岡收稅署　城崎郡豐岡町
收稅屬
署長　六　金井尙正
九　村上貫一　九　芝岡貞八
十　齋藤鎌太郎　十　三寺利夫
(月一二)　吉岡健太郎　(月一〇)　西山力
(月八)　園田茂三郎　(月八)　福谷平一郎

○和田山收稅署　朝來郡和田山村
收稅屬
署長　七　積山元俊
九　伊藤計司　九　渡邊宗十
十　加藤恕　十　尾崎鈊太郎
(月一〇)　岩田保太郎　(月八)　阪口宇太郎

○村岡收稅署　七美郡村岡町
收稅屬
署長　八　藤井琳七郎
十　井上精一郎　十　水本八郎
(月一〇)　三雲長　(月一〇)　大鹽積

○柏原收稅署　氷上郡柏原町
收稅屬
署長　六　町田磐
九　石川助太郎　十　長田善太郎
十　菅原保太郎　十　石黒明義

○篠山收稅署　多紀郡篠山町
收稅屬
署長　八　藤田六彌
九　菅澤文雄　十　田中正治
(月一〇)　桂傳治　(月八)　大槻由太郎
(月八)　野崎仙太郎

○洲本收稅署　津名郡洲本町
收稅屬
署長　七　小山九甫
八　石井辰也　八　長門正利
九　山田莊次郎　十　金井次郎
十　蜷木不二夫　(月一〇)　藤井光太郎

○市村收稅署　三原郡市村
收稅屬
署長　八　寺田留吉
九　三浦幸二　九　船越儀太郎
十　島田恒太郎　(月一〇)　稲井竹藏

○監獄署
署長　典獄　櫻井高尙
監獄書記
七　第一課長　鈴木豪雄
七　第三課長　丹羽哲郎
四　姫路支署長　長谷川信綱
八　看守長看守教習所教官洲本支署長　花房教
八　看守長豐岡支署長　神崎直次郎　八　谷口信太郎
八　細野信節　八　橫田作三
八　看守長龍野支署長　井上信之助　八　柴垣善藏
九　山田談　九　看守長篠山支署長　竹內正彥
九　川口信正　九　島田榮造
十　井上新藏　(月一二)　水上彌吉郎
(月一二)　志賀愛之助　(月一二)　關口種吉
(月一〇)　村田幾次　(月九)　橋本新藏
(月九)　和田一松　(月九)　川野秀治
(月九)　片岡望
七　看守長　第二課長看守教習所教官　加藤雄逸
九　大橋彥太　九　川島堅磐
十　濱田民次郎　十　勳八　田中參候
十　萩原貞熹　十　濱田幸吉

○八部郡役所　神戶市荒田村
郡長　八等　正八　小林市次
郡書記　七　竹末朗德　十　岡村勇造
十　一色大八郎　(月九)　岡崎省三
(月八)　小泉始入　(月七)　荻春次
村長　湊　村田源太郎　林田　藻川豐三郎
須磨　藤田九兵衛　山田　新田惣兵衛

○武庫菟原郡役所　武庫郡西宮町
郡長　八等　正八　阿部光忠
郡書記　六　建部眞　八　神保貞三
九　小西融　十　大路正雄
(月一〇)　井上益一　(月八)　高安武雄
(月八)　淀久吉　(月七)　是成丑之助
武庫郡町長　西宮　田澤熊江
同村長　今津　藪田與平治　鳴尾　高須和一郎
大庄　野草平八郎　武庫　松本四郎兵衛
甲東　松本織之助　大社　岡田市眞右衛門
芝　宮本源右衛門　眞元　鈴木義正
瓦木　櫻井儀十郎
菟原郡町長　御影　木塚勇
同村長　精道　山村忠左衛門　本山　高幵直次
六甲　若松作兵衛　魚崎　關金三郎
住吉　山本吉次郎　都賀濱　竹川重介
都賀野　松本與一郎　本庄　岡田正藏

○川邊郡役所　川邊郡伊丹町
郡長　七等　從七　藤井雅太
郡書記　七　小島友吉　八　西皐有文
九　酒井豐太郎　十　岸田松三郎
十　松田庄司　(月一〇)　木下氏明
(月一〇)　小山三平　(月八)　伊藤紀
(月七)　西常藏　(月七)　山本留七
町長　伊丹　大塚讓之介　尼ケ崎　禰津倍太郎
村長　神津　入江與三郎　園田　田中幾之助
小田　井關勘十郎　立花　今井正太郎
稻野　前田半兵衛　長尾　乾恒三郎
小濱　田川善近　川西　岩田彥兵衛
多田　福竹藤兵衛　東谷　小畑左平治
中谷　福井源之介　六瀨　奧畑信十郎
高平　岡田米藏　西谷　福本新三郎

○有馬郡役所　有馬郡三田町
郡長　八等　正八　宍戶秀策
郡書記　八　賀集輝吉　八　高橋克
(月一〇)　福島作之助　(月一〇)　下垣順治郎
(月九)　武川鉉吉　(月九)　西田稔
(月九)　前中訓　(月七)　堀部和一郎
町長　三田　北村萬次郎　湯山　小西正眞

村長 三輪 前中市次　道場 米田吉三郎
鹽瀨 野條辰三郎　山口 芝虎之介
有野 切田覺三郎　八多 吉安作太郎
大澤 稻生孫兵衛　貴志 殿勝彌十郎
藍 酒井壽吉　本庄 中村駒太郎
中野 岡本顯治　小野 奧谷七兵衛

○明石郡役所　明石郡明石町

郡長 七等 從七 藤井一郎
郡書記 六 河村馬太郎　八 中島正久
九 松本義信　十 鈴木久之助
(月一一) 莊田元健　(月一〇・五) 生田萬次郎
(月一〇) 有馬八郎　(月八・五) 立田萬造
(月七・五) 杉山健吉　(月六) 二星富雄
(月六) 野尻角平
町長 明石 武藤信重
村長 垂水 有本順治郎　伊川谷 丹田可作
玉津 竹內常太郎　櫨谷 豐田市之助
押部谷 藤本太右衛門　平野 鞍谷清愼
神出 野口宇三郎　魚住 桴野貞一
岩岡 吉岡梅太郎　大久保 永田與三吉
林崎 神足市太郎

○美嚢郡役所　美嚢郡三木町

郡長 七等 從七 古田庸
郡書記 七 丹羽信雄　九 原田耕造
九 平島其治　十 寺尾梶三郎
(月一〇) 緒形弘　(月一〇) 土井彥七郎
(月九) 池田胤男
町長 三木 大竹武郎
村長 別所 光川五郎兵衛　久留美 境八三郎
志染 橫山宗左衛門　淡河 光齋勇雄
上淡河 福井迪一　奧吉川 檜原侑一
中吉川 井上熊太郎　北谷 藤田重九郎
口吉川 土居源三郎　細川 常深源吾

○加東郡役所　加東郡社村

郡長 七等 從七 渡邊賤郎
郡書記 七 犬塚愉一　九 小林豐次郎
九 井上萬司　十 初田要
十 長安新彌　十 岩佐一郎
十 小林廣光　(月八) 內藤力之助
(月六) 堀井寅二郎　(月六) 廣瀨久眞八
村長 河合 田中五兵衛　來住 美﨑仙吉
社 小林秀次　加茂 大久保忠次郎
瀧野 近藤常七　市場 近藤源吉
小野 福島元嘉　大部 宮﨑仲藏
福田 蓬萊節太郎　下東條 朝原文吾
中東條 岸本吉藏　上東條 岸田榮五郎
米田 小西才三郎　上福田 大熊土次郎
鴨川 藤井儀右衛門

○多可郡役所　多可郡中村

郡長 七等 從七 片山貞幹
郡書記 八 有阪貞藏　九 小林宗
九 合田榮治　九 小西池巖
(月一一) 吉田亮平　(月九) 奧村忠司
(月九) 藤本涵二　(月七) 近藤龜太郎
(月七) 大江鹿藏
村長 中 松本德兵衛　松井庄 細田忠治郎
杉原谷 大江勝太郎　越知谷 森田直喜
野間谷 門脇愛三郎　日野 笹倉源一郎
重春 遠藤善太郎　津萬 岡澤源十郎
比延庄 廣田傳左衛門
黑田庄 小西池仁左衛門

○加西郡役所　加西郡北條町

郡長 七等 正八 神代淳一郎
郡書記 六 內藤圓次郎　八 安積重次郎
九 福永市次郎　九 近藤繁治
(月一〇) 菅野卯太郎　(月八) 柏木穎治
(月六) 高井宇太郎　(月六) 平林種治郎
(月六) 尾芝清一　(月六) 柏原德松
町長 北條 三枝宇重郎
村長 富田 石野武右衛門　賀茂 安積喜平次
下里 森本直治郎　九會 西村彌三兵衛
富合 玉田市郎左衛門　多加野 內藤濱太郎
芳田 內橋榮三郎　西在田 柏木貞治
在田 長濱常三郎　大和 橋尾光親

○加古郡役所　加古郡加古川町

郡長 八等 正八 笠井彰
郡書記 六 八木虔介　八 井上政次郎
九 篠山卯一　十 下田亥十二
(月一〇) 鳴瀧彰　(月一〇) 富樫芳太郎

(月九) 大內長平　(月九) 橋本己巳二
(月九) 佃惣六　(月八) 齋藤豐作
(月六) 增田健藏
町長 加古川 中島章　高砂 美濃部秀芳
村長 氷丘 吉田喜代松　神野 大西玉之輔
八幡 本岡吉藏　加古新 竹本肇
母里 北條直正　天滿 福田秀一
野口 米谷十三郎　平岡 大西鹿藏
二見 淺川莊　阿閇 淺野民三郎
別府 利根川誠　尾上 石川醉夢
鳩里 松本吉次　荒井 高木直治

○印南郡役所　印南郡曾根村

郡長 八等 正八 富田耕司
郡書記 七 渡邊直吉　九 赤松完一
九 佐々木源藏　九 田中俊二
十 大川新藏　(月一〇) 中垣鶴三郎
(月八) 渡邊渉　(月七) 梶原富吉
(月七) 渡邊信一
村長 曾根 龜田五一郎　伊保 中谷久治郎
米田 松本善吉　東神吉 喜多喜八郎
平莊 瀧右左治　上庄 香川久太郎
東志方 玉田範威　西志方 渡邊傳次郎
志方 小原八太郎　西神吉 水埜恒太郎
阿彌陀 松本利平　別所 森本幾三郎
的形 井上木藏　大鹽 山本治之作
北濱 田中源十郎

○飾東飾西郡役所　姫路市龍野町

郡長 六等 (printed as 大等?) 從七 野口可輔
郡書記 七 角田義和　九 中川清
九 木村重彥　十 國司廣介
十 佐野馨　十 黑田仲藏
十 吉田貞次郎　(月一〇) 伊藤鶴松
(月九) 大川勝太郎　(月九) 飯塚重雄
(月九) 中澤逸夫　(月七) 中山亥三次
飾東郡町長 飾磨 下里順
同村長 市殿 久寶彌　四鄉 水野委太郎
妻鹿 勝間豐太郎　水上 澤田太十郎
花田 河合吉藏　高濱 野村嘉兵衛
下中島 大森專藏　白濱 炭本長太夫
八木 神澤松次郎　國衙 廣瀨七五郎
谷內 內海榮三郎　谷外 井上靜則
御國野 櫻井文藏　城北 大谷長太郎
糸引 橋詰山三郎　家島 三木猛哉
飾西郡村長 高岡 沖鹽新三郎　安室 瀨渡幸三郎
曾左 石原大三郎　置鹽 米澤磯次郎
鹿谷 松岡榮太郎　菅野 內海忠資
余部 菅原信夫　八幡 堀米藏
高濱 薊原勝五郎　英賀保 小和平藏
荒川 小林政治　手柄 小嶹咲
津田 辰田武右衛門

○神東神西郡役所　神東郡田原村

郡長 七等 從七 倉本雄三
郡書記 七 大杉兵太郎　九 藤本節二
十 勳七 小川三政　(月一一) 三木愛太郎
(月一一) 宇野信次郎　(月一〇) 田﨑五百顯
(月一〇) 淸瀨陽二　(月八) 佐々木幸
(月八) 岩城寬治　(月七) 伊藤信
(月七) 嵯峨準一
神東郡村長 大山 渡邊治左衛門　粟賀 辻井榮治
川邊 安見林之助　瀨加 竹內槌藏
田原 正木壬子郎　八千種 松岡榮三郎
山田 谷口好文　船津 井上儀藏
豐富 高馬平太郎　砥堀 高馬萬治
神西郡村長 香呂 駒田六三郎　中寺 鎌谷太平
福﨑 浮田音次郎　甘地 中野槌太郎
鶴居 後藤琢三　寺前 小林子麿義
長谷 草壁俥太

○揖東揖西郡役所　揖西郡龍野町

郡長 七等 從七 內海忠誨
郡書記 七 湯淺武　八 鹽津義夫
九 吉田典則　九 森下四郎
九 宗野德太郎　九 松下甲子助
十 大高義路　(月九) 內海陳
(月九) 長谷川卯作　(月八) 土橋兼介
(月八) 金治茂
揖東郡町長 網干 中圓尾善左衛門
同村長 香島 森本健治　新宮 松本溫
越部 石川八郎　神岡 森川新一郎
林田 澤野利正　伊勢 岩谷榮三郎
太市 篠本又三郎　龍田 小野市三郎
小宅 鹽谷直吉　譽田 三浦史郎

斑鳩 小路利吉　太田 小野勝太郎
勝原 今井佐一郎　石海 圓尾熊治
旭陽 代谷順造　大津 小泉源之助
揖西郡町長　龍野 中井顯
同村長
西栗栖 竹內陶　東栗栖 前田秀齋
半田 高瀨靜治　神部 平田傳右衞門
河內 岩村善六　室津 寺尾太四郎
御津 上西宗次郎　揖保 出田武司
余部 八木正雄　平井 八瀨善吉郎
桑原 栗林不二麿　布施 勝原太岳

○赤穗郡役所　赤穗郡赤穗町

郡長八等　正八 原田千之介
郡書記
七 中尾峰栖　八 松田源十郎
九 金谷嘉吉　十 大川尙一郎
(月一二) 赤松廣治　(月一〇) 長井陽介
(月九) 木村貞勝　(月七) 武田謙藏
(月六) 服部幾太　(月六) 木元愼也
町長　赤穗 江見啓
村長
鹽屋 寺田政次　尾崎 久保治郎
新濱 木村啓太郎　阪越 大西源十郎
那波 三木彌三郎　相生 唐端淸太郎
若狹野 高田萬藏　矢野 山島亭助
高田 山田壽　上郡 中村重信
鞍居 金田喜平治　赤松 岩本蔀
船阪 高橋芳松　有年 松田新治郎

○佐用郡役所　佐用郡佐用村

郡長八等　正八 後藤敬
郡書記
七 吉田光章　八 野村敬三
九 蘆田猛矣　十 山田貢
(月九) 原田龜之助
村長
佐用 長井勇治郎　長谷 阿山禎治郎
平福 田住貞　江川 三枝瀧右衞門
幕山 井上澤治郎　西庄 祐保吉右衞門
久崎 木南敬治　中安 生田義高
德久 小林富太郎　大廣 廣瀨護
三日月 織田正治

○宍粟郡役所　宍粟郡山崎町

郡長八等　正八 武間謙
郡書記
七 松山國彥　八 生田省三
九 勳七 重村利好　十 三幡繁藏
十 三島虎　(月九) 河野武次郎
(月八) 榎元友哉　(月七) 小林松太郎
(月七) 栗山實三郎　(月六) 志水淸水
町長　山崎 安原昭之
村長
城下 福田廣吉　戸原 宮本喜藏
富栖 伊塚忠治　安師 東本恆
河東 春名閑治　蔦澤 久住深光
神野 橋本橋治　神戸 志水市郎平
染河內 多田菊太郎　下三方 田路平右衞門
三方 田路嘉納　繁盛 小倉林兵衞
西谷 岸根武之吉　奧谷 小林助太郎
千種 春名市良治　三河 阿曾準一
土萬 友延茂三郎　菅野 藤多芳太郎

○城崎、美含、氣多郡役所　城崎郡豐岡町

郡長六等　從七 赤堀威
郡書記
六 浦木弘　八 木崎新邈
九 西山貞幹　十 河本兼
十 長濃貞夫　十 伊原富太郎
十 永木誠太郎　(月一〇) 藤田吉堯
(月九) 上田又吉　(月七) 磯恭助
(月七) 尾形慶藏　(月七) 八百谷秀藏
(月六) 奧村平吉　(月六) 澤田久之助
城崎郡町長　豐岡 富田仙助
同村長
八條 澤田肇太郎　新田 田中市右衞門
五莊 森垣彌三右衞門　奈佐 三谷四郎右衞門
三江 足立六左衞門　田鶴野 由月喜之助
內川 岩本吉兵衞　湯島 齋藤甚左衞門
港 後藤錠次郎
美含郡村長
奧竹野 森垣補一郎　中竹野 木瀨貞雄
竹野 福田八郎左衞門　口佐津 神田淸兵衞
奧佐津 森田六三郎　香住 長濔
長井 淸水和　餘部 山崎重三郎
氣多郡村長
中筋 門間禎二郎　國府 古橋孝之輔
八代 中村孫左衞門　日高 福富庄兵衞
三方 中谷垣權十郎　三椒 新免松茂

○出石郡役所　出石郡出石町

郡長七等　從七 谷野孝
郡書記
八 岡本義之　九 松井旗二
十 小川重德　十 太田決
(月九) 駒井宗夫　(月九) 志水保太郎
町長　出石 福富源藏

村長
神美 平尾源太夫　小坂 宮谷信治郎
室埴 今田禎次郎　合橋 中田善次郎
高橋 大橋安之助　資母 今井甚兵衞

○養父、朝來郡役所　朝來郡牧田村

郡長七等　從七 佐藤正克
郡書記
七 吉見誠一　八 根岸香三
九 土岐虎雄　九 伊木貞太郎
九 富田寅吉　(月一一) 杉原逸平
(月一〇) 中島勇治　(月九) 北垣貢
(月七) 田路九郎　(月七) 福富富太郎
(月六) 北垣增藏　(月六) 塚原啓之助
養父郡村長
大藏 小谷慶治郎　糸井 佐藤定治郎
養父市場 新井辰吉　廣谷 岩勉
建屋 北村孫右衞門　口大屋 鎌田久兵衞
大屋 野崎太右衞門　西谷 時守雲山
南谷 正垣半兵衞　關宮 中島禎太郎
高柳 千葉彥太郎　八鹿 西村熊治郎
宿南 宿南莊太夫　伊佐 橋本寅太郎
朝來郡町長　生野 丸尾八右衞門
同村長
牧田 山田貞助　東河 夜久義重
梁瀨 馬場尙太郎　粟鹿 日下覺藏
與布土 山崎久米藏　竹田 石原廉吉
中川 藤尾萬之助　山口 進藤敢

○七美、二方郡役所　七美郡村岡町

郡長八等　正八 小林伊成
郡書記
七 鷲見金三郎　九 田中蘐
十 池田久太　十 大澤喜太郎
十 北村豐太郎　(月一一) 西村幸太郎
(月一〇) 渡邊昪　(月七) 今田榮治
(月六) 太田垣高四郎　(月六) 西岡利夫
七美郡町長　村岡 田中保惠
同村長
兎塚 上田喜景　熊次 西村勇治
小代 藤井董四郎　射添 岸岡造
二方郡町長　濱坂 中西庸
同村長
溫泉 夏川禎一郎　照來 倉田與七郎
八田 安田利右衞門　大庭 福島吉太郎
西濱 藤田治右衞門

○氷上郡役所　氷上郡柏原町

郡長七等　正七、勳六 山崎矩員
郡書記
七 林惟一　九 服部貢
九 井坂融　九 西皐潤
九 渡邊秀　十 中原保尾
十 原卓雄　(月一〇) 小塚安太郎
(月九) 細見房吉　(月八) 上山定吉
(月七) 由良猪之助　(月六) 原田政次
町長　柏原 篠川直
村長
上久下 鈴木德三郎　久下 中川幸太郎
小川 藤原禎章　和田 若林爲造
沼貫 山下銀四郎　本鄕 金川文藏
成松 田中庄三郎　葛野 采女與市郎
幸世 飯田三郎　芦田 田中佐七郎
佐治 外島直治郎　神樂 足立重左衞門
遠阪 平岩維　竹田 余田完二
前山 森本茂一朗　吉見 由良友四郎
鴨庄 小谷國太郎　美和 余田勇吉
春日部 山口義丸　大路 柿原宣太郎
國領 上田捨藏　黑井 荻野貞次郎
船城 佐々木雅治　石生 田村彌治右衞門
新井 谷垣孫九郎

○多紀郡役所　多紀郡篠山町

郡長八等　正八 山內祐邦
郡書記
六 並河邦彥　八 川崎精之介
八 長谷川高雅　九 平野尙
九 林利幸　(月六) 安藤精一郎
(月六) 河南信雄　(月六) 藤井岸之助
(月六) 福井義夫
町長　篠山 服部保平
村長
八上 小島房藏　日置 波部次郎助
福住 野々口三右衞門　大芋 澤山茂次郎
村雲 高橋壽三郎　雲部 木戸勇助
畑 畑光藏　城北 倉垣幸之進
岡野 藤井繁太郎　南河內 山本誠
北河內 岸田榮助　草山 谷掛八十八
大山 園田龜藏　味間 谷垣峯藏
城南 團野記平治　古市 細谷午三
今田 荻野寅之助　後川 福本林之助

○津名郡役所　津名郡洲本町

郡長六等　從七、勳六 上石保直
郡書記
六 宮田眞三郎　八 伊藤謙一

高松爲太郎（月一〇）　藤木圭一郎　村長
藤江哲三（月一〇）　砂河英一郎　加茂
八田隆太郎（月八）　大岡寛　廣田
日永信雄（月七）　林忠三郎　堺

町長
洲本志筑　岩田康郎　由良
村長　富本林三郎　岩屋
上灘　濱田友次
物部　田村堅三郎　千草
中川原　佐野助作　潮
鹽田生穗　清水正三郎　安乎
釜口浦　今岡義之　佐野來馬
富島　中村記三治　仁井
育波　正井清五郎　淺野
室津　島田七兵衛　尾崎
多賀江井　濱田貫一　郡家
都志　濱田欣一　大町
廣石野島　菅野福太　山田
　廣田作十郎　鮎原
　木谷文五郎　鳥飼
　佐野雄作
　千葉宮次郎

○三原郡役所　三原郡市村

郡長（七等）　從七　依藤忠夫
郡書記　八

古東英一　井實平內　原田林次　安倍精一　大野
城戸正亮（十）　飯島賀廣　奥井門二　加茂　山口恒雄
島田季雄（月九）　榎本健三郎　太田續　藤井準一　倭文
喜田節二（月七）　土居重五郎　木村伊勢吉　廣田　納平八
橋本又市　芦原要次郎　高津雅雄　三澤豐三郎　濱田儀一郎
福艮　小泉利喜太　陰山守彥　堺　船越伊七郎
岡田長七郎　正井禎太郎　内原理四郎　松帆　濱
　林勝作　松浦與吉　砂川茂平　原口誼三郎
　上田吟太　船越兵治　島田邦二郎　武田孫四郎
　十河庸平　野上嘉平
　武岡民平　中河利吉
　增田光太郎　岡理三郎
　沼島

○尋常師範學校

學校長（七等四級）　小學校教員檢定委員小伊村則久
　小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員從七　神戸市下山手通六町目五百九十一番屋敷ノ八

教諭
　文官普通試驗委員　田中勝之丞　神戸市下山手通七町目十八番屋敷
　小學校教員檢定委員　瀨川彦四郎　四（上）
　小學校教員銓衡委員　辰佰信太郎　五（上）　彙訓導

助教諭
　淺尾重敏　二
　元橋義教　二
　堀越喜三郎　三

書記
　村井作十郎　四
　池田幸輔　三

○尋常中學校

學校長（奏任待遇）　小森慶助　尋常中學校內

教諭
　岡元輔（月四五）　堀尾鎭作（月四五）　彙舍監
　野瀨田佳稻（月四〇）　小倉鈴之助（月四〇）　監
　小野田勇夫（月三〇）　前波伸尾　彙師範學校訓導
　津田立本（月三〇）　遠澤恒猪

助教諭
　佐々木弘（月二五）　飯田俊夏（月二三）　彙舍監
　長沼宗喜（月一五）　彙舍監
　下田重復（月一二）　高橋信三（月一〇）
　春山弟彥（教授囑託月二〇）

○神戸商業學校

學校長（奏任待遇）　今立吐醉　正七　神戸市下山手通六町目五百七十番屋敷ノ二

教諭（月四〇）　高橋鈴太郎　長尾亘吉
（月三五）　關一　和雄　神山
（月三五）　福田德三（月三〇）　久保益夏

助教諭（月一七）　鈴木謙三（月一五）　廣岡翠
書記（月一八）　荒木源四郎（月一二）　森金次郎
教授囑託（手當月一〇）　判事從七　松平信英
（手當月五）　中島定吉

○神戸病院

院長（月一五〇）　高橋盛寧
副院長（月一四〇）　江島賤男
幹事（月三〇）　南澤督清
醫員
（月三五）　鹿兒島時成
（月三五）　泉虎雄
（月一五）　福井泰藏　彙監獄醫　彙監獄醫移所長　二見鉄五郎
（月一五）　笠原春之助　山本德亮
（月一二）　坂田昌　田宮靈一郎
（月一二）　齋郷品之介　彙監獄醫　彙監獄醫　坂田昌　齊所功
（月一二）　小倉直衛　堀俊三郎
藥局長（月二五）　三橋久誠
藥劑員
（月八）　八木專次（月七）　龜川忠太
（月六）　能登定吉（月六）　吉田源藏

○姬路病院

院長（月一四〇）　鈴木德男
副院長（月一二〇）　井上通泰

幹事（月二〇）　朝比奈眞也
醫員
（月三〇）　孝橋秀德（月二〇）　福本傳之助
（月一五）　彙監獄醫　恒川雄太郎（月一二）　力丸繁
（月一二）　彙監獄醫　有本春生（月一二）　三木堅二郎
藥局長心得（月一七）　中馬泰造
藥劑員（月六）　吉田忠藏　野坂安次郎

○農事試驗場

場長（月六〇）　美代清彥
業務擔當囑託（手當月五〇）　小野孫三郎

○神戸市役所

市長（年一五〇〇）　鳴瀧幸恭
助役（年八〇〇）　石川武夫
名譽職市參事會員　生島四郎左衛門
瀧本甚右衛門　川西清兵衛
船井長四郎　直木政之介
池長通

○姬路市役所

市長（年五〇〇）　有留清
助役（年一五〇〇）　森田榮
名譽職市參事會員　野中善五郎
正六　渡邊弘　橫井金藏
町田猛郎　高井利一郎
上村次則八

○長崎縣

長崎市外浦町

知事 二等
- 從四、勳四 大森鍾一 長崎市岩原鄉一番官舍

書記官 五等
- 官報報告主任文官普通試驗委員長小學校教員銓衡委員長從六 水上浩躬 長崎市豐後町一番官舍

警部長 五等
- 陸軍步兵少尉正七、勳五 入佐清靜 長崎市外浦町三十四番官舍

收稅長 五等
- 從六、勳六 今宿信一 長崎市出來大工町十六番

參事官 六等
- 神職試驗委員長從七 谷口留五郎 長崎市東中町四十一番官舍

技師 八等（年五〇〇）
- 正八 高嶺秀四郎 長崎市馬場一番
- 肥田春次郎 長崎市出來大工町十五番

典獄 七等
- 從七 山室二元吉 長崎市燈籠町四十三番

○知事官房

屬
- 文官普通試驗委員正八、勳八 野口勝馬 七
- 加悅長八 高橋元吉 九
- 永田定之十 內務部兼務文官普通試驗委員 薄井保 九
- 松尾茂（月八） 熊野常三郎 九
- 大和屋龜彥 九

農事巡迴教師（年六〇〇）（寒任雜屬）
- 吉田永二郎 西彼杵郡上長崎村中川二百六十七番 七

○內務部

部長

第一課長兼第三課長勤務

第二課勤務屬
- 松永俊重 四 文官普通試驗委員
- 山口直路 五 文官普通試驗委員正八、勳八
- 佐藤精一 五 任文官普通試驗委員
- 山口豐靜 六 文官普通試驗委員
- 在川重次郎 六 臨時試驗委員
- 近藤艮藏 六 平田富 五

○警察部

部長

警部長 入佐清靜

警部
- 保安課長文官普通試驗委員 田邊民次郎 五
- 警務部兼務 兒玉德太郎 七
- 今村房次郎 九 河地平吾 八
- 原田碧 九 奧田茂一郎 九
- 今井可叟 九
- 警務部 魚返煥乎 七
- 岡本福太郎 七
- 太田與次郎 八
- 長川喜代太郎 八
- 森準八 八
- 後藤質 九
- 奈良原雅雄 九
- 出田魏太郎 九
- 松山五郎 九
- 小佐佐龜三郎 九
- 本山宗次郎 九
- 已斐知方 十
- 高坂勝英 十
- 松本松之丞 十
- 松田恒太郎 十
- 西岡恒二郎 十
- 中島健四郎 十
- 米田芳長 十
- 淺井泰作 十
- 神田政太郎 十
- 竹中正 十
- 此島東吉郎 十
- 榮家登艮二 十

技手
- 從八立川陸成 七
- 今村房次郎 九
- 原田碧 九
- 今井可叟 九
- 松永俊重 四 文官普通試驗委員
- 高取成章 五 文官普通試驗委員
- 江副家紹 五 任文官普通試驗委員
- 田中岩三郎 五 文官普通試驗委員
- 重見艮材 六 警務部 鴻澤清一 六 臨時試驗委員
- 平田富 五

（發）六 小島和五郎 八
七 巡査教習所教授兼監事 草刈源四郎 九
九 竹内 義顯 十
十 高比良友三 （月一一）

技手

七 瀧戸 英叔 （月一〇）
渡邊理三郎 石原靜次郎

○長崎警察署 長崎市東濱町

警部署長 六 兼巡査教習所長 野田 耕夫
八 城甲子太郎
十 篠原孝之助 新 安之

○梅香崎警察署 長崎市梅香崎町

警部署長 三 稻佐分署長兼勤八 三崎 道安
七 吉田嘉一郎 九 但木金八郎
九 園田新三郎 （月一一） 浦田 傳助

○浦上警察署 西彼杵郡浦上山里村

警部署長 六 時津分署長兼勤八 鳥越 定
八 瀬戸分署長 嘉村 敬則
八 高島分署長 猿渡竹之助 九
十 矢上分署長 茂太分署長 秋永 貞雄
十 深堀分署長 田中吉太郎 岡野 喜一

○島原警察署 南高來郡島原町

警部署長 七 川上 艮助

（發）八 口ノ津分署長 中村 鄕
九 小濱分署長兼有働蒐一郎
九 巡査教習所教授兼監事 草刈源四郎 九
九 竹内 義顯 十
十 高比良友三 （月一一）

技手

七 瀧戸 英叔 （月一〇）
渡邊理三郎 石原靜次郎

○長崎警察署 長崎市東濱町

警部署長 六 兼巡査教習所長 野田 耕夫
八 城甲子太郎
十 篠原孝之助 新 安之

○梅香崎警察署 長崎市梅香崎町

警部署長 三 稻佐分署長兼勤八 三崎 道安
七 吉田嘉一郎 九 但木金八郎
九 園田新三郎 （月一一） 浦田 傳助

○浦上警察署 西彼杵郡浦上山里村

警部署長 六 時津分署長兼勤八 鳥越 定
八 瀬戸分署長 嘉村 敬則
八 高島分署長 猿渡竹之助 九
十 矢上分署長 茂太分署長 秋永 貞雄
十 深堀分署長 田中吉太郎 岡野 喜一

○島原警察署 南高來郡島原町

警部署長 七 川上 艮助

○諫早收稅署 北高來郡諫早村

收稅屬

署長 九 營沼好太郎 七
田崎猪三郎 （月一〇）
（月八） 吉谷 文作

○島原收稅署 南高來郡島原町

收稅屬

署長 八 北野 高明 六
九 福田 九十 九
十 堀 禎作 （月九） 栗崎 定
（月七） 内村 勝虎 （月九）
黑田豐太郎

○平戸收稅署 北松浦郡平戸町

收稅屬

署長 八 北島 貞 六
九 大桑順三郎 九
九 松本 直正 （月九）
（月九） 今井 雄作 （月七）

○福江收稅署 南松浦郡福江村

收稅屬

署長 八 皆良田武三郎
九 山口 貞雄 立木慶太郎
十 筒井 爲行 （月一〇） 牧山 千之
（月八） 谷川 勘藏

○武生水收稅署 石田郡武生水村

收稅屬

署長 七 西 伊助

○諫早收稅署 北高來郡諫早村

收稅屬

署長 九 營沼好太郎 七
田崎猪三郎 十 （月九）
（月一〇） 吉谷 文作

○島原收稅署 南高來郡島原町

收稅屬

署長 八 北野 高明 六
九 福田 九十 九
十 堀 禎作 （月九） 栗崎 定
（月七） 内村 勝虎 （月九）
黑田豐太郎

○平戸收稅署 北松浦郡平戸町

收稅屬

署長 八 北島 貞 六
九 大桑順三郎 九
九 松本 直正 （月九）
（月九） 今井 雄作 （月七）

○福江收稅署 南松浦郡福江村

收稅屬

署長 八 皆良田武三郎
九 山口 貞雄 立木慶太郎
十 筒井 爲行 （月一〇） 牧山 千之
（月八） 谷川 勘藏

○武生水收稅署 石田郡武生水村

收稅屬

署長 七 西 伊助

○監獄署 長崎市片淵鄕

署長 九 市原 雄造
十 吉村覺次郎 十

典獄山室 元吉

監獄書記

六 大島保太郎
（月一一） 辻川 直胤
（月一一） 副島豐三郎
（月一〇） 柴田國太郎
（月九） 田川午次郎
（月八） 山田 祐忠

看守長

（月九） 後藤 幹
七 衛藤 近
七 第二課長兼看守教誨所勤務 林 清一郎
七 監獄書記 淺井 信道
八 近藤 久晃
十 監獄書記 竹下發之進
監獄醫 藤田 俊範
（月二五） 警務所長 橋本 元洋 （月
（月一七） 峯 俊藏

○嚴原收稅署 對馬島嚴樽內

署長 九 大島保太郎
十 辻川 直胤

收稅屬

十 山口 久美太 十
（月九） 松本 三郎

○嚴原警察署 下縣郡天道茂町

警部署長 七 對馬島 佐藤壽一郎
廻在勤 伊藤 慶知

金子武五郎

○收稅部 收稅長今 宿 信一

部長 三 賦課課長兼文官普通試驗委員 佐佐木行義
五 徵收課長 都島 治郎
六 齋藤 正利 七
七 驚見 豐 八 兼文
九 高橋 德 九 春
九 本田啓太郎 佐藤源太郎
福田孫三郎 （月九） 隈井眞一郎
朝長 文作 （月八） 松尾 國治
渡邊 善吉
古賀友太郎

收稅屬

署長 六 堀田 義雄 九
八 小川純次郎 十
九 松本 顯六 （月九）
十 岡村藤次郎 （月九）
小林 榮策

○大村收稅署 東彼杵郡大村町

收稅屬

署長 七 渡邊 融
九 堀池 嘉市
十 島崎 三郎

牛島 秀實
箱田 信夫
田中 男也
馬田 一馬
久保 甚平

溝越 爲吉
阿南新太郎
熊野道太郎

○大村監獄支署 東彼杵郡大村

監獄書記

支署長 九 彙看守長兼勤七 井原幸三郎 潔
（月七） 西川 獻藏

○平戸監獄支署 北松浦郡平戸町

監獄書記

支署長 九 彙看守長 池田 守義
（月一二） 由井 金雅
監獄醫（月三） 寺山 玄眞

○福江監獄支署 南松浦郡福江村

監獄書記

支署長 八 彙看守長 大塚 艮潔
（月一二） 名倉 捨三

○嚴原監獄支署 下縣郡國分町

監獄書記

支署長 九 彙看守長兼勤江口 保
（月一〇・五） 馬島嚴出張勤 三澤伊八郎

○西彼杵郡役所 長崎市岩原鄕

郡長六等 正七、勳六 原田 謙吾

郡書記

七 相浦 三民 八
阪本 準平 十
稻矢 正足 （月一二）
（月九） 馬場辰次郎 （月九）
（月八） 古賀 敏夫 （月八）
藤原智十郎

深町 雅緑
相川金三郎
寺井武三郎
山口 忠治
佐伯 盛文

村長 神保巖之助 下長崎
上長崎 中島勝十郎

（發）八 口ノ津分署長 中村 鄕
九 小濱分署長有働蒐一郎
九 巡査教習所教授兼監事 草刈源四郎 九
九 竹内 義顯 十
十 高比良友三 （月一一）

技手

七 瀧戸 英叔 （月一〇）
渡邊理三郎 石原靜次郎

○長崎警察署 長崎市東濱町

警部署長 六 兼巡査教習所長 野田 耕夫
八 城甲子太郎
十 篠原孝之助 新 安之

○梅香崎警察署 長崎市梅香崎町

警部署長 三 稻佐分署長兼勤八 三崎 道安
七 吉田嘉一郎 九 但木金八郎
九 園田新三郎 （月一一） 浦田 傳助

○浦上警察署 西彼杵郡浦上山里村

警部署長 六 時津分署長兼勤八 鳥越 定
八 瀬戸分署長 嘉村 敬則
八 高島分署長 猿渡竹之助 九
十 矢上分署長 茂太分署長 秋永 貞雄
十 深堀分署長 田中吉太郎 岡野 喜一

○島原警察署 南高來郡島原町

警部署長 七 川上 艮助

○大村警察署 東彼杵郡大村町

警部署長 八 佐世保分署長 高木 胤夫 六
八 彼杵分署長 森 高時 九
九 早岐分署長兼 宗 正喜 十 黑河內八十記

○諫早警察署 北高來郡諫早村

警部八署長 小川省治郎

○平戸警察署 北松浦郡平戸町

警部署長 八 志佐分署長 宮村駒三郎 十
九 鷹姉分署長 志田 常人 八

○福江警察署 南松浦郡福江村

警部署長 七 有川分署長 山上 徑也
七 神田橋正吾

○武生水警察署 石田郡武生水村

警部署長 七 高瀨 常儀
八 浦房
八 山口分署長 國枝

金子武五郎

○嚴原警察署 下縣郡天道茂町

警部署長 七 對馬島 佐藤壽一郎
廻在勤 伊藤 慶知

○長崎水上警察署 長崎市出島町

佐須奈分署長 尾上 金之進
警部七署長 江口 峯吉

○收稅部 收稅長今 宿 信一

部長 三 賦課課長兼文官普通試驗委員 佐佐木行義
五 徵收課長 都島 治郎
六 齋藤 正利 七
七 驚見 豐 八 兼文
九 高橋 德 九 春
九 本田啓太郎 佐藤源太郎
福田孫三郎 （月九） 隈井眞一郎
朝長 文作 （月八） 松尾 國治
渡邊 善吉
古賀友太郎

收稅屬

署長 六 堀田 義雄 九
八 小川純次郎 十
九 松本 顯六 （月九）
十 岡村藤次郎 （月九）
小林 榮策

○大村收稅署 東彼杵郡大村町

收稅屬

署長 七 渡邊 融
九 堀池 嘉市
十 島崎 三郎

牛島 秀實
箱田 信夫
田中 男也
馬田 一馬
久保 甚平

溝越 爲吉
阿南新太郎
熊野道太郎

○大村監獄支署 東彼杵郡大村

監獄書記

支署長 九 彙看守長兼勤七 井原幸三郎 潔
（月七） 西川 獻藏
監獄醫（月二）

○平戸監獄支署 北松浦郡平戸町

監獄書記

支署長 九 彙看守長 池田 守義
（月一二） 由井 金雅
監獄醫（月三） 寺山 玄眞

○福江監獄支署 南松浦郡福江村

監獄書記

支署長 八 彙看守長 大塚 艮潔
（月一二） 名倉 捨三

○嚴原監獄支署 下縣郡國分町

監獄書記

支署長 九 彙看守長兼勤江口 保
（月一〇・五） 馬島嚴出張勤 三澤伊八郎

○西彼杵郡役所 長崎市岩原鄕

郡長六等 正七、勳六 原田 謙吾

郡書記

七 相浦 三民 八
阪本 準平 十
稻矢 正足 （月一二）
（月九） 馬場辰次郎 （月九）
（月八） 古賀 敏夫 （月八）
藤原智十郎

深町 雅緑
相川金三郎
寺井武三郎
山口 忠治
佐伯 盛文

村長 神保巖之助 下長崎
上長崎 中島勝十郎

（發）六 小島和五郎 八
七 巡査教習所教授兼監事 草刈源四郎 九
九 竹内 義顯 十
十 高比良友三 （月一一）

技手

七 瀧戸 英叔 （月一〇）
渡邊理三郎 石原靜次郎

○長崎警察署 長崎市東濱町

警部署長 六 兼巡査教習所長 野田 耕夫
八 城甲子太郎
十 篠原孝之助 新 安之

○梅香崎警察署 長崎市梅香崎町

警部署長 三 稻佐分署長兼勤八 三崎 道安
七 吉田嘉一郎 九 但木金八郎
九 園田新三郎 （月一一） 浦田 傳助

○浦上警察署 西彼杵郡浦上山里村

警部署長 六 時津分署長兼勤八 鳥越 定
八 瀬戸分署長 嘉村 敬則
八 高島分署長 猿渡竹之助 九
十 矢上分署長 茂太分署長 秋永 貞雄
十 深堀分署長 田中吉太郎 岡野 喜一

○島原警察署 南高來郡島原町

警部署長 七 川上 艮助

○諫早收稅署 北高來郡諫早村

收稅屬

署長 九 營沼好太郎 七
田崎猪三郎 十 （月九）
（月一〇） 吉谷 文作

○島原收稅署 南高來郡島原町

收稅屬

署長 八 北野 高明 六
九 福田 九十 九
十 堀 禎作 （月九） 栗崎 定
（月七） 内村 勝虎 （月九）
黑田豐太郎

○平戸收稅署 北松浦郡平戸町

收稅屬

署長 八 北島 貞 六
九 大桑順三郎 九
九 松本 直正 （月九）
（月九） 今井 雄作 （月七）

○福江收稅署 南松浦郡福江村

收稅屬

署長 八 皆良田武三郎
九 山口 貞雄 立木慶太郎
十 筒井 爲行 （月一〇） 牧山 千之
（月八） 谷川 勘藏

○武生水收稅署 石田郡武生水村

收稅屬

署長 七 西 伊助

○監獄署 長崎市片淵鄕

署長 九 市原 雄造
十 吉村覺次郎 十

典獄山室 元吉

監獄書記

六 大島保太郎
（月一一） 辻川 直胤
（月一一） 副島豐三郎
（月一〇） 柴田國太郎
（月九） 田川午次郎
（月八） 山田 祐忠

看守長

（月九） 後藤 幹
七 衛藤 近
七 第二課長兼看守教誨所勤務 林 清一郎
七 監獄書記 淺井 信道
八 近藤 久晃
十 監獄書記 竹下發之進
監獄醫 藤田 俊範
（月二五） 警務所長 橋本 元洋 （月
（月一七） 峯 俊藏

○嚴原收稅署 對馬島嚴樽內

署長 九 大島保太郎
十 辻川 直胤

收稅屬

十 山口 久美太 十
（月九） 松本 三郎

○嚴原警察署 下縣郡天道茂町

警部署長 七 對馬島 佐藤壽一郎
廻在勤 伊藤 慶知

金子武五郎

○收稅部 收稅長今 宿 信一

部長 三 賦課課長兼文官普通試驗委員 佐佐木行義
五 徵收課長 都島 治郎
六 齋藤 正利 七
七 驚見 豐 八 兼文
九 高橋 德 九 春
九 本田啓太郎 佐藤源太郎
福田孫三郎 （月九） 隈井眞一郎
朝長 文作 （月八） 松尾 國治
渡邊 善吉
古賀友太郎

收稅屬

署長 六 堀田 義雄 九
八 小川純次郎 十
九 松本 顯六 （月九）
十 岡村藤次郎 （月九）
小林 榮策

○大村收稅署 東彼杵郡大村町

收稅屬

署長 七 渡邊 融
九 堀池 嘉市
十 島崎 三郎

牛島 秀實
箱田 信夫
田中 男也
馬田 一馬
久保 甚平

溝越 爲吉
阿南新太郎
熊野道太郎

○大村監獄支署 東彼杵郡大村

監獄書記

支署長 九 彙看守長兼勤七 井原幸三郎 潔
（月七） 西川 獻藏
監獄醫（月二）

○平戸監獄支署 北松浦郡平戸町

監獄書記

支署長 九 彙看守長 池田 守義
（月一二） 由井 金雅
監獄醫（月三） 寺山 玄眞

○福江監獄支署 南松浦郡福江村

監獄書記

支署長 八 彙看守長 大塚 艮潔
（月一二） 名倉 捨三

○嚴原監獄支署 下縣郡國分町

監獄書記

支署長 九 彙看守長兼勤江口 保
（月一〇・五） 馬島嚴出張勤 三澤伊八郎

○西彼杵郡役所 長崎市岩原鄕

郡長六等 正七、勳六 原田 謙吾

郡書記

七 相浦 三民 八
阪本 準平 十
稻矢 正足 （月一二）
（月九） 馬場辰次郎 （月九）
（月八） 古賀 敏夫 （月八）
藤原智十郎

深町 雅緑
相川金三郎
寺井武三郎
山口 忠治
佐伯 盛文

村長 神保巖之助 下長崎
上長崎 中島勝十郎

伊木力　北川原正八　長與　波多善次郎
西浦上　上野高文　矢上　田中槐三
浦上山里　一瀨雄八郎　茂木　伊達木寅次郎
大串　岳野邦左衛門　長浦　小川虎一
時津　富永小八　村松　豐村猶七
面高　大串五左衛門　七釜　田川兵力
黒瀨　高月德治　喜々津　堀　治作
瀨戶　小佐々快四郎　松島　澁江二八郎
三重　田崎周三郎　福田　原口精四郎
黒崎　山口達右衛門　式見　渡邊長吉
椛島　米野吉太郎　雪浦　森　剛藏
高濱　二神直記　神浦　朝長雄五郎
脇岬　伊東安太郎　野母　林　一郎
爲石　小池正信　高島　本木修爾
川原　高西正夫　日見　種村季治
平島　指方　轉　多以良　山瀧要次郎
崎戶　大串晋太郎　大草　藤原浩氣
江島　松崎儀三郎　戶町小ヶ倉村組合　國分顯藏
深堀　田代捨藏　瀨川　宮崎　幹
龜岳　吉村範五郎　伊王島　佐藤岩太郎
蚊燒　原田清太郎　淵　一瀨信造
土井首　土田七郎太

○東彼杵郡役所　東彼杵郡大村町

郡長七等　正七、勳六　朝長東九郎

郡書記
八　瀧野俊五郎　九　兒玉和兵衛
九　志水平五郎　十　今道直英
(月一〇)　山下孫市　(月八)　淵山龍平
(月八)　山口淳一　(月七)　一瀨　致
(月七)　田崎房太郎　(月七)　川崎廣作
(月七)　山口直太郎

町長
大村　紀內源次

村長
三浦　深澤省三　鈴田　本土正時
大村　今道俊八郎　西大村　上野豐左衛門
竹松　峯　東彌　萱瀨　牛津藤四郎
福重　峯　柳一　松原　福田寅作
千綿　岩永佳成　彼杵　山口鷹次郎
川棚　岩永守平　宮　田崎朔郎
下波佐見　高月左平　上波佐見　山道藤藏
早岐　生田喜代太　廣田　齋藤　誠
折尾瀨　黒板要平　江上　志方正義
崎針尾　山田純一郎　日宇　日高修吉
佐世保　值賀恒次郎

○北高來郡役所　北高來郡諫早町

郡長七等　從七　近藤豐兆

郡書記
八　荒木政恒　九　早田　晋
十　瀧川德之允　十　中古賀茂樹
(月九)　宮本彥雄　(月八)　垣內國太
(月八)　島合幸德　(月七)　池田十郎
(月七)　持永勘平　(月七)　古莊伊吉郎

町長
諫早　永田彌四郎

村長
古賀　田中光太郎　有喜　原　用藏
諫早　寺田英三郎　江ノ浦　木下左文
田結　野田茂一　戶石　南川三平
本野　平野藤次郎　眞津　關山實之助
小江　赤司賴助　深海　中山友藏
森山　山崎謙藏　長田　小宮藤馬
湯江　蘆塚佐一郎　北諫早　田中友輔
小野　西岡傳三　小栗　東　健平
小長井　宇野右馬之進

○南高來郡役所　南高來郡島原町

郡長六等　從七　渥美力彌太

郡書記
八　富永正裔　九　鵜殿長保
九　岡部志津馬　十　內村勝典
(月一〇)　松本重孝　(月一〇)　谷崎源一郎
(月九)　寺田維定　(月七)　小玉駒三郎
(月六)　高野定憲　(月六)　中村　格
(月六)　田中宗太郎　(月六)　服部秀幸
(月六)　生駒久康

町長
湊　下田憲一　島原　古賀　攀

村長
島原　豐島秀顯　杉谷　下岸良平
三會　早崎隆雄　湯江　金森直言
多比良　村田貞範　土黒　草野彌惣治
神代　深江東三郎　山田　大崎　連
千々岩　本多範平　小濱　桑野無着
北串山　松藤總衛　南串山　馬場永三郎
加津佐　天本吉郎太　口ノ津　南　綾次郎
南有馬　小田庄藏　北有馬　三原義馬
西有家　本多重基　東有家　高橋重威
堂崎　江川太郎　布津　下田熊男
深江　幾田三次　伊福古部村組合　大原久滿
大三東　今井滿程　西鄉　宮崎俊治
守山　中村家治　愛野　堀江義成
安中　岡野油鑑

○北松浦郡役所　北松浦郡平戶町

郡長七等　正七、勳六　山川景範

郡書記
八　大濱　信　九　鶴田吉兵衛
九　三浦廣海　十　荒川忠德
(月一〇)　水野尾忠三郎　(月一〇)　石井雄四郎

(月一〇)　大曲熊太郎　(月九)　岡部和一郎
(月八)　高橋治吉郎　(月八)　峯　忠四郎
(月八)　白石延太郎　(月七)　篠原猪之助
(月七)　宮島源一郎　(月七)　長島吉太郎

町長
平戶　村尾虎介

村長
大野　富田敬吉　皆瀨　岡　俊民
中里　手光耕夫　世知原　西山乙三郎
小佐々　吉元虎次郎　鹿町　坂本淸太郎
田平　川上範繼　中野　吉永紋十郎
獅々　鴨川治左衛　中津良　本多藤次郎
志々岐　岩崎正義　星鹿　梶山一誠
志佐　豐永良左衛　調川　日高吉三郎
今福　渡邊　量　福島　千浦守義
鷹島　浦　復三　黒島　杉山野吉
平　大久保聽八　神浦　神吉久造
笛吹　梶野英盛　前方　川口半四郎
柳　近藤又兵衛　柚木　神戶衛士右衛門
山口　大谷新吉　吉井　中倉榮一郎
佐々　川內野吉三郎　江迎　內野龜五郎
南田平　橋本民平　平戶　立石弘毅
紐差　立木一平　津吉　川口淺之助
御厨　前田　晋　上志佐　畑原常雄
大島　柏原平八郎　生月　白川愼平

○南松浦郡役所　南松浦郡福江村

郡長八等　正八　下河邊充美

郡書記
八　佐佐野俊太郎　九　藤原重人
九　松尾良平次　十　坪內直之
十　牟田久誠　十　富口一二
(月八)　松園策馬　(月八)　近藤芳雄
(月八)　佐藤鐐太郎　(月六)　簗田菊五郎
(月六)　山下保太郎

村長
福江　中村　實　奧浦　木場保次郎
崎山　白髮八百八　本山　川上矢五六
大濱　阿野　豐　富江　草野　淵
岐宿　山田多根次　三井樂　青方光毅
三之浦　貞方大吉　久賀島　藤原元之助
奈留島　奈留利七郎　樺島　阿野一德
日島　本岡直吉　若松　荒木長淵
濱之浦　西村武彥　青方　松園秀雄
魚目　湯川助三郎　奈良尾　荒木正節
北魚目　柴田得次郎　有川　近藤義雄

○壹岐 石田郡役所　石田郡武生水村

郡長七等　從七　三富道臣

郡書記
九　永元嘉十郎　九　寺田要八
十　松本半次郎　十　武岡敬一
十　島田清四郎　(月七)　山口芳雄
(月六)　町田丈介　(月六)　坂口弘光

村長
箱崎　松永　恒　香椎　本土德衛
鯨伏　林田八重治　那賀　大久保良三
田河　大久保時太郎　武生水　日置乙次郎
渡良　中山延二郎　志原　大曲文五郎
初山　永田十七二　沼津　田中瀨十郎
石田　辻川與一右衛門　柳田　白石斧柄

○對馬島廳　下縣郡宮谷町

島司五等　對馬警備隊司令官陸軍步兵中佐　從六、勳四　中岡　默

島廳書記
五　淵　新吉　六　眞田順三
六　歌野詮二　六　富田又太郎
九　古川部造　九　樋口正毅
十　長谷川新吉　十　田所直義
(月一〇)　石田政一郎　(月一〇)　山川正一
(月九)　池川敏功　(月九)　田中久規
(月八)　鈴木熊太　(月八)　北村　作
(月八)　前間　博　(月七)　渡邊廣吉
(月七)　伊藤省已　(月七)　大石圭三

警部七　嚴原警察署長　佐藤壽一郎

監獄書記九　兼看守長嚴原監獄支署長　江口　保

下縣郡戶長
三　今屋敷町外十町村　山崎東一郎　三　久田村外九村　村江斐太
四　卯麥村外八村　西山大次郎　六　鷄知村外十二村　庄司庫太
六　大船越村外九村　黒岩英夫　六　和坂村外十村　平田俊八郎
七　井上義臣

上縣郡戶長
五　比田勝村外十四村　永田鍵藏　五　琴村外六村　財部勘三郎
六　三根村外九村　松原繁見　七　佐須奈村外一村　阿比留佐一郎
七　堅瀨村外十村　宮川嘉一郎

○尋常師範學校　長崎市馬場鄉

學校長八等五級　小學校教員甲種檢定委員長小學校教員銓衡委員　正八　武部直松　長崎市伊勢町二十四番

敎諭
一(下)(奏任待遇)　小學校教員銓衡委員　梅野兵太郎　長崎市本下町六十五番
四(上)　原口松次郎

四(上) 文官普通試驗委員 荒井甲子三郎
四(下) 兼訓導小學校教員銓衡委員 廣島秀太郎
五(上) 兼舍監 後藤嘉之　五(上) 梅村久磨作
五(上) 訓導 橋本善七

助教諭
二 永瀬伊一郎　三 濱武龜代
四 兼舍監 川原嘉太郎

書記
三 副島信太郎　四 永野駒太郎

附屬小學校訓導
三 板倉幹一郎　四 宮崎賢一
四 鈴木士嘉三

○尋常中學校　長崎市岩原鄉

學校長（年七八〇）（奏任待遇） 勳七 百尾喬利　長崎市櫻町二十五番

教諭
（年九六〇）（奏任待遇） 文官普通試驗委員 桐山篤三郎　長崎市櫻馬場三番
（月七五） 安藤格　（月五〇） 鶴崎久米一
（月四五） 秋山鋼太郎

助教諭
（月二五） 兼舍監 妹尾銀三　（月二二） 手島千速
（月二二） 池田義明　（月二二） 犬塚頁太郎
（月二〇） 兼舍監 蒲原彌三郎

書記
（月一三） 佐治儁吾　（月一一） 吉田大次郎

○病院　長崎市小島鄉

院長 兼小兒科醫長第五高等學校教授醫學部主事正六 吉田健康
次長 兼外科醫長第五高等學校教授從六 田代正
內科醫長 第五高等學校教授從六、醫學博士 大谷周庵
第五高等學校教授從六 栗本東明
外科醫長 第五高等學校教授從七 安尾清治
婦人科產科醫長 第五高等學校教授正七 高山尙平
眼科醫長 第五高等學校教授正七 村上安藏
調劑長（月二〇） 長崎縣技手 瀧戶英叔

醫員
（月四〇） 兼幹事 原口謙爾　（月二〇） 今村甲子藏
（月一五） 池邊榮次郎　（月一三） 友田鉄太郎
（月一三） 中山二郎　（月一〇） 池田健藏
（月一〇） 田村丞輔　（月一〇） 武部元治
（月一〇） 中島完平

調劑員
（月一七） 吉川元章　（月一〇） 中村金三
（月八） 松田善太郎　（月七） 永野榮吉

書記
（月一五） 西政保　（月一五） 井手守躬
（月一二） 森路五六郎

○長崎市役所　長崎市櫻町

市長（月一〇〇） 從六 北原雅長
助役（月四〇） 小倉鐵之助

名譽職市參事會員
竹下佳治　林耕作　鹿兒島時成　若杉政之助　淺田次郎

○新潟縣　新潟市東中通一番町

知事一等 從三、勳二 籠手田安定　新潟市營所通二番町官舍
書記官四等 官報報告主任文官普通試驗委員長小學校教員銓衡委員長正六、勳五 杉本重遠　新潟市營所通二番町
警部長五等 從六、勳六 西田榮太郎　新潟市營所通二番町官舍
收稅長五等 兼新潟稅關長文官普通試驗委員大藏省所管經費會計主務官從六、勳六 渡邊義郎　新潟市營所通二番町
參事官六等 官報報告主任文官普通試驗委員神職試驗委員小學校教員檢定委員長從七 西澤正太郎　新潟市旭町通二番町
技師 六等八級 正七 黑田豐太郎　新潟市學校町通二番町
七等十一級 兼新潟測候所長文官普通試驗委員從七 紫藤章　新潟市旭町通二番町
典獄六等 正七 小泉保直　新潟市西大畑町監獄署官舍

○知事官房

屬
六 內務部兼勤從八 川原兼寬　七 三宅總彌
九 岡田有邦　九 文官普通試驗書記 藤脇善政
十 木村武雄　（月一〇） 本多吉次郎
（月七） 飯島幸三郎

○內務部

部長 書記官 杉本重遠
第一課長第四課長 參事官 西澤正太郎
第二課長 技師 黑田豐太郎
第五課長 技師 紫藤章

屬
二 第三課長小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員神職試驗委員 平井正
三 出納吏 高橋茂登治
三 文官普通試驗委員物品會計官吏正八、勳八 宇野親平
四 小學校教員檢定委員 今井退藏　四 知事官房兼勤官報報告主任 町原亮
五 西村保信　五 山田泰一
五 兼技手 吉村貞二郎　六 瀧見直臣
六 細野清次郎　六 岩永新五郎
六 横山貞大　六 小藪準三郎
六 久保田堅次　六 北見東一郎
六 村上壽夫　六 小風知依
六 小川重次　六 小學校教員檢定委員 中野豐記

七 兼技手 川本勝次郎　七 山本岩太郎
七 小泉武一　七 神職試驗委員 井上堯
七 富樫淺次郎　七 野瀨義雅
七 佐藤運平　七 黑瀨勉二
七 荻原善太郎　七 渡邊新吉
七 官報報告主任 清水中四郎　八 長谷川喜道
八 近藤奧六　八 新田半人
八 松浦貫治　八 官報報告主任文官普通試驗書記 高宮延次
八 勳七 瀨古鴻太郎　八 井浦邦次郎
八 寺田德明　八 田中充
八 佐藤政祐　八 杉田虎造
八 櫻井禮三郎　八 向山頁策
八 今井藤四郎　八 小川通義
八 服部慶太郎　九 谷江又四郎
九 小林民彌　九 村田佐平太
九 小和田寅士郎　九 田村桂
九 小林勇作　九 渡邊德次郎
九 後藤米次郎　九 梅澤長祥
九 木村武吉郎　九 山田千代藏
十 前田鉄太郎　十 杉本喜久治郎
十 坂井峰次郎　十 村山辰二郎
十 近藤策助　（月一一） 土田熊五郎
（月一一） 稻川桂吉　（月一一） 小野塚音吉
（月一〇）　新潟測候所兼勤 甲田轍
（月一〇） 本間彪太郎　（月一〇） 關岡忠太郎
（月一〇） 永相林吉　（月一〇） 山崎信十郎
（月一〇） 木戸廣八　（月一〇） 吉田賢太郎
（月九） 中川景樹　（月九） 北澤三吉
（月九） 兒島四郎平　（月九） 佐藤與藏
（月九） 堀安太郎　（月九） 齋藤幸吉
（月九） 永井光弍　（月九） 小島丑太郎
（月九） 園權一　（月八） 齋藤祥夫
（月八） 石黑富次　（月八） 渡邊釧八郎

小宮　鍈藏（月八）　原澤　豐吉
吉田喜代造（月八）　高山總三郎
本間　武吉（月八）　大瀧　金吉
長谷川藤吉（月七）　上杉亥之太
北村靜吉郎（月七）　中村　鑒造
山本　習助

技手
高木　秀平　大
吉池　慶正　十
小池勝太郎

○警察部

部長　警部長西田　榮太郎

警部

署長
一　警務課長文官普通試驗委員勵八樫尾　紋治
四　保安課長淺野　成裕
六　高等警察主任金子　庄作
九　高野　定彌
十　長井　千尋

技手八
稻田　甫吉　七
關井　常彌　十

○巡查教習所

警部所長（兼）教師九

○新潟警察署

新潟市西堀通五番町

警部署長　新潟警察署長吉田　愛信
新潟警察署勤務岩崎　法林

○高田警察署

中頸城郡高城村

警部署長
八　柿崎分署長和田　亮一　五
八　新井分署長蔭山　孝　九
十　黒五十公野分署長小林虎五郎　十

○安塚警察署

東頸城郡安塚村

警部署長　分任收入官吏桑山　吉輝
直江津分署長廣瀨　博久
野村　有亨
關山分署長渡邊庄五郎

○糸魚川警察署

西頸城郡糸魚川町

警部署長　分任收入官吏安岡　信吉
七　分任收入官吏小倉　知照
九　能生分署長山口　守太

○相川警察署

雜太郡相川町

警部署長　六　分任收入官吏加藤　岩吉
九　藻浜分署長藏田　堯文　十
九　小木分署長與田了之助　河原田分署長今井仙三郎

○收稅部

部長　收稅長渡邊　義郎

收稅屬

署長
四　間稅課長文官普通試驗委員中村　尚絅
四　直稅課長文官普通試驗委員內國稅事務協議會計官吏松永鍈太郎
七　野上　知哲　九
九　福田戊三郎　召田寅一郎
岩村作四郎

○新發田警察署

北蒲原郡新發田本村

警部署長　分任收入官吏山下　貞實　五
大瀧　金吉　八
上杉亥之太　八
中村　鑒造　九

○津川警察署

東蒲原郡津川町

警部署長　分任收入官吏野萱　次郎　九

○村上警察署

岩船郡村上町

警部署長　四　分任收入官吏前田　敏
十　八幡分署長村上警察署勤務樋口　美至

○三條警察署

南蒲原郡三條町

警部署長　六　分任收入官吏中川　敬忠
八　五泉分署長瀧澤　直吉
九　白根分署長小田五一郎
小須戸分署長太田重三郎

○卷警察署

西蒲原郡卷町

警部署長　六　分任收入官吏石井　立吉
九　燕分署長服部辰之丞
瀧波喜間太

○新津警察署

中蒲原郡新津町

警部署長　六　分任收入官吏田中　美暢
七　沼垂分署長加藤　直大　九
八　村松分署長秋山　利正　九

○六日町警察署

南魚沼郡六日町村

警部署長　分任收入官吏田中　美暢

○十日町警察署

中魚沼郡十日町村

警部署長　分任收入官吏田中　美暢

○小千谷警察署

北魚沼郡小千谷町

警部署長　七　分任收入官吏赤星　尋郁
堀ノ內分署長島津　房親
八

○柏崎警察署

刈羽郡柏崎町

警部署長　大　分任收入官吏安岡　蓉
宮川分署長上月　八彌
十

○長岡警察署

古志郡長岡本町

警部署長　五　分任收入官吏勝俣　元長
十　栃尾分署長加藤武次郎

○與板警察署

三島郡與板町

警部署長　七　分任收入官吏島　宗誠
寺泊分署長西村　利應

○津川警察署

東蒲原郡津川町

警部署長　分任收入官吏加賀美安之助
湯濱分署長六日町警察署勤務玉井　光浩
七

○卷收稅署

西蒲原郡卷町

收稅屬
署長　五　分任收入官吏渡邊　廣吉
九　瀨賀虎次郎

○新潟收稅署

新潟市營所通二番町

收稅屬
署長　宮　郁　十
（月一一）　兵頭　武雄　（月一一）
（月一〇）　齋藤　弘　（月八）
小島　貞知　十
佐藤　繁吉　（月一一）

○三條收稅署

南蒲原郡三條町

收稅屬
署長　長澤辰之輔　十　小川　謙吉
（月一一）　阿部　文藏　（月一一）　野上　門次
長谷川豐篤　（月一一）　高木　賴一

○津川收稅署

東蒲原郡津川町

收稅屬
署長　佐藤右馬太郎　九
今井　潔　九
村井　藤吉　十
管原　龜藏　（月一一）
糀田　宇吉　（月九）

○新津收稅署

中蒲原郡新津町

收稅屬
署長　高田善一郎　十
上原　秀雄　十

○新發田收稅署

北蒲原郡新發田本村

收稅屬
署長　岩田　堅作　九
小島　貞知　十
佐藤　繁吉　（月一一）

○新潟收稅署

新潟市營所通二番町

收稅屬
署長　收稅部兼勵分任收入官吏田中　博　六
長野　三馬　十

○三條收稅署

南蒲原郡三條町

署長　玉野子之松　九
佐藤本次郎　十
渡邊　政彌　（月一一）
福岡　海藏　（月一一）

○與板收稅署

三島郡與板町

收稅屬
署長　安田　義直　九
山中　政太　九
佐野　幸平　十
八子　正俊

○長岡收稅署

古志郡長岡町

收稅屬
署長　近藤　靖　九
加藤清次郎　九
川崎卯七郎　（月八）

○小千谷收稅署　北魚沼郡小千谷町

收稅屬
署長　八十　阿部佐十郎
　　（分任收入官吏）松井猿次郎
　　米野安五郎
山部敬四郎（月一〇）　田村融

○六日町收稅署　南魚沼郡六日町村

收稅屬
署長　九　服部進眞
　　（分任收入官吏）小船井勘七
　　八　永田彌七
　　九　山崎量平
　　十　笹原傳作

○十日町收稅署　中魚沼郡十日町村

收稅屬
署長　九　佐藤彌藤太
　　八　渡邊清四郎
　　十　小川重次郎
　　（分任收入官吏）山本龜太郎
　　澤渡猪又
　　阿知波敏保

○柏崎收稅署　刈羽郡柏崎町

收稅屬
署長　八　松下錡藏
　　五　小山傳治
　　十　家田作吉
　　（分任收入官吏）伊藤男松
　　中村藏治
　　布施榮三郎
　　近藤武義
　　（月一一）　桂虎次郎

○安塚收稅署　東頸城郡安塚村

收稅屬
署長　九　山內臻
　　五　小林清作（月一〇）
　　（分任收入官吏）阿部禮太
　　古堀三郎平
　　岡島勝四郎

○高田收稅署　中頸城郡高城村

收稅屬
署長　九　鈴木幸藏
　　四　武田小太郎
　　九　宮尾代九郎
　　（分任收入官吏）山田友衛
　　村越千代松
　　七　宮崎尙武
　　九　澁谷七郎
　　十　谷口龍
　　（月一一）　三上金三郎
　　夏目令次郎
　　（安塚收稅署署長心得）星野豐太
　　（勳八）豐部之親

○糸魚川收稅署　西頸城郡糸魚川町

收稅屬
署長　九　野口政延
　　十　青柳保八（月九）
　　竹田末吉

○村上收稅署　岩船郡村上本町

收稅屬
署長　九　玉木什治郎
　　六　山口祐次郎
　　九　小林石次郎
　　十　（月一〇）
　　（分任收入官吏）吉野敬忠
　　富川億次郎
　　九　宮崎七衛
　　十　中島巖吉

○相川收稅署　雜太郡相川町

收稅屬
署長　八　渡邊兵二
　　五　高辻大榮
　　九　山內岩藏（月一〇）
　　佐治金吉
　　（分任收入官吏）下條眞義
　　益子祐敬
　　堀慶太郎
　　安藤平三郎
　　藤田音藏

○監獄署　典獄小泉保直

監獄書記
署長　第三課長木村愼三
　　第一課長國井俊章
　　（兼任出納官吏）三村善五郎
　　加藤得爾
　　豐島又十郎
　　（兼任出納官吏）山田友衛
　　村越千代松
　　七　宮尾代九郎
　　太田兵吉
　　九　山崎柳藏
　　十　相馬睿太郎（月一一）

看守長
　　六　芝原由太郎
　　八　坂田龍太郎
　　（第二課長兼看守長）渡邊功
　　（兼任出納官吏）河村錄三郎
　　阿部龜之助

○高田監獄支署　中頸城郡高城村

監獄書記
署長　古志郡長岡町

看守長
　　（兼任出納官吏）西村忠晴
　　加藤小太郎
　　（兼任出納官吏）福島武司
　　小山兼松

○長岡監獄支署　古志郡長岡町

監獄書記
署長

看守長
　　（兼任出納官吏）白石孝忠

○新發田監獄支署　北蒲原郡新發田本村

監獄書記

看守長十

○相川監獄支署　雜太郡相川町

監獄書記九
署長

○北蒲原郡役所　北蒲原郡新發田本村
　從七等　赤津克郎

郡書記
　七　須貝次郎太
　八　關直六
　九　（分任收入官吏）小川猛
　十　渡邊安之
　　海沼常尾（月一〇）
　　（分任收入官吏）村山浪五郎
　　田村涼次郎
　（月一〇）　內山捨之助
　（月九）　山田猪三郎
　（月八）　松林快二
　　小川道治

安孫子石太郎　新發田原宏平
高橋幾次郎

村長
安田小浮　今井錠吉
小島太室　廣田恂一郎
出湯嘉山　加藤加藤次
駒林大久保　田崎周平
越岡鳥屋　菊地龍作
藤井小柳　櫻井名平
中浦荒川　出村愼平
赤澤一値　荒橋本田
五十公野松浦　日下部成澂　內竹米倉
伊花才吉　渡邊倉吉

町長
水原中條　赤坂分田
師尾櫨九郎
安野
笹岡
出塚助太郎
天神塚京ヶ懶
佐々木堅治郎
長場龍太郎
小坂井定一
水島喜雄太

○中蒲原郡役所　中蒲原郡新津町
　從七等　吉川庄藏

郡書記
　七　佐野正雄
　九　（分任收入官吏）小川廣彌
　　田宮從義
　　原元次郎
　　石津修二
　（月八・五）　佐藤文吉
　（月七・五）　星野四平

吉岡政三郎
三星儀左衛門
藤田直敏

○和田綱紀　正八

郡長八等

郡書記
　六　小吉
　八　中島早通
　九　大蒲原十全
　　（分任收入官吏）小澤平吉
　　堺義男
　　加藤敏雄
　　石高彌平
　（月八・五）　小出
　（月八）
　（月七）

白根新津
小須戸

○西蒲原郡役所　西蒲原郡卷町
　從七等　吉川庄藏

赤谷　今井重次郎　中井喜作
島塚　島津享太　齋藤孝三
猿橋　佐藤英次　南濱聖籠　池田義孝　村長
龜代　吉田篤吉　大宮鹿藏　星野義孝　吉田七谷
板津　石井鐵三　齋藤房治　小島正常　川東名
竹ノ俣　小柳牧八郎　山田唯三郎　川內鐵也　小島
鈴木千代松　石田長六郎　桑野培三　鈴木
加治　藏光　根岸　佐藤
齋藤直　泉　吉田三郎　翌藏　佐藤真太郎
中野泰藏　田川己貴太　太川
紫雲寺　今井包彰　山岸七郎
神田忠治　柏溪次郎　眞柄國作
堀切　木村七四郎　林
佐藤鷲次郎　小川重緯　橫水
築地　山本宇忠太　津島
佐藤三郎太郎　佐藤定七　新關
丸岡寬平　鳥屋野
山潟　茨曾根
傳太左衛門　小池新三郎
坂上中次　伊藤景嘉
坂井周喜智　松岡九之七　川結
須田　石高久滿太　杵鞭評造
茅城島　兒玉政明　西村季松
佐治爲盛　村木愛三　押木源次郎
木戸　井上米二郎　石山
臼井　菱潟　進藤倭三
五箇　長澤八郎治　永井友松　小野澤秀寧
小鹿　吉田耕次郎　市島毅一郎　齋藤房治
大蒲原　坂上三千八　和科治左衛門　山田唯三郎
中山宇一郎　矢代田　笠井敬太　石田長六郎
武田亨治　荻野　坂口得七　田川己貴太
巢本　阿賀浦　佐久間新則　今井包彰
和氣省吾　飯村修治　柏溪次郎
二本木　酒屋　坂井　木村七四郎
市村勝彥　小杉　中川庄作　小川重緯
小林幸太郎　吉澤　宥源　橫水
伊藤官治　澤海　森文吉　津島
小出爲吉　割野　伊藤　山本宇忠太
　　田中　佐藤定七
　　新關
　　鳥屋野

安倍九二造
中野潔
小島正常
橋田川東
鈴木鐵也
桑野培三
佐藤翌藏
佐藤真太郎
山岸七郎
眞柄國作
柏溪次郎
木村七四郎
小川重緯
佐藤定七
山本宇忠太
松岡九之七
石高久滿太
兒玉政明
村木愛三
井上米二郎
長井周
永井友松
市島毅一郎
和科治左衛門
笠井敬太
坂口得七
佐久間新則
飯村修治
坂井
中川庄作
森文吉
伊藤
田中

郡書記
七 井上幹二郎　八 伊藤重雄
八 寺田知政　九 中山幸周
九 分任收入官吏 佐藤金次郎　十 高橋平十郎
(月一二) 渡邊廣吉　(月一〇) 大橋俊一郎
(月八・五) 樋口友敬　(月八) 鷲澤庄二郎
(月七・五) 佐藤正孝　(月七) 松原梅男

町長
地藏堂 小川伊一郎　卷 南須原定之
燕 玉橋市平

村長
國上 阿部半十郎　大關 佐藤新太郎
打越 澤政毅　潟前 小林平吉
赤塚 中原藤藏　五十嵐濱 秋山彌尋
木山 筒井兵吾　河西 朝妻國輔
西川 水澤忠政　竹野町 樋木彦十郎
仁ヶ 倉澤甚三郎　稻島 白崎惣七
石瀨 渡邊桂作　小中川鄉 有波太㒵平
漆山 池浦武三郎　曾根 多賀繁吉
中野小屋 椎谷彦三郎　佐渡山 瀨戶佐忠治
米納津 加藤彦四郎　小高 土田橘十朗
共和 中山久太郎　曲通 星井常治
秋津 阿部瀨八郎　中合 曾山志計雄
黑鳥 鷲尾政直　笈砂 平原九八郎
和納 田中稻實　吉田 今井孫市
加奈居 梨本彦三郎　道上 米山寅三郎
島方 山口民司郎　橫戶 吉崎精三
五之上 笹川俊藏　三針 五十嵐忠八
鎧鄉 佐藤直次郎　潟南 長谷川粂治
中島 沖野角平　四箇 解良元吉
升潟 小川文太　木場 山際學兵
馬堀 田邊周作　彌彦 大窪友次郎
櫻井鄉 本多八百衞　太花野 富所兵八
矢作 半間寬一朗　川前 岩原吉太郎
三方崎 高橋市三郎　小吉 小柳卯㒵三郎
七穗 高橋妻之十　鳥原 齋藤㒵太
松野尾 山賀五平　上坂井輪 護國直也
下坂井輪 渡部貞藏　新通 久我實
鴻巢 幸田升　小池 宗村幾作
松長 松井倉藏　船越 阿部寅三郎
粟生津 內田善次郎　福木岡 伊藤道別
岩室 高島翁平　東太田 早川重三郎
越前濱 山下寅松　角田濱 齋藤治源太
內野 伊藤嘉平　五ヶ濱 遠藤治一郎
角海濱 橫山文四郎　杣木 深海孫三郎
白根 山宮左幾知　味方 蒲田榮治郎
板井 岡田幸三郎　橫田 齋藤運吉
熊森 山浦大治郎　井隨 渡邊熊治

○南蒲原郡役所　南蒲原郡三條町

郡長七等 從七、勳六 安田正秀

郡書記
六 佐藤達男　八 栢森精一
十 長谷川萬利吉　十 分任收入官吏 田中久作
十 西村一郎　(月一〇) 大倉廉平
(月九) 石丸猪一郎　(月九) 野口貞治
(月七) 佐野濱吉　(月七) 山田小三郎

町長
加茂 本間雄平　見附 家坂儁
三條 長谷川勝太郎

村長
一ノ木戶 馬場彥松　裏館 藤崎曾平
上林 新飯田嘉平治　旭 渡邊定治
塚野目 元川泰朗　大槻 藤崎庸炳
西大崎 星野郁　東大崎 吉川京六
保內 林通成　下條 涌井三郎
加新 佐野濱吉　羽生田 環眞太郎
田上 渡邊孫一　橫場 諸橋新
保明 番場英二　須頃 小林祐治
大島 石井信一郎　長堀 宮島清衞
笹岡 永井誠藏　四ッ澤 早川市太郎
本下田 藤田禎藏　前谷 武石與七
外谷 堀江周平　本城 高橋平造
槻田 大桃友太　金子 外山靜一郎
福多 田中盧　四王 今井原太
大潟 木原常藏　帶織 皆川大八
坂井 佐野得三郎　新潟 小林純一
外通 澁谷逵五郎　庄川 長谷川安太郎
神通 曾我爲四郎　中之島 荒川喜三二
中通 大久保彥市　中野 大久保太右衞門
中條 星野通岑　信條 清野正平
大和 森山健五郎　鬼木 古川吾一郎
五加 長野茂左衞門　大浦高島村組合 石月勇平
西所三沼村組合 吉原由太郎　猍口 熊倉重康
尾崎 山村九吉　鄉分 山村辰三郎
井栗 桑原春隨　出面 新井源一郎

○東蒲原郡役所　東蒲原郡津川町

郡長八等 從七 清水廣博

郡書記
八 上田直致　九 岩淺秀九郎
九 分任收入官吏 玉木秀五郎　(月八) 槇甲子郎
(月六) 長谷川義光　(月六) 杉崎彌

町長
津川 杉崎豐三

村長
小川 渡部熊太郎　兩鹿瀨 大江勝次郎
上條 猪學三　東川 渡部榮作
西川 渡部忠吾　揚川 佐藤和一郎
豐實 眞田清久　三川 長谷川助次
綱木 大井深太郎　日出谷 清田常太郎
下條 渡部松次郎

○三島郡役所　三島郡與板町

郡長七等 從七 肥田野畏三郎

郡書記
七 宮崎通　九 分任收入官吏 本田嘉九郎
九 藤田利孝　十 佐藤悌吾
(月八) 代繼本五郎　(月八) 水野勝馬
(月八) 名倉一雄　(月七) 三浦源十郎
(月六・五) 小野萬　(月六) 金子愛八

町長
與板 奧野正次　寺泊 柳下安兵衞
尼瀨 相田勝三郎　出雲崎 金澤金尾

村長
片貝 安達基一郎　浦 西脇皆三郎
中野島 穗刈名太郎　來迎寺 平澤淺太郎
塚山 長谷川市郎左衞門
岩田 林周次郎　飯塚 鷲頭源次
深澤 高頭兆太郎　才津 遠藤祐太郎
大島 長谷川二久次　日越 松平臨
王寺川 近藤佐吉　關原 島宗喜代吉
宮本 廣川莊二　大積 脇屋辰三郎
日吉 小坂辰三郎　上岩井 安立甚治郎
天津 小川理平　大都 佐藤佐忠次
吉川 小林藤藏　黑川 中野文吉
本與板 大平傳七郎　善高 藤田善次郎
下桐原 星兵吾　五千石 古澤優太郎
潟 桑原源治　西山 瀧波門治
北西越 小黑熊太郎　桐原 栖澤左吉
小島谷 久須美功　村田 小林文彌
西越 山後伴七郎　中越 山田才一
八手 內藤彌　脇野町 椛澤善太郎
高梨 山崎太吉　島崎 木村周作
野積 星寬平　間瀨 寶輪儀吉

○古志郡役所　古志郡長岡本町

郡長七等 從七 宮地佐之助

郡書記
七 木村定五郎　八 佐藤文作
八 分任收入官吏 杉山藤藏　八 佐藤正夫
十 牛腸恕　十 山田耕治郎
(月一二) 野澤倘輝　(月八) 岩田卯吉
(月七) 安藤市三郎　(月七) 宍澤治六郎

町長
長岡本 秋庭半　長岡 木宮靜一郎
千手 土田傳八郎　草生津 阿部撰次郎
新 新保新造　椽尾 清水文次郎

村長
宮內 星野壽策　中通 五十嵐廣太
前川 青柳松雄　高島 穗刈三次郎
十日町 里見一郎　山谷澤 今井傳吾
六日市 細貝清逸　石津 內山勘兵衞
川西 小川武七郎　福戶 西友吉
四箇 田中健次右衞門　芹川 片桐祐次郎
川李 椛澤利喜太　王內 山崎三太郎
黑條 若月八郎治　四郎丸 田所房次郎
山通 神保榮三郎　石坂 五十嵐松五郎
中貫 廣井小八郎　山本 近藤新三郎
富曾龜 近藤衞　新組 安藤五八郎
北谷 井上戶久治　上北谷 外山茂助
川谷 杵淵平三　吉橒 林其右衞門
五日町 大橋龜吉　上鹽谷 今井安之丞
上鹽 阿部祐三郎　前東谷 二國萬次郎
入東谷 大崎二六郎　西谷 多田利吉
中野俣 金內老之進
一之貝 西片與次右衞門
荷頃 大崎利藏　蓬澤 中村武市
東山 佐藤久太郎　栖吉 室橋龜七
川崎 高野誠彌　橡堀 植村覺太
半藏金 諸橋長平　種苧原 坂牧健三
竹澤 星野軍治　東竹澤 松井甚四郎
虫龜 五十嵐磯之治

○北魚沼郡役所　北魚沼郡小千谷町

郡長七等 正七 山田八十八郎

郡書記
九 分任收入官吏 廣川利兵衞　九 若月熊太郎
九 山崎貞一　(月一〇) 關源次郎
(月一〇) 關文六　(月一〇) 五十嵐轟
(月八) 東勇　(月八) 木村來太郎
(月七) 新保信一　(月六) 野澤松次郎

町長
小千谷 西脇國三郎

村長
城川 星野道太郎　千田 新保弘六郎
鴻野谷 山賀與八郎　吉谷 押田悌三郎
山邊 小池宗右衞門　上川 石坂平八郎
川口 眞島覺造　津山 古田島八百吉
川井 池田佐吉　宇賀地 渡邊宗二
田川入 井上靜次郎　堀ノ內 宮股一郎
八箇 星佐久郎　湯ノ谷 星初太郎
羽川 桑原重作　藪神 山本丑太郎
島町 瀧澤常七　城下 渡部又右衞門
下條 關矢橘太郎　小平尾 高橋米次郎
中條 目黑猪松　廣瀨 五十嵐武四郎
須原 金澤安敏　上條 佐藤忠太郎
入廣瀨 椛澤直吉
小出町、佐梨、青島村組合 井口泰五郎
三佛生 和田傳治　櫻町 橫山德左衞門
稀生 杵淵精三郎　田麥山 大淵富治
高倉 櫻井利七

○南魚沼郡役所 南魚沼郡六日町村

郡長 八等 正八 山際 操

郡書記

七 小川長格 九 分任収入官吏 勳七 長谷川壽平
十 桐生熊次郎 十 石川寛治
(月九) 桑原賢三郎 (月七・五) 久保田友平
(月七・五) 山崎豐吉 (月六) 關奪治郎
(月六) 戸田廣太郎 (月六) 田村堅一郎

村長
上關 小野塚九郎治 大沼 青木重治
大君田 我田實治 西中島 片桐和久治
東中島 平賀喜八郎 中目來田 宮田藤六
富實 須藤與市 南旭 貝瀨與一郎
大木六 荒川淸治郎 大和 鹽谷淸十郎
六日町 上村長太郎 西五十澤 青木一郎治
南五十澤 板鼻幸策 東五十澤 大平喜三郎
南城内 松田福太郎 北城内 小林仙治
大卷 野澤安元
南藪神 千喜良孫左衞門
北藪神 佐藤要五郎 浦佐 關爲治郎
坂本 上村虎吉 水無 駒形富作
三用 桑原雅次
伊米ヶ崎 渡邊儀右衞門
大崎 松田計次 水尾 米山萬之丞
三和 山本茂重郎 旭 關鵜作
二居淺貝村組合 佐藤仙三郎
余川、君歸、欠ノ上、川窪、美佐島、八幡村組合 戸田重太郎
三俣 關安衞 神立 南雲吉十郎
土樽 劔持市十郎 湯澤 高橋藤三郎
栃窪 笛木幸吉 鹽澤 大塚新太郎
吉里 阿部源九郎 長崎 高村淸吉
小栗山 井口文八 大宮 田村八郎
上島 田村浩太郎

○中魚沼郡役所 中魚沼郡十日町村

郡長 七等 從七、勳六 並河 一

郡書記

八 二瓶丑太郎 九 分任収入官吏 古石忠三郎
九 瀧澤保一 (月一〇) 田川米次郎
(月九) 勳七 平岡 瓢 (月八) 野口芳次郎
(月八) 小野勝太郎 (月八) 森田習吉
(月七) 野村信教 (月六) 木倉久太郎
(月六) 太田 敏

村長
十日町 瀧澤勇太郎 大井田 大海俊造
三好 近藤泰吉 下組 佐藤愿雄
岩澤 高橋吉郎右衞門 橋 小幡藤藏
上野 淸水莊太 中野 田村彦三郎
千手町 半藤泰三 吉田 柳權三郎
鐙島 太田周作 眞田 小海慶藏
河内 高橋健治郎 川治 松澤芳松
今泉 市村信太郎 秋成 桑原重正
赤崎 大口治平 寺田 清水誠
倉俣 鈴木寛隆 中深見 中澤松三郎
谷内 藤木政太郎 上鄕 橋野佐平
下船渡 宮澤定太郎 新座 樋熊恒藏
中條 岩田稔 東下組 水落勝太郎
眞人 藤卷伊三郎 仙田 增田定助
六箇 俵山文藏 馬場 丸山久孝
貝野 高橋梅藏 田澤 樋口正隆
宮野原 島田茂 外丸 津端守眞
三箇 小野塚寛

○刈羽郡役所 刈羽郡柏崎町

郡長 七等 從七 辰野宗治

郡書記

大 澤田久三郎 八 分任収入官吏 宮林 享

九 保坂榮助 九 黑江 澄
(月一〇) 伊藤 淸 (月九) 五十嵐淸
(月八) 市川道輔 (月八) 村田覺太郎
(月七) 岡塚安齋 (月七) 星野茂次
(月七) 牧岡門之助 (月六) 吉村 舜

町長
石地 辻正孝 宮川 矢島長之助
柏崎 宮川柾樹 椎谷 柴田方知

村長
大洲 原常造 枇杷島 田邊文吉
鏡里 前澤順四郎 上條 大橋源二
別俣 宮川仲平 野田 武藤常吉
田澤 村山市十郎 增田 中村雄之助
女谷 高橋時平 中里 青柳安平
結城野 上坂亭作 千谷澤 湯本寛治
北條 田中正一郎 秋津 阪田一彌
小潤 荒川貞八 廣田 中島庄五郎
長島 品田松右衞門 田尻 村山源三郎
藤井 大矢弓之丞 旭 月橋政八
吉井 石黑格三郎 槇原 吉田米三郎
日吉 伊原六郎 刈羽 安澤宇一郎
東城 太田重三郎 會地 若井源晴
油田 淺野常重郎 長原 井利仙治
二田 近藤壽倍 中川 池田勘次郎
別山 高橋福太郎 長谷 庭山正重
勝山 山崎良吉 大田 押見長之進
豐田 春日彌一郎 日高 飯塚彌一郎
石黑 大橋與三治 門出 中村三太郎
荻ノ島、澤島村組合 米山多藤吉 森光、小栗山村組合 小島三郎
下宿 後藤泰之丞 鯨波 土屋作兵衞
折居 高橋富藏 高尾 大倉虎一郎
栃ケ原 長谷川隆次郎 山中 樋口貞隆
岡野町 村山吉治 岡田 若山壽榮
山室 平野松二 大澤 柳小右衞門

七日町 長井丈右衞門 横澤 中澤堅治
山横澤 飯田貞一 善根 田村熊司
加納 關儀三太 安田 片桐太三郎
平井 西卷嘉策 比角 近藤友太郎
法末 大橋紋之十 武石 片桐平八郎
南條 關直温 妙法寺 西村彌七郎
荒濱 牧口莊三郎 森近 小島惣太郎
石曾根 矢代成廣

○東頸城郡役所 東頸城郡安塚村

郡長 八等 正八 五十嵐佐淸

郡書記

八 齋藤武次郎 九 分任収入官吏 松島潛
九 成見仲治 九 小林宗美
十 江原越吾 十 杉田信夫
(月一〇) 石田猪之吉 (月七) 增田松江

村長
安塚 小熊善治郎 月影 鹽崎貞佐久
中川 丸山重兵衞 下保倉 石田貞一郎
末廣 西卷卯助 中保倉 杉田貞作
保倉 布施才之助 旭 內山豐八
峰方 中村淸作 北平 山岸惣吉
北山 井上庄藏 松平 柳俊作
布川 高橋芳謙 松之山 村山政榮
伊澤 山岸常太郎 松里 佐藤文良
浦田 久保田五郎作 奴奈川 柳周治
大島 武田良治 元保倉 江口美代作
船倉 山口順吉 豐坂 靑田乾平
眞荻平 森成章治 小切戸 仙田壽作
川上 小林萬作 沼木 小山龜太郎
川邊 佐藤久七郎 里見 渡邊壽作
沖見 折笠源治 仁上 本山元左衞門
嶺 松澤周平 須川 近藤官藏
行野 横尾榮治

○中頸城郡役所 中頸城郡高城村

郡長 七等 從七 鄉田兼亮

郡書記

六 黑田利成 八 矢部正一
九 分任収入官吏 建川周平 九 原備將
九 內田直躬 九 神戸 豐
十 小林直久 十 堀田淸次
(月一〇) 秋山宇藏 (月一〇) 本城之信
(月九) 小林萬三郎 (月九) 八木利之
(月九) 島川知周 (月七) 田中千里
(月七) 尾原榮治

町長
高田 中川源造 直江津 柳澤郡治
新井 金子齊一郎

村長
米山 横田武平治 上米山 小俣新重郎
鉢崎 近藤太治右衞門 七ヶ 小熊榮吉
犀濱 上野幹三 犀潟 山田親
潟町 內藤武八郎 八千浦 熊倉喜八郎
大瀁 山岸高治郎 南川 高橋淸三郎
頸城 石黑長五郎 旭 五十嵐正綱
下黑川 內藤彌太郎 中吉川 倉茂範良
大出口 星野兼次郎 上吉川 八木善六郎
水源 山崎道良 川谷 佐藤長治
黑川 湯本又三郎 高城 室井常領
下板倉 植木久尙 大和 水谷與平
大倉 金子伊太郎 國明 饒村常作
島坂 增村伊三郎 原通 笹川健治
妙高 畑山隆治 矢代 岡田宇太郎
中鄉 松原彌惣 大崎 相羽靜太
參賀 岩佐麟太 西鄉 淺岡又五郎
斐太 近藤彌次郎 下ノ鄉 大山勝太
北大崎 横田平一郎 高志 塚田吉藏
國府 中澤廣治 春日 谷內九八郎
谷濱 坪田盈森 和泉 矢澤五郎市
境 岩崎正則 根越 藤卷省示
菅原 勝山喜作 櫛池 池田嘉一郎
里五十公野 代理者 神谷精一郎
上杉 上田良平 美守 關口眞治
諏訪 金子榮造 保倉 高橋省吾
有田 笠松龍之助 津有 相馬又三郎
三鄉 淸水淸右衞門 新道 丸澤貞司
寺野 池田定規 水原 岡田平八郎
泉 古川九郎治 平丸 岩崎兵一郎
箕冠 島田堅造 板倉 山崎久太郎
水上 東條致和 瑞穗 飯吉彥左衞門
豐葦 木賀三四郎 柿崎 加藤信次郎
黑岩 瀧澤茂吉 關山 村越伴治
關川 峰村勝治郎 杉ノ澤 竹田六郎治
大鹿 望月又右衞門 長澤 大野孫太郎
飯田 飯野善造 小出雲 入村七一郎
桑取 佐藤義勝

○西頸城郡役所 西頸城郡糸魚川町

郡長 八等 正八 阿部 致

郡書記

七 水野隆昌 八 分任収入官吏 武內彌廣
九 竹內淳一郎 十 大村 一
(月九) 金山文藏 (月九) 青木勝太郎
(月八) 山本喜次郎

町長
名立 歌川文平 能生 能仲新作
糸魚川 黑川小平太

村長
下名立 室橋喜三 上名立 松本久三郎
四ヶ所 池龜蟄 川崎 二宮佐傳

東能生 橋立彌平　南能生 阿部租平
西能生 佐藤兵十郎　中能生 室山新治郎
木浦 磯谷健治　浦本 倉又常三郎
北早川 吉原大造　西早川 關澤基
南早川　串橋太治右衛門
東早川 渡邊榮次郎　西山 高瀬彌八郎
東山 恩田孫太郎　大和川 見邊善左衛門
北西海 松木直松　南西海 野崎德松
柳形 中村美樹　奴奈川 牧江文之丞
上根知 伊藤重五郎　中根知 木島秀司
下根知 齋藤誠一郎　小瀧 中倉利忠治
今井 宮島一作　須澤 梅澤常治郎
田海 七澤末吉　青海 渡邊正策
歌外波 尾崎三郎　市振 片桐利七
上路 松澤安五郎　鬼伏 增野政太郎
楳屋敷 永越清作　大野 永澤德左衛門
上能生 土田繁雄

○岩船郡役所　岩船郡村上町

郡長七等 從七 小林卷藏

郡書記

七 清水義敷　九 分任收入官吏 矢島義人
十 新部惟一　(月一〇) 大平廣彌
(月一〇) 山崎彌太郎　(月八) 神原文次郎
(月七) 澤田要人　(月七) 須貝七作
(月六) 南摩駒吉　(月六) 長谷川泰釥

町長

岩船 村部清纓　頼波 山縣正升
村上 澤渡朝憲　村上本 中居達道

村長

七箇谷 本間孝吉　九箇谷 水谷光舊
關 渡邊善俊　中保内 高橋豐之重
上保内 田邊永之重　金屋 遠山厚藏
南保内 鈴木定藏　女川 松坂平次郎
川北 須貝總十郎　平林 鈴木利平
鹽屋 石田信藏　西神納 竹内源太郎
神納 近源太郎　東神納 天井駒四郎
山邊里 川村次郎八　門前谷 田村岩治郎
館腰 田村寅藏　長津 鈴木清一郎
新屋 板垣吉之丈　布部 小池留五郎
岩澤 高橋八重吉　高根 遠山辰吉
鹽野町 富樫惣吉　大須戸 中山景俊
黑川俣 齋藤謙造　中俣 東海林久松
大川谷 富樫長吉　八幡 加藤林松
下海府 加藤定政　上海府 本間於莵彦
猿澤 高橋德次郎　鵜渡路 松田彌五郎
海老江 小林宇八郎　大津 渡邊佐一郎
粟島浦 柏葉仁三郎

○雜太、加茂、羽茂郡役所　雜太郡相川町

郡長七等 正七 高力衞門

郡書記

六 上野茂三郎　九 分任收入官吏 古藤常誠
九 藤木繁　十 大竹求吉
(月一〇) 金井勇　(月一〇) 黑田禾
(月一〇) 伊藤龜太郎　(月八) 長谷川俊平
(月八) 山田奥手　(月七) 畝目善吉
(月七) 上月喬　(月六) 若林藤太郎

雜太郡町長

相川 岩佐育四郎　五十里 末武久次
川原田 高橋復二郎　新町 山本彌次平

同村長

北海 今井唯次郎　金泉 今井角次
二見 中川龜藏　澤根町 竹本多平
野田 片岡源左衛門　八幡 金子吉四郎
二宮 加藤新吾　平泉 高橋礎次郎
金澤 兒玉治平　國中 長島盛藏
畑野 渡邊主左衛門　小倉 中村由藏
栗野江 齋藤孫次郎　金丸 曾我吉十郎
三宮 山本傳十郎　眞野 石塚芳太郎

加茂郡町長

夷 長谷川欽吾　湊 北慶太郎

同村長

岩首 仲村圓藏　水津 臼杵喜太郎
富岡 次藤茂三郎　明治 石川彌八
新穗 本間仲治　大野 田邊孝吉
秋津 横地壽一　吉井 佐々木民藏
長江 神藏惣一郎　內浦 宮城作太郎
內海府 岩脇榮藏　外海府 田中四郎吉
高千 池野榮藏　羽吉 土屋元次
吾潟、潟上、田野澤、正明寺村組合 池田平左衛門
河崎 角坂二吉　長畝 川上桓吉
加茂歌代 齋藤幸藏　梅津 市橋藤藏

羽茂郡町長

小木 增山寬三郎

同村長

戀ケ浦 吉田善平　小布勢 金子勘五郎
龜ノ脊 岡崎正吉　岬 本間三郎平
羽茂本鄉 駒形直清　大橋 岡崎與四平
眞浦 渡部寅吉　千手 川上關藏
川茂 金子清三郎　三川 矢下田陶藏
松ケ崎 菊池忠吉　赤泊 葛野傳四郎
德和 石塚孫四郎

○尋常師範學校　新潟市旭町通三番町

學校長七等四級 小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員從七 濱野虎吉　新潟市旭町通一番町

教諭

三(上)(奏任待遇) 小學校教員銓衡委員正八 大島多計比古　新潟市學校町通二番町
三(上) 槇忠一郎　三(上) 稻垣末松
三(下)　兼舍監文官普通試驗委員 藤田寬次郎
四(上) 山元敬太郎　五(上) 兼舍監 山下新力
五(上)　吉原千代吉
五(上)　兼訓導主事小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員 河村寬二
五(下) 鈴木高尙

助教諭

(月二八) 兼舍監 室野義忠　二 脇山百松
二 大橋熊藏　二 兼訓導 山田於莵三郎
三 兼舍監訓導 吉川鉚　三 星兵吾
三 兼書記 丸田章吉　三 兼訓導 安田とゑち
三 三宅清溫　三 石原重雄
四 兼書記 石田政養

訓導

三 兼助教諭心得 今泉正友　四 福原久米治
四 兼舍監助教諭 高田せん　五 今井龜三郎
五 齋藤喜次郎　(月八) 北村きゐ

書記

二 矢野佐十郎　四 近藤辰一郎

○尋常中學校　新潟市大字關屋

學校長(月一〇〇) 從七 藤田虎力

教諭

(月七〇) 小野三郎　(月七〇) 岡田猛熊
(月六〇) 鳥居烋夫　(月五〇) 樺正薑
(月五〇) 瀧澤又市　(月三五) 鈴木雄二郎
(月三〇) 兼舍監 高橋茂一郎　(月三〇) 服部膺

助教諭

(月二五) 兼舍監 三堀兵五郎　(月二五) 上原新五郎
(月二〇) 遠藤國次郎　(月二〇) 兼舍監 足立鍬太郎

書記

(月二五) 水谷眞茅　(月一五) 加用柔三郎

○新潟市役所

市長(年八〇〇) 鈴木長藏

助役(年四八〇) 諸橋茂吉

名譽職市參事會員

鈴木長八　山崎利吉
横山太平　濱政弘
藤井忠太郎　齋藤喜十郎

○埼玉縣 北足立郡浦和町

知事 二等 從三、男 千家尊福 北足立郡浦和町官舍

書記官 五等 官報報告主任文官普通試驗委員長主任收入官吏 從六 吉原三郎 北足立郡浦和町官舍

警部長 六等 文官普通試驗委員 正七 磯谷熊之助 北足立郡浦和町官舍

收稅長 五等 文官普通試驗委員主任收入官吏 從六、勳六 清宮質 北足立郡浦和町官舍

參事官 六等 官報報告主任文官普通試驗委員小學校教員檢定委員長神職試驗委員小學校教員銓衡委員 正七 大津麟平 北足立郡浦和町官舍

技師 六等九級 正七 岡田竹五郎 北足立郡浦和町官舍

典獄 七等 從七 高山幸男 北足立郡浦和町官舍

○知事官房

屬

四 文官普通試驗委員 山田奈津二郎
七 文官普通試驗書記 佐野貞次郎
十 鈴木萬四郎
(月一二) 島養之助
(月一〇) 常見謙三
(月八) 渡邊準

○內務部

部長 書記官 吉原三郎
第一課長 參事官 大津麟平
第二課長 技師 岡田竹五郎

屬

一 第三課長小學校教員檢定委員 日時敬之
一 第四課長物品會計官吏 從七、勳八 阿武久吉
四 兼警部 早川光藏
四 小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員 堀江敬愼
四 文官普通試驗委員 松井寬
五 石川豐
五 淺井長義
五 官報報告主任 折下雅介
六 草刈米太郎
六 野村定長
六 神職試驗委員 谷口政足
六 兼警部 長瀧次郎
六 兼技手 今井周三郎
六 文官普通試驗書記小學校教員檢定委員 木原守三郎
七 市川次郎
七 勳七 今泉清五郎
七 市川春太郎
七 土肥祐次郎
七 藤田幸年
七 田村省三
七 土屋善太郎
七 奧田榮之助
八 秋元三千雄
八 小學校教員檢定委員 渡邊駒次郎
八 飯島甚助
八 森內義道
八 山崎康雄
八 加藤寬助
八 寺崎助六
九 兼技手 岩崎熊之助
九 佐藤權次
九 稻垣雄輔
九 肥留間重三
十 吉澤猪三郎
十 山本清
十 齋藤義雄
十 永澤壽三
十 多田鹿次郎
十 大代嚴
十 吉田確造
(月一二) 早川斗一郎
(月一二) 官報報告主任 吉岡信一
(月一二) 須永貞三郎
(月一二) 川上仙太郎
(月一二) 岡田得介
(月一二) 兼技手 島田善右衞門
(月一二) 兼技手 伊東保藏
(月一二) 林卓爾
(月一〇) 清水文吉
(月一〇) 津田宗助
(月一〇) 吉田政
(月九) 高橋鎌太郎
(月八) 進藤幸次

技手

二 熊倉恭三
四 正八、勳八 加々見輝信
六 松田松三
六 菊池直一郎
七 關根高吉
七 足立駒太郎
七 森田林次郎
七 小河原次郎一
七 川島包作
八 矢田芳雄
八 大泉龍之輔
九 三宅清熊
九 辻富太
十 野口佐吉
十 野村武

○警察部

部長 警部長 磯谷熊之助

警部

三 警務課長文官普通試驗委員 石崎戒三
四 保安課長 楢崎次郎八
五 巡査教習所長兼勤 新納實芳
五 森茂
七 甘粕春吉
八 巡査教習所教官兼勤 大久保規彬
九 前川潔

九 牧中鑑次郎 十 般若 三郎
十 武田 熊藏

○浦和警察署 北足立郡浦和町
警部 署長 武石傳四郎
署長(兼) 西村鎗三郎 九 嶋ケ谷分署長 石崎 戒三
九 分署長 蘆澤 道之

○桶川警察署 北足立郡桶川町
警部 署長 八 澤井 瀨平
十 鴻巢分署長 鈴木 男吏

○川越警察署 入間郡川越町
警部 署長 五 西 萬壽長
九 十 坂戸分署長 山崎 鋏
十 越生分署長 梶原 半彌

○所澤警察署 入間郡所澤町
警部 署長 七 巨海 政和
八 大和田分署長 平賀定五郎

○飯能警察署 高麗郡飯能町
警部 署長 七 寺本 傳
八 豐岡分署長 笹原辰太郎

○松山警察署 比企郡松山町
警部 署長 小川分署長 小松 參 七
十 內田 信保
內田 將繼

○大宮警察署 秩父郡大宮町
警部 署長 五 武石傳四郎
九 小鹿野分署長 大谷 正信
十 野上分署長 加藤 清孝

○本莊警察署 兒玉郡本莊町
警部 署長 八 兒玉分署長 松元 利盛
九 賀美分署長 倉內覺之丞
佐土原祐隆

○熊谷警察署 大里郡熊谷町
警部 署長 九 濱田 清心
十 籠敬太郎

○深谷警察署 榛澤郡深谷町
警部 署長 八 齋居分署長 染川半次郎
永野 直藏

○忍警察署 北埼玉郡忍町
警部 署長 八 竹內 其治
九 羽生分署長 山口 繁

○加須警察署 北埼玉郡加須町
警部 署長 七 熊頭 教正
八 山田 齋雄

○岩槻警察署 南埼玉郡岩槻町
警部 署長 黑田 文次
十 舘岩分署長 林 道俊

○越ヶ谷警察署 南埼玉郡越ヶ谷町
警部 署長 五 永知 忠雄
八 吉川分署長 山崎 龍嗣
九 草加分署長 柿沼久次郎

○幸手警察署 北葛飾郡幸手町
警部 署長 六 杉戶分署長 佐竹鋼次郎
十 栗橋北分署長 荒木 榮直

○收稅部

部長 收稅長 清宮 質

收稅屬
二 廣村 賀蔑
稅務課長文官 普通試驗委員
四 島 勝
庶務課長正八 荒木 度三
七 浦和收稅 加藤小太郎
八 署兼勤 伊田 晴次
八 中尾 仕
九 浦和收稅 戶田 克巳
署兼勤 桑田 昌之 (月一〇)
九 伯田甲子次郎

○浦和收稅署 北足立郡浦和町

收稅屬
署長 加藤志津右衛門 五
八 岡 烈
石川菊次郎
八 高力 新一 松田 勘治
九 石川 源吉 十 川藤 榮嘉
(月一〇) 佐藤熊一郎 (月九) 石田三夫郎
(月九) 石川 泰輔

○川越收稅署 入間郡川越町

收稅屬
署長 宮澤長四郎 五 長谷部益吉
九 中川喜代馬 九 阿倍 忠是
九 永澤 達三 (月一〇) 小鷹實太郎
十 小島 保之 (月八) 信田 清一
壇 弒熊

○松山收稅署 比企郡松山町

收稅屬
署長 濱野英太郎 七 末松
九 熊澤喜十郎 (月一〇) 九 上法 友殺
十 奧平 浦男

○大宮收稅署 秩父郡大宮町

收稅屬
署長 土屋 彥三 七 兎卷 應英
九 吉田 勝彌 九 直井 正雄
十 市川安次郎 十 小山 越夫
(月一〇) 井上九八郎 西村清五郎

○本莊收稅署 兒玉郡本莊町

收稅屬
署長 赤倉吉三郎 七 植田 正秋
九 前田 正 九 木村 豐吉
十 十 原口彌十郎

○熊谷收稅署 大里郡熊谷町

收稅屬
署長 岩田 周作 六 長野 敬基
八 吉田 秀實 九 二味 律
九 十 栗田 益三

○忍收稅署 北埼玉郡忍町

收稅屬
署長 中川 喜代馬 九 平井旦三郎 六
九 永澤 達三 (月一〇) 信田 清一 相良 政勝
十 小島 保之 (月八) 松宮源之進

○岩槻收稅署 南埼玉郡岩槻町

收稅屬
署長 鹿沼和三郎 七 荒井 洽
九 梅北 兼敏 十 (月一〇)

○杉戶收稅署 北葛飾郡杉戶町

收稅屬
署長 澤 有三郎 七 奧村榮三郎
九 小田正久郎 十 清水 矩介
佐藤 遲

○監獄署

典獄 高山 幸男
署長
監獄書記
第一課長 常見八十太郎
第三課長 南波 俊夫
河村鐐太郎 (月八)
川島 能一 (月八)
兼監獄書記 第二課長 岡部伊三郎

看守長
大 今澤 信清 七
八 橋本 茂隆 九

吉田外次郎 十 友成 貞固
(月一〇) 吉田 共之

○忍收稅署 北埼玉郡忍町

收稅屬
署長 平井旦三郎 六
八 相良 政勝
十 松宮源之進 (月八)

○岩槻收稅署 南埼玉郡岩槻町

收稅屬
署長 鹿沼和三郎 七
九 荒井 洽
十 梅北 兼敏 (月一〇)

○杉戶收稅署 北葛飾郡杉戶町

收稅屬
署長 澤 有三郎 七
九 小田正久郎 十

○北足立郡役所 北足立郡浦和町

郡長 七等 加藤 炳

郡書記
大 鈴木 義香 七
長島 肇吉 七
植松 隆作 八
根岸甲子太郎 八
大角喜平次 九
望月 肇作 (月一〇)
山北 健造 (月一〇)
鈴木 充枝 (月一〇)
梶本陽之輔 (月九)
山崎茂三郎 (月八)
小川松太郎 (月八)
(月七)

渡邊德太郎 九
稻見 鐵吉 十
內田 爲元
山崎野武藏

監獄醫 (月二〇) 醫務所長 橋村 三圭 (月二五) 伊藤 周介
伊丹 三省

○川越監獄支署 入間郡川越町
看守長 九
支署長
監獄醫 (月一七)
兼監獄書記勤七 黑田 吉政
森山麟次郎

○熊谷監獄支署 大里郡熊谷町
監獄書記 八
支署長
監獄醫 (月一七) 兼看守長 早川 直亨
志村 順藏

町村長 原市町外一箇村組合 家里 周三

町長 浦和 星野平兵衛
川口 細井平太
鳩ヶ谷 稲垣積三郎
大宮 井上信道
桶川 府川秀之助
志木 西山鉄五郎
村長 六辻 關口太郎司
笹目 長谷川秀之輔
戸田 金子眞平
青木 熊木専太郎
南平柳 矢作益藏
新郷 飯田造酒藏
新田 淺井増五郎
神根 小澤治郎兵衛
大門 會田平藏
尾間木 篠原節太郎
三室 從八武笠幸息
木崎 町田林藏
馬宮 涙江稊三
三橋 林 幸太郎
日進 高橋源之輔
平方 石川金太郎
大石 新藤慶之助
小室 内村綱禮
川田谷 山崎林吉
馬室 齋藤竹次郎
常光 矢部徳太郎
箕田 堀江宇平治
吹上 秋池政三郎
膝折 比留間權右衛門
新倉 小暮嘉藤治
保谷 保谷範曹
春岡 宮島耕三
蕨 岡田正康
草加 戸塚彌吉
與野 井原仙太郎
上尾 白石彦八
鴻巣 石田 正
大和田 新井文五郎
土合 大室和太郎
美谷本 猪野知孝
芝 須賀保實
横曾根 白井峰吉
北平柳 石田又七
谷塚 關 吉之助
安行 松本忠章
戸塚 名倉新右衛門
野田 厚澤隣藏
谷田 野口儀平
片柳 小山太郎
大久保 榎本佐左衛門
植水 富永代吉
大砂土 吉田茂助
指扇 小山又八
大谷 島田紋太郎
上平 須田守三
小針 濱野由右衛門
石戸 矢部長作
中丸 長島源次郎
田間宮 堀越寛助
小谷 長島其吉
滕子村外六箇村組合 小島五兵衛
内間木 野島呈輔
白子 田中勘左衛門
片山 貫井龜之輔

○入間高麗郡役所 入間郡川越町

郡長七等 從七平井光長

郡書記
六 水谷廉之助
七 藤井幾三郎
八 牧 成好
九 久米三代松
十 從八山田俊次郎
(月一〇) 澤田盛齋
(月一〇) 小林省三
(月八) 勳八福岡龜三郎
(月八) 石井鐵次郎
(月六) 草刈恒二郎
七 澁谷秀三郎
八 早川金十郎
八 小松潤二
九 梅田滋太郎
(月一二) 平田幸嘉
(月一〇) 上原熊次郎
(月九) 長屋義勝
(月八) 神山喜三
(月六) 村田 武

町長 川越 岡田秋葉
豐岡 平田近三
越生 森村雄三郎
村長 芳野 松岡龜太郎
南古谷 黑須百之助
高階 金井宇太郎
大井 神木三郎兵衛
南畑 大澤槙三
水谷 萩元卯榮次
松井 越坂部清吉
山口村外二箇村組合 粕谷平重郎
小手指 鹿島市右衛門
宮寺 中村茂三郎
金子 小澤藤太
藤澤 橋本要作
堀兼 尾崎忠七
奥富 梅平金平
大田 仲手留吉
所澤 犬塚元興
入間川 坂口幸民
飯能 双木八郎
古谷 荒井定治郎
仙波 市川彌衛三
福岡 星野幸次郎
鶴瀬 横田藤内
宗岡 荻島保藏
柳瀬 野澤紋右衛門
富岡 永井藏太
吾妻 關 榮藏
三ヶ島 新井亥三郎
元狹山 田中源吾
東金子 桑田喜三郎
入間 田口正雄
福原 小野藤右衛門
日東 内田正信
田面澤 山崎作次郎
山田 内藤平太郎
勝呂 安野丈助
入西 村松榮枝
川角 小室長右衛門
山根 福田民十郎
名細 早水綱賀
高萩 鹽川正次
高麗 山口若太郎
霞ヶ關 山川岩雄
水富 石井慶次郎
加治 山岸幾三郎
原市場 土屋幸太郎
三芳野 栗原利助
坂戸 關根忠衛
大家 弓削田三郎治
毛呂 官寺又五郎
梅園 柴崎 甫
鶴ヶ島 内野重右衛門
高麗川 新井岩造
東吾野 小林拾三
柏原 増田忠順
元加治 西久保邏三
精明 山崎兼三郎
南高麗 宿谷半左衛門

○比企横見郡役所 比企郡松山町

郡長七等 正七鈴木庸行

郡書記
七 松崎又重郎
九 鈴木宗造
九 長谷川鉚二郎
十 平山忠告
十 四關善顯
十 丸山敬貴
(月七) 宗像宣昭
(月七) 利根川讓
八 田村善雄
九 石井又雄
九 井上與之
十 深谷正英
十 山口 守
(月七) 加藤光平
(月七) 福島初郎
(月七) 萩原正城

町長 松山 吉田由太郎
村長 大岡 中島忠直
宮前 大塚參惠八
菅谷 内田充五郎
八和田 大塚平三郎
竹澤 松本啓三郎
玉川 坂谷利勝
小川 加藤忠雄
福田 栗原壽萇
唐子 萩原勘三郎
七郷 藤野文八
大河 笠原芳孝
平 内田佐久三
明覺 小室元貞

龜井 小鷹恒三郎
高坂 千代田三郎
小見野 岡部正太郎
八ッ保 鈴木寅次郎
三保谷 遠山甚右衛門
植木 關根 榮
南吉見 小高浪三郎
北吉見 原 作衛
今宿 松本龜太郎
野本 杉浦清助
中山 鈴木 進
伊草 鈴木孫治郎
出丸 片岡幸太郎
東吉見 松本仁三郎
西吉見 大野甫紹

○秩父郡役所 秩父郡大宮町

郡長六等 正七小泉寛則

郡書記
七 小林嘉行
九 大谷直信
九 大澤鶴四郎
十 田代猪太郎
(月八) 永田登内
(月七) 持田兵藏
(月六) 新井豐作
八 大亦 昇
九 金子義之吉
九 坂田卯之助
(月八) 島田秀三郎
(月七) 久米六郎治
(月七) 小泉省吾

町長 大宮 新井市三郎
村長 横瀬 阿佐美源内
高篠 若林慶次郎
皆野 小池槌藏
白島 雨宮孝作
野上 村田太伊四郎
金澤 若林哲三
日野澤 加藤卯太郎
大田 富田善多
長若 豐田貞三郎
三田川 高橋源三郎
大瀧 松本左團次
中川 淺海牧之亮
小鹿野 田隝唯一
蘆ヶ久保 町田善次郎
原谷 萩原佐紋治
三澤 福田巳三郎
樋口 中畝庄三郎
國神 富田佐平治
矢納 金澤繁太郎
下吉田 引間伊惣治
尾田蒔 内田長次郎
上吉田 關田庄三郎
兩神 加島桂作
白川 逸見亮一郎
久那 淺賀槙治郎
浦山 淺見五兵衛
名栗 淺見庸八
大椚 畑 吉十郎
大河原 松澤義教
影森 新井治三郎
吾野 石田吉造
槻川 關口直温

○兒玉、賀美、那珂郡役所 兒玉郡本莊町

郡長八等 正八岡田稔

郡書記
七 關根嘉重
九 人見時之丞
九 福田 貢
十 引間龜吉
十 岡部副四郎
(月一一) 新 岩之助
(月九) 武政德司
八 野澤九平
九 戸塚 雄
九 石井半左衛門
十 永田惠作
(月一一) 岩田與兵衛
(月一〇) 内藤鷹雄
(月八) 鴨田甚平

町長 本莊 田村伊勢七
村長 藤田 山田忠治
旭 鹽原章敏
東兒玉 下山正作
上眞下村外一箇村組合 塚越喜治
青柳 松本茂十郎
本泉 木村喜治
賀美 小樽久衛
長幡 立石幸吉
秋平 田中磯吉
大澤 福島元次郎
兒玉 島田清作
仁手 茂木小平
北泉 萩原李衛
共和 花井孝太郎
金屋 倉林太郎兵衛
若泉 淺見熊藏
神保原 阿佐美宣哲
七本木 橋爪力太郎
丹莊 高橋周平
松久 内田東平

○大里、幡羅、榛澤、男衾郡役所 大里郡熊谷町

郡長七等 從七中村孫兵衛

郡書記
七 栗山久橋
八 萩野正治
八 松崎定四郎
八 三浦榮三郎
十 森 鑄太郎
(月一〇) 根岸千引
(月九) 八木原彌左衛門
(月七) 小林範平
(月六) 西野善太郎
八 坂本英美
八 春山治重郎
八 池田高三郎
八 大竹貞時
(月一〇) 堀口慶之助
(月一〇) 大谷富太郎
(月七) 中村專助
(月六) 杉浦佐次右衛門

町長 熊谷 根岸常次郎
村長 久下 吉田清三郎
市田 伊藤直三
御正 長谷川宗治
大幡 高田豐次郎
三ヶ尻 北爪茂十郎
奈良 吉田章一郎
妻沼村外一箇村組合 鈴木謙十郎
明戸 飯塚岱藏
幡羅 搗田郡吉
新會 鵜殿三郎九
八基 望月久樹
榛澤 武政藤太郎
藤澤 新堀眞策
花園 町田佐一郎
櫻澤 松崎孝作
本畠 吉田令輔
鉢形 島塚武右衛門
寄居 湯本新藏
佐谷田 鈴木東作
吉岡村外一箇村組合 堀 宗禕
大麻生 飯田貞泰
肥塚 東寛左衛門
玉井 鯨井勘衛
秦 金井梅吉
男沼 中里小源治
別府 田村繁三郎
大寄 小暮伊之八
中瀬 河田文衛
岡部 小林德次郎
本郷 飯野壽寶
武川 大澤保太郎
用土 清水近三郎
小原 小久保壽三
男衾 吉田慶助
折原 向井廣吉

○北埼玉郡役所 北埼玉郡忍町

郡長七等 從七林有章

郡書記
樋口善次郎 七
奥山銀朔 八
山本榮次郎 八
坂本常次郎 九
島崎清太郎 十
（月一〇）
西村高貞 （月一〇）
（月九）
大澤芳次郎 （月九）
石井三彌 （月八）
（月七）
三島尉曾次 （月八）
田部延秋

町長
忍 古市直之進 加須
羽生 三木辰五郎 騎西
村長
志多見 島野定三郎 鴻巣
三田ヶ谷 平野源次郎 井原
高柳 遠井四郎治 大越
禮羽 松本宗助 川俣
廣田 小川平三郎 原道
種足 福田喜右衛門 共和
埼玉 町田金吾 新郷
太井 牧田定五郎 持田
星宮 大澤勝助 元和
村君 田口與左衛門 田ヶ谷
東 金子竹之助 不動岡
須賀 長谷川增太郎 星河
利島 小室潛之助 屈巢
下忍 增田五左衛門 水深
三ッ俣 鈴木吉十郎 川邊
北河原 中村謙七郎 荒木
長野 江原詮道 樋遣川
須影 田島柳三郎 大桑
豐野 坪井龜吉 成田

笠原 常見新助 手子林 關根長藏
太田村外一組合 金子甚之助 南河原 今村藤右衛門
三箇村 上中條村外三箇村組合 酒卷房次郎 篠津 大山三箇
荒木太三郎 岩瀨 柏間太田 杉田市藏 清久
關島村外八箇村組合 佐川重作 關口靖次郎 鷲宮

○南埼玉郡役所 南埼玉郡岩槻町
郡長七等 島崎廣太郎

郡書記
江藤清 七
武内長兵衛 八
河野孝義 九
平野權三郎 九
田邊溫知 十
大久保作次郎 （月一〇）
茂木長太郎 （月九）
平野銈治 （月七）
隅田三郎 （月六）
板谷清吉

上村政敏 柏壁
森澤吉五郎 久喜
島根莊三
潮止 田中三郎左衛門 八條
鈴木仁左衛門 川柳
大相模 鈴木仁太郎 蒲生
出羽 井出庸造 增林
新方 長野半四郎 櫻井
尾崎麟之振 荻島
岡田與輔 和土
志水唯四郎 武里
齋藤淺之丞 大垣六郎左衛門
高橋喜右衛門 宮野太郎兵衛
慈恩寺 中山雄助

黑濱 關根富士太郎 綾瀨 山口清左衛門
百間 關根甲子三郎 須賀 日下部泰助
篠津 渡邊加藤次 平野 吉岡多市
大山三箇 峯岸卯三郎 吉澤貞吉 江面
三枝倭吉 小林 加村竹次郎
柏間太田 杉田市藏 清久 瀨田繁太郎
關口靖次郎 鷲宮 相澤德三郎
佐川重作

○北葛飾郡役所 北葛飾郡淸地村
郡長七等 須藤周二郎

郡書記
大岡太四郎 八
關口甚吉 九
松村橘郎 九
堀口準太郎 十
橫田敬太 十
阿部慶壽 （月九）
增田瀧右衛門 （月九）
小野田乾 （月六）
小林益次郎
長谷川豺治
酒井三吉郎
堀江龜太郎
小島祿四郎
川和忠左衛門
加藤貞學
石神賴介
日下部松之輔

○尋常師範學校 北足立郡浦和町

學校長七等三級
文官普通試驗委員
學校教員檢定委員小矢部善藏
學校教員銓衡委員從七 北足立郡浦和町

教諭
兼舍監文官普通試驗委員小學校教員檢定委員 柳生寧成
小學校訓導檢定委員小學校教員銓衡委員 一條龜次郎
小學校訓導檢定委員小學校教員乙種檢定委員 落合初太郎
小學校教員乙種檢定委員 井口榮治
附屬小學校主事 城谷謙

助教諭
小學校訓導檢定委員 中村忠誠 二
兼舍監小學校訓導檢定委員 增田松之 二
兼舍監小學校教員檢定委員 高橋成則 三
小學校教員乙種檢定委員 江崎尙三 三
小學校教員乙種檢定委員 正見愼一 四
助教諭心得（月一五） 濱野飢三郎

訓導
後長松二郎 三
宇田川藤四郎 四
書記
鈴木保太郎 四
中島協和 四
小學校教員乙種檢定委員 平戶鄰
小學校教員乙種檢定委員 兒玉萬藏

旭 中村綱太郎
三輪野江 吉川彥成
早稻田 平本藏之輔
八木鄕 齋藤青三郎
櫻井 篠田喜兵衛
富多 加藤惣五郎
川邊 林重四郎
關口金兵衛
高鹿 新八
篠田 清嗣
池內廣愛
新井和平太
中島作平
小林尋一郎 （月八）
囑託教師
鈴木市兵衛 （月六）

典獄七等　文官普通試驗委員從七　福原三箴　前橋市紅雲分村監獄官舍一號

○知事官房

屬

四	文官普通試驗書記	小林	正義
八		鵜川	恒昇
十		本間	源治
（月九）		岡島	重義
六		津金	豐昵
十		西川鍋太郎	
（月一〇）		小田	知直
（月九）		初岡	龜吉

○内務部

部長　書記官武田千代三郎

第一課長兼第二課長第三課長　參事官横尾純喬

屬

三		吉澤賢之助	
四		保坂	武二
四	小學校教員甲種檢定委員	岩神	正矣
五		辻	鉀三郎
六	從八、勳八	江原	政幸
六		富樫	竹次
六		海老原錠三郎	
六		小出	雅雄
七	定委員	山崎	角太
七		佐野	三四
八		山田	立超
八		深井	仙八
九		佐藤	周惣
九		江口	勝治
九		永井四郎三	
九		池谷	恭一
十	勳八	齋藤義太郎	
十		萬田	平次
十		若林	義比
十		廣瀨玉三郎	
（月一一）		佐治	友輔
（月一一）		清水	泰長
（月九）		佐竹	義明
（月九）		飯島	詠海
（月九）		大澤	惣藏
八		竹下久治郎	
八		三浦鋹太郎	
九		川口	鋼
九		鈴木定次郎	
九		雨宮	匡
十		田中	茂
十		高柳虎三郎	
十		富田多鶴吉	
十		津村	勝郎
（月一一）		內山	房吉
（月一一）		武野	政太
（月九）		山田	安利
（月九）		川合	太郎
（月九）		池田	爲作

技手

八		熊澤滿次郎	
七		針谷	五作
九		河田勝三郎	
八		五味	重彥

○警察部

警部長　書記官武田千代三郎

參事官横尾純喬

部長

四	第四課長心得物品會計官吏出納官吏	岡谷	精一
三		石川	泰三

警部

四	神職試驗委員	關	銓三郎
五		森下	鑛吉
五	官報報告主任文官普通試驗委員	吉田	賢二
八	小學校教員甲種檢定委員小學校教員鉉衡委員	吉田輪三郎	
九		長谷部順治	
十		吉井	紀男
九	巡查教習所教授囑託	木野	留吉
九	巡查教習所教授囑託	岡本榮次郎	
九		飛澤	鐵太
九		鹿沼	留吉
七	分任收入官吏出納官吏	富永	久藏
九	大宮分署長出納官吏	中西	正信

技手七

六	官報報告主任文官普通試驗委員小學校教員	竹澤	宗次
六	小學校教員甲種檢定委員	濱口	光慶
六		矢村	定六
八		下山	舟湖
六	官報報告主任文官普通試驗委員神職試驗委員小學校教員鉉衡委員正七	谷村	太刀馬
七等十二級		小西	文之進
六等八級		横尾	純喬

○前橋警察署　前橋市曲輪町

警部　署長　川井菊太郎

○群馬縣　東群馬郡前橋曲輪町

知事二等　從四、勳三　中村元雄　前橋市北曲輪町十七番地

書記官六等　官報報告主任文官普通試驗委員長神職試驗委員長正七　武田千代三郎　前橋市本町十五番地

警部長六等　文官普通試驗委員正七　黒川春造　前橋市北曲輪町警察官舍一號

收稅長五等　文官普通試驗委員從六、勳六　高瀨量　前橋市南曲輪町七十五番地

參事官六等　官報報告主任文官普通試驗委員神職試驗委員小學校教員鉉衡委員正七　横尾純喬　前橋市南曲輪町九十七番地

技師　六等八級　文官普通試驗委員正七　谷村太刀馬　前橋市堀川町第三號

七等十二級　文官普通試驗委員從七　小西文之進　前橋市連雀町第四號

○高崎警察署　西群馬郡高崎町大字連雀町
警部　署長　九
五　分任收入官吏出納官吏　近藤　鍛吉
波加里　馬吉

○澁川警察署　西群馬郡澁川町
警部八　署長
出納官吏　今　鐵平

○安中警察署　碓氷郡安中町大字安中驛
警部　署長
六　分任收入官吏出納官吏　岸田　恭讓
八　松井田分署長出納官吏從七　山縣　衛
九　磯部分署長出納官吏　根岸　善吉

○富岡警察署　北甘樂郡富岡町大字富岡町
警部　署長　九
五　分任收入官吏出納官吏　渡邊　順親
下仁田分署長出納官吏　福地　龍造

○藤岡警察署　綠野郡藤岡町大字藤岡町
警部　署長　九
六　分任收入官吏出納官吏　新居　榮三郎
吉井分署長出納官吏　唐川　唯四郎

○万場警察署　南甘樂郡神川村大字万場村
警部九　署長
出納官吏　狩野　近造

○伊勢崎警察署　佐位郡伊勢崎町
警部　署長
八　分任收入官吏出納官吏　近藤　晋二郎
十　玉村分署長出納官吏　井上　摠三

○太田警察署　新田郡太田町大字太田町
警部　署長
七　分任收入官吏出納官吏　青木　熊太郎
八　木崎分署長出納官吏　山崎　鈷太郎

○館林警察署　邑樂郡館林町大字館林町
警部七　署長
分任收入官吏出納官吏　川畑　卯八郎

○桐生警察署　山田郡桐生町大字桐生新町
警部　署長　九
八　分任收入官吏出納官吏　藤橋　軌之
大間々分署長出納官吏　中川　四郎

○沼田警察署　利根郡沼田町大字沼田町
警部八　署長
分任收入官吏出納官吏　吉田　忠棟

○原町警察署　吾妻郡原町大字原町
警部　署長　十
八　出納官吏　鮫島　正純
長野原分署長出納官吏　高田　宗規

○收稅部
部長　收稅長　高瀨　量
收稅屬
二　第一課長文官普通試驗委員　中野　協藏
三　第二課長物品會計官吏　横井　勝吉
六　文官普通試驗書記　染谷　琢磨　七　遠藤　岩八
七　中村　次郎吉　八　乙咩　足穗
八　悴田　眞穗　九　成澤　衡三郎

○前橋收稅署　前橋市竪町
收稅屬
署長　五　中村　勝治
九　分任收入官吏　黑澤　夏吉　十　梶原　鐵摩
十　石塚　豐次郎　（月一一）　星野　須賀雄
（月八）　棚橋　直利　（月七）　小島　眞十郎

○高崎收稅署　西群馬郡高崎町大字連雀町
收稅屬
署長　五　吉川　省吾
八　分任收入官吏　權太　六畜　九　鋼直　綱吉
十　林　琢磨　十　鷹野　理十郎
（月一〇）　淺見　嘉久松　（月一〇）　品川　正寬
（月九）　三谷　芳太郎

○藤岡收稅署　綠野郡藤岡町大字藤岡町
收稅屬
署長　六　山根　孝
九　石田　素　十　分任收入官吏　田代　茂太郎
十　齋藤　泰治　（月八）　齋藤　久次郎
（月八）　根本　泰藏

○富岡收稅署　北甘樂郡富岡町大字富岡町
收稅屬
署長　六　佐々木　保之
九　分任收入官吏　庭屋　猪之助　十　竹中　友三郎
（月一〇）　佐藤　甚太郎　（月九）　小安　晢衞

○安中收稅署　碓氷郡安中町大字安中驛
收稅屬
署長　六　戶田　桂二

九　分任收入官吏　布斗　彌　十　梅原　文三郎
（月一〇）　小林　岩造　（月七）　中村　宗次郎

○中之條收稅署　吾妻郡中之條町大字中之條町
收稅屬
署長　七　笹本　英
九　分任收入官吏　高橋　宇志藏　十　上田　乙吾
（月一〇）　靑木　忠吉　（月一〇）　田中　小重郎

○沼田收稅署　利根郡沼田町大字沼田町
收稅屬
署長　八　榎本　嘉助
十　分任收入官吏　藤井　林太郎　（月一〇）　眞壁　貞一
（月一〇）　手島　國藏　（月七）　坂西　銈造

○桐生收稅署　山田郡桐生町大字桐生新町
收稅屬
署長　八　石原　城八郎
九　分任收入官吏　鷲頭　陸太　（月一一）　堀中　時十郎
（月一〇）　大崎　辰馬　（月八）　阿部　龜之進

○太田收稅署　新田郡太田町大字太田町
收稅屬
署長　七　加藤　種太郎
九　分任收入官吏　橋本　正次郎　九　岡松　植茂
（月一〇）　森脇　德太郎

○館林收稅署　邑樂郡館林町大字館林町
收稅屬
署長　七　島　稻雄
九　分任收入官吏　荒井　始八郎　九　武藤　安義
（月一一）　横田　重之　（月八）　戶泉　善作

○伊勢崎收稅署　佐位郡伊勢崎町大字伊勢崎町
收稅屬
署長　七　進藤　惠三
九　分任收入官吏　高間　吉次　九　黑木　清秀
（月八）　飯野　善次郎　（月八）　小出　淺吉

○監獄署
署長　典獄　福原　三箴
監獄書記
六　兼看守長第一課長出納官吏　古田　元銓
八　第三課長　伊東　米三郎
八　西卷　周鑲　八　兼看守長　尾原　勘作
九　兼看守長　福山　鐵藏　十　向島　鐵之助
十　杉原　鍈太郎　十　田中　新次郎
（月一一）　藤平　團八
看守長
七　第二課長　坂口　慶吉
九　笹治　勢太郎　十　片桐　弓次郎
十　伊藤　宗治　十　大野　三平

○高崎監獄支署　西群馬郡高崎町大字宮元町
看守長七　支署長　兼監獄書記　廣瀨　伊藤次
監獄書記十　兼看守長出納官吏　林　鐙太

○東群馬南勢多郡役所　前橋市竪町
郡長七等　從七　八木　始
郡書記
七　近藤　忠一　九　市川　菊松
九　渡邊　長太郎　十　奈佐　金太郎
（月一〇）　奈佐　省三　（月一〇）　分任收入官吏　豐岡　十寸穗
東群馬郡村長
上川淵　手島　榮八　下川淵　三輪　仁平
南勢多郡村長
南橘　金子　伊平治　北橘　田中　四三二
横野　諸田　榮作　敷島　角田　喜十郎
富士見　寒河江　元　芳賀　近藤　嬉兵太
桂萱　田村　庄作　木瀨　下岡　貞吉
荒砥　岡　登喜太　大胡　大竹　勝衞
宮城　前原　甚太郎　粕川　猪熊　文內
新里　竹內　忠藏　黑保根　須藤　和三郎
東　神山　雄一郎

○西群馬片岡郡役所　西群馬郡高崎町大字連雀町
郡長七等　出納官吏從七　深谷　德三郎
郡書記
七　水谷　高贇　七　分任收入官吏　伊藤　善平
八　加藤　新作　九　小熊　誠太郎
十　澤井　環　十　横尾　雄彌
（月一一）　反町　熊藏　（月九）　飯沼　恒哉
（月八）　棚橋　御杖
西群馬郡町長
高崎　天野　宗忠　澁川　外丸　甚三郎
總社　神谷　周吉　金古　間庭　文造
伊香保　福田　與重　倉賀野　松本　勘十郎
同村長
佐野　赤石　英一郎　岩鼻　五十嵐　豐次郎
大類　佐野　福重　瀧川　松本　柳三郎
京ヶ島　八木　仲太郎　東　倉林　森平
元總社　松田　重衛　新高尾　田村　市三郎
中川　茂木　高吉　塚澤　塚越　源八
六鄉　梅山　太喜哉　長野　白石　唯七

久留馬 濱名里丸 室田 清水平四郎
倉田 茂木富司 車郷 高橋要作
箕輪 北爪菊太郎 相馬 青山庄治郎
上郊 塚越庫一郎 堤ヶ岡 飯塚與吉
國府 本多房松 清里 神保宗四郎
駒寄 松岡政吉 古巻 儘田仁右衛門
明治 森田壽太郎 桃井 田中八郎平
豐秋 伊藤源之丞 金島 飯塚孫市
長尾 島田音七 白郷井 小淵傳平
小野上 佐藤束穗 高山 田村和七郎
片岡郡村長
片岡 高橋辰五郎

○緑野 多胡郡役所 緑野郡藤岡町大字藤岡町

郡長七等 從七 甲斐信夫
郡書記 七 分任收入官吏 小澤如風 （兼）南甘樂郡書記 堀越寛猛
八 竹内金次 九 飯島五郎平
十 山本岩太郎 （月九） 廣瀬左太郎
緑野郡町長
藤岡 宮﨑文雄 鬼石 山口芳太郎
同村長
新 田口嘉六郎
神流 高山文英 小野 小林傳平
八幡 伊藤茂吉 美土里 堀越武十郎
平井 富田又平 美九里 須藤七郎
三波川 飯塚志賀
多胡郡町長 吉井 臼田束
同村長
多胡 向井周彌 入野 三木長太郎
日野 小柴重太郎

○南甘樂郡役所 南甘樂郡神川村大字万場村

郡長七等（兼） 緑野多胡郡長 甲斐信夫
郡書記 七 堀越寛猛 八（兼）緑野多胡郡書記 竹内金次
（兼）緑野多胡郡書記 飯島五郎平 十 分任收入官吏 堀口安馬
村長
美原 黑澤又吉 神川 新井泰吉
中野 土屋平内 上野 黑澤源吉

○北甘樂郡役所 北甘樂郡富岡町大字富岡町

郡長七等 從七 利根川孫六
郡書記 八 分任收入官吏 直井三郎 八 鎗井龜太郎
十 新居又一郎 （月一〇） 島田民之助
（月一〇） 鈴木榮次郎 （月九） 千野伊勢松
（月七） 勝田和夫
町長
富岡 籏治邦 一ノ宮 笠原太平
妙義 田村吉五郎 福島 佐藤平八
下仁田 有賀柔五郎
村長
黑岩 月田太郎 高田 小板橋源兵衛
丹生 岡部爲作 小坂 山丸市郎
額部 岡田三津吉 小幡 高橋維清
青倉 福田慶五郎 岩平 矢島源松
新屋 牛込庄五郎 月形 今井太治藏
尾澤 掛川佐一郎 吉田 小柴龜吉
高瀬 原澤粂三郎 馬山 神戸禎三郎
磐戸 齋藤長太郎 西牧 上原太平
小野 大河原泰助 秋畑 中條繁作

○碓氷郡役所 碓氷郡安中町大字安中驛

郡長八等 正八 野村毅
郡書記 七 分任收入官吏 武藤三郎 十 金井忠平
十 森本成德 十 萩原量平
十 齋藤福次 （月八） 藤井德太郎
町長
安中 内田三郎 原市 清水勝三郎
松井田 畑中七郎 臼井 中島正三郎
坂本 市川峯郎 板鼻 川島清一
村長
西横野 飯野藤太郎 東横野 遠間四郎
磯部 堀口仙太郎 岩野谷 白石定衞
八幡 柄澤藤三郎 豐岡 飯野吉三郎
里見 多胡助太郎 秋間 戸塚信太郎
後閑 田中彌壽平 九十九 藤巻桂三郎
細野 上原淸三郎 烏淵 塚越善次郎

○吾妻郡役所 吾妻郡中之條町大字中之條町

郡長七等 從七、勳六 鳥山無可
郡書記 八 古屋時次郎 八 分任收入官吏 尾崎信智
十 塚越定五郎 十 臼井岳
（月一一） 唐澤定四郎 （月一一） 丸橋麟逸
町長
中之條 田中甚平 原 新井淺次郎
長野原 櫻井傳三郎
村長
東 飯塚太郎八 太田 伊能信一郎
坂上 中井總平 岩島 片貝新十郎
嬬戀 黑岩常五郎 草津 山田彌惣治
澤田 山田次郎平 伊參 唐澤李平
名久田 高橋辨次 久賀 原澤富重

○利根 北勢多郡役所 利根郡沼田町大字沼田町

郡長七等 從七 櫻井小太郎
郡書記 七 分任收入官吏 茂木蕃榮 八 高村小文治
（月一〇） 大澤正修 （月一〇） 遠藤正太郎
（月九） 安田龍太郎 （月八） 八木寅次郎
利根郡町長
沼田 安田實穀
同村長
利南 星野銀治 白澤 小林嘉助
東 新井眞作 片品 星野源次郎
川場 久保田健次郎 池田 石田亘助
薄根 長谷川權之丞 古馬牧 眞庭澳之助
水上 木村政太郎 桃野 小野善兵衛
湯ノ原 原澤善次郎 川田 今井惣作
北勢多郡村長
久呂保 澤浦十次郎 糸之瀨 加藤彈司
赤城根 桑原平太郎

○山田郡役所 山田郡桐生町大字桐生新町

郡長七等 正七、勳六 吉見邦直
郡書記 八 分任收入官吏 稻垣耕二 八 山下篤愛
十 鈴木力男 十 小林謙二
（月一〇） 小島菅次郎
町長
桐生 小島春比古 大間々 藤生一次郎
村長
川内 宮下羊太郎 廣澤 菱山德次郎
梅田 石島文十郎 相生 津久井英太郎
福岡 山同藤十郎 韮川 澁澤熊吉
休泊 篠原浦十郎 毛里田 板橋信次郎
境野 野邊三左 矢場川 伏島眞一郎

○新田郡役所 新田郡太田町大字太田町

郡長七等 從七 中村邦彦
郡書記 七 分任收入官吏 田中嚴郎 九 葉住粂三郎
十 中村五十外 （月一〇） 上村豐三郎
（月八） 鹿山龜吉 （月八） 渡邊忍
町長
太田 雨笠三郎 尾島 白石庫之助
藪塚本 藤生大三
村長
九合 對比地幸吉 澤野 碓氷慶作
世良田 金子源助 寶泉 峯崎宗十郎
鳥之郷 大島傳次郎 强戸 岡部駒次郎
綿打 荒牧孫三郎 笠懸 田村五平

○邑樂郡役所 邑樂郡館林町大字館林町

郡長七等 出納官吏 從六 鹽谷良翰
郡書記 八 宮杉啓藏 九 分任收入官吏 高木鑛一郎
十 星野勝作 （月一一） 古屋画一
（月一一） 新美得一 （月九） 田中生三
（月八） 加納豐松 （月八） 森鑛十郎
町長
館林 熊谷直方
村長
郷谷 塚越順四郎 西谷田 北山常吉
大箇野 折原逸太郎 伊奈良 增田甚平
赤羽 芳賀平十郎 千江田 高橋乾
梅島 瀬下義太郎 佐貫 野本五郎次
六鄉 田口紋次郎 三野谷 小林銀次郎
富永 關口佐太郎 永樂 增田市八
大川 田沼竹松 小泉 久保田鍋十郎
長柄 新井金二 中野 川島藤太郎
高島 石井榮八 多々良 今泉米造
渡瀬 小林偵七郎 大島 飯塚宇十郎
海老瀬 齋藤佐傳

○佐位 那波郡役所 佐位郡伊勢崎町大字伊勢崎町

郡長六等 正七、勳六 大野和信
郡書記 八 加藤義質 九 分任收入官吏 峯岸文左久
十 小暮東策 十 後閑平八郎
十 大和房吉 （月九） 尾原徹多
佐位郡町長
伊勢崎 武孫平 境 中澤廣勝
同村長
三郷 小暮英三郎 赤堀 龜井桂作
東 牛久保惣十郎 殖蓮 鈴木久馬
茂呂 大和七平 采女 長沼彌之丈
剛志 星野鷲藏 島 田島善平
那波郡町長
玉村 梅澤良作
同村長
豐受 日野原弦太郎 名和 西村右東
芝根 星野常吉 上陽 内山儀一郎
宮鄉 堀川登喜太

○尋常師範學校 前橋市曲輪町

學校長八等五級 小學校教員甲種檢定委員長小學校教員銓衡委員 正八 大東重善 前橋市南曲輪町九十三番地

教諭
三(下)(奏任待遇) 小學校教員甲種檢定委員小學校教員銓衡委員 坂部 林三郎 前橋市南曲輪町六十五番地
四(上) 小學校教員銓衡委員 渡邊眞一郎
四(下) 鈴木 棟一 五(上) 兼訓導 小林 晉吉
五(上) 兼訓導 渡邊千治郎 五(上) 兼舍監 山口西三郎
五(上) 兼舍監 山田文太郎 五(下) 內田粂太郎
五(下) 兼訓導 室伏力次郎
五(下)(當分月二五) 堀 捨次郎

助教諭
三 林 盛太郎 三 高林 璞藏

訓導
一 朝倉 政行 三 吉田 ノブ
三 折原 佐助 (高等師範學校入學中) 根岸 福彌
五 本多 龜三 五(當分月一〇) 大崎 清吉

書記
四 高島 詠草 五 松澤 万樹平

○尋常中學校 前橋市紅雲分村

教諭
(月六〇) 從七 市野金一郎 (月五〇) 中川泰次郎
(月四〇) 石渡 繁胤 (月三五) 武安勇三郎
(月三〇) 澤 玄三

助教諭
(月一六) 山本 信孝
(手當月五)(兼) 尋常師範學校助教諭 林 盛太郎
(手當月五)(兼) 尋常師範學校教諭 高橋 璞藏
(月一五) 兼舍監 古澤 藤市 (一二) 中西 弘造
助教諭心得(月二五) 井手 義信

書記
(月一二) 渡邊金次郎 (月一〇) 本間 進三

○前橋市役所 前橋市曲輪町

市長(年四〇〇) 非職群馬縣警部 彌城 友次郎
助役(年三〇〇) 笹治 元

名譽職市參事會員
生形柳太郎 藤井新兵衛
江原桂三郎 勝山牧次郎
喜多 正雄 田口永八郎

○千葉縣 千葉郡千葉町

知事 二等 正五、勳四 兵頭 正懿 千葉郡千葉町寒川官舍
書記官 六等 官報報告主任文官普通試驗委員長主任收入官吏 正七、勳六 三郵 實 千葉郡千葉町寒川一〇一四
警部長 六等 正七 齋藤 秋夫 千葉郡千葉町千葉二官舍
收稅長 五等 主任收入官吏 從六 立石 包正 千葉郡千葉町寒川一〇〇一
參事官 七等 小學校教員甲種檢定委員長小學校教員銓衡委員官國幣社神職試驗委員長 從七 河村 彌三郎 千葉郡千葉町寒川九六四
典獄 七等 現金出納官吏 從七 千石 學 千葉郡千葉町寒川九四九

○知事官房

屬
三 官報報告主任文官普通試驗委員官國幣社神職試驗委員 野津 彰
七 文官普通試驗書記 杏內 德三 七 官報報告主任 小沼 量平
十 濱田平九郎 十 岩佐鍾五郎
(月一〇) 鵜澤 喜重 (月八) 田中 耕藏
(月八) 坪田虎太郎 (月八) 關川 重安
(月八) 田島 泰三

○內務部

部長 第一課長兼第三課長 書記官 三郵 實
參事官 河村 彌三郎

屬
一 第二課長 從七、勳八 宮田保太郎
一 第四課長現金出納官吏物品會計官吏 從七、勳八 井上 如苞
三 第五課長 山村 鐘吉
四 小學校教員甲種檢定委員小學校教員銓衡委員 神明 久作
四 三好 卷次 四 文官普通試驗書記 大野德太郎
四 小學校教員甲種檢定委員小學校教員乙種檢定委員 岡 齊
四 中山 保明 四 筒井 辨治
五 杉山 錦平 五 早川 重三
五 井上定次郎 五 本間 正行
六 川瀬 渡 六 福原 衞
六 宮原鐵太郎 六 渡邊 勤
六 小學校教員甲種檢定委員小學校教員乙種檢定委員 島田 衷
六 大島 文世 六 兼知事官房書記官報報告主任 長井 諫三
七 大井 敏 七 官國幣社神職試驗委員 飯尾 董一
七 植田 龜齡 七 高橋 遊龜
七 竹田孝太郎 七 江澤 通明
八 金崎 武司 八 竹林 佐介
八 川崎 定次 八 廣井 將德
九 小林彝次郎 九 吉村 定一
九 宮脇 通義 十 國友 眞知
十 齋藤鐵五郎 十 千葉 胤臣
十 江口 昇 十 西教 清司
十 神西要次郎 十 杉山高治郎
(月一二) 馬籠 貞男 (月一二) 高德 忠
(月一二) 富田 房吉 (月一二) 佐藤 小善
(月一二) 山本 憲一 (月一〇) 横田 鐵吉
(月一〇) 並木 藤吉 (月一〇) 村松啓太郎
(月一〇) 勳八 牛田 景任 (月一〇) 山岸松之助
(月九) 石川 昌一 (月八) 佐藤安之助
(月八) 日暮 一雄 (月八) 上田 德三
(月八) 玉井 政助 (月八) 栗田 芳成

技手
三 文官普通試驗委員 小野 政精 四 植田 藤作
六 玖島琢一郎 六 津田 尙人
七 荒井 英也 七 矢澤藤十郎
九 宇佐美彌吉 九 今村 忠誠

○警察部

部長 警部長 齋藤 秋夫

警部
三 警務課長兼保安課長巡查教習所長文官普通試驗委員 石原 重魏
六 高橋 正明 六 市村 敏印
七 羽山 傳次 七 松島 四郎
八 松岡 公達 十 中村 操
(月一二) 茂呂 瑛

○千葉警察署 千葉郡千葉町

警部 署長 五 分任收入官吏現金出納官吏 稻垣 五郎

八 八幡分署長谷 豐太郎　九 檢見川分署長大鐘 朝走
九 鶴舞分署長河野 利光　九 大和田分署長今村 虎藏
十 兼巡査教習所教師中山 彌平　十 足立 斐

○北條警察署 安房郡北條町
警部
署長　五 分任收入官吏現金出納官吏池上 安正
八 鴨川分署長松山 文治　八 曠分署長山內 敏好
九 勝山分署長松永 篤　十 山崎 捨吉

○佐倉警察署 印旛郡佐倉町
警部
署長　四 分任收入官吏現金出納官吏吉田 精一
八 成田分署長宮村 豐　八 遠山分署長山內 敏次
九 木下分署長上泉 秀朗　九 山野 廣
九 我孫子分署長香取 清英

○木更津警察署 望陀郡木更津町
警部
署長　五 分任收入官吏現金出納官吏伊藤 祐成
八 佐貫分署長安本彌平太　十 久留里分署長磯谷 貞
十 秋元分署長大澤 福益　(月一二) 森川 實治

○東金警察署 山邊郡東金町
警部
署長　七 分任收入官吏現金出納官吏松島 理武
八 松尾分署長牧野 治　十 二川分署長木川 洋
(月一一) 長谷川文太

○佐原警察署 香取郡佐原町
警部
署長　五 分任收入官吏現金出納官吏神田 清治
八 小見川分署長小峰 儀助　九 湊 文平

○茂原警察署 長柄郡茂原町
警部
署長　六 分任收入官吏現金出納官吏大塚 武臣
八 一宮分署長現金出納官吏渡邊 洸　八 關南分署長高橋松太郎

○大多喜警察署 夷隅郡大多喜町
警部
署長　八 分任收入官吏現金出納官吏小原 鋹造
九 中魚落分署長鳥海 清　九 勝浦分署長武津 爲世

○松戶警察署 東葛飾郡松戶町
警部
署長　六 分任收入官吏現金出納官吏松田巳之吉
九 關宿分署長武內 治朗　九 野田分署長齋藤 倉吉
九 流山分署長門馬 信好

○福岡警察署 匝瑳郡福岡町
警部
署長　七 分任收入官吏現金出納官吏石津 赴夫
九　多古分署長和田厚次郎

○銚子警察署 海上郡銚子町
警部
署長　七 分任收入官吏現金出納官吏中村 明
十 飯岡分署長林 七太郎

○船橋警察署 東葛飾郡船橋町
警部
署長　七 分任收入官吏現金出納官吏深津 方矩
八 市川分署長新橋 誠夫　九 行德分署長矢島 達

○收稅部
部長 收稅長立 石 包正
收稅屬
三 稅務課長印紙類會計官吏正八、勳八 若森 久高
四 計算課長內國稅徵收官物品會計官吏文官普通試驗委員 市川 正意
六 船場 保明　七 大川 一水
七 佐々木榮次郎　九 長谷川岩次
九 槐 安次郎　九 木原 白照
十 宇津木孟紹　(月一一) 水越 正令
(月一〇) 大江新次郎　(月九) 新妻 安次
(月八) 佐藤 勝彥
○分課未定
收稅屬十 生山 寬彥

○千葉收稅署 千葉郡千葉町
收稅屬
署長(兼)　三 分任收入官吏若森 久高
七 森川 清恒　九 物品會計官吏松下 彌作
九 平井勢次郎　十 畠 義一
(月一二) 榎並 則忠　(月一一) 平田力次郎
○鶴舞派出所
收稅屬九 分任收入官吏小池 銀治

○松戶收稅署 東葛飾郡松戶町
收稅屬
署長　六 分任收入官吏奧田久馬太
八 杏 百太郎　八 森田外與吉
九 物品會計官吏津川 鎭夫　九 小泉義太郎
九 山口德太郎　(月九) 今井喜代次

○佐倉收稅署 印旛郡佐倉町
收稅屬
署長　五 分任收入官吏小島 榮三
九 清水竹太郎　九 山中 茂
九 二宮金一郎　十 田邊欽一郎
十 高田重次郎　十 高橋辰五郎
十　神尾 先
(月一〇)　物品會計官吏山崎 克一
(月八) 久代 元利

○佐原收稅署 香取郡佐原町
收稅屬
署長　五 分任收入官吏大久保鐵三郎
七 梶山 正人　九 横山 浩
九 高橋 由義　十 廣澤 定吉
(月一一) 熊谷 傳三　(月一〇) 高柳 憲章
(月一〇)　丸山誠之助
(月九) 折田 兼利　物品會計官吏河原場政太郎

○銚子收稅署 海上郡銚子町
收稅屬
署長　五 分任收入官吏川井 常孝
八 白井 常教　九 物品會計官吏久保木脩助

九 織本定次郎　九 山田 泰助
十 服部 英雄　(月一一) 脇田茂一郎
(月一〇) 馬籠龍之助
○福岡派出所
收稅屬十　分任收入官吏佐伯 諄

○東金收稅署 山邊郡東金町
收稅屬
署長　七 分任收入官吏宇佐川知彥
八 本鄕 明啓　九 小川 貴
九 小澤銀十郎　九 物品會計官吏福田秀次郎
十 川井 利德　十 菊池 正朔
(月一〇) 湯淺 忠顯　(月八) 松浦石太郎

○茂原收稅署 長柄郡茂原町
收稅屬
署長　七 分任收入官吏谷幡 直
九 酒卷幸三郎　十 物品會計官吏小池 專吉
十 清水 貞吉　(月八) 宍倉彥太郎
(月八) 飯高 廉夫　(月八) 江澤 常治

○大多喜收稅署 夷隅郡大多喜町
收稅屬
署長　七 分任收入官吏青木 正元
九 原田誠太郎　九 鈴木 毅
十 物品會計官吏伊藤郁太郎　十 河村安太郎
(月一〇) 松井 雅廣　(月八) 西山新兵衞

○木更津收稅署 望陀郡木更津町
收稅屬
署長　五 分任收入官吏酒井 孝德

八 物品會計官吏井村平兵衞　八 瀧川 亘平
九 安田卯八郎　九 河野 勝均
十 後藤 正基　十 川幡豐四郎
(月一一) 上床 翁助　(月一〇) 嘉本 勉
(月九) 岩澤熊五郎

○北條收稅署 安房郡北條町
收稅屬
署長　五 分任收入官吏山崎 孫吉
九 加藤 勝馬　九 若松 盛明
十 石川 達男　十 二井 定一
十 物品會計官吏青木啓次郎　(月九) 山崎 重次
(月九) 伊藤善之助
○鴨川派出所
收稅屬
九 分任收入官吏富田 利久　(月九) 小林英太郎

○監獄署
署長 典獄千 石 學
監獄書記
六 兼看守長第一課長阿部武之進
八 兼看守長第三課長心得菅谷寅四郎
九 兼看守長白坂 旅　十 天野 六三
(月九) 武藤 周藏　(月九) 武田 留彌
看守長
七 兼監獄書記第二課長看守教習所長大須賀光顯
八 兼監獄書記三惠 由哲　九 看守教習所教師小泉 扇造
十 麻生 德三
監獄醫
(月四〇) 醫務所長森 理記　(月二〇) 酒井 卷二
(月一五) 吉野眞太郎

○福岡監獄支署　匝瑳郡福岡町

監獄書記七　兼看守長現金出納官吏　粟田　重作
支署長
看守長九　大須賀　寅
監獄醫（月八）　最上　卓爾

○木更津監獄支署　望陀郡木更津町

監獄書記七　兼看守長現金出納官吏　吉原　盛之
支署長
監獄醫（月八）　牧野　友藏

○千葉市原郡役所　千葉郡千葉町

郡長七等　現金出納官吏從七　平山　晉
郡書記
七　分任收入官吏　影山　昇　　九　岡島　榮藏
九　大井　親　　十　瀨川　務
十　笠川　佐助　　十　田村時次郎
（月一〇）　野中昇太郎　　（月一〇）　沖森　數永
（月一〇）　高木　元　　（月九）　鈴木　重光
（月八）　勳八　恒岡俊三郎　　（月六）　淺田　忠善
（月六）　肥田　幸七

千葉郡町長
千葉　鈴木　重雄　　蘇我　板倉利兵衛
大和田　高橋　竹松
同村長
椎名　竹内　石藏　　生實濱野　吉田平太郎
譽田　日暮小二郎　　白井　川島　周助
更科　仲田　泉　　千城　安藤市太郎
都　足立佐左衛門　　都賀　湯淺淺右衛門
幕張　林田孫兵衛　　津田沼　村山吉兵衛
二宮　三山安左衛門　　睦　豐田三郎兵衛
豐富　湯淺　良輔

市原郡町長
姉崎　小泉　喜平　　五井　相川小太郎
八幡　萩原　昇吉　　鶴舞　深山深三郎
同村長
千種　山下　新藏　　東海　吉井　惟久
市原　布施重次郎　　海上　伊藤　祐眞
菊間　鴇田　友七　　濕津　澤　喜三郎
市東　成島　峻造　　市西　栗林勝太郎
養老　東條喜惣治　　戸田　永野文太郎
明治　飯塚　仁吉　　内田　小出佐太郎
高瀧　鳥居壽太郎　　富山　齋藤峰治郎
里見　鈴木福治郎　　平三　渡邊信太郎
白鳥　佐川　榮藏

○東葛飾郡役所　東葛飾郡松戸町

郡長七等　現金出納官吏從七、勳六　田中　一介
郡書記
七　後藤　誠一　　八　分任收入官吏　本庄　政直
九　海津　政脩　　九　鈴木　肅
（月一〇）　石井　錬治　　（月一〇）　作田　潔
（月九）　芦田　中　　（月八）　大内　貞守
（月八）　杉浦　壽　　（月八）　石川　潤
（月八）　橋本　操　　（月六）　川井　育

町長
行德　小澤　十郎　　船橋　在原　震平
八幡　岩澤　久藏　　市川　田沼　由信
松戸　鈴木平兵衛　　小金　板倉　久雄
流山　染谷才兵衛　　野田　宮野三五郎
關宿　伊澤　豐亨
村長
浦安　小島　安靜　　南行德　川合七左衛門
葛飾　齋藤房太郎　　中山　倉橋　忠藏
鎌ケ谷　飯田榮次郎　　大柏　植草　榮一
八柱　秋谷仁右衛門　　國分　藤城泰之丞
明　大塚　一雄　　高木　荒川　八郎
土　金子　貞吾　　馬橋　關武左衛門
八木　大塚久右衛門　　新川　山本市太郎
梅鄕　川鍋利兵衛　　福田　藍澤　勝之
旭　飯田　業助　　七福　大澤忠兵衛
川間　伊藤常太郎　　木間ケ瀨　岩本　嘗衞
二川　鈴木　由哲　　法典　高橋彌五郎
塚田　木村音次郎　　千代田豐四季村組合　寺島雄太郎
田中十余二村組合　吉田邦三郎

○印旛下埴生南相馬郡役所　印旛郡佐倉町

郡長七等　現金出納官吏從七　增子　永八
郡書記
七　土方　功　　八　分任收入官吏　中村　一也
十　宇島式治郎　　十　水上　清
十　湯淺　常德　　十　松崎健五郎
（月八）　水谷林之助　　（月八）　梶原　正清
（月八）　鈴木　幹雄　　（月八）　竹內錠之助
（月八）　松井　忠平　　（月七）　齋藤　憲亮

印旛郡町長
臼井　山上辨三郎　　佐倉　櫻井　義勇
酒々井　宮島新五郎　　木下　山崎　石松
同村長
川上　山本治郎左衛門　　彌富　檜垣　久吉
旭　粟飯原啓佑　　千代田　石井　稻藏
志津　和田　啓藏　　阿蘇　加茂加藤治
內鄕　藤崎　操　　根鄕　中村　深藏
和田　岩井　作造　　八街　木村德太郎
富里　藤崎道太郎　　六合　五十嵐新五郎

宗像　高石　菊藏　　船穗　酒井平右衛門
大杜　植村　國治　　永治　小手理右衛門
布鎌　鹽田平右衛門　　白井谷衛村組合　川上英太郎
本鄕野原村組合　吉植庄之輔

下埴生郡町長
安食　後藤愼一郎　　成田　石原忠三郎
同村長
豐住　山本　賢七　　久住　神山三郎左衛門
八生　湯淺　貞治　　中鄕　加藤　佐平
遠山　岩澤　秀亮

南相馬郡町長
布佐　町長職務管掌者郡書記　中村　一也
我孫子　飯泉　喜雄
同村長
湖北　高田淺右衛門　　富勢　鈴木　皐
風早　中臺　佐吉　　手賀　湯淺與五右衛門

○長柄上埴生郡役所　長柄郡茂原町

郡長八等　現金出納官吏正八　三田　勝俊
郡書記
七　分任收入官吏　鈴木　義敏　　八　增川　賴風
十　大島仲太郎　　（月一一）　墨田　信三
（月一一）　檜田　和　　（月一〇）　阿井　淳
（月九）　鵜澤　藤江　　（月八）　越川　鋼平
（月八）　鹿野　好之　　（月六）　藤枝　廣正

長柄郡町長
一宮　宮重半次郎　　帆丘　金澤　利八
茂原　宇佐美平吉良
同村長
東浪見　鵜飼　卯八　　太東　大高玉治郎
土睦　市原　粂藏　　一松　諸岡太郎左衛門
八積　井下田知一郎　　高根本鄕　田中　啓吉
東鄕　加藤三郎治　　關　板倉長治郎
白潟　片岡　治部　　南白龜　齋藤　佐吉
豐岡　三橋　幸吉　　新治　鬼原禎一郎
豐田　吹野　重造　　二宮本鄕　高山　秀蔭
上長柄　岡本　豐三　　日吉　小倉　忠藏
水上　近藤平六郎

上埴生郡町長
廳南　前橋伊十郎
同村長
西　若菜　虎吉　　東　今井　深
鶴枝　河野小八郎　　豐榮　唐鎌忠三郎
五鄕　荒井與三郎

○山邊武射郡役所　山邊郡東金町

郡長七等　現金出納官吏從七、勳六　松崎　省吾
郡書記
七　北原鑛次郎　　八　縣　幹
十　分任收入官吏　野崎　恒藏　　十　增井　確一
十　額賀　鈴三　　十　小澤　勝
（月一〇）　板倉　折枝　　（月八）　齋藤誠之助
（月六）　菊池　義夫

山邊郡町長
東金　布施　甚七　　土氣本鄕　木村龜太郎
大網　矢部　哲
同村長
公平　川崎　善平　　源　石田熊三郎
丘山　鶴岡禮太郎　　大和　華表兵吉郎
瑞穗　今井　寬司　　山邊　金坂善九郎
增穗　小倉京四郎　　福岡　鈴木幸太郎
白里　齋藤四郎右衛門　　豐海　川島權次郎
片貝　鈴木　一　　正氣　廣瀨傳三郎
豐成　三宅　孝　　鳴濱　鶴岡清次郎

武射郡町長
成東　伊庭　弘道
同村長
日向　京相定次郎　　南鄕　石橋　逸平
綠海　梶尾貞一郎　　蓮沼　三堀榮喜知
上堺　海保　史夫　　大平　秋庭庄右衛門
松尾　里見富三郎　　大富　飯塚　榮雄
睦岡　鈴木　祥英　　豐岡　秋葉　勇吉
橫芝　伊藤　亮平　　大總　伊藤　顯治
二川　小川　確亮　　千代田　麻生元右衛門

○香取郡役所　香取郡佐原町

郡長八等　現金出納官吏正八　行方　豐太郎
郡書記
七　渡邊　信　　八　白石重兵衛
九　分任收入官吏　笹本莊三郎　　九　大田壯太郎
十　笹本　新藏　　十　青野喜兵衛
（月一〇）　松信　半彌　　（月一〇）　澁谷保太郎
（月九）　椎野新之丞　　（月七）　北川政太郎
（月六）　永澤仁兵衛　　（月六）　高柴榮太郎
（月六）　海保　惟一

町長
滑河　櫻井　直藏　　神崎　郡司菊太郎
佐原　從四子　伊能茂太郎　　小見川　成毛源右衛門
多古　久松　勝慈
村長
金江津　青野　新平　　小御門　川瀨太兵衛
高岡　菅澤　啓藏　　米澤　寶田　庄三
瑞穗　高柴縫之丞　　十余島　佃　太郎兵衛
本新島　高城啓次郎　　新島　山來　彥六
東大戸　石橋　泰助　　大須賀　金岡仙之助
本大須賀　萩原文四郎　　香西　伊能　藤助
香取　香取　嘉儀　　津宮　久保木雄藏
大倉　戸村治郎吉　　豐浦　篠塚　麟作

神里 滿石傳右衛門 八都 橋本松五郎
森山 小林新右衛門 亘文 遠藤重次
府馬 鈴木 猛 山倉 木内倉吉
常磐 並木金作 栗源 高橋紋吉
久賀 土屋小右衛門 日吉 布施喜内
東條 千葉久太郎 吉田 依知川榮太郎
中 前林庄輔 飯高 住母家周助
豐和 日色松太郎 古城 成田要作
中和 奈良兼次郎 萬歲 井上勇次郎
神代 木内貞順 笹川 野口 進
橘 柳堀太兵衛 東城 萱谷佐間
豐里 大綱由平

○海上匝瑳郡役所 海上郡銚子町

郡長六等 現金出納官吏銚子測候所長正七、勳六 杉本 駿

郡書記
八 谷口伴次郎 八 宮内瑞枝
八 分任收入官吏 川島智義 十 石井猷助
十 松木榮枝 十 林 英之助
(月九) 窪谷孝顯 (月九) 倉林龍太郎
(月七) 林 十朋 (月七) 芳賀忠弘

海上郡町長
本銚子 谷村常行 銚子 石上忠平
西銚子 渡邊兵右衛門 飯岡 向後直藏
旭 江波戸三朗左衛門
同村長
高神 宮内千秋 豐浦 林喜惣兵衛
海上 島田三郎 船木 澤井藤兵衛
椎柴 床枝丑松 豐岡 伊藤惣吉
三川 加瀨平右衛門 瀧鄉 木内孫兵衛
嚶鳴 宮野政太郎 鶴卷 加瀨長左衛門
富浦 加瀨四郎七 浦賀足川村組合 岩井重兵衛

匝瑳郡町長
福岡 本間彌三郎
同村長
共和 大松千助 豐畑 加瀨四郎兵衛
平和 石毛吉兵衛 椿海 瀧田治郎左衛門
匝瑳 闕 忠兵衛 豐榮 菱木喜内
南條 鈴木豐藏 東陽 越川藤兵衛
白濱 伊藤彥一郎 榮 伊藤長次右衛門
野田 平山常藏 須賀 鈴木和三郎
共興 佐藤柳壽

○望陀、周淮、天羽郡役所 望陀郡木更津町

郡長七等 現金出納官吏從七 永井謙藏

郡書記
八 介川常保 九 小澤直人
九 分任收入官吏 東條雄七 九 寺田寬容
九 佐瀨要一 十 塚本義達
(月一〇) 山田 智 (月九) 山田有年
(月九) 梅原三治 (月八) 鈴木勝次郎
(月八) 鳥海岩太郎 (月八) 長澤鍬雄

望陀郡町長
木更津 時田 莊 久留里 田丸德麟
同村長
眞舟 吉田榮次郎 清川 安田太郎左衛門
巖根 重城 巖 金田 竹内辰之助
神納 多田助左衛門 楢葉 積田勘五郎
長浦 石井周三 中鄉 佐久間革之助
根形 高石彌三郎 平岡 丸村三郎左衛門
馬來田 石井增藏 小櫃 子安三藏
松丘 齋藤新吉 龜山 宮野淺吉
富岡 廣部五郎右衛門 中川 鶴岡音次郎
鎌足 高野 清

周淮郡村長
波岡 鈴木正幹 八重原 岸 萬吉
周西 坂井四郎治 中 水野茂八
小糸 勝 紋次郎 秋元 富 豐吉
三島 眞坂朝三郎 周南 柴崎松五郎
貞元 平田善次郎 飯野 小川信方
青堀 平野一作 富津 磯崎永治郎

天羽郡町長
佐貫 大森 俊 湊 鈴木安之助
同村長
吉野 白井 靖 大貫 三木文左衛門
環 高梨兵之助 駒山 島野貞助
天神山 鈴木芳兵衛 竹岡 鈴木六郎右衛門
金谷 鈴木誠之助 豐岡關村組合 絹村友三郎

○夷隅郡役所 夷隅郡大多喜町

郡長八等 現金出納官吏正八 菅井 雄

郡書記
八 齋藤信道 八 分任收入官吏 植月董明
九 永井祐壽 九 安西國平
(月一二) 岐部文等 (月一二) 君塚 侃
(月九) 貝塚虎吉 (月八) 安田季嘉
(月八) 吉野 晃

町長
勝浦 伊藤健之助 大多喜 鋤柄亘司
國吉 大曾根得一郎 旭 石田作治郎
村長
上野 鈴木 馨 清海 岩瀨善左衛門
豐濱 中村 孝 總野 長田宗八
總元 長谷仙太郎 老川 永島國太郎
西畑 君塚義雄 上瀑 鈴木勘三郎
瑞澤 三橋梅吉 千町 田邊卓郎
古澤 麻生文藏 中川 河野董吾
東 池田愛三郎 布施 水上六郎左衛門
御宿 岩瀨武司 中魚落 梶 時治

東海 藍野祐造 中根 大屋貞吉
浜花 渡邊治郎吉

○安房、平、朝夷、長狹郡役所 安房郡北條町

郡長六等 現金出納官吏正七、勳六 吉田謹爾

郡書記
七 相川織江 八 澤 寬藏
九 分任收入官吏 大島邦住
九 鈴木周太郎 十 市野義雄
(月一一) 池谷敬一郎
(月一〇) 鳥海樂治 (月一〇) 筒井洵治
(月九) 鳥居正直 (月九) 伊東松之助
(月七) 吉川 泉 (月六) 遠藤末吉

安房郡町長
北條 高山芳兵衛 館山町豐津村組合 木村 茂
同村長
長尾 山本周吉 西岬 本間里治郎
豐房 安西甚右衛門 館野 飯田千藏
九重 眞田源太 稻都 吉田周藏
神戸 岡崎孝右衛門 富崎 神田吉右衛門

平郡町長
名古 塚越清次
同村長
船形 川名惣重郎 八束 穗積 彥
富浦 山田宗兵衛 岩井 吉野達太郎
勝山 福原七兵衛 保田 岩崎善右衛門
佐久間 池田孝四郎 平群 鋤持浦吉
瀧田 渡邊榮太郎 國府 平柳重藏

朝夷郡村長
七浦 宇山莊作 曦 勳大建部丑之輔
健田 佐藤伊太郎 千歲 大川長三郎
豐田 庄司雅二郎 丸 鈴木平七
北三原 相澤林藏 南三原 三幣萬司

和田 屋城市左衛門 江見 波々壁寅松

長狹郡町長
鴨川 縣 房儀 天津 小澤直光
同村長
太海 鈴木松五郎 曾呂 座間藤吉
大山 石田浦吉 吉尾 磯貝岩次郎
由基 佐生正郎 田原 鎌田才治
西條 飯塚耕太 東條 鳥海清治
湊 鈴木重三

○尋常師範學校 千葉郡千葉町

學校長八等五級 文官普通試驗委員小學校教員甲種檢定委員長小學校教員乙種檢定委員小學校教員銓衡委員正八 豐岡俊一郎 千葉郡千葉町千葉一〇一四

敎諭
三(上)(奏任待遇) 小學校教員甲種檢定委員小學校教員乙種檢定委員小學校教員銓衡委員 富津龜三郎 千葉郡千葉町千葉七一七
四(下) 小學校教員甲種檢定委員小學校教員乙種檢定委員 石井 要
四(下) 小學校教員甲種檢定委員小學校教員乙種檢定委員 堀井覺太郎
四(下) 兼舍監小學校教員乙種檢定委員 中島喜一
四(下) 小學校教員乙種檢定委員從七 松岡太愿
四(月二八) 小學校教員乙種檢定委員 野田瀧三郎
五(上) 兼舍監附屬小學校主事小學校教員甲種檢定委員小學校教員乙種檢定委員小學校教員銓衡委員 小池民次
教諭心得(月二八) 永井甲子郎

助敎諭
二 小學校教員乙種檢定委員 倉茂福松
二(月二三) 兼書記小學校教員乙種檢定委員 村田嘉識
二(月二二)(兼) 尋常中學校助敎諭 亘理寬之助
三(月一八) 當分舍監事務取扱小學校教員甲種檢定委員小學校教員乙種檢定委員 岡山秀吉
三(月一八) 小學校教員乙種檢定委員 田中正尾
三(月一七) 小學校教員乙種檢定委員 鈴木十郎
四 小學校教員乙種檢定委員 香川熊藏
四(月一三) 小學校教員乙種檢定委員 小川もみ

訓導
一(兼) 尋常中學校敎諭 土田忠二
四 堀越源治郎 四 御園生卯七
五 高原源三郎 五 角田幸吉
五(月二〇) 峰島てい

書記
四 菰田倫之助 五 原田 直

○尋常中學校 千葉郡千葉町

學校長(年八四〇)(奏任待遇) 正七 梅若誠太郎 千葉郡千葉町千葉五八〇

敎諭
(月四〇) 土田忠二 (月三三) 影山貴巳
(月三〇) 池内源七 (月二七) 大久原安次
(月二七) 福井安舒 (月二五) 萱間保藏
(月二五) 大澤小源太

助敎諭
(月二二) 亘理寬之助 (月一八) 塚本米次郎
(月一五)(兼) 尋常師範學校助敎諭 香川熊藏

（月一五）助教諭心得 加藤 成美（月一三）
書記（月一〇）
彙寄 古澤 貞造
記 竹内錦四郎
上原 保俊

○千葉病院 千葉郡千葉町

院長 第一高等學校教授正六 長尾 精一
司療醫長 第一高等學校教授從六 荻生 錄造
第一高等學校教授正七 三輪 德寬
第一高等學校教授從六 瀨川 昌耆
第一高等學校教授從六 大西 克孝
第一高等學校教授正七 筒井 八百珠
司療醫（月四〇）（兼） 監試醫 森 理記
（月二五） 荒野 力雄（月二二） 堀井 宗一
司療醫心得（月一八） 黑田 計吉
當直醫（月一六） 平田 豁平（月一四） 杉山 直吉
（月一四） 關根 庄藏（月一二） 小林久太郎
（月一二） 行山長四郎
藥室長（手當年一〇〇） 第一高等學校教授從七 池口 慶三
調劑監（月一七） 勳七 黑川 爚
藥室員（手當月一〇） 第一高等學校助教授 織田 長表
調劑生（月八）
調劑生見習（月三） 高倉喜惣治
事務長（月三〇） 小菅英次郎
事務員 吉野 貴道
（月一二）
病室取締（月九） 板倉吉右衛門（月一二） 田邊聰左衛門
鈴木 太郎（月九） 長谷川高忠

○茨城縣 水戸市大字上市

知事 二等 正五、勳五 高崎 親章 水戸市大字上市南三ノ丸
書記官 四等 官報報告主任文官普通試驗委員長神職尋常試驗委員主任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏正六、勳五 渡邊 孝 水戸市大字上市北三ノ丸
警部長 六等 文官普通試驗委員陸軍憲兵少尉正七 川上 親義 水戸市大字上市南三ノ丸官舍
收稅長 五等 文官普通試驗委員主任收入官吏從六、勳六 永田 盛信 水戸市大字上市泉町片町
參事官 七等 文官普通試驗委員小學校教員銓衡委員從七 竹内 熊二 水戸市大字上市天王町
技師 七等十二級 從七 野田 六次 水戸市大字上市梅香
典獄 八等 正八 古城 彌二郎 水戸市大字上市北三ノ丸官舍

○知事官房

屬 大 文官普通試驗委員 留三郎 館
八 三木芳太郎
十 清水大次郎
十 澤 政常（月一〇）
（月九） 小川 守道

○內務部

部長
第三課長 書記官渡邊 孝
參事官竹內熊二
屬 一 第二課長兼第五課長文官普通試驗委員正八、勳八 久野 政栽
三 池田 序介
四 桂 謙吉
五 鹿討直五郎
六 瀧川 要政
六 江橋 克己
六 橘川 時猷
六 小林 顯秀
七 坪井元二郎
七 原田 明誠
七 谷口助之進
七 粟生 彙藏
八 安島 善從
八 富田 政成
八 白石 肇
第一課長官報報告主任文官普通試驗委員 和知 忠順
第四課長 一色 範叙
中島 泰雄
倉田亮次郎
手塚 憲進
尙明
小學校教員檢定委員小學校教員 丹 誠
職務等節試驗委員 柳
糸賀 燻
根本 艮顯
野村 正德
雨谷 敏行
杉浦 正木
璃寬
石井源次郎
小學校教員檢定委員 久木 久俊
大關 信親
川崎 胤春

○警察部

警部長 川上 親義

○警察部

部長 和田 實
警技手 清川太三郎
久米 信之
松島 秀橘
武藤 達德
館野 虎雄
齋藤 高三
山本 忠（月一〇）
丹藤原三郎（月一〇）
中村 幹二（月一〇）
富長 榮（月八）
川又 操
小口 燻
齋藤 孝
小關 隆
相馬 峰治
伊藤 豐
齋藤俊一郎
吉川慥太郎
加藤 秀
吉成鋹太郎
檜山吉太郎
村尾鐵五郎

○警察部

部長 警務課長兼巡查教習所長 辻 永光
警部 保安課長 村山吉彌
司郎
巡查教習所教官 新關
古澤 伊平
小野崎通祐
村松 正
技手 八 鈴木 匡曹
外岡 貳定
平井 政先

○水戶警察署 水戶市大字上市

警部 租稅外分任收入官吏歲入徵出外現金出納官吏 有馬 軍治
署長 四

八 下市分署長 樺山 四郎 九 磯濱分署長 小川 進
九 石塚分署長 乾 能知 九 堅倉分署長 吉弘 元利
十 濱野長太郎

○土浦警察署 新治郡土浦町
警部
署長 五 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏勳七 羽田 久遠
十 坂井 勳

○石岡警察署 新治郡石岡町
警部
署長 八 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏 關口 達
九 柿岡分署長 菅谷 光正

○下妻警察署 眞壁郡下妻町
警部
署長 七 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏 村上 則貞
九 眞壁分署長 松井昇三郎

○下館警察署 眞壁郡下館町
警部 六
署長 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏 立花三七郎

○太田警察署 久慈郡太田町
警部
署長 五 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏勳六 原上 肇
十 大子分署長 上川名源五郎 十 小里分署長 渡邊辰之進

○麻生警察署 行方郡麻生町
警部
署長 七 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏 三村熊二郎
九 潮來分署長 日向 昌大 八 玉造分署長 別府 彥麿

○取手警察署 北相馬郡取手町
警部
署長 八 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏 松田 行之
十 守谷分署長 立花 秀一 十 布川分署長 土居 國男

○笠間警察署 西茨城郡笠間町
警部
署長 七 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏 日向 靖
九 東那珂分署長 藤田嘉三郎

○古河警察署 西葛飾郡古河町
警部 六
署長 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏 須鄉源之丞

○松原警察署 多賀郡松原町
警部
署長 七 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏 齋藤 久厚
八 平潟分署長 榊 有功 十 高鈴分署長 野尻宇一郎

○鉾田警察署 鹿島郡鉾田町
警部
署長 八 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏勳八 中野 精一
九 鹿島分署長 岡野 滿辰 九 東下分署長 山崎 瀌

○境警察署 猿島郡境町
警部
署長 八 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏 松脇作兵衛
十 岩井分署長 小園江哲雄

○結城警察署 結城郡結城町
警部 八
署長 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏 松井吉太郎

○水海道警察署 豐田郡水海道町
警部
署長 八 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏 稻留 寬
九 岡田分署長 三浦 五郎

○谷田部警察署 筑波郡谷田部町
警部
署長 八 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏 高木 貞輔
九 北條分署長 天木龜之助

○江戸崎警察署 信太郡江戸崎町
警部
署長 八 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏 本田 一介

○菅谷警察署 那珂郡菅谷村
警部
署長 四 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏 江橋 榮
八 湊分署長 佐藤莊三郎 八 大宮分署長 太田 捨吉
九 小瀬分署長 武藤 哲

○龍ヶ崎警察署 河內郡龍ヶ崎町
警部
署長 六 租税外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏 檜山 信邦
十 牛久分署長勳七 井出 韡

○收稅部

部長 收稅長 永田 盛信
收稅屬 六 税務課長 高木彥太郎
七 石川 尙敏 七 池谷 惟孝
七 大岩 次知 七 加藤 時行
八 小林邦太郎 八 北山 清澄
(月一〇) 今井 惟明 (月一〇) 館 正文
(月一〇) 栗田 本躬 (月一〇) 鵜飼 泰德
(月八) 飯村菊次郎

○水戸收稅署 水戸市大字上市
收稅屬
署長 四 鈴木 重德
八 田中 三郎 九 椎名 克己
九 佐藤 信 十 藤倉 亮
十 根本 純 十 種子島幸之助
十 分任收入官吏租税外分任收入官吏歲入歲出外現金分任出納官吏 大曾根豐彥
(月一〇) 小島熊之助

○笠間收稅署 西茨城郡笠間町
收稅屬
署長 七 山上 吉藏
九 分任收入官吏內國稅徵收費所屬物品會計官吏租税外分任收入官吏歲入歲出外現金分任出納官吏 三田寺 任
九 檜山 義瀌 十 園田 雄熊
(月一〇) 德藏 七郎 (月八) 山村 慶二

○菅谷收稅署 那珂郡菅谷村
收稅屬
署長 六 寺門久米太郎
九 中島 午一 九 山子 義令
十 大津 信正 十 小澤 英俊
吉成 正藏 (月一二) 谷中 忠恕
(月八) 分任收入官吏內國稅徵收費所屬物品會計官吏租税外分任收入官吏歲入歲出外現金分任出納官吏 毛利 俊質

○太田收稅署 久慈郡太田町
收稅屬
署長 五 伏見東二郎
七 從八 上森 孝順 九 小澤 有光
九 瀨尾六三郎 九 川越 亭
十 北條德三郎 十 島崎 武文
(月一〇) 分任收入官吏租税外分任收入官吏內國稅徵收費所屬物品會計官吏歲入歲出外現金分任出納官吏 田山孝之介
(月一〇) 山縣小太郎

○松原收稅署 多賀郡松原町
收稅屬
署長 八 市毛 坦
九 分任收入官吏租税外分任收入官吏內國稅徵收費所屬物品會計官吏歲入歲出外現金分任出納官吏 鈴木 鐸
九 成井 莊七 十 市毛 正生
(月一〇) 植原 裕

○鉾田收稅署 鹿島郡鉾田町
收稅屬
署長 七 高橋 又治
九 分任收入官吏租税外分任收入官吏內國稅徵收費所屬物品會計官吏歲入歲出外現金分任出納官吏 熊瀨川 㬎
九 井上 末明 九 鈴木 豐春
九 須藤 奕見 (月一〇) 池田 島次
(月一〇) 鈴木彥次郎

○麻生收稅署 行方郡麻生町
收稅屬
署長 八 鈴木 正隆
九 分任收入官吏租税外分任收入官吏內國稅徵收費所屬物品會計官吏歲入歲出外現金分任出納官吏 土子松太郎
九 相羽 重壯 十 高木 兼吉
十 加藤 康

○土浦收稅署 新治郡土浦町
收稅屬
署長 五 白井 聞一
九 分任收入官吏租税外分任收入官吏內國稅徵收費所屬物品會計官吏歲入歲出外現金分任出納官吏 石井 邦貞
九 小田部爲亮 九 辻 重宗
九 伊東 達三 十 柴田 精
十 河面陽次郎

○谷田部收稅署 筑波郡谷田部町
收稅屬
署長 八 田部柳三郎
九 小貫七五三次郎
十 分任收入官吏租税外分任收入官吏內國稅徵收費所屬物品會計官吏歲入歲出外現金分任出納官吏 川又 忠元
(月一二) 吉田 彌吉 (月一〇) 木村 安助

○江戸崎收稅署　信太郡江戸崎町

收稅屬

署長　六　豐島　邦昌

九　桑原　道三　十　菅沼　定隆

十　寺門　力

十　分任收入官吏租稅外分任收入官吏內國稅徵收費所屬物品會計官吏歲入歲出外現金分任出納官吏　福田　三郎

(月一〇)　岡田本一郎　(月八)　鈴木　龍

○下館收稅署　眞壁郡下館町

收稅屬

署長　六　關澤　高功

八　酒井　亮

九　分任收入官吏租稅外分任收入官吏內國稅徵收費所屬物品會計官吏歲入歲出外現金分任出納官吏　山下　政俊

九　細谷　忠男　(月一〇)　中根八太郎

(月一〇)　小原　信敬　(月九)　村瀨　鐵衛

○宗道收稅署　豐田郡宗道町

收稅屬

署長　七　高田菊一郎

九　猪早　秀　九　堀越　盛吉

十　分任收入官吏租稅外分任收入官吏內國稅徵收費所屬物品會計官吏歲入歲出外現金分任出納官吏　七字　末吉

十　寺門　德壽　(月一〇)　白土民三郎

○境收稅署　猿島郡境町

收稅屬

署長　八　矢野　義作

九　分任收入官吏租稅外分任收入官吏內國稅徵收費所屬物品會計官吏歲入歲出外現金分任出納官吏　船橋鐐次郎

九　辻　收三郎　九　外岡常三郎

十　石川愛之助　(月一〇)　矢口　修爾

○取手收稅署　北相馬郡取手町

收稅屬

署長　七　原　正作

九　黑岩　衔　九　鶴山　吉致

九　岡野　政孝

十　分任收入官吏租稅外分任收入官吏內國稅徵收費所屬物品會計官吏歲入歲出外現金分任出納官吏　成島　操

(月一〇)　齋藤　泰治

○監獄署　水戸市大字上市

署長　典獄　古城　彌二郎

監獄書記

七　第一課長物品會計官吏　石河　幹正

七　第三課長　後藤　重正

(月一二)　伊藤長太郎

看守長

七　第二課長　菊池鼎五郎

九　服部　敬一

十　大沼　正長

十　看守教習所教官　永井　衛敏

(月一二)　兼監獄書記　尾崎　抱一

監獄醫

(月二五)　醫務所長　萩谷　忠　(月一二)　加藤　望彥

(月一二)　益子　恒輔　(月一〇)　入見　直

○土浦監獄支署　新治郡土浦町

監獄書記七

支署長　兼看守長　加藤　紀堅

看守長十　兼監獄書記　小林　好義

監獄醫

(月一二)　小倉　秀夫　(月八)　小松崎暉一

○下妻監獄支署　眞壁郡下妻町

看守長九

支署長　兼監獄書記正八、勳七　藤田　爲德

監獄書記十　打越　政憲

監獄醫

(月九)　中岫　友彥　(月七)　鐵羅　介然

○東茨城郡役所　水戸市大字下市

郡長七等　從七　福田　晉

郡書記

七　加藤木　甕　八　租稅外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏　玉川　進

九　高橋　純　九　增子　貞

(月一二)　大關　義方　(月一〇)　河井　宜彥

(月九)　森山　元光　(月八)　矢須　德次

(月七)　綿引　德壽　(月七)　川上安之助

(月六)　蘆川　正

町長　小川　橋本顯之介　磯濱　菊池莊右衛門

大貫　石田　輔七

村長　上大野　莊司　邦忠　下大野　佐藤　翁介

稻荷　鈴木重左衛門　大場　吉川　甚助

酒門　江幡德五郎　石崎　飯田　藤太

吉田　住谷平次郎　綠岡　深作淺次郎

常磐　三田寺　逵　河和田　高倉菊次郎

上中妻　小林彌三郎　長岡　木村陸之介

上野合　島羽田恒次郎　白河　郡司　渙

橋　小仁所初之介　竹原　小野　篤平

堅倉　飯島竹三郎　川根　道口精一郎

鯉淵　深谷藏之介　下中妻　谷津新一郎

中妻　大圖淸衛門　渡里　中山淸兵衛

飯富　綿引宇八郎　山根　加倉井六介

石塚　關野　兵吾　小松　興野豹之介

西鄕　加藤　紫作　圷　大森　信敬

岩船　廣木新次郎　澤山　所　寅之介

伊勢畑　蓮田　竹彥

○西茨城郡役所　西茨城郡笠間町

郡長七等　從七　牧野　正倫

郡書記

九　租稅外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏　千葉　常文

十　加藤　溫淸　十　須藤　廸之助

十　河原井正淳　(月一二)　飯村　伊昆

(月一二)　三村　高安　(月九)　佐川　常政

(月八)　小林　永休　(月八)　加茂　政共

町長　笠間　加藤　淳風　宍戸　鈴木　重嗣

村長　岩間　菅谷　量造　南川根　鹽畑藤次郎

北川根　上野長三郎　大原　杉野尾賴安

七會　片岡　義弘　北山內　太田八三郎

南山內　青木教右衛門　西山內　長嶺　正吉

東那珂　大關奇八郎　北那珂　安達金三郎

西那珂　鈴木藤一郎

○那珂郡役所　那珂郡菅谷村

郡長七等　從七　床井　弘

郡書記

七　多治見國明　九　租稅外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏　安藤　俊章

九　木名瀨芳太郎　九　玉川　安

十　長谷川鐵次郎　(月九)　栗原六次郎

(月九)　沼野井維儀　(月八)　榊　壽

(月八)　平野金次郎　(月七)　美濃部久成

(月七)　中島　直司　(月七)　鈴木忠之介

町長　湊　酒泉　溫忠　平磯　根本與一衛門

大宮　松井　端

村長　前渡　照沼　清多　中野　安　資農夫

勝田　武石誠左衛門　川田　菊池　直健

佐野　木名瀨恒之介　村松　照沼恒太郎

石神　黑澤　修　神崎　小田倉平助

額田　關　龜三　菅谷　藤咲英次郎

五臺　植田　斂行　柳河　片岡　隣

國田　山田縫殿介　戸多　鹿島　豐彥

芳野　宮本　逸三　木崎　古谷　德平

瓜連　木內　千吉　靜　小橋伊之次郎

大場　安藤幾之進　上野　中崎　本治

大賀　眞崎　諒　玉川　綿引　英

鹽田　大貫　一　山方　根本　强

檜澤　小室　政雄　小瀨　岡崎善衛門

野口　關澤長次郎　長倉　塙　源次郎

八里　桑名佐次郎

○久慈郡役所　久慈郡太田町

郡長七等　從七　豐田　滋

郡書記

七　筧　保　八　瀧田　浩

九　山中　幸教　九　租稅外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏　櫻井　忠順

十　橫田　尚文　十　栗原　利忠

(月九)　大森　誠　(月八)　市毛　太一

(月八)　柿崎　景隆　(月六)　勝村德次郎

町長　大子　菊地　武保　太田　菊地　秀彥

久慈　五來瀨一郎

村長　機初　稻田信左衛門　世矢　高橋　信一

坂本　安島健之介　東小澤　黑澤　安

西小澤　中村誠之介　幸久　宇野　壽之

佐竹　中村源三郎　郡戸　根本久之介

久米　成井　德有　金鄕　荒井　軍司

世喜　生天目彌平次　金砂　山田　直心

天下野　後藤道之介　染和田　後藤吉兵衛

山田　石井甚五兵衛　譽田　黑羽　專介

佐都　武藤　周誠　河內　和田東八郎

賀美　北野勇太郎　小里　白石　宇內

生瀨　大藤　猛彥　宮川　菊地　武修

黑澤　飯村紀七郎　佐原　神永　秀介

袋田　益子　祐次　上小川　宮田　德藏

下小川　村田　弘　諸富野　小瀧　健

依上　木澤源太郎

○多賀郡役所　多賀郡松原町

郡長八等　正八　篠　有隣

郡書記

八　古澤　重壽　九　租稅外分任收入官吏歲入歲出外現金出納官吏　高橋　種成

十　樫村　辰　十　池島　逸郎

十　太田　平　(月八)　大石　通正

(月七)　山崎　德基　(月七)　小林虎次郎

(月六)　小室　義爲

町長　豐浦　大津　鐵藏　松原　小峰　節

河原子　鈴木建太郎　大津　西丸　健夫

平潟　小松紋兵衛

村長
坂上 佐藤欣一郎 國分 大窪定七
鮎川 益子竹次郎 高鈴 長山重夫
日立 根本兼松 日高 樫村繁
黒前 樫村辰三 櫛形 橋本延
松岡 城戸保 高岡 沼田直道
南中郷 柴田勳 北中郷 近藤忠平
華川 二田幸 關南 吉川忠章
關本 渡邊喜八郎

○鹿島郡役所 鹿島郡鉾田町

郡長八等 正八 穗積權司
郡書記 七 租税外分任収入官吏歳入歳出外現金出納官吏 高橋矩忠 九 大内直
九 野口貞幹 十 青木勇雄
十 鈴木春吉 (月一〇) 小沼正一
(月九) 逸見芳三郎 (月七) 小川有慶

町長
鉾田 堀米弘道 鹿島 鈴木茂助
村長
夏海 清宮久 大谷 吉川治一郎
沼前 海老澤孝平 德宿 中村實
諏訪 小沼哲太郎 新宮 石山義隆
上島 田山稔之輔 白鳥 門井源左衛門
大同 池田順之助 中野 谷田川助之丞
波野 大久保甚一郎 豐郷 笠貫亮造
豐津 小倉大四郎 高松 志築源左衛門
中島 沼田直輔 輕野 有馬忠三
若松 齋藤憲常 矢田部 高木融
東下 管宮宇平

○行方郡役所 行方郡麻生町

郡長八等 正八 川田久喜
郡書記 七 小澤彌太郎 九 租税外分任収入官吏歳入歳出外現金出納官吏 永井弓男
九 鈴木昌夫 (月一一) 横山義寶
(月一〇) 岩脇安俊 (月八) 手賀虎尾
(月八) 松本金次郎 (月七) 百瀨幸雄

町長
麻生 立原逸平 潮來 窪谷作太郎
玉造 宮内又兵衛
村長
香澄 森田重衛 八代 窪田鑿
津知 草野祐七 大生原 風間能治
太田 丸木貞信 大和 荒野精一
津澄 青木昇哉 要 前田清
武田 海老原光以 立花 舟串行藏
現原 仁平孫衛門 玉川 西谷清次右衛門
行方 高野貞基 小高 宮田音次郎
手賀 小松崎又四郎 延方 今泉覺太郎

○信太河内郡役所 信太郡江戸崎町

郡長七等 從七 汾陽光治
郡書記 八 租税外分任収入官吏歳入歳出外現金出納官吏 川又善太郎 九 伊藤篤丸
九 川角長吉 九 飯田彰
十 早川悠 (月一二) 村田兵司
(月八) 上野律之助 (月八) 清水省吾
(月八) 岡崎悅太郎 (月八) 福田勤
(月七) 片平市次郎 (月六) 村山德太郎

信太郡町長 江戸崎 安井權左衛門
同村長
君賀 來栖藤右衛門 沼里 飯島權兵衛
奥野 富山暢 君原 淺野兵吾
阿見 湯原九兵衛 鳩崎 淺野甚五兵衛
木原 坂本長左衛門 舟島 吉田貞藏
安中 平野隆助 東 飯田太一郎
中家 石川眞琴 浮島 宮本石太郎
河内郡町長 龍ケ崎 岡田省三
同村長
大宮 豐崎芳男 生板 高野格三郎
源清田 鈴木壽三郎 長竿 田中理平次
柴崎 小倉平作 根本 平井万太郎
長戸 北山弘吉 八原 石塚藤一郎
岡田 高島庄一郎 驅柴 和田半左衛門
牛久 黒須彥市 莖崎 石山房之進
小野川 櫻井藤五郎 太田 岡野喜重
高田 小川甚五兵衛 大須賀 小泉廣城
伊崎 根本八郎兵衛 阿波 藤生一郎
古渡 永長忠平

○新治郡役所 新治郡土浦町

郡長七等 從七 手塚任
郡書記 七 伊藤光德 九 神谷近
九 租税外分任収入官吏歳入歳出外現金出納官吏 羽成節男
九 安藤近次 十 木村省三
十 神戸和美 十 小松崎房
(月一〇) 横山義德 (月七) 岡田信之助
(月六) 野山雄連 (月六) 中根友睦
(月六) 石山清重 (月六) 國谷眞三

町長
土浦 檜山信可 眞鍋 菊田彌五兵衛
高濱 川島佐一郎 石岡 矢口大次郎
柿岡 平寬之
村長
上大津 小宮守通
下大津 久保田理右衛門
美並 古川定助 牛渡 宮島勝助
佐賀 小室縫左衛門 安飾 竹内仙右衛門
志士庫 根食作太郎 關川 小松崎八衛門
玉川 坂茂重 田余 高橋理三郎
園部 眞家昌五郎 瓦會 小河原文三郎
林 三輪瀧之助 戀瀨 木村敬一
葦穗 鈴木兵五郎 小幡 飯田林平
小櫻 山田藤太郎 志筑 兵藤政一
新治 矢口文四郎 七會 都賀岩太郎
都和 岩瀨市郎右衛門 藤澤 鈴木清之助
斗利出 淺野廣三郎 榮 沼尻半兵衛
九重 關本國之助 栗原 宮本元吉
葛城 黒田慶三郎 大穗 高田矢太郎
田水山 大里銀次 三 福田信太郎

○筑波郡役所 筑波郡谷田部町

郡長七等 從七 水谷千波
郡書記 八 租税外分任収入官吏歳入歳出外現金出納官吏官有物貸渡賣渡評價委員 今川卓爾
八 内田央太郎 (月一〇) 木村半之助
(月八) 田上貞吉
(月八) 官有物貸渡賣渡評價委員 神立茂三郎
(月八) 大部豐功 (月七) 桑原清記
(月七) 飯田柳太郎 (月大) 莊司金之助
(月大) 三岡六郎

町長
谷田部 今川俊一郎 筑波 青木仙三郎
村長
小張 吉葉正男 板橋 張谷正三郎
久賀 芥山惣七郎 三島 伊勢山武三郎
谷井田 根本政次 眞瀨 山田豐藏
豐 直井碩次郎 島名 石川仙吉
旭 久保田雄輔 鹿島 農島辰次郎
十和 草間記右衛門 福岡 飯泉全左衛門
上郷 鈴木謹吉 吉沼 柴原定一郎
作岡 飯塚眞吉 菅間 古宇田八郎
田井 石井保太 小田 小泉敬一郎
山ノ莊 井阪太右衛門 高道祖 吉原五郎平

○眞壁郡役所 眞壁郡下館町

郡長七等 從七 陽等
郡書記 七 塙同 九 川島喜和
九 福原貞
十 租税外分任収入官吏歳入歳出外現金出納官吏 岡田信盈
十 關正彬 (月一〇) 山田忠行
(月一〇) 衣笠鉎次郎 (月八) 伊藤景治
(月九) 市村榮治郎 天野暉廣
(月六) 森市太郎

町長
關本 西村貞助 眞壁 市塚佐一郎
下館 井上織江 下妻 沼尻權次郎
村長
竹島 大和田貞之丞 養蠶 篠崎健三郎
河間 小野塚善三郎 中 早瀬孝治郎
五所 添野正造 伊讃 奈良部宗十郎
大田 堀井彌惣治 上妻 大島孝三郎
河内 齋藤麻之介 川西 塚田董之助
騰波ノ江 永瀬定太郎 黒子 市村五齊門
嘉田生崎 齋藤多一郎 村田 新井恒四郎
鳥羽 古橋清三郎 上野 飯村知有造
大 清水與一郎 長讃 高松市太郎
古里 鈴木岩之進 谷貝 中村敬一郎
紫尾 廣瀨泰一郎 樺穗 長岡寬十郎
雨引 勝田四郎 小栗 中原義次

○結城、岡田、豐田郡役所 豐田郡宗道村

郡長七等 從七 高橋諸隨
郡書記 八 加倉井楯夫 九 平塚喜右衛門
九 租税外分任収入官吏歳入歳出外現金出納官吏 片岡次郎吉
九 國府田雄四郎 十 輕部次郎
(月一〇) 西村左門 (月一〇) 野島易簡
(月八) 山崎克德 (月六) 林多氣雄
(月六) 古澤伊代吉 (月六) 飯塚靜

結城郡町長 結城 長澤一喜
同村長
上山川 會澤久一 江川 池田政藏
山川 沼田麻造 中結城 爲我井彌七郎
下結城 宮本爲三郎 名崎 染野保三郎
岡田郡村長
安靜 高木保三郎 大形 松田太一郎
飯沼 秋葉杢之助 菅原 岡野重左衛門
大花羽 石塚淸一郎 豐岡 星久馬
豐田郡町長 水海道 長塚重明
同村長
西豐田 關龜次郎 豐加美 中島清喜
總上 猪瀨市太郎 宗道 松村脩平
蠶飼 國府田利兵衛 豐田 荒川又五郎
玉 小林高之輔 石下 新井球三郎
五箇 猪瀨嘉吉 三妻 古矢美三雄

○西葛飾猿島郡役所 猿島郡境町

郡長七等 從六、勳五 中川忠純

郡書記
八 租稅外分任收入官吏議入議出外現金出納官吏 外池吉藏　八 糸井周平
九 永井秀行　十 安積健
(月一〇) 加藤正之　(月九) 長濱近之進
(月九) 秋庭彌一郎　(月八) 澤畑安次郎
(月八) 谷津雅　(月七) 川輪啓之助
(月七) 岩松徹

西葛飾郡町長
古河 大澤理右衛門
同村長
新郷 江田喜代之助　勝鹿 三田周助
岡郷 諏訪數馬　櫻井 船橋利喜藏
香取 齋藤忠次　五霞 栗原僖平
猿島郡町長
境 池田四郎
同村長
静 田村兼三郎　長田 菅谷健藏
八俣 關根龜藏　猿島 野村祐七
森戸 倉持傳次郎　生小菅 塚原積藏
逆井山 稲毛田儀藏　七重 眞中作
沓掛 倉持久右衛門　弓馬田 小林林藏
飯島 林源七　神大實 江口喜猪
岩井 中山勘一郎　七郷 南佐重
中川 横島正治　長須 相野谷仙松

○北相馬郡役所　北相馬郡取手町

郡長 八等 正八 和田忠
郡書記
八 岡田德　九 寺田臺二
九 上野山鬼三郎　十 租稅外分任收入官吏議入議出外現金出納官吏 伊藤孝太郎
十 大崎藤太郎　(月一〇) 中崎福次郎
(月八) 根本守　(月七) 長塚公一
町長
守谷 平尾讓吉
取手 谷澤一郎
相馬 大野平藏
布川 海老原平作
村長
菅生 佐賀安助　長崎 古谷浩夫
小絹 吉田三郎　大井澤 海老原與兵衛
大野 椎名和四郎　高野 石塚勝右衛門
高井 中久木周平　稲戸井 飯田治助
寺原 青芳覺右衛門　井野 海老原莊作
六郷 宮本健三郎　山王 京坂力之助
高須 吉田常七　北文間 山崎甚兵衛
文 五十風彌三郎　文間 山田利重郎
東文間 高橋清次郎　內守谷 鈴木孝
川原代 菊地重左衛門

○尋常師範學校　水戸市舊城內

學校長 八等五級 文官普通試驗委員小學校教員檢定委員長小學校教員銓衡委員 正八 越智直　水戸市大字上市備前町
教諭
三(下)(奏任待遇) 小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員 安東辰次郎　水戸市大字上市裏南町
四(上) 小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員 中村爲邦
四(下) 舍監 廣田文則　五(上) 佐々木響
助教諭
二 舍監 矢幡幸三郎　二 福井直正
二 舍監 石川勝元　三 豐田伴
三 舍監 建部元一郎　三 淺田多實
四 舍監 小原俊賢
訓導
二 兼助教諭 富澤直禮　三 關口英之助
四 片岡米造　五 久保田大次郎
五 石川午次郎　(月七) 大高ツル
書記
三 林豐次郎　五 高田捨吉

○尋常中學校　水戸市大字上市

學校長(年一二〇〇)(奏任待遇) 文官普通試驗委員 從七 渡邊讓　水戸市大字上市表五軒町
教諭
(月七五) 高階於菟次　(月六〇) 河野通章
(月五〇) 藤島猪之助　(月三〇) 龜井善述
(月三〇) 野田十代次　(月三〇) 土居嘉四郎
(月三〇) 土浦市松
助教諭
(月二五) 神職尋常試驗委員 石川重房
(月一五) 川路新吉郎　(月一五) 武政義則
書記
(月二〇) 篠原節　(月一二) 皆川眞澂
農事巡迴教師
(年八〇〇)(奏任待遇) 織田又太郎
(月三五)(判任待遇) 田口鈼三郎　(月二〇)(判任待遇) 吉川榮吉
(月一五)(判任待遇) 篠原和三郎　(月一五)(判任待遇) 宇野慶之助

○水戸市役所

市長(年五〇〇) 小宅時正
助役(年三〇〇) 栗原敬恭
名譽職市參事會員
大高織右衛門　大津金兵衛
關恕　富田彦市
西野元聿　小山田勝貞

○栃木縣　河內郡宇都宮町

知事 二等 正五、勳五 佐藤暢　栃木縣官舍甲第一番
書記官 五等 官報報告主任文官普通試驗委員長國稅外諸收入官吏主任收入官吏 從六 坂本俊健　栃木縣官舍乙第一番
警部長 六等 文官普通試驗委員 正七 竹下康之　栃木縣官舍乙第五番
收稅長 五等 文官普通試驗委員國稅收入主任收入官吏 從六、勳六 武田直道　栃木縣官舍乙第二番
參事官 七等 文官普通試驗委員小學校教員檢定委員長小學校教員銓衡委員 從七 松本郁朗　栃木縣官舍乙第三番
典獄 八等 監獄署長 正八 甲斐秀成　栃木縣官舍乙第三十八番
農藝教師囑託 (報酬月五〇) 非職農商務技師 東條平二郎　河內郡宇都宮町大字江野町二十一番地

○知事官房

屬
四 官報報告主任文官普通試驗委員 森口健吉　八 內務部兼務文官普通試驗書記 大塚正親
八 內務部兼務 齋藤寬柔　十 官報報告主任 戸田忠剛
(月一〇) 邊見甲之介　(月九) 遊佐元之助

○內務部

部長 書記官 坂本俊健
第一課長 第三課長 參事官 松本郁朗
屬
二 第五課長從七、勳八 小野寺志一
三 第二課長正八、勳八 本多鎌吉
四 第四課長物品會計官吏 磯部正勝
三 知事官房兼務官報報告主任 西忠義
四 宇都宮測候所長 石塚純造　四 菅野文哉
五 大關善親　五 門倉亥吉郎
六 山田尚義　六 高橋信太郎
六 水澤英盈　六 神職試驗委員 鶴見銀三郎
六 古川信道　七 日高勇
七 小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員 神谷厚
七 高井信敬　七 知事官房兼務 服部幾太
七 宮城庄三郎　七 齋藤清公
七 村山中三　七 松浦誠
八 南條新次郎　八 小林久太
八 淺山正則　八 藤野了介
八 小學校教員乙種檢定委員 田中勝五郎　九 石川重定
九 文官普通試驗書記 鳥居克四郎　九 松尾恒輔
九 嶺岸文賀　九 渡邊彰
九 山田登穂　十 村上壽作
十 松井四吉　十 城親元
十 岡谷菖次郎　十 小川重之
十 小島敬二　十 馬弓賢助
(月一〇) 柴田静　(月一〇) 川部富賢
(月一〇) 關谷彦　(月一〇) 中江信彦
(月一〇) 重久鑑　(月一〇) 藤井師長
(月九) 福谷重次郎　(月九) 滿尾彦吉
(月九) 木下譋吉　(月九) 八田鈕太郎
(月九) 那須陞　(月八) 小笠原隆夫
(月八) 平賀佐平　(月八) 中居義利
(月八) 小山金吾　(月八) 田中守人
技手
五 田邊初太郎　七 伊地知喜藏

○警察部

部長 警部長 竹下康之
警部
五 警務課長兼巡查教習所長 瀧川末明
五 保安課長 郷田侃
七 岩井精次　八 鳥居廣吉
八 巡查教習所教官 倉岡勝彦　九 中橋清吉
九 野澤源一郎

○宇都宮警察署　河內郡宇都宮町

警部
署長 四 分任收入官吏 宮越正貢
十 上三川分署長 佐々木清　十 島津研次郎

○鹿沼警察署　上都賀郡鹿沼町

警部
署長 六 分任收入官吏 今野茂樹

九 日光分署長野間爲兵衛 九 足尾分署長八重野知義
九 今市分署長齋藤 吉彌 十 佐藤代五郎

○眞岡警察署 芳賀郡眞岡町

警部 署長 深田 鎧八 五 分任收入官吏
警部 署長 牧野 惟明 警部補八 警部補心得

○足利警察署 足利郡足利町

警部 署長 土井 直 九 分任收入官吏
阿久津謙民 十 阿南鏡次郎 (月一〇)

○栃木警察署 下都賀郡栃木町

警部 署長 小林 昌言 八 分任收入官吏
松原龜五郎 (月一〇)

○佐野警察署 安蘇郡佐野町

警部 署長 島村 三郎 八 分任收入官吏
小林 貞四郎 (月一〇)

○收稅部

收稅長武田 直道

收稅屬 部長 中秡 茂八 大 分任收入官吏
池田 重政 九

收稅屬 署長 池田 重政 九 分任收入官吏
脇田 丕 九 栃木分署長

收稅屬 署長 岡田 雅尾 九 國分寺分署長
吉田 耕 十 部屋分署長 川上 彦二 八 小山分署長 藤山才之助 九

○矢板警察署 鹽谷郡矢板村

警部 署長 諏訪只五郎 九 真壁川分署長
田沼分署長寺師 乘彬 九 基太村經義 七 分任收入官吏

○大田原警察署 那須郡大田原町

警部 署長 岩井岩次郎 六 分任收入官吏
八 島山分署長松本 修道 九 芦野分署長渡邊 直武
九 川西分署長大野國次郎 九 小笠原長康

○佐野警察署 安蘇郡佐野町

警部 署長 新納 具壽 七 分任收入官吏

○收稅部

收稅長武田 直道

收稅屬 署長 青井 雅造 八 第一課長文官普通試驗委員
竹村 一戴 八 第二課長林 金一郎
石川 廣瀨 富雄 十 文官普通試驗委員
篠原 政吉 (月一〇) 三沼 敬三 (月一〇)

○宇都宮收稅署 河內郡宇都宮町

收稅屬 署長 御園生蓮吉 十 分任收入官吏
(月一二) 森山 鉄吉 (月八)
橫山 臨吉 小林 全明 九

收稅屬 署長 外記吉三郎 九 分任收入官吏
小林寅四郎 小松 智周 九

○鹿沼收稅署 上都賀郡鹿沼町

收稅屬 署長 岩間 正行 十 齋藤 武 九 第一課長文官普通試驗委員
永野 常政 八 第二課長林 金一郎
石井 純孝 (月一〇) 高橋德三郎
藩井邦三郎 瓜田安次郎

○眞岡收稅署 芳賀郡眞岡町

收稅屬 署長 島村 三郎 八 分任收入官吏
小林 昌言 九
松原龜五郎 (月一〇)

○栃木收稅署 下都賀郡栃木町

收稅屬 署長 窪村 廣瀨 四
松原平太郎 九
松崎 有隣 八
香津吉太郎 (月一一)
山田市次郎 分任收入官吏
大貫 米造

○矢板收稅署 鹽谷郡矢板村

收稅屬 署長 入江久太郎 八
善野粘次郎 十
淺沼 信久 (月一〇)
村上 俊夫

○大田原收稅署 那須郡大田原町

收稅屬 署長 安藤 直一 七
本多 織衛 十
石川 光信 十 分任收入官吏
大賀 米造 (月一〇)

○佐野收稅署 安蘇郡佐野町

收稅屬 署長 松下 冬享 七 分任收入官吏
新庄虎之丞 十 山田菊次郎
鵜飼 淳治 (月一〇) 瀧寺近一郎

○足利收稅署 足利郡足利町

收稅屬 署長 楠 愼一 八 分任收入官吏
小野孝一郎 九 關 忠三郎
池田孑之吉 (月八) 飯田總次郎
松本 玄吉

○監獄署 河內郡宇都宮町

典獄甲斐 秀成

署長

監獄書記 第一課長梅村 寬邁 七
第三課長木田 豐重 九
外山 正彥 (月一一)

看守長 第二課長山內 種樹 七
福田 勝次 九 警察官教習所教官越路代次郎
矢部 照貞 十 小關 次郎

監獄醫 (月一〇) 警務所長永江 貞之 (月一二) 竹尾 元隆

○栃木監獄支署 下都賀郡栃木町

監獄書記 八 三浦 貫 (月九)
署長 淺野虎三郎 監獄醫 (月六)

○河內郡役所 河內郡宇都宮町

郡長 七等 從七 小山 滿峻

郡書記 村井宗太郎 八
濱野傳十郎 九
中村 得松 十
大塚 順吉 (月九)
河合 榮三 (月八)
神田 至幸

大塚 治平 平石 瑞穗野 橫川
增淵本三郎 本鄉 濱野藤一郎 坂本平七郎
峰岸彌伊茂 藥師寺 星野 傳平 吉田 明治
伊澤正三九 雀宮 今井 忠治 姿川
小川 利平 城山 北條 新造
岩崎 國吉 富屋 大塚 吉造
高橋 德次 豐岡 川村重次郎
齋藤 惣八 羽黑 小野 政造
神山 孝平 古里 田中 庸義
赤羽 忠吉 豐鄉 石井 伊平

○上都賀郡役所 上都賀郡鹿沼町

郡長 七等 從七 原 近知

郡書記 分任收入官吏 鈴木源三郎 八
伊藤 五郎 九
高村爲五郎 (月一〇)
石川 光教 (月八)
長 諦次郎

黑瀨 正義 八
富澤 適世 九
高山 韜信 (月一〇)
小松飯三郎

○芳賀郡役所 芳賀郡眞岡町

郡長 七等 從七、勳六 氏家 直綱

郡書記 早乙女源吉 九
田中 稔 十 分任收入官吏 須貝 實懷
風野 忠胤 (月一〇) 長田 朝二
廣瀨 清一 (月八) 安倍 親名
塚田作太郎 (月六) 柳田 小平
甲斐 義喜

坂入 重郎 久下田 杉山 米吉
菊池 七郎 茂木 關口唯八郎

町長 鹿沼 金子 太平 今市 原田 照宣
日光 小杉富三郎 足尾 三上 成所
村長 菊澤 田野井太郎平 北犬飼 宇賀神貞造
北押原 宇賀神忠三郎 南押原 田中 敬
青木謹四郎 清洲 關口 重吉
神山太一郎 永野 古橋 要平
野本 相考 南摩 渡邊 幸二
出井篤太郎 賀藏 湯澤 義原
根本慶次郎 西大蘆 並木 佐一
佐藤與次郎 板荷 富久田伊知太郎
福田國三郎

坂本 達三 中 海老澤元藏 橫松啓三郎
柴山傳十郎 物部 添谷伊十郎
飯塚 耕作 田野 大和田藤吾
清水虎一郎 逆川 小原澤熊吉
古內武司平 須藤 小林 周作
大和 藤作 市羽
戶室彌十郎 祖母井 大久保久三郎
手塚 重平 坂本平三郎
南高根澤 清原
水橋

○下都賀郡役所　下都賀郡栃木町　從六、勲六　那須均

郡長六等

郡書記

七　飯塚三樹三　八
九　星野泰二　九　（兼任收入官吏）寺内精四郎
九　齋藤庫次郎　九　清水貞元
十　堀内毅一　十　關口一郎
（月一〇）　渡邊敏　（月八）　飯村正雄
（月七）　佐々木次郎太　（月六）　野口福三郎
（月六）　市川恭藏　飯塚金一郎

町長　栃木　大塚惣十郎　藤岡　森宗吉
小山　田村達三郎　石橋　伊澤林造
壬生　大山嘉七
村長　皆川　幸島孝平　寺尾
吹上　飯塚勝三郎　赤津
家中　中島邦三郎　大宮
國府　國保能正　豐田
穗積　殿塚榮多　中
瑞穗　關口德三郎　水代
富山　杉田啓三郎　靜和
岩舟　富山駒吉　小野寺
三鴨　福地新八　谷中
赤麻　高際勘治　部屋
寒川　大久保源吾　生井
野木　菅谷彌一郎　間々田
大谷　石塚善次郎　絹
（桑）　大和傳吉　國分寺

（姿）　南犬飼
　　稻葉

○鹽谷郡役所　鹽谷郡矢板村　從七　長井高明

郡書記

九　篠田直亨　九　（兼任收入官吏）手塚始
　　橫井美保治　十
十　大久保三彌　（月一〇）　岡村亮一
（月八）　加藤國松　（月八）　阿久津幸平
　　小林廉吉

町長　大田原　若色良讓　佐久山
　　烏山　石川庚　馬頭
　　川西　益子元　黑羽
村長　芦野　渡邊佐太助

荒井規矩　野崎　伊藤喜一郎
篠田保太郎　下江川　赤羽清四郎
鹽谷聖　向田　岡本長夫
七合　長谷川鐵五郎
磯野元之助　大內　河野鐵太郎
長谷川千次郎　那珂　佐藤肇
杉井學時　須賀川　金澤金太郎
大塚英吉　伊王野　關戶清太
鈴木最三郎　鍋掛　中川嚴
松田正義　東那須野　磯庄三郎
吉際源次郎　西那須野　齋藤半次郎
君島長五郎

○那須郡役所　那須郡大田原町　從七　安藤小次郎

郡長七等

郡書記

六　（兼任收入官吏）鈴木八郎　九　矢島國治　十　志村金太郎
　　片岡新　十　大川才次郎　（月一〇）
　　粟山好文　金居勤太郎　（月七）

町長　大田原　福原伊八郎
　　石川　庚　大森謙六
　　益子元　黑羽　矢野保
村長　渡邊佐太助

伊藤喜一郎
赤羽清四郎
岡本長夫
長谷川鐵五郎
河野鐵太郎
佐藤肇
金澤金太郎
關戶清太
中川嚴
東那須野磯庄三郎
西那須野齋藤半次郎

（前原貞吉）
大久保作右衛門
鯉沼道惟

松本正慶　（月八）　大田原信衛
羽柴寅太郎　（月七）　伊藤鐵雄
後藤金絲

○足利郡役所　足利郡足利町　從七　樺山喜平次

郡長七等

郡書記

七　青木浦次郎　九　（兼任收入官吏）山本文一郎
九　鈴木豐三　十　服部信德
（月一一）　（兼任收入官吏）岡本重太郎
（月一〇）　梁瀨富太郎　（月九）　酒卷菊太郎
（月八）　直井伸

町長　村長　毛野　川島壽吉　富田
　　吾妻　龜田佐平　北鄉
　　三重　岡田太郎　三和
小俣　萩原健太郎　石川金十郎
　　細川乾二　青木五郎衛
婆　久野忠藏　長純一郎
　　筑波　八木橋與三郎　御厨山邊

足利　武井喜三郎
　　相場富八
　　秋田善太郎
　　早川和三郎

原田與左衛門

○梁田郡役所　足利郡足利町　從七　樺山喜平次

郡長七等

郡書記

青木浦次郎　九　山本文一郎
七　鈴木豐三　十　服部信德
九　（兼任收入官吏）岡本重太郎
（月一一）　梁瀨富太郎　（月九）　酒卷菊太郎
（月一〇）　直井伸

町長　村長　毛野　川島壽吉　富田
　　吾妻　龜田佐平　北鄉
　　三重　岡田太郎　三和
小俣　萩原健太郎　石川金十郎
　　細川乾二　青木五郎衛
婆　久野忠藏　長純一郎
　　筑波　八木橋與三郎　御厨山邊

足利　武井喜三郎
　　相場富八
　　秋田善太郎
　　早川和三郎

原田與左衛門

○寻常師範學校　河内郡宇都宮町

學校長　小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員正八　里村勝次郎　河内郡宇都宮町大字二條町十九番地

教諭　兼舍監小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員　阪本龍　河内郡宇都宮町大字三條町十四番地

助教諭　小學校教員乙種檢定委員　細田美三郎　小學校教員乙種檢定委員　山本生　小學校教員乙種檢定委員　舟木文次郎　小學校教員乙種檢定委員　大橋唯雄　小學校教員乙種檢定委員　鈴木龜壽　小學校教員乙種檢定委員　渡邊正雄　小學校教員乙種檢定委員　吉田鐵太郎　小學校教員乙種檢定委員　佐藤秀一　小學校教員乙種檢定委員　生出龜之進　小學校教員乙種檢定委員　松山タカ　小學校教員乙種檢定委員　松本敷局　小學校教員乙種檢定委員　村田鉄太郎　小學校教員乙種檢定委員　小林清次郎

訓導　岩瀨定次郎　四　田中トミ

書記　青木令作　四　岡崎篤治

○寻常中學校　河内郡宇都宮町

學校長　（年九六〇）　從七　中根明　尋常中學校構內官舍

教諭　（年九〇〇）（兼任待遇）　村瀨光國　河内郡宇都宮町大字松峰町三番地

助教諭　木村繁四郎　滋賀莊三郎　瀧川重太郎　宮本藤吉　栗本義衛

書記　志賀佐治　井坂豐俊

舍監　（月一五）　（兼任收入官吏）木村繁四郎　（兼）尋常中學校教諭　宮本藤吉　（兼）尋常中學校舍監　滋賀莊三郎

○高等女學校　尋常中學校構內　學校長（兼）　尋常中學校長中根明

教諭　（兼）尋常中學校教諭　（兼）尋常中學校舍監

助教諭
（兼）尋常中學校助教諭 糸井韶三郎（屬二〇）兼舍 三輪 ヨシ
（兼）尋常中學校助教諭 大木貞三郎（兼）尋常中學校助教諭 湿見 政德
助教諭試補
（兼）尋常中學校助教諭 大久保 亮（月一二） 山田 マサ
書記
（兼）尋常中學校書記 志賀 佐治（兼）尋常中學校書記 井坂 豐俊
（兼）尋常中學校舍監 馬場豐次郎

○宇都宮病院 河内郡宇都宮町

院長（月二一〇） 中山 忠亮
副院長（月五〇） 小泉德之助
醫員
（月二八） 神野勇三郎（月二五） 烏谷 爲英
（兼） 增子 貞策（兼） 永江 貞之
（兼） 竹尾 元隆（兼） 岡田千次郎
（兼） 岡本 順平（月一二） 須貝 藤作
調劑局長（兼） 衛生試驗主事 市村 鉄外
調劑員
（兼） 衛生試驗助手 大橋國太郎（月九） 山口仙三郎
（月七） 田中 實 戶田 龍吉
監事（兼）
書記
（月一二） 丸山己之松（月八） 渡邊平四郎
（月八） 長澤 貞則

○衛生試驗場 宇都宮病院內

主事（月二五） 市村 鉄外
助手
（月二三） 大野 鱗三（月一二） 大橋國太郎

○奈良縣 添上郡奈良町 大字登大路

知事 二等 帝國奈良博物館評議委員（從四、勳四） 古澤 滋
書記官 四等
官報報告主任文官普通試驗委員 山田 春三
長主任收入官吏出納官吏（正六、勳六） 添上郡奈良町大字登大路官舍
書記官 四等 古澤 滋 添上郡奈良町大字登大路官舍
警部長 六等 文官普通試驗委員（正七） 川上 親晴 添上郡奈良町大字水門官舍
收稅長 七等 文官普通試驗委員（從七） 荒井 賢太郎 添上郡奈良町大字紀寺二十番地
參事官 七等
文官普通試驗委員 小學校教員甲種檢定委員長 小學校教員乙種檢定委員 福原 鐐二郎 添上郡奈良町大字上三條九番地
技師 六等 杉 文三 添上郡奈良町大字阿字万字十六番地
典獄 七等 文官普通試驗委員（從七） 高本 承孝 添上郡奈良町大字笹鉾官舍

○知事官房

屬
（月一〇） 土方 直行
（月九） 山田 正己
（月七） 中御門胤隆
（從六） 江川 兼長 官報報告主任
（月八） 平尾 貞美
（月七） 生野 元義
勝木壽次郎

○內務部

部長 正八、勳八 小野 昌訓
第三課長 高田 稔
參事官 福原 鐐二郎
書記官 山田 春三
技師 杉 文三

○警察部

部長 警部長 川上 親晴
第二課長 警部 遠藤 弘毅
屬
（兼）帝國奈良博物館書記 李田 登太
（從七、勳八） 第一課長 樋口清兵衛
（從四、勳四） 第一課長 小林 駿藏
（正八、勳八） 第一課長 瀨剛二郎
（兼）帝國奈良博物館書記 野淵 龍潛
（兼）官報報告主任 楠見 節
（兼）官報報告主任 西莊 久和
（兼）小學校教員甲種檢定委員 鹽見 利二
（兼）小學校教員甲種檢定委員 島 樸吉
（兼）小學校教員乙種檢定委員 陶山郁二郎
（兼）小學校教員乙種檢定委員 鮫島 相宜
（兼）小學校教員乙種檢定委員 谷原 岸松
（兼）小學校教員乙種檢定委員 石坂外次郎
（兼）小學校教員乙種檢定委員 多賀 明
（兼）小學校教員乙種檢定委員 小林 政貫
（兼）小學校教員乙種檢定委員 小島猪三郎（月一〇）
（兼）小學校教員乙種檢定委員 中御門胤彥（月九）
（兼）小學校教員乙種檢定委員 福山 今吉（月八）
（兼）小學校教員乙種檢定委員 松岡 萬樹
（兼）小學校教員乙種檢定委員 志賀 氏神
（兼）小學校教員乙種檢定委員 淺利與一郎
（兼）小學校教員乙種檢定委員 鏡味春太郎
（兼）小學校教員乙種檢定委員 高谷 三郎
（兼）小學校教員乙種檢定委員 谷口 武磨
書記官 山田 春三
參事官 福原 鐐二郎
技師 杉 文三
技手
（月一一・五） 橋本卯兵衛
（月一〇） 笠井 右一
（月九） 堀內 忠三
（月七） 池谷 福藏
塚本松治郎
（兼）官報報告主任 富田 知正
（兼）官報報告主任 田村市之助
（兼）官報報告主任 小中良太郎
（兼）官報報告主任 加藤啓三郎

○警察部

部長 警部長 川上 親晴
警部 保安課長 福井 清任
警務課長巡查教習所長 丸野新八郎
警屬 高木啓太郎
在田嘉久郎
技手 高等警察主任 松本 義一
稻葉鉄三郎

○奈良警察署 添上郡奈良町大字角振

警部 署長 井田 倫行
分任收入官吏出納官吏 守津 義作
樂本分署長 網 尚庸
針ヶ別所分署長 中村 平藏
柳生分署長 中川 砂
松本鎌三郎
警部 署長 藤掛 永安

○郡山警察署 添下郡郡山町大字柳

警部 署長 酒井 忠彥
出納官吏 柚木 角衡

○高田警察署 葛下郡高田町大字高田
九 龍田分署長 田上章九郎 九 中村分署長 松井吉之丞
九 佐川福太郎
警部
署長 七 出納官吏 道古 友吉
八 箸尾分署長 岩本 教道 九 永井喜一郎

○三輪警察署 式上郡三輪町大字三輪
警部
署長 六 分任收入官吏出納官吏 二木 延吉
九 田原本分署長 河隅 清作 九 唐院分署長 高木島太郎

○松山警察署 宇陀郡松山町
警部
署長 七 出納官吏 唐松岬三郎
九 榛原分署長 高木紋四郎

○御所警察署 葛上郡御所町
警部
署長 六 分任收入官吏出納官吏 安藤 水楫
八 八木分署長 西垣 浩 九 小野田金彌

○五條警察署 宇智郡五條町大字五條
警部
署長 七 分任收入官吏出納官吏 清水 廣治
十 松平 榮八

○上市警察署 吉野郡上市町
警部
署長 七 出納官吏 松園熊三郎
八 下市分署長 石寺金之助 九 十津川分署長 田中 實

○收稅部
部長 收稅長 荒井 賢太郎
收稅屬
五 稅務課長印紙類會計官吏 佐川貞一郎
六 物品會計官吏 菅 熊之助 七 野阪 轍
八 平野銷次郎 八 三村 釵吉
十 森 增樹 十 小川 爲造
(月一〇) 室永文太郎 (月一〇) 屋山朝太郎

○奈良收稅署 添上郡奈良町大字登大路
收稅屬
署長 五 分任收入官吏 水谷 勝職
八 浦井 金多 八 山守 謙
八 中島源之助 九 原 教義
九 一安良次郎 十 粟岡 久一
十 近藤左右一 (月一〇) 藤田 寛
(月一〇) 麻生長次郎 (月一〇) 工藤牧太郎
(月八) 内藤虎三郎

○三輪收稅署 式上郡三輪町大字三輪
收稅屬
署長 七 分任收入官吏 吉村 善吉
九 高橋 克明 十 山崎次三郎
十 島中 長富 十 島田城與三郎
(月一〇) 佐藤 辰夫 (月一〇) 村上 金彦
(月八) 服部 忠和 (月八) 藤村太治郎

○御所收稅署 葛上郡御所町
收稅屬
署長 六 分任收入官吏 三村 仁志
九 林 俊夫 十 關根 敬二
十 竹內 勝藏 十 黑田賢一郎
十 中島 直記 (月一〇) 田中牛四郎
(月八) 三澤 武衞 (月八) 飯田梅太郎

○五條收稅署 宇智郡五條町
收稅屬
署長 七 分任收入官吏 齋藤 豐松
八 木崎 信道 九 藤田 藤太
十 吉永 秀治 十 森田定治頁
(月九) 長尾音治郎 (月八) 森本 義夫
(月八) 尾西 清

○監獄署
署長 典獄 高本 承孝
監獄書記
五 兼看守長第一課長出納官吏 森 元祐
七 第三課長 佐藤 信元
九 鈴木 政吉 九 津田 增彌
(月一〇) 新藤林太郎 (月一〇) 清水 公賢
看守長
六 第二課長勳七 高屋常三郎
九 中西 時敬 九 勳八 安滿 林一
(月一一・五) 尾木安太郎
監獄醫
(月一八) 醫務所長 吉田 常文 (月一三) 鈴木 彌市

○五條監獄支署 宇智郡五條町
署長
監獄書記 九 兼看守長出納官吏 曾雌 正雄
看守長 (月一一・五) 大谷 久藏
監獄醫 (月一五) 木村恒次郎

○添上、添下、山邊、廣瀨、平群郡役所 添上郡奈良町大字登大路
郡長 七等 出納官吏 從七 田部 文藏
郡書記
五 近藤 勝清 六 分任收入官吏 島瀨 省三
八 田畑 嘉則 九 上田美濃三郎
九 鎌田 政績 九 藤內 雄吉
(月一〇) 阪間 稔 (月九) 田村 義孝
(月九) 津田 以德 (月八) 鎌田 政靜
(月七) 西藤 弘道 (月七) 南 俊一
添上郡町長
奈良 青田吉三郎 櫟本 桐山 眞平
同村長
田原 吉岡 謙一 明治 井上 伊博
東山 中岡 利平 大柳生 西久保彌三郎
月瀨 奥田 源吉 五ケ谷 梅崎嘉四郎
柳生 中西常四郎 大安寺 小橋市太郎
長市 岡村鑛次郎 平和 清水 龜藏
東里 山本勘三郎 狹川 佐野 得福
治道 中尾藤三郎 東市 片岡平市郎
帶解 植田 宇一 佐保 掛樋直治郎
添下郡町長
郡山 飯野 富
同村長
矢田 西岡 茂吉 伏見 瀧川 長平
富雄 田中 彌平 北倭 中井 大
平城 森村米三郎 筒井 松本宗五郎
片桐 村戶 賢德 都跡 福山嘉次郎
山邊郡町長
丹波 中西小七郎
同村長
二階堂 上田武治郎 東里 藤岡幾治郎
豐原 奥防常重郎 朝和 藤岡兵次郎
都介野 松本 光二 波多野 中森甚治郎
福住 久保 三郎 針ケ別所 谷奥彌三郎
廣瀨郡村長
川合 勝井 孝次 馬見 平井彌三郎
百濟 中尾 鹿藏 箸尾 青木新治郎
瀨南 藤根 德平
平群郡村長
平端 松本源羽知 安堵 岡野忠太郎
三鄉 岡島勘三郎 龍田 笠井 正富
南生駒 駒井藤太郎 明治 中川庄五郎
北生駒 楠田 繁雄 富鄉 稻本 新吾
本多 奥山善五郎

○式上、式下、十市郡役所 式上郡三輪町
郡長 七等 出納官吏 從七、勳六 瀧口 歸一
郡書記
六 辻 市三郎 八 分任收入官吏 櫻井 靜衞
八 上田 兼藏 八 末岡 正
十 牧野 仲三 (月一〇) 柴田權右衞門
(月九) 土田 幸七 (月九) 渡邊 愼
(月八) 武田定太郎 (月七・五) 河原 茂吉
式上郡町長
三輪 谷本慶次郎 初瀨 岩井 誠一
同村長
織田 的場猶太郎 柳本 守田藤壽郎
上之鄉 與喜元彌五郎 朝倉 西崎長九郎
城島 植野清市郎 纒向 森岡甚太郎
式下郡村長
川東 上田清次郎 都 福井嘉三郎
川西 岡西勝三郎 三宅 志野 清次
十市郡町長
櫻井 中尾 喜平 田原本 片岡 英夫
同村長
多 村井磯治郎 耳成 今澤 新作
大福 松田彌五郎 香久山 西岡 直義
平野 岩田久太郎 安倍 高瀨 元三
多武峯 山本松之助

○宇陀郡役所 宇陀郡松山町
郡長 八等 出納官吏 正八 二村 忠誠
郡書記
七 中川吉三郎 九 南 左武郎
九 分任收入官吏 松尾策治郎 九 中野新七郎
(月一〇) 和田土用六郎 (月一〇) 貝田宗三郎
(月九) 波多間政太郎 (月九) 林 要三
(月八) 猪谷善之助 (月七) 吉岡 史郎
宇陀郡町長
松山 細川 大治 榛原 藤本 精舊
同村長
御杖 西村長三郎 政始 山本喜一郎
神戶 山岡甚三郎 伊那佐 松本傳三郎
內牧 吉川德三郎 曾爾 井上 貫平
三本松 小廣善太郎 宇賀志 中村伊太郎
宇太 米谷勘二郎 室生 高岡新一郎

○高市、葛上、葛下、忍海郡役所 葛上郡御所町
郡長 八等 出納官吏 正八 畠山 好敏
郡書記
八 西田英太郎 九 分任收入官吏 清水 政恒
九 小幡 權三 九 新谷 寅藏
十 高麗 重英 十 柴崎 久則
(月一一・五) 臼井楠太郎 (月一〇) 弓場 勝治
(月一〇) 和田 毅 (月一〇) 高松 正材
(月八) 吉村 嘉道 (月八) 堀 政治郎
(月八) 田仲德太郎 (月八) 岸田 榮
高市郡町長
今井 高木政次郎 八木 榊原 亨
高取 橋本 端高
同村長
高市 井村鹿次郎 眞菅 松田利一郎
金橋 村島兵次郎 坂合 友田伊三郎
天滿 金田 菊藏 飛鳥 井村清次郎
鴨公 本多 熊吉 白橿 增田市三郎

舟倉 北村 敬治　越智岡 谷村 市三
新澤 越智善八郎
葛上郡町長　御所 島津德太郎
同村長
掖上 西村元十郎　吐田鄉 高橋彌十郎
葛城 上田 喜市　秋津 永原平八郎
葛 松村嘉平治　東松本外七箇村組合 乾 宗謙
葛下郡村長
新庄 吉川 秀夫　浮孔 吉村楢三郎
磐園 西川善十郎　陵西 坂口龜藏
五位堂 小川文五郎　二上 米田松太郎
下田 西島伊一郎　上牧 牧浦小重郎
志津美 牧浦 治平　王寺 保井 仙吉
磐城 安井吉太郎　土庫外一箇村組合 松井 佐平
忍海郡村長　忍海 安川 正造

○宇智郡役所　宇智郡五條町

郡長 八等 出納官吏正八 畠山 國憲
郡書記
八 分任收入官吏 今泉 吉澄　九 中西 孝則
九 清水小太郎　九 千葉 義親
十 山田 靜彌　(月九) 桝井奈良次郎
(月九) 小林健次郎
宇智郡町長　五條 保田藤八郎
同村長
宇智 小山 文藏　南宇智 北 健治
阪合部 橋本 寛三　北宇智 藤岡長二郎
牧野 平山 龍太　大阿太 西尾清三郎
南阿太 益田奈良造

○吉野郡役所　吉野郡上市町

郡長 六等 出納官吏正七、勳五 吉田 正義
郡書記
六 上杉 直溫　八 吉井 榮治
八 分任收入官吏 梅本 光誠　九 野崎 正信
九 草川 幸信　十 福井 藤吉
(月一二) 藤井 賴雄　(月九) 中根彦太郎
(月九) 堤 國太郎　(月八・五) 松井 道隆
(月七・五) 山岡虎次郎　(月七) 津本芳太郎
吉野郡町長
上市 島田駒太郎　下市 小西利一郎
同村長
十津川 玉置 明亮　四鄉 西村 俵吉
天川 今西嶋太郎　高見 木原長九郎
野迫川 佐古 爲八　賀名生 堀 重信
秋野 森 喜太郎　上北山 奧村淺太郎
下北山 東 富藏　吉野 米田六太郎
小川 芳野 忠逸　宗檜 川口 才治
大塔 西尾 勇吉　南芳野 福田松治郎
上龍門 梶岡仙太郎　中龍門 南 清三郎
龍門 池田 米藏　川上 井上僊作朗
白銀 平井由太郎　中莊 今西新三郎
國樔 森西宇之吉　大淀 前田 八郎

○尋常師範學校　添上郡奈良町大字登大路

學校長 八等五級 文官普通試驗委員小學校教員甲種檢定委員小學校教員乙種檢定委員長小學校教員銓衡委員 正八 友高 善嗣　添上郡奈良町大字大豆山十三番地
教諭
四(上) 小學校教員甲種檢定委員小學校教員乙種檢定委員小學校教員銓衡委員 喜多村鐘太郎
四(下) 小學校教員甲種檢定委員小學校教員乙種檢定委員小學校教員銓衡委員 杉浦要太郎
五(上) 小學校教員乙種檢定委員 沼田 正直
五(下) 兼舍監小學校教員乙種檢定委員 水木要太郎
五(下) 小學校教員乙種檢定委員 生駒 章
五(下) 小學校教員乙種檢定委員 中島駿太郎
助教諭
二 兼舍監小學校教員乙種檢定委員 岩村 六朔
三 小學校教員乙種檢定委員 目賀田萬世吉
五 兼舍監小學校教員乙種檢定委員 橫地捨次郎
訓導
三(當分月一八) 清水篤次郎
四 冨田篌次郎
四(當分月一三) 和田八重造
四 小學校教員乙種檢定委員 貴島 サヱ
書記
三 堀田 朧介
四 小野 德藏
教員心得
(月二〇) 小學校教員乙種檢定委員 田島 武雄
(月一二) 小學校教員乙種檢定委員 西山菊次郎

○尋常中學校　添下郡郡山町大字南郡山

學校長 (奏任待遇)(年九〇〇) 兼教諭 正木 直彦
教諭
(月七〇) 金田楢太郎　(月三五) 河原 丑輔
(月三五) 後藤 清懋　(月三〇) 村山 成美
(月二五) 島村 清吉
助教諭
(月二二) 兼舍監 黑阪 維寞
(月二二) 兼尋常師範學校助教諭 山本 勇吉
(月二二) 兼舍監 下間亥之吉　(月一五) 兼舍監 矢阪 大吉
書記
(月一五) 川本 知行　(月一五) 西谷 善彰
教員心得 (月五〇) 佐々木多門

○三重縣　津市中茶屋町

知事 二等 從四、勳三 成川 尙義　津市中茶屋町二十二番屋敷
書記官 五等 官報報告主任文官普通試驗委員長小學校教員銓衡委員主任收入官吏 從六、勳六 池永 端　津市北堀端三十一番屋敷
警部長 五等 文官普通試驗委員 從六、勳五 岩下 敬藏　津市中茶屋町三重縣廳附屬官舍
收稅長 五等 文官普通試驗委員主任收入官吏 從六、勳六 市岡 昭智　津市西新町三十一番屋敷
參事官 七等 文官普通試驗委員小學校教員檢定委員長 從七、勳六 鈴木 隆　津市西檢校町一番屋敷
典獄 七等 從七 新妻 駒五郎　津市佐伯町十三番屋敷

○知事官房

屬
六 塚 逵
十 平賀 正文

○內務部

部長 書記官 池永 端
屬
三 第一課長官報報告主任文官普通試驗委員 橋本 三郎
三 第二課長 正八、勳八 田中 政信
三 第三課長知事官房兼務文官普通試驗委員小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員 竹田喜太郎
四 出納物品會計官吏 飯尾 義本　五 正八、勳八 山內 篤敬
六 玉井 修眞　六 奧平 貞一
六 小學校教員檢定委員 鈴木 敏勝　六 山崎 要八
六 小學校教員檢定委員 上野錄二郎　六 長井忠三郎
六 津測候所長 菊澤 庸　六 玉井丈次郎
六 谷田 尙志　六 山田 覺治
七 從八 福井 清生　七 前田 支造
七 清水 義八　七 中根 啓造
七 野村 忠誨　七 官報報告主任 永谷 習吉
七 山田寅之助　七 阿部 利政
八 河村 正則　八 藤谷 信一
八 岡田 丈吉　八 山田誠一郎
八 永山 嘉一　八 中島良郎
八 長 英生　八 小南 恒助
八 文官普通試驗警記小學校教員檢定委員 阿曾元之助
八 本橋保次郎　八 丸山龍二郎
八 後藤又次郎　八 栗山 武尾
八 伊藤 唯平　八 岩崎 吉哉
九 齋木 良藏　九 辻 六次郎
九 西川作右衛門　九 奧田民之丞
九 清水源治郎　九 大山 元史
九 森 陳義　九 栗田 覺治
十 和田 惟通　十 吉田 郁
十 坂本 久衞　十 柳川覺之助
十 豐田 直藏　十 清水兼三郎
十 矢守 元男　十 信太 悅藏
十 川谷左一郎　十 藺村長次郎
十 藺川專太郎　十 片岡宇太郎
(月一二) 知事官房兼務 永井 新吉
(月一〇) 奧田 馨一　(月一〇) 長谷川幸三郎
(月一〇) 中條庸一郎　(月一〇) 福喜多長生
(月一〇) 川島長太郎　(月九) 平田彌兵衞
(月九) 稻垣小四郎　(月九) 海野 光雄
(月八) 水谷 輝之　(月八) 島崎武之進
(月八) 堀江延太郎　(月八) 伊藤寅太郎
(月八) 坂田 又藏

○警察部

部長 警部長 岩下 敬藏
警部
四 保安課長巡査教習所長文官普通試驗委員 永田幸太郎
六 駒田 元藏
七 警務課長心得 永井 弘
七 酒井 茂馬　九 巡査教習所教官兼幹事 渡邊 益喜
(月一二) 藤田 吉直

○桑名警察署　桑名郡桑名町字京町

警部
八 署長 瀧 元二郎
五 加藤俊一郎

○大泉原警察署　員辨郡大泉原村

警部 八 署長 梅村吉次郎

○四日市警察署　三重郡四日市町字北町

警部署長　奥山永太郎　四
八　向井英太郎　九　猶野分署長岩片勝司

○關警察署　鈴鹿郡關中町

警部署長　七　藁谷鶴藏　九
友田辰雄

○神戸警察署　河曲郡神戸町字新町

警部署長　七　太田健藏　九
一身田分署長渡部乙橘

○津警察署　津市大門町

警部署長　四　永田幸太郎　九
渡邊恒三郎　山田涌一郎　十
廣岡丑之助

○安濃警察署　津市大門町

警部署長（兼）　四　永田幸太郎　九（兼）
渡邊恒三郎　山田涌一郎　十（兼）
廣岡丑之助

○久居警察署　一志郡久居町

警部署長　西塚宗吾

○松坂警察署　飯高郡松坂町

警部署長　七　石井茂之進

○相可警察署　多氣郡相可村

警部署長　八　山森德三郎　八
川俣分署長福島敬六

○宇治山田警察署　度會郡宇治山田町

警部署長　七　玉置仙彌　八
九　大河平親貞
吉津分署長蒲原貞吉　四　九
長束獅人

○上野警察署　阿拜郡上野町

警部署長　四　丹羽孚　九
拓植分署長吉村辨次郎　五　九

○名張警察署　名張郡名張町

警部署長　八　平田行雄　八
阿保分署長佐川孜

○鳥羽警察署　答志郡鳥羽町

警部署長　六　池永和七郎　八
九　波切分署長村田莊之助

○尾鷲警察署　北牟婁郡尾鷲町

警部署長　大村福五郎　八

○木本警察署　南牟婁郡木本町

警部署長　内田久太郎　八

○收稅部

收稅長市岡昭智

收稅屬部長　山內猪之助　三

村瀨賢三郎　七
廬川湊　八
菊山萬次郎　九
池永駒太郎　八　九
石川安太（月一〇）　十

直稅津長物品會計官吏川島準次郎
關稅支長文官普通試驗委員吉川新太郎
文官普通試驗委員安井政道
文官普通試驗委員渡邊茂男
葛輪豐次郎
谷口三之助
伊藤忠三

○桑名收稅署　桑名郡桑名町字三之丸

收稅屬署長　大　小島猪之介　八
物品會計官吏丸林勝三郎　九　岡田音五郎
林蕭　十　松岡宗壽
池村万五郎

○大泉原收稅署　員辨郡大泉原村字楚原

收稅屬署長　八　關時晴　九
物品會計官吏伊藤亮　十　西原庸言
安在部　後藤與
上野兼次郎（月八）

○四日市收稅署　三重郡四日市町字八幡町

收稅屬署長　五　田中好謙　九
松村勝正　九　秋山勝知
鈴木章貞　十
參稅關係藤谷綱二　九

澤內秀松　十
牛山善吉（月八）　物品會計官吏谷崎瀧見　十
大井順之介

○龜山收稅署　鈴鹿郡龜山町字西丸

收稅屬署長　七　稻垣德男　九
收入官吏
鈴木弘德　十　物品會計官吏渡邊瀧右衞門　十
佐藤辨之助　田伏小馬男

○白子收稅署　奄藝郡白子町字江島

收稅屬署長　六　上村瀨平　九
物品會計官吏菅森峯太郎　原知十
川面國吉　十　中島琢磨　十
山本修（月一〇）　後藤房太郎
大橋克巳（月八）

○津收稅署　津市字榮町

收稅屬署長　六　濱口秀陽　十
物品會計官吏川合博次　十　角田忠誠
小野寺新次郎　十　國島眞幸

○久居收稅署　一志郡久居町字東鷹跡町

收稅屬署長　七　岡義之助　九
高木敏行　十　物品會計官吏岸本龍太
堤信　十　榎津龜四郎　十
藤森貞寬（月八）　松岡直藏

○松坂收稅署　飯高郡松坂町字新町

收稅屬署長　七里操　九
中村英藏　十　物品會計官吏山田猛　十

○相可收稅署　多氣郡相可村大字相可

收稅屬署長　七　久我清民　十
安保源之助　十　物品會計官吏松尾一貫　十
平尾久太郎（月一〇）　物品會計官吏村田亮太郎

○宇治山田收稅署　度會郡宇治山田町字下中ノ鄉町

收稅屬署長　後藤義　九
虎尾龍太郎　四　收入官吏城正隆
大西明　九　物品會計官吏辻勢三郎　十
岡田一男　十　勳八高橋富太兵衞

○上野收稅署　阿拜郡上野町字西町

收稅屬署長　大　前川莊太郎　九
藤田晋　九　收入官吏稻垣猪之助
中村幸吉　十　川北貫一郎　七
上田字三郎（月八）　物品會計官吏稻森幹次郎

○名張收稅署　名張郡名張町

收稅屬署長　八　安倍多計志　十
今井貞次郎　十　物品會計官吏中井清太郎
相川三之助（月一〇）　永岡敬三郎

○松坂收稅署　飯高郡松坂町字新町

收稅屬署長　七　城正隆　五
小久保義雄　十　物品會計官吏辻勢三郎　九
花房喜曾郎　杉本莊左衞門　十
高橋富太兵衞　勳八

○鳥羽收稅署　答志郡鳥羽町

收稅屬署長　七　松平友三郎　七
若原鎌太郎　十　物品會計官吏村山房男
瀧本嘉一郎（月八）　辻繁藏

○尾鷲收稅署　北牟婁郡尾鷲町大字中井浦

收稅屬署長　八　高田官吾　八
物品會計官吏服部準三　十　小島晋
橋本藤太郎（月八）

○木本收稅署　南牟婁郡木本町字木本

收稅屬署長　八　太田資良　八
沼田直智　十　青木千吉
阿比子酉次郎
物品會計官吏小山彌之助
田川源次郎

○監獄署

典獄新妻駒五郎

署長　四日市監獄支署長兼會守長勳八　山內彌十郎　九
監獄書記　宇治山田監獄支署長　西尾壽繁
第一課長三田村傳
太田彌三郎
伊藤周造
中村鍋作
小池新三郎
深井三千太郎
藤牧直　八
橋村親正（月八）
石崎藤吉（月八）
石橋忠男（月七）
丑島時行（月一〇）　十
（月九）

看守長
七 兼監獄書記第二課長兼第三課長 渡邊 武直
八 兼監獄書記 佐々木平三郎 九 川合八次郎
九 伊藤 孝之 九 野本 恒一

監獄醫
(月二〇) 白井亦太郎 (月一五) 寺田縫之助
(月一二) 松岡 俊造 (月一二) 楓井亨太郎
(月八) 一森彦四郎 (月八) 雲 虎雄

○桑名郡役所　桑名郡桑名町字京町

郡長七等 正七、勲六 松岡 利弼
郡書記
八 山田 光壽 九 分任收入官吏 都筑 敦厚
九 廣田 則孝 九 松岡 喜胤
十 佐藤 正時 十 太田友次郎
(月一〇) 河合 庄吉 (月一〇) 大橋 三造
(月九) 早川與三郎 (月七) 木村 重威
町長
桑名 町田武須計
村長
城南 後藤榮三郎 在良 小川榮次郎
大山田 伊藤 常七 野代 江上 純吉
古美 城野 勘六 七取 横野 亨平
長島 福原 資英 伊曾島 大谷 充治
赤須賀 伊藤 主一 桑部 山本鉄太郎
益生 水谷次郎八 深谷 田中 金藏
古濱 草薙 粲 多度 西田 石陵
楠 江上保太郎 木曾岬 天笠 直道

○員辨郡役所　員辨郡大泉原村大字楚原

郡長七等 從七 田邊 雷藏
郡書記
八 分任收入官吏 水原平三郎 八 清水 成美
十 松岡 諒三 (月一〇) 大塚 喜一郎
(月一〇) 岡本周太郎 (月九) 矢田 俊藏
(月八) 市川 直親 (月七) 石垣 吟八
(月七) 池田新六郎
村長
久米 服部 賀 梅戸井 柴田 精一郎
丹生川 日下德次郎 北石加 小坂 幸四郎
東藤原 宮本 巖 白瀬 藤田 萃
阿下喜 近藤茂十郎 笠田 中津原周三郎
大泉 里藤左衞門 神田 南部幸十郎
大長 野本 順一 三里 瀬木權治郎
南石加 岩花隆太郎 治田 岡田 茂
西藤原 兒玉宇右衞門 立田 近藤廣之進
十社 一木 榮 山郷 中津原半五郎
稻部 中村 城弟 七和 平野門次郎

○三重朝明郡役所　三重郡四日市町字北町

郡長六等 正七、勲六 酒井 禮一
郡書記
七 山本 兄熊 八 毛利吉次郎
九 品川 直方 九 木村 一郎
九 分任收入官吏 味岡格太郎 十 眞崎 頼次郎
十 千代田次郎 十 甲斐 鑑雄
(月一〇) 石川學太郎 (月九) 駒木根錠太郎
三重郡町長
四日市 堀木 忠頁
同村長
楠 富田光太郎 日永 吉村增之丞
小山田 須藤磯治郎 四郷 伊藤小七郎
常磐 須藤與一郎 櫻 小森弦之丞
千種 橘 春規 縣 木村周太郎
海藏 横田 實 鹽濱兼河原田 石榑左文司
内部 種瀬仁平治 水澤 豐田 直道
川島 廣田佐一郎 神前 横山德治郎
鵜川原 太田 吉迪 三重 川島 一雄
朝明郡村長
羽津 廣瀬元次郎 富洲原 伊藤幾太郎
朝日 伊藤傳八郎 八郷 島 豐太郎
保々 石川 渉 朝上 福村 直衞
富田 伊藤傳十郎 川越 後藤圓太郎
大矢知 岩田 甚造 下野 下田 亨三
竹永 首藤嘉十郎

○鈴鹿郡役所　鈴鹿郡龜山町字西ノ丸

郡長八等 從七、勲八 中山 光大
郡書記
八 分任收入官吏 清水 昌運 八 三田 靜止
九 安永 貞政 十 勲八 福島光次郎
(月九) 鈴木小太郎 (月九) 八島治喜造
(月八) 木村銘太郎
(月六) 伊藤 寅吉 (月六) 山本 重記
町長
龜山 田邊 訥夫 關 橋 敏三
村長
神邊 西村政二郎 坂下 大原信次郎
晝生 增田孫十郎 井田川 小林 朝郎
高津瀬 小河市五郎 石藥師 藤田 吉造
深伊澤 岩城 確 庄内 佐藤 邦光
野登 小田 保則 加太 坂 德太郎
槇尾 保田 登 國府 森 甚八
庄野 飯田 宗純 牧田 伊藤彌九郎
久間田 服部 芳郎 椿 田川 九郎
川崎 古田富治郎 白川 小川 藤吉

○奄藝河曲郡役所　奄藝郡白子町

郡長八等 正八 石井 義忱
郡書記
九 新井 頼暉 九 分任收入官吏 樋口 尚政
十 西谷 忠康 (月一二) 櫻井邦太郎
(月九) 荒川 致愼 (月八) 宮村飛佐治
(月八) 黑田寅治郎 (月八) 島岡 章雄
奄藝郡町長
白子 山中志賀之助
同村長
天名 蜂谷熊太郎 稻生 大井儁之丞
合川 中尾 橋雄 榮 和田庄兵衞
上野 增川六三郎 豐津 丹羽光治郎
黑田 別府 進 栗眞 伊藤 嘉七
白塚 太田忠次郎 一身田 藤枝英三郎
大里 藤井 新吾 高野尾 青木孝左衞門
椋本 駒田 文吾 明 臼井久左衞門
河曲郡町長
神戸 伊藤宗九郎
同村長
飯野 中島 邦造 河曲 青木 謙造
一ノ宮 渡邊 綱忠 箕田 棚瀬 正行
玉垣 森田 橋造 若松 山田 久吉

○安濃郡役所　安濃郡新町

郡長七等 從七 柚原 具致
郡書記
八 分任收入官吏 小野 鐵男 十 藤林 方之
十 中村與惣五郎 十 中村 蕃藏
十 佐地田歲躬 (月一〇) 中尾 一規
(月七) 吉川 末男
町長
新 岡村 哲
村長
建部 古賀 佐藏 塔世 乙部 正規
藤水 久保新次郎 神戸 田中 正美
櫛形 別所周太郎 片田 野田藤太郎
辰水 若林健次郎 草生 藤谷 俊藏
高宮 山本 米吉 長野 堀川 佐三
安東 鈴木朋治郎 安濃 荒木與吾助
明合 星合甚左衞門 村主 内藤恒三郎
安西 駒田 丹藏
雲林院河内村組合 落合愼五左衞門

○一志郡役所　一志郡久居町字本町

郡長七等 從七 日置 藤夫
郡書記
八 分任收入官吏 江崎貫一郎 八 山本逵次郎
十 丹羽 省藏 十 中山甚次郎
十 佐脇 勝太 十 島岡 定
(月一〇) 吉田覺太郎 (月九) 須田松太郎
(月八) 竹村周次郎
町長
久居 柳生 勇麿
村長
本 小島仁三郎 桃園 飯田清右衞門
戸木 野崎 節藏 七栗 前田助太郎
稻葉 上島德三郎 榊原 十森杢次郎
大三 上田五一郎 大井 飯田 直吉
川口 常保義之助 倭 井上 熊吉
八ツ山村組合境 杉本 亘助 家城 岩脇 貞助
竹原 岡田市郎右衞門 八知 藤田 精一
太郎生 中井 泰三 伊勢地 中子 九式
八幡 池田節次郎 多氣 平增右衞門
下ノ川 渡邊 操 宇氣郷 牧戸友三郎
波瀨 佐々木三郎 中郷 三浦 茂
豐地 大森誠十郎 川合 堀川 九郎
高岡 藤堂 八座 中川 笹井 祐助
豐田 西井伊之助 中原 豐島 重升
阿坂 沼田 範之 米ノ庄 中西 梅松
松ヶ崎 高塚 美親 天白 飯田 興吉
鵤 千草惣太郎 小野江 田中 助市
雲出 三井 次郎 高茶屋 藤田 雄也
矢野 山下 章吾

○飯高飯野郡役所　飯高郡松坂町字殿町

郡長七等 從七 山本 如水
郡書記
八 上田 實 八 分任收入官吏 蓮井 清純
九 上野 貞利 九 北村 六三
十 米山彦次郎 十 松井孝五郎
十 玉氣 幸吉 十 玉置 晦生
(月一〇) 南雲延五郎 (月八) 藤田 秀吉
飯高郡町長
松坂 大平 孝則
同村長
港 見間 正宣 鈴止 川島 慥
神戸 加藤 正謙 花岡 高橋四郎右衞門
松尾 龜井宗十郎 松江 小泉 實藏
伊勢寺 龜井 德藏 大河内 野呂 常助
茅廣江 野呂勝三郎 大石 野呂伊之助
柿野 野呂幸之助 粥見 中尾實之助
宮前 堀内利右衞門 川俣 橋本安次郎
森 民谷豐三郎 波瀨 打田辻次郎
飯野郡村長
射和 永井精二郎 神山 蒔田秀三郎
櫛田 奥田宗二郎 朝見 雲井仙太郎
西黑部 北村 伊八 機殿 澤村好三郎
漕代 加藤 清

○多氣郡役所　多氣郡相可村

郡長 七等　從七 永島雪江

郡書記
八 分任收入官吏 間宮齋二郎　八 高木一道
十 野田善三郎　十 野呂正實
十 小森安太郎　十 平木敬次郎
(月八) 大北源次郎

村長
東黑部 飯田鹿次郎　下御絲 堤理平
大淀 土屋源一郎　上御絲 西野利一郎
明星 芳野勝次郎　齋宮 櫛谷定治郎
相可 西村四郎右衛門　西外城田 西谷久兵衛
佐奈 奥山儀三郎　津田 村上林藏
丹生 加藤儀八　五ケ谷 高山多四郎
川添 西村利兵衛　三瀨谷 尾上利吉
荻原 大屋芳助　大杉谷內村組合頭 吉村悅二郎

○度會郡役所　度會郡宇治山田町字岩淵

郡長 六等　正七 滿岡勇之助

郡書記
七 乙部八二郎　八 朝倉寬一郎
九 從八 榎倉石根　九 分任收入官吏 佐藤政溫
九 村井與四郎　九 井村芳次郎
十 奥田八郎　(月一〇) 松村又太郎
(月一〇) 木村久次郎　(月八) 龍邇三郎
(月七) 多田龜太郎

町長
宇治山田 村井恒藏　神社 權田俊藏
大湊 山中崔十　田丸 久野庸直

村長
宮本 中井權七　沼木 山上熊吉
四鄉 糀谷松吉　東二見 齋藤正夫
西二見 喜多井忠平　濱鄉 先野雄次郎
御薗 小川合三郎　豐濱 堀井亦三
北濱 岩田吉三郎　小俣 織家源三郎
有田 薗田宙太郎　東外城田 加納萬次郎
城田 高瀨章二　下外城田 松田勝三郎
內城田 乙部兵五郎　中川 縄手才吉
七保 浮氣芳吉　瀧原 大倉清七
柏崎 山崎權太夫　大內山 村田欽藏
島津 柳生昌次郎　吉津 鈴木嘉七
鵜倉 大森守之助　中島 小田學輔
一之瀨 須田謙藏　小川鄉 奥本助雄
穗原 莊司彌太郎　南海 田中佐一郎
五ケ所 小村貝助　宿田會 山本精一
神原 岡逸平

○阿拜山田郡役所　阿拜郡上野町字西ノ丸

郡長 六等　正七 八尾信夫

郡書記
八 野村甲子郎　九 岡田庸次郎
十 富川雅綱　十 高井性海
十 分任收入官吏 栗本熊太郎　十 北川守藏
十 森太郎　(月九) 武井徹
(月八) 小森顯次郎　(月七) 川西貞次郎

阿拜郡町長
上野 服部平太郎

同村長
小田 中井仁兵衛　城南 臨時代理者 田中利三郎
花之木 木津勝之進　長田 永岡敬次
島ケ原 二井齋市　丸柱 井岡正之助
新居 葛岡貝太　府中 岡森熊太郎
三田 岡村重藏　中瀨 神田捨郎
河合 宮田庄輔　玉瀧 岩島右平
靹田 西尾平左衛門　東柘植 安岡久平
西柘植 服部小平治　壬生野 澤重次郎

山田郡村長
山田 濱田守一　布引 馬岡清次郎
阿波 大森牛之助　友生 保田朔次郎

○名張伊賀郡役所　名張郡名張町

郡長 七等　正八 川田茂通

郡書記
九 乘松豐信　九 野村甚平
九 平井繁男　十 辻源五郎
十 分任收入官吏 町井武男　(月九) 富永正毅
(月九) 大西楢吉　(月七) 若山義哉
(月六) 菅生辰次郎

名張郡町長
名張 大久保莊五郎

同村長
藏持 岩本伊右衛門　薦原 福地儀兵衛
錦生 杉本甚三郎　瀧川 藤本若松
箕曲 松岡嘉八　比奈知 藤永海老吉
國津 吉田判四郎

伊賀郡村長
種生 川口潔　矢持 東九三郎
上津 山內直次郎　神戸 町井信郎
古山 尾崎源左衛門　美濃波多 竹森茂
伊那古 島地繁治郎　比自岐 淺野貞之輔
猪田 菊永斧二郎　花垣 井野政雄

○答志英虞郡役所　答志郡鳥羽町

郡長 七等　從七 勝島政次郎

郡書記
八 渡邊蕊　八 岡從橘
九 分任收入官吏 新井雄馬　十 浦野耕
(月一〇) 栗原亮次　(月九) 高津忠光
(月九) 坂本兵左衛門　(月七) 松井八郎

答志郡町長
鳥羽 須藤富八郎

同村長
答志 濱口善助　神島 宮野猪三郎
鏡浦 濱田彌助　加茂 押田辰藏
長岡 古屋新介　的矢 堀口吉右衛門
安乘 磯崎磯太郎　國府 畫田源太郎
磯部 橋本清六

英虞郡村長
鵜方 森本佐左衛門　甲賀 小林多三郎
立神 小崎長助　志島 松井文四郎
畔名 前田萬吉　名田 福岡甚八
波切 小川久基　船越 山崎留四郎
片田 山本丈太郎　布施田 山本善次郎
和具 馬淵益謙　越賀 松本松之助
御座 山本伊右衛門　濱島 井上淺七

○北牟婁郡役所　北牟婁郡尾鷲町字尾鷲南浦

郡長 七等　從七 小野武次郎

郡書記
九 中野亮太郎　十 分任收入官吏 岡本事
十 池田利勝　(月一〇) 幄珂範之
(月一〇) 松浦久之助　(月九) 佐羽內貝吉
(月八) 諸岡益知　(月七) 村澤覺馬

町長
尾鷲 田村德兵衛

村長
九鬼 田崎傳之丞　相可 中村隆平
引本 櫻井平八　船津 世古寅之助
三野瀨 東與一　長島 田中正平
赤羽 村島甚三郎　二鄉 長井松三郎
錦 加藤柳平

○南牟婁郡役所　南牟婁郡木本町

郡長 七等　從七、勳六 新谷貞信

郡書記
七 分任收入官吏 福喜多繁　九 森本玄瑛
十 內田周次郎　十 南松次郎
(月八) 西貝輔　(月六) 中野爲之助

町長
木本 西川泰

村長
北輪內 大門莊兵衛　南輪內 山門源吉
荒坂 片岡政吉　新鹿 井本爲美
有井 山本種右衛門　神志山 瀧川哲齋
市木 崎久保省三　阿田和 畑中半左衛門
鵜殿 竹原僕一　井田 上道常松
相野谷 久保專藏　尾呂志 東宗一
入鹿 音無直吉　上川 山本甚助
西山 小林貝之助　神川 西澤莊次郎
五鄉 田垣內松之助　飛鳥 福岡甚三郎

○尋常師範學校　津市丸ノ內

學校長 七等三級　小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員從七 長倉雄平　津市大字中新町二十五番屋敷

敎諭
三(下) 文官普通試驗委員小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員 山高幾之丞
四(下) 阿保友一郎　五(上) 兼舍監 藤田卯藏
五(上) 兼訓導附屬小學校主事小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員 木野崎吉辰
五(上) 大原近義　五(上) 橫澤文也
五(上) 兼訓導 菊田茂之丞

助教諭
二(當分月二二) 兼舍監 矢野能友
二(當分月二二) 恒川鐐之助
三 小谷光貞　三 福島亦八
三(當分月一八) 島田里喜藏　四 兼舍監 石澤祥二
五(當分月一〇) 吉田貞

訓導
二(當分月二三) 西脇文夫　三(當分月一七) 川本覺次郎
三(當分月一七) 磯田百助　四 佐伯ひで
五 前田捨松

書記
四 橫濱齊　四 永井貝次郎

○尋常中學校　安濃郡新町

學校長(年七八〇) 正八 山崎旨重　津市北堀端二番屋敷

敎諭
(月六〇) 文官普通試驗委員 印牧順作
(月五〇) 村崎常治　(月四〇) 兼書記 石井祐齊
(月三〇) 狛忠雄

助教諭
(月二五) 谷保太郎　(月二三) 藤島武二
(月二〇) 梅村甚太郎　(月二〇) 杉野一軌

舍監
(月三〇) 宇治益次郎　(月二五) 山羽義彥

書記
(月二五) 牧田宗太郎　(月一三) 野田源左衛門
(月一三) 勳八 梅林諦善

○津市役所

市長(年七〇〇) 長井氏克
助役(年三〇〇) 黑川佐太郎

名譽職市參事會員
松田豐幹　荒木一作
內多正雄　伊藤尙藏
吉村賢藏　野村拙郎

○愛知縣　名古屋市南久屋町

知事二等　正四、勳三　時任爲基　名古屋市南伊勢町甲七十四番戸

書記官四等　縣參事會員官報報告主任文官普通試驗委員長小學校教員銓衡委員長主任收入官吏正六、勳六　岩男三郎　名古屋市南大津町五十二番戸

警部長五等　文官普通試驗委員從六、勳六　山田吉雄　名古屋市南武平町六十一番戸

收稅長五等　文官普通試驗委員主任收入官吏從六、勳六　岩崎奇一　名古屋市南久屋町百八十六番戸

參事官七等　縣參事會員文官普通試驗委員從七、勳六　横田太一郎　名古屋市南鍛冶屋町九十九番戸

技師五等六級　從六　江森盛孝　名古屋市南久屋町八十七番戸

八等（年六〇）　農事試驗場長兼務正八　松崎祇能　名古屋市武平町二町目百三十八番戸

典獄六等　出納官吏正七　村井高正　名古屋市竪三ツ藏町四十番戸

○知事官房

屬
六　井川武策
八　内務部兼務　足達繁吉
（月九）　小山高重
（月七）　安藤太郎
七　成瀬行
（月九）　池山信紐
（月九）　渡邊敬道

○内務部

部長　書記官　岩男三郎
第二課長　參事官　横田太一郎

屬
二　第一課長官報報告主任　杉山四五郎
三　第三課長從七、勳八　日比野次郎
五　第四課長兼物品出納官吏　山本忠充
五　小學校教員檢定委員小學校教員銓衡委員　枝徳二
六　佐野政辰
六　脇屋義純
六　大野昇馬
七　濱島豐
七　大島文勝
七　中野莊一
八　柏木政輔
八　松下憲
八　高橋福三郎
八　近藤繁
八　名古屋測候所長心得　石川正美
八　上杉重齊
六　甘利後知
六　武藤重英
六　安井眞淳
七　近藤禮太郎
七　上田久之進
七　泉名高次郎
八　村井久道
八　鈴木藤一郎
八　榊原林深
八　芦澤鐐三郎
八　村木鶴次郎
八　丹羽勉
八　木全延猛
八　櫻井武愷
九　川村有力
九　芝﨑辰
九　山本武五郎
九　原田鉦次郎
九　大島徳太郎
九　中島尙質
九　廣瀨則賢
九　山本正心
十　淺野鉦太郎
十　村田英熊
十　伊藤喜平
（月一二）　太田次將
（月一〇）　栗本勝太郎
（月一〇）　木村義和
（月一〇）　千賀市太郎
（月一〇）　丹羽嘉
（月一〇）　松波悅太郎
（月九）　村手喜多治
（月八）　川口鈴太郎
（月八）　岩田定吉
（月八）　山川初之助
（月八）　上泉艮逸
（月七）　小出芳太郎
八　小川圓次郎
八　勳七　津田靜太郎
九　小學校教員檢定委員　川崎爲美
九　杉山覺三郎
九　竹居豐實
九　津金胤義
九　島澤孝忠
九　安井作太郎
九　寺田榮實
十　水野喜多作
十　長友貞藏
十　玉置重美
（月一二）　所直次郎
（月一〇）　宮城英邦
（月一〇）　萩原光清
（月一〇）　山田健之助
（月一〇）　矢野知
（月一〇）　辰巳守
（月一〇）　長谷川正嗣
（月八）　小原鐐五郎
（月八）　廣井鋲五郎
（月八）　半田伊太郎
（月八）　青山鎭郎
（月八）　大迫六郎

技手
七　大塚右八郎
七　藤山慶藏
九　大貫德藏
七　正七、勳五　川井守一
九　山田伸吾

○警察部

部長　警部長　山田吉雄

警部
四　警務課長保安課長巡查敎習所長文官普通試驗委員　井上幸秀